

テキストの使い方と学習方法

はじめに

ワードⅠ、Ⅱを学習されて、マスターできた方はこのテキストをお使いください。このテキストでも、まずワードⅠ、Ⅱで学習された内容の復習を兼ねてワードⅠ、Ⅱの確認をしていただきます。ワードⅠ、Ⅱの確認をクリアされた方は、ワードⅢの内容に進んでいただき、より高度なワードの使い方について学習してください。

ワードⅢでは、複数ページの文書の改ページ、セクション区切り、アウトラインの使い方、Microsoft 社の他のソフト（エクセル）などとの連携などについて学習していきます。せっかくワードやエクセルを学習しても、エクセルで作成したデータをワードで使えないようでは、無駄な操作が増えてしまいます。エクセルなどで作成したデータは、他のソフトでも使うことができます。ワードⅢでより高度な機能を学習していただき、Microsoft 社製のソフトを使いこなせるところまで頑張ってみてください。

テキストの学習にあたって

まず、このテキストを使っていただくために、必ず下記のことは約束してください。そうでないとせっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

● 「実際の操作内容」の部分だけ操作する。マークや説明をしっかり見る

「完成例」は今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではありません。

このテキストでは覚えていただきたいことに、的を絞って説明していますので、テキスト中のマークや説明を最低 1 回は読むように心がけましょう。

（テキスト内のマークの説明は次ページを参照してください。）

● 操作は必ず順番に！ 1 回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すことになります。パソコンは 1 つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、ひとつ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1 つ 1 つ丁寧に操作しましょう。

● わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1 か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

テキスト内で使われているマークについて

1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なのかを説明しています。

実際の操作内容

……実際に使う操作の方法を説明しています。

目標

……各操作で何を覚えてほしいかを説明しています。

新機能

……Word 2013と旧バージョンとの違いや新機能を説明しています。

注意!

……間違いややすい操作や、操作を行うにあたり特に注意してほしいことを説明しています。

余裕があれば読んでね

……パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っていると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。

ご参考までに

……パソコンを使っていると、「こんな画面も表示される場合がありますよ。」とか、「こんな操作方法もありますよ。」とか、学習に余裕があれば読んでいただければという情報を説明しています。

……くじら先生の吹き出し内は、各操作中のポイントや注意の中でも、特に読んで理解してほしい重要な箇所です。

補足説明タイトル

参照ページ

……テキストの流れには必要ありませんが、より詳しい内容の補足説明や別の操作方法がP217以降に記載しています。余裕のない方は飛ばしていて大丈夫です。(ただし各章ごとの練習問題で使う内容も若干含まれます。また、テキストをすべて終了されてから最後に読まれると、スキルアップにつながります。)

☆☆これまでくじら先生問題で理解度を試してください。☆☆

……単元ごとの練習問題を用意しています。各単元での復習操作になりますので、単元ごとに理解度を試してください。このテキストでは全部で5ヶ所あります。

- 「クイックアクセスツールバー」に「新規作成」、「開く」、「クイック印刷」、「印刷プレビューと印刷」ボタンが追加されていることを前提としています。(クイックアクセスツールバーのボタンの追加と削除はP233に表記しています)

- タッチパネルでの基本操作については、P243に記載しています。

このテキスト内で作成する文書の完成例

●「アンケート報告書」

パソコン教室に関するアンケート調査報告書

パソコン教室□XXXXXX

現在、パソコン教室で受講中の皆様に対するアンケートの結果をまとめましたので、ご報告いたします。
なお、本資料は~~機密資料~~のため、取り扱いには十分注意してください。

目次

1. 調査の概要 2
 1) 調査 2
 2) 目的 2
 3) 対象 2
 4) 手段 2
 5) 総括と結果 2
2. アンケート用紙の流れ 3
3. アンケート集計結果 4
 1) 受講回数の設定 4
 2) 自己学習方式 4
 3) 講師 4
 4) 利用頻度 4
 5) 改善提携 4
 6) 改善回数 4
 7) 科主設定 4
 8) パソコン教室を選ぶポイント 5
 9) その他要望 5

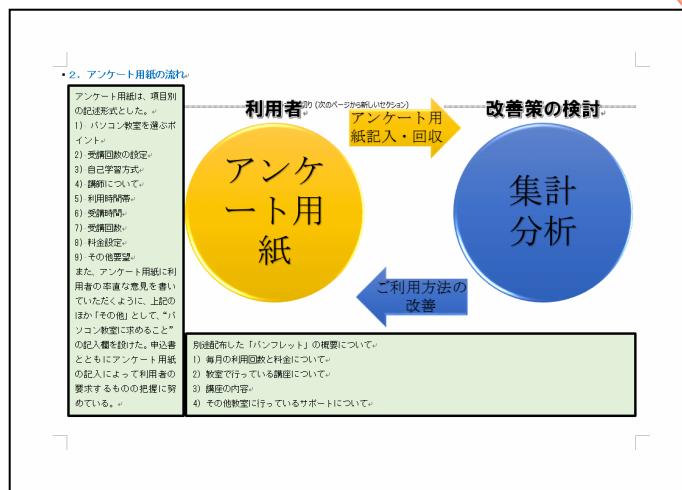
20ページ

1. 調査の概要

- 1) 調査
インターネットによる調査で、高齢者の方のパソコン利用者を対象としております。これにともない、中高年層の方が利用している割合が非常に多くなっております。当教室でもご利用される方の年齢層が高く、40~50歳代の方のメインとなっております。受講者の方がパソコン教室などでの学習などを継続して行っているのをよりお伝えいくことが望ましいか、また現状の授業の改善点はどこかなどを受講者から幅広く募集します。
- 2) 目的
年齢・性別による年齢層、中高年層がパソコン教室に付して、どのような対応を望んでいるか分析し、今後の教室内のあり方を検討して改善点を洗り出します。また、当教室として改善方法を検討し、随時の改善を行います。ホームページについても、全国のパソコン利用者が利用しやすいホームページに随時更新します。
- 3) 対象
当教室を利用者の皆様。
- 4) 手段
受講生からの受け付け、または各学年でアンケート用紙を手渡し記入していただく、第1回目の受講回数からの備考記入していただいた場合はその部屋回収する。回収は、担当講師が受け取る場合を想定してもらうこととした。
- 5) 総括と結果
集計は、当パソコン教室の講師陣が共同で行った。講師陣は、集計結果をさまざまな視点から分析し、集計結果を資料として作成した。作成した資料を基に管理者(主査員)が、これからの方(パソコン教室)はどうあるべきかを検討し、改善点の提案および改善書を作成し、随時改善案を実施する。

セクション切替(次のページへ新規セクション)

世界中で多くの場所に結んだネットワーク。
インターネット上にある情報を交換するためのページ。



③ アンケート集計結果

④ 受講回数の設定

パソコン教室で、W o r d は8回～8回とか10回という設定で進めていくところがほとんどですが、受講者の力があると自分のペースで進むのが一番ありがたいと思われています。

⑤ 自学習方式

「個別指導」という名前で、自己学習方式で進めるパソコン教室もありますが、これに対しても、受講者の力は、自己のペースで進めるので、いい方法だとされる方と、教室にうきこらには、講師がアキラを説明すべきだとされる方が結構多いです。

ただ、受講者は自分のサンケートであると、受講者の力のレベルを見る上、自己学習方式では、マスターできないと思われるところから、パソコン教室で講師が説明すべきと思われます。・

⑥ 講師

パソコン教室を選ぶ時のポイントでも高い比率を占めていましたが、講師の質を受講者の力は気にしている様子です。

また、受講者はパソコン教室に対して、講師以外の内容についても関心してほしいと思われています。「どんな問題であっても回答すべき」と合わせると97%にも達し、講師の質の重要さが大切となります。

⑦ 利用時間帯

午前中から午後： 普段までの受講者は、30代～50代の主婦の方がメインとなっており、午後5時を過ぎると、ほぼ毎年勤務の方にいらっしゃります。・

この結果、仕事を持っている方は特に、専業主婦の方は昼間に利用されております。・

⑧ 受講時間

受講時間は、1回約60分の時間が多い方が一番多く、続いて2時間となっています。・

アンケート結果から判断すると、若い方は会社時間、中・高年の方た(女性)は長い時間、受講を希望されています。1回の受講で2時間半以上を希望される方はほとんどいませんでした。・

⑨ 受講料

通1回を希望される方が金額の8.2%を占めています。これは、復習の時間と料金が割合しているのではないかと思われます。・

⑩ 料金設定

受講料からすると、やはり安いに越したことはないでしょうが、特に中・高年の方からすると、料金は少し高めですが、マイペースで学べる教室は選ばれているようです。・

Microsoft社が作成した、パソコンで文書作成するためのアプリケーションソフト。

● 「支店別売上実績」

2013年度・支店別売上検討書

各店舗 販売実績管理者 殿
販売計画管理課□安井□保

景気回復が一向に見えぬ中、我社の経営も一層厳しくなると思われます。
前年度の計画に対する実績について取りまとめた上で報告するとともに、今年度については、下記事項を勘案のうえ、各店舗とも目標表1【支店別売上目標】達成に向けて努力するよう、各店舗内の意思統一をお願いします。

- 各店舗の地域特性を考慮した販売活動を行う。
- 店舗ごとに顧客への積極的なアプローチと担当者の販売指導を行う。
- 各店舗での各担当者の責任を明確にし、各担当者に責任意識を植えつける。

表1【支店別売上目標】

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	350
100002	郡山支店	550	550	550	350
100003	仙台支店	450	450	450	300
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100005	大宮支店	550	550	550	350
	合計	2450	2450	2450	1650

【支店別売上実績】

支店別売上実績

月	札幌支店	郡山支店	仙台支店	宇都宮支店	大宮支店
1月	500	542	426	389	586
2月	399	457	421	376	492
3月	489	511	500	520	600
4月	321	288	234	260	360



● 「受講案内」

ABC 株式会社□御申

平成 25 年 6 月 10 日

ABC パソコンスクール
教育部 担当□川上
TEL : 03-1234-5678
FAX : 03-9876-5432

梅雨の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、
厚くお礼申し上げます。

当パソコンスクールでは、下記の日程で各種講習会を開催いたします。

つきましては、御社の社員様のご予定に合わせて、ご都合のいい日にご出席いただけるようスタッフ一同心からお待ち申し上げます。またに勝手ではございますが、ご出席いただける場合は文末の申込書をご返送賜りますようよろしくお願ひいたします。

記

1. 日程

- パソコン入門： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 1:00~3:00
ワード基礎： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 4:00~6:00
ワード応用： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 7:00~9:00
エクセル基礎： → 平成 25 年 7 月 15 日□午後 1:00~3:00
エクセル応用： → 平成 25 年 7 月 15 日□午後 4:00~6:00

以上

申込用紙

申込日：

貴社名	電話番号		
受講票送付先			
受講希望講座	講座名	受講人数	お支払方法

※…1企業様 5講座まで受講可能です。

目 次

1. ワード I、II の確認	1
(1) ページ設定	1
(2) 文字の入力	2
(3) 書式の設定	3
(4) 段組みの設定	4
(5) ドロップキャップの設定	5
(6) クリップアートの挿入	6
(7) テキストボックスの挿入	7
2. 文書の書式設定	8
(1) 書式設定の単位	8
① 文字	8
② 段落	8
③ セクション	8
(2) 書式の登録	9
① ステータスバーのユーザー設定	10
② 文字スタイルの登録	13
③ 登録したスタイルの適用	19
④ 段落スタイルの設定	20
⑤ 段落スタイルの変更	22
(3) 文書の区切りを設定	26
① 改ページ位置の自動修正	26
② 段落を分割せずに改ページ	27
③ 2つの段落と一緒に改ページ	30
④ 任意の位置で改ページ	33
⑤ セクション区切りの設定	35
(4) セクションごとに書式を設定	41
① 書式の変更	41
② 書式変更の確認	43
3. 図の利用	47
(1) SmartArt	47
① 【完成例】	47
② SmartArt の挿入	48
③ 図形の削除	49
④ 図形に文字を入力する	50
⑤ 文字のスタイルの設定	56
⑥ 文字列の折り返し	59
⑦ 表示倍率の変更	62
⑧ SmartArt の移動	65
⑨ SmartArt のサイズ変更	67
(2) 離れた場所に一連の文章を入力	71
① テキストボックスに文字を追加	72
② テキストボックスにリンクを設定	78
③ テキストボックスのサイズ調整	80

④ テキストボックスの書式を設定する	82
--------------------	----

4. 長文作成機能 86

(1) アウトライン機能	86
① アウトラインレベルとスタイル	87
② アウトライン表示に切り替える	87
③ アウトラインを設定する	89
④ アウトラインの範囲選択方法	95
⑤ アウトライン表示の切り替え方法	97
⑥ 見出しの移動	101
⑦ アウトライン番号の設定	103
⑧ アウトライン番号の書式変更	105
(2) 脚注の挿入	114
① 脚注の挿入	114
② 脚注の確認	123
(3) 目次の作成	124
① 目次を作成する	124
② 目次を利用してカーソルを移動する	127
③ 目次の更新	131

5. 他のアプリケーションの利用 134

(1) 埋め込み	135
① 貼り付け元のデータを開く	135
② エクセルの表をワードに貼り付け	137
③ 埋め込んだデータの変更	141
④ 埋め込みオブジェクトの削除	144
(2) リンク	145
① エクセルの表をワードにリンク貼り付け	145
② リンクデータの変更	150

6. 表・グラフの作成 153

(1) 表の作成	153
① 文字列を表に変換する	153
② 表のレイアウト調整	156
③ ワードで表計算	160
④ 表内のデータの並べ替え	163
(2) グラフを作成する	166
① グラフの作成	166
② グラフのデータの入力	169
③ グラフにタイトルを付ける	172
④ データテーブルを表示する	174
⑤ グラフの大きさの変更	176
(3) 相互参照	178
① 図表番号の設定	178
② 相互参照の作成	182
③ 相互参照の確認	186
(4) ハイパーリンク	187

① ハイパーリンクの挿入.....	187
② ハイパーリンクの確認.....	192
③ Web ページにリンク	194

7. 差し込み印刷.....	198
(1) 差し込み印刷の手順.....	198
(2) 差し込み印刷ウィザード	199
① 差し込み印刷ウィザードの表示.....	199
② メイン文書とデータファイルの指定.....	201
③ 差し込みフィールドの挿入	208
④ プレビュー表示	212
⑤ 印刷.....	213

補足説明

●ショートカットキーやテキスト以外の操作方法、補足説明.....	217
●P18 スタイルの削除について	218
●P18 スタイルの変更について	220
●P20 スタイルの適用についての補足説明	222
●P25 その他の段落スタイルの変更方法	225
●P25 スタイル名の表示領域	226
●P42 セクション区切りについての補足説明	227
●P76 エンコードについての補足説明	227
●P79 テキストボックスについての補足説明	228
●P100 その他の展開と折りたたみ方法	228
●P152 [リンクの設定] ダイアログボックスについて	229
●P162 表計算についての補足説明	230
●P185 相互参照についての補足説明	231
●P193 ハイパーリンクについての補足説明	232
●クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する	233
●リボンの表示オプションの変更	235
●テキストの手引き	236
●タッチパネルの基本操作	243
●索引	244

日本語

1. ワードⅠ、Ⅱの確認

ワードⅠ、Ⅱで学習していただいた内容は、理解できましたでしょうか？

ワードⅢでは、基礎以上に難しい内容が出てきます。基礎の部分で不安がある方は、この部分で基礎がマスターされているか確認していただき、もしつまずいた部分がありましたら、基礎の部分に戻って復習してからワードⅢに入りましょう。焦らずに、ゆっくり進んで完璧にマスターできるように心がけてください。

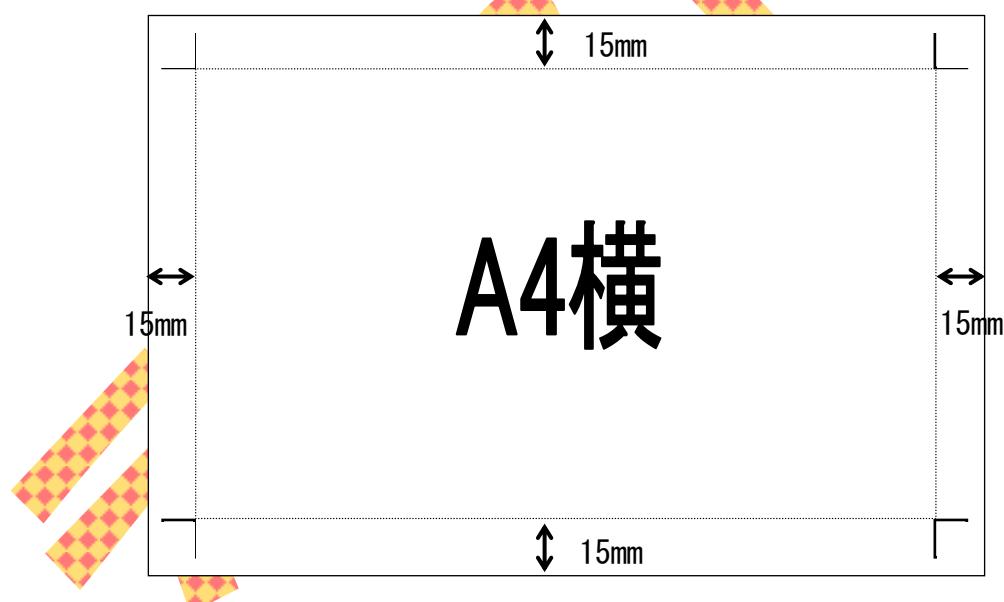
1. ワードⅠ、Ⅱの確認では、ワードⅠ、Ⅱで学習した内容を元に文書を作成していただきます。次の段階に進む前に、ご自分が次に進んでもやっていける実力が身に付いているかを判断していただくようにしています。

(1) ページ設定

下の条件で、「ページ設定」を行いましょう。

■設定内容

- 用紙サイズ：A4
- 文字方向：横書き
- 印刷の向き：横
- 余白：上下左右 15mm



(2) 文字の入力

下の文章を「段落替え」に注意して入力しましょう。

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？

違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真の画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる、といってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

どこから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけですから…。自分にあった利用法がきっかけとなり、『できることの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

パソコンはどこで買うの？

パソコンは、「〇〇デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに『パソコン専門店』があれば、なおよいでしまう。なぜって？それはパソコン専門店の方方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。

いろいろな実物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

習うより慣れるが一番！

マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を取得した方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするため一番必要になってきます。

怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。



(3) 書式の設定

下の条件で、「文字書式」を設定しましょう。

- すべての文字の大きさを「12pt」に設定してください。
- 太字に設定されているところは、「MS ゴシック」の「太字」に設定してください。
- 下線を引いているところは、「波線の下線」を設定してください。

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？

違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、**インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真の画像の編集、映画**など多種多様のことを実現してくれる、いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

どこから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、**見積書や請求書**が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけですから…。自分にあった利用法がきっかけとなり、『できることの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

パソコンはどこで買うの？

パソコンは、「○○デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに『パソコン専門店』があれば、なおいでしよう。なぜって？それはパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。

いろいろな実物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

習うより慣れるが一番！

マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を取得した方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になってきます。怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。

(4) 段組みの設定

下の条件で、「段組み」を設定しましょう。

- 段組みは3段に設定して、境界線を引いてください。
- 「パソコンはどこで買うの？」「習うより慣れるが一番！」の前で段区切りを挿入してください。

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真的画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる。いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

どこから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけですから、自分にとって利用法がきっかけとなり、『できるこの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

パソコンはどこで買うの？

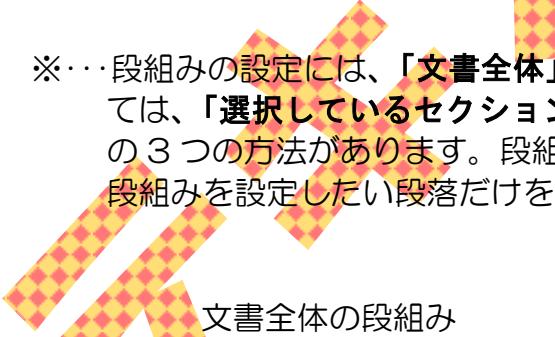
パソコンは、「〇〇デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに『パソコン専門店』があれば、なおよいでしょう。なぜって？それはパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。いろいろな实物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

習うより慣れるが一番！

マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を取得した方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になります。怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。

段区切り

※…段組みの設定には、「文書全体」、「これ以降」、「このセクション」（選択方法によっては、「選択しているセクション」「選択している文字列」という表示もあります）の3つの方法があります。段組みを設定したい場所にだけ段組みを設定するには、段組みを設定したい段落だけを選択する必要がありますから注意しましょう。



文書全体の段組み

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？違いを理解するために、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真的画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる。いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

どこから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めなければいいのです。これまでやってきた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけなのですから、自分にとって利用法がきっかけとなり、『できるこの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

パソコンはどこで買います？

パソコンは、「〇〇デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに『パソコン専門店』があれば、なおよいでしょう。なぜって？それはパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。いろいろな实物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

これ以降の段組み

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？違いを理解するために、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真的画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる。いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

どこから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことがあります。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書の類にならざるを得ません。同じようにパソコンを使うには、操作でどうこう考えるのではなく、パソコンと一緒にして慣れることがパソコンで使うための基本になります。

習うより慣れるが一番！

マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を取得した方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になります。怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。

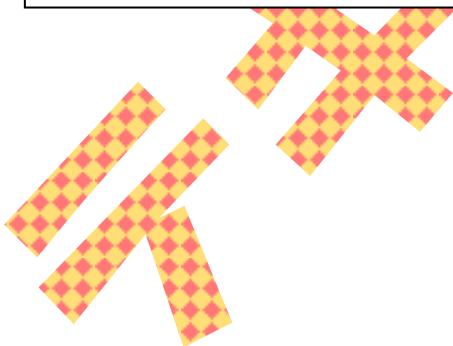
このセクションは、この文書全体の段組みを設定したものになります。

(5) ドロップキャップの設定

下の条件で、「ドロップキャップ」を設定しましょう。

- ドロップする行数は「2」に設定してください。
- レイアウト枠が移動してしまった場合は、下図の位置に移動して調整してください。
- ドロップした文字の色を「青」に設定してください。
- ドロップした段落以外の段落の先頭の文字を1文字分、字下げ（1行目のインデント）してください。

<p>パソコンとは何でしょう？ パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？</p> <p>違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真の画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる、いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。</p> <p>これから始める？ パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけなのですから…。自分にあった利用法がきっかけとなり、『できるとの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。</p>	<p>パソコンはどこで買うの？ パソコンは、「〇〇デシキ」などの家電店に売っています。また、お近くに「パソコン専門店」があれば、なおよいでしょう。なぜって？それはパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。</p> <p>いろいろな实物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。</p>	<p>習 うより慣れるが一番！ マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を取得した方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になります。</p> <p>怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。</p>
--	---	---



(6) クリップアートの挿入

以下の条件で、「クリップアート」を挿入しましょう。

- 挿入したクリップアートを下図のように配置してください。
- 挿入したクリップアートの文字列の折り返しを「四角」に設定してください。
- 「キーボード」のクリップアートには、「四角形、ぼかし」の図のスタイルを設定してください。

※クリップアートは、「ショーウィンドウ」と「キーボード」で検索してください。
(同じものがなければ、任意のもので結構です)

パソコンとは何でしょう？

パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？

違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真の画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる、いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

これから始める？

パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやってきた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけなのですから…。自分にあった利用法がきっかけとなり、『できることの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

.....段区切り.....

パソコンはどこで買うの？

パソコンは、「〇〇デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに「パソコン専門店」があれば、なおよいでしょう。なぜって？それはパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。

いろいろな実物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

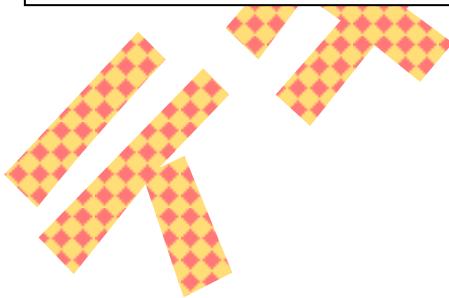
.....段区切り.....

習 うより慣れるが一番！

マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を得た方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になります。

怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。





(7) テキストボックスの挿入

以下の条件で、「テキストボックス」を挿入し、書式を設定しましょう。

- テキストボックスは、「横書き」のテキストボックスを挿入してください。
- 挿入文字

パソコンは、ただの道具です。
使い方は人それぞれで、自分が使いたいように使えばいいのです。

- テキストボックスに入力した文字のフォントサイズを「12pt」に設定してください。
- 挿入したテキストボックスに文字が入りきらない場合は、テキストボックスの大きさを調整してください。
- テキストボックスに「パステル一線、アクセント6」の图形のスタイルを設定してください。

パソコンとは何でしょう？
パソコンとは、パーソナルコンピュータ（Personal Computer）の略で、テレビともビデオとも、電話やファックスとも違います。いったいどこが違うのでしょうか？

違いを理解するためには、パソコンの機能、つまりパソコンでできることを知る必要があります。パソコンでは、インターネットや電子メール、文書作成、表計算、ゲーム、写真の画像の編集、映画など多種多様のことを実現してくれる、いってみればドラえもんのポケットのようなものだと考えられます。

これから始める？
パソコンを使いこなすというのは、いったいどういうことでしょうか？自分がしたいことにパソコンを活用することが使いこなすことだと思います。例えば、仕事で『報告書』を提出しなければいけないときは、報告書の作成をパソコンで行い、見積書や請求書が必要になったときは、パソコンでそれを作ることから始めればよいのです。これまでやっていた手作業をパソコンに置き換えて作業を進めるだけなのですから…。自分にあった利用法がきっかけとなり、『できることの範囲』をだんだんと広げていけばいいのです。

段区切り

パソコンはどこで買うの？
パソコンは、「〇〇デンキ」などの家電店に売っています。また、お近くに『パソコン専門店』があれば、なおよいでしょう。なぜって？ 那はパソコン専門店の人の方がパソコンに詳しい人がいるから、どんな物がいいか質問してもすぐに答えが返ってくるでしょう。

いろいろな実物を心ゆくまで見て、気にいったものを見極めたいというなら大型のパソコン専門店がいいでしょう。後々、パソコンの調子が悪くなったときに面倒を見てほしいなら、お近くの詳しい店で買った方が便利です。1日あれば直るところをメーカー送りにされて、2週間も3週間もパソコンが使えないという事態にならないためにも…。

習うより慣れるが一番！
マウスもキーボードもパソコンに命令を与えるための装置ですが、習うのではなく慣れることが大切です。自動車の免許を得た方はお分かりだと思いますが、自動車学校でも頭で理解しても体が思うように動かないと自動車は運転できません。同じようにパソコンを扱うには、頭でどうこう考えるのではなく、パソコンに触って慣れることがパソコンをマスターするために一番必要になります。

怖がらずに1日1回はパソコンに触ってみましょう。そうすれば、1ヶ月、2ヶ月と経つうちに自分の上達に驚くはずです。

パソコンは、ただの道具です。
使い方は人それぞれで、自分が使いたいように使えばいいのです。

リムーバブルディスクに「パソコンとは」という名前で保存しておきましょう。

どうでしょうか？ できた方はこのままワードⅢに進んでいただいて結構です。できなかった方は、ワードⅠ、Ⅱに戻って復習が必要です。

次に進むのは簡単です。でも後戻りするには勇氣が必要です。勇気を出してワードⅠ、Ⅱに戻り、マスターしてから進みましょう。焦らずに、じっくり取り組んで自分のものにしていきましょう。

2. 文書の書式設定

書式の単位を理解することが、ワードを操作する上で重要になります。そこで**書式設定**と**スタイルの設定**、**文書の区切り**について説明し、長文作成に便利な**索引**や**目次**についても説明します。

(1) 書式設定の単位

書式を設定するときにポイントとなるのは、書式を設定する対象が次のように**文字**、**段落**、**セクション**と3つあることを認識しなければならないということです。

① 文字

書式設定の単位としての文字とは、かなや漢字などのほか、記号やスペースも含めます。文字に設定する書式を「**文字書式**」といいます。文字の書式設定は、対象となる文字列を範囲選択（範囲指定）してから行います。

文字書式には、**フォント**、**フォントサイズ**、**スタイル**（太字、斜体）、下線、**文字の色**、**文字飾り**（取り消し線、浮き出しなど）、**文字間隔**、**文字の位置**（上付き、下付き）などがあります。

② 段落

段落とは、文書の先頭または段落記号（+）の次の行から、次の段落記号（+）までをいいます。段落記号までが複数の行からなる文章も、グラフィックスやグラフなどを含む行も1段落と見なされます。

段落全体に設定される書式を「**段落書式**」といいます。段落書式の設定は、対象となる段落の中にカーソルを移動してから行います。また、複数の段落に書式を設定する場合は、段落の一部が選択されているように範囲選択します。

段落書式には、**インデント**、**段落の前後の間隔**、**行間隔**、**段落の配置**、**禁則処理**、**日本語と数字の間隔の自動調整**などがあります。

※**禁則処理**とは、見た目が悪い表示を調整することです。たとえば、行頭に「、」「。」などがある場合、自動的にそれらを直前の行末に移動したり、行末に「（」「【」などがある場合、自動的にそれらを次の行頭に移動するなどの処理を行ってくれます。

③ セクション

セクションとは、セクション区切りで区切られたそれぞれの部分のことをいいます。新規に作成した文書のように、特にセクション区切りを挿入していない文書は、1セクションから構成されます。

セクション単位で設定できる書式には、**段組み**、**印刷の向き**、**用紙サイズ**、**余白**、**ヘッダー／フッター**、**ページ番号**、**脚注**などがあります。

(2) 書式の登録

よく使う書式は、「スタイル」として登録しておくと、簡単な操作で書式が設定できて便利です。「スタイル」とは、複数の**文字書式**、または**段落書式**を1つにまとめ、名前を付けて登録したものです。

スタイルを利用すると、同じ書式を繰り返し設定する必要がなくなるので、編集作業を効率よく行うことができます。

■ 「スタイル」には、次のような特徴があります。

- スタイルの名前は、自由につけることができます。用途に応じてわかりやすい名前（**強調**、**補足**、**挨拶文**など）を付けておくと便利です。
- 登録したスタイルは【ホーム】タブの【スタイルギャラリー】に表示され、他の文字や段落に設定することができます。
- 登録したスタイルは、他の文書で利用することができます。
- 既存のスタイルに登録されている書式を変更して登録し直すと、同じスタイルが設定されているすべての文字や段落の書式が自動的に変更されます。
- スタイルには、「**文字スタイル**」や「**段落スタイル**」などがあります。文字スタイルは1文字ごとに設定でき、段落スタイルは段落ごとに設定できます。

メモ

スタイルの中であらかじめワードに用意されているものを「**組み込みスタイル**」といいます。この組み込みスタイルの中の「見出し1」～「見出し9」の段落スタイルを使うと、段落書式だけでなく、見出しレベルも自動的に設定することができます。

1. 見出し1
(1) 見出し2
① 見出し3

① ステータスバーのユーザー設定

スタイルの登録を行う前にステータスバーの表示項目に「行番号」と「セクション」を追加しましょう。

ステータスバーとは、下図のように画面下のタスクバーの上に表示されているバーのこととで、ここに「行番号」と「セクション」が表示されるとカーソルがある行が何行目かなどをすぐに確認できるので、便利です。

■ステータスバー

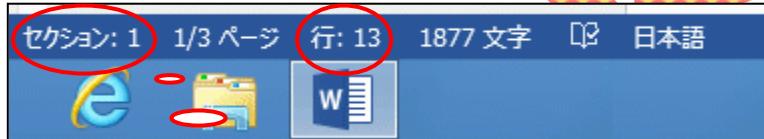


◆ステータスバーに項目を追加する方法をマスターしましょう。

操作前

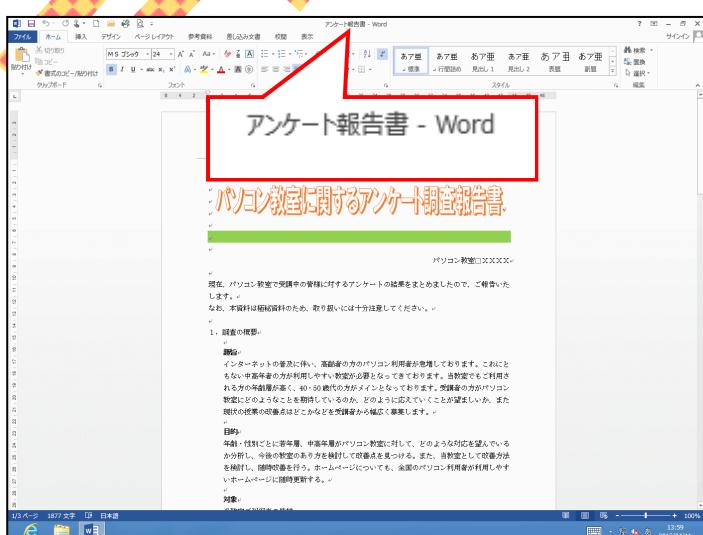


操作後

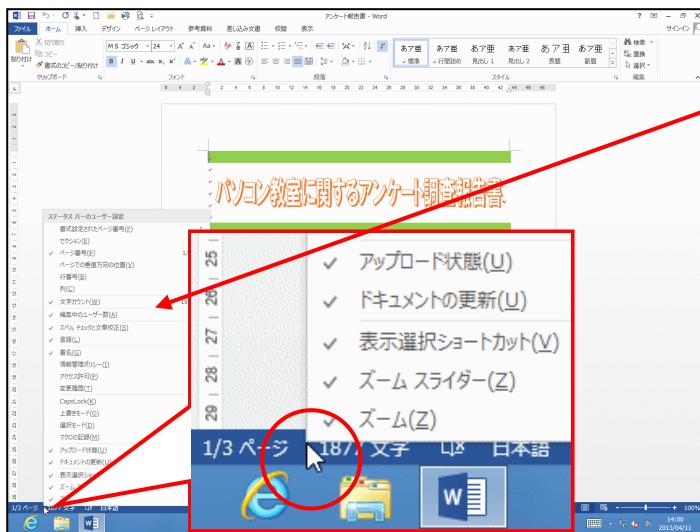


「行番号」と「セクション」が追加されました

ワードを起動して、ドキュメントフォルダーにある「パソコン教室アンケート」を開き、リムーバブルディスクに「アンケート報告書」という名前で保存しましょう。

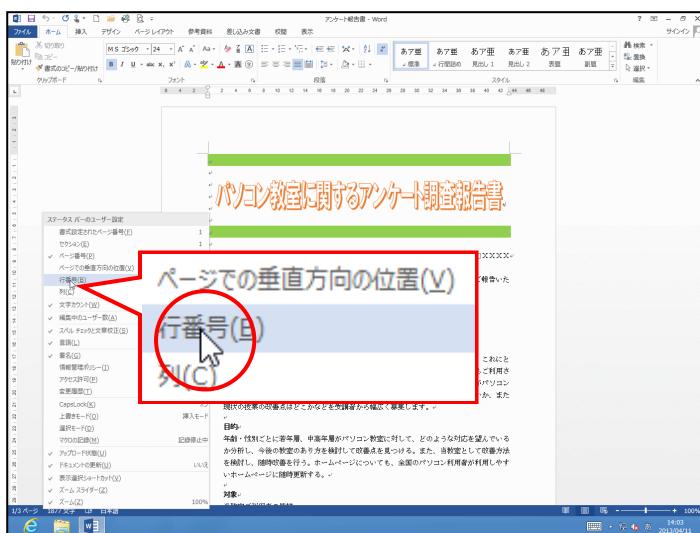


画面左下のステータスバーで右クリックします。

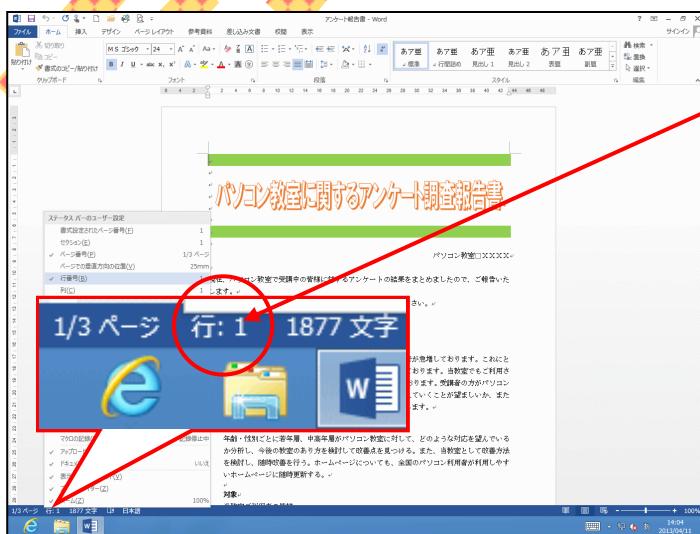


●ステータスバーで右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

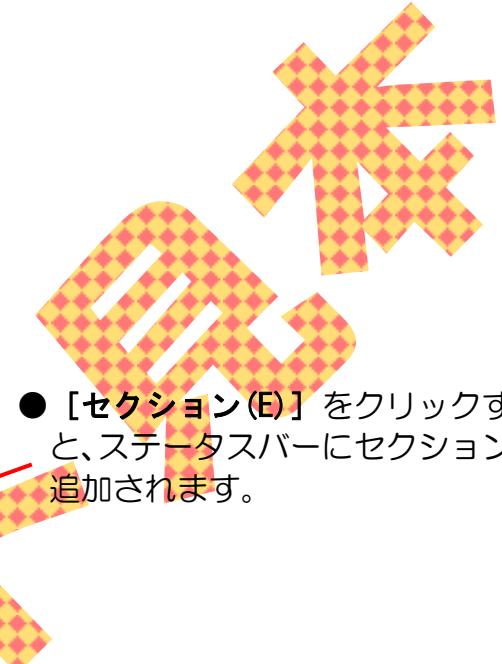
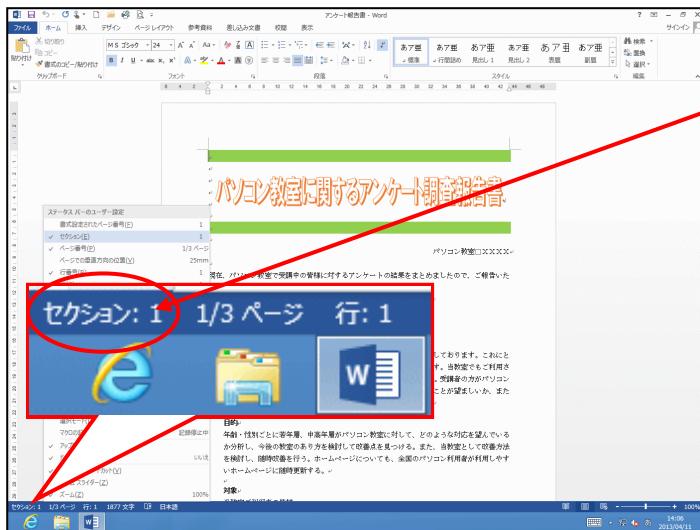
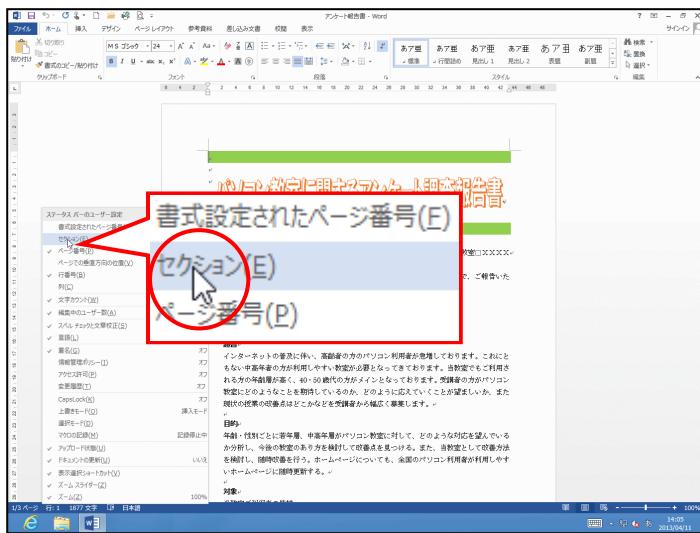
表示された一覧から【行番号(B)】をクリックします。



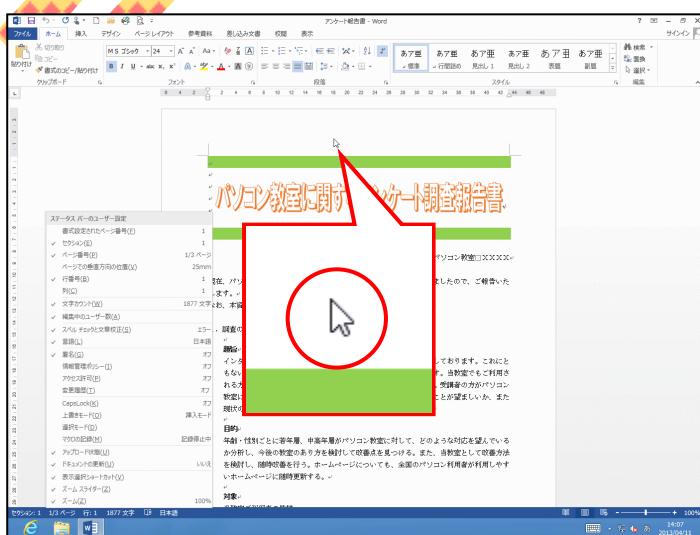
●【行番号(B)】をクリックすると、ステータスバーに行番号が追加されます。



引き続き、表示されている一覧から [セクション(E)] をクリックします。



文書内の任意の場所でクリックし、表示されているショートカットメニューを消しておきましょう。



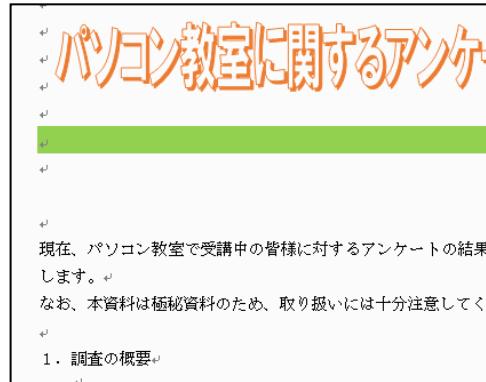
② 文字スタイルの登録

文字スタイルでは、**フォント**、**フォントサイズ**、**太字**、**斜体**などの文字書式を登録できます。

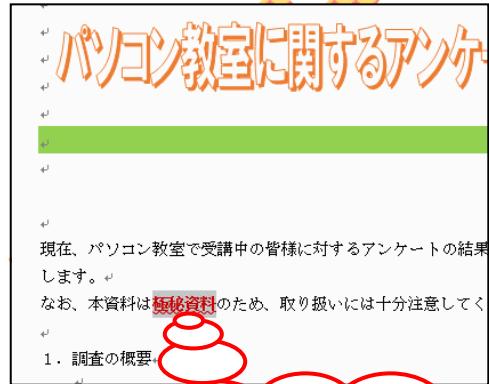
フォント「MS ゴシック」、フォントの色「赤」、**波線の下線**、**太字**の書式を設定した文字スタイル「強調」を作成してみましょう。

◆文字スタイルの登録方法をマスターしましょう。

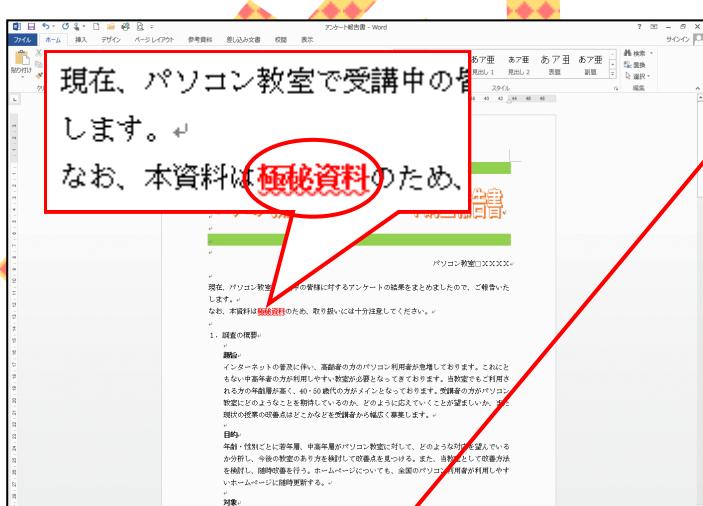
操作前



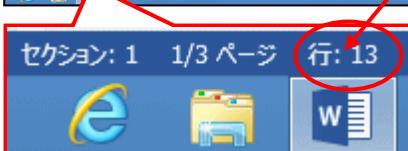
操作後



13行目の「極秘資料」に対してフォント「MS ゴシック」、フォントの色「赤」、「波線の下線」、「太字」を設定します。



●P10 ① ステータスバーのユーザー設定で表示した行番号を参考に13行目を探しましょう。



13行目の「極秘資料」を範囲選択します。

現在、パソコン教室で受講中の皆様へ
お世話になります。+
なお、本資料は**極秘資料**のため、

●ここから選択した文字（**極秘資料**）
の書式を新しい文字スタイルとして登録します。



●すでに範囲選択済みの方は、この操作は不要です。



[ホーム] タブが選択されていることを確認して、[スタイル] グループの [その他] ボタンをクリックします。

1 見出し2 表題 副題
2 スタイル

●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

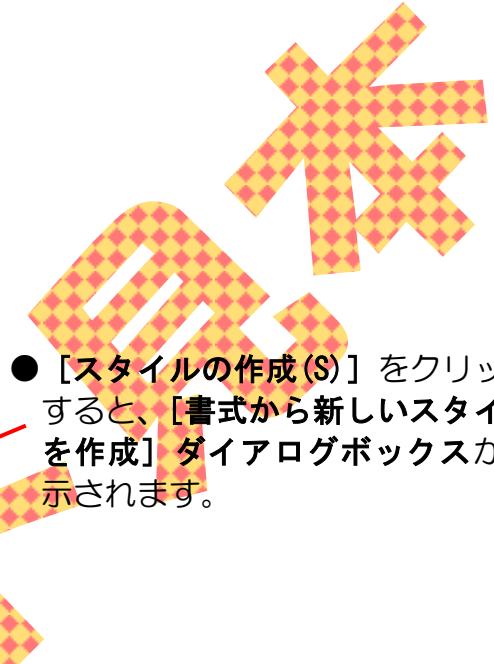
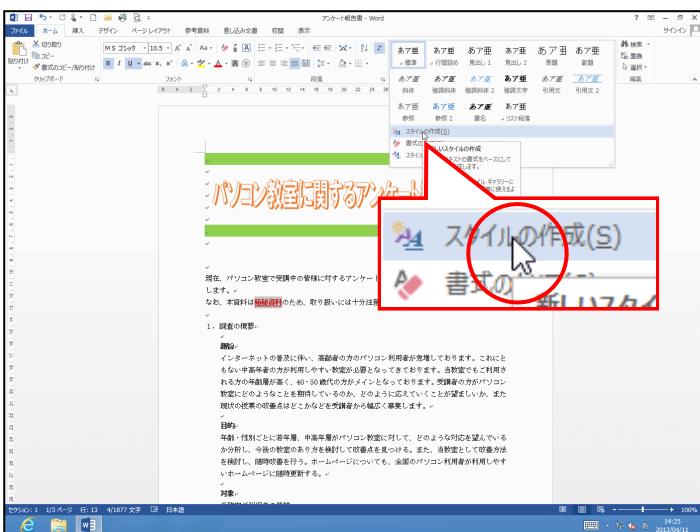


パソコン教室に関するアンケート調査結果書

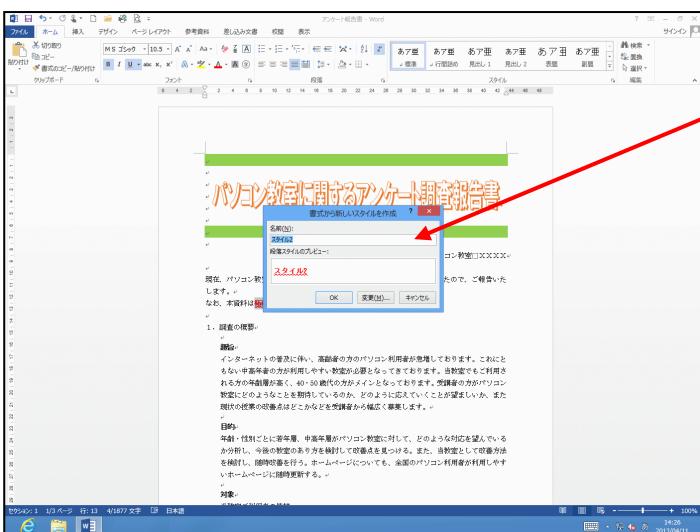
● [その他] ボタンをクリックすると、スタイルギャラリーの一覧が表示されます。

今から、この「スタイルギャラリー」に「**極秘資料**」に設定された書式をスタイル「**強調**」として登録します。

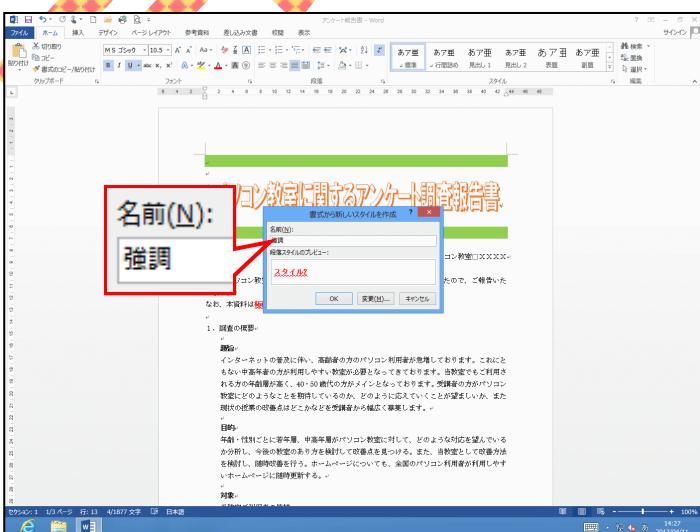
表示された一覧の中から【スタイルの作成(S)】をクリックします。



● 【スタイルの作成(S)】をクリックすると、【書式から新しいスタイルを作成】ダイアログボックスが表示されます。

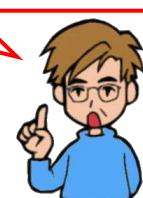


表示された【書式から新しいスタイルを作成】ダイアログボックスの【名前(N):】ボックスに「強調」を入力します。

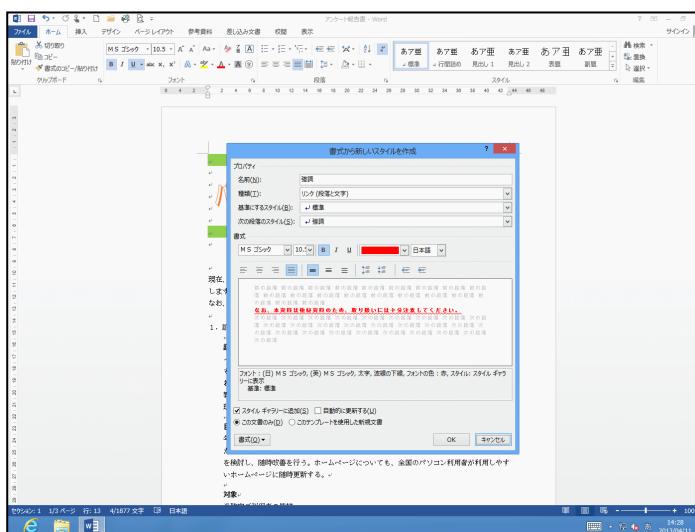
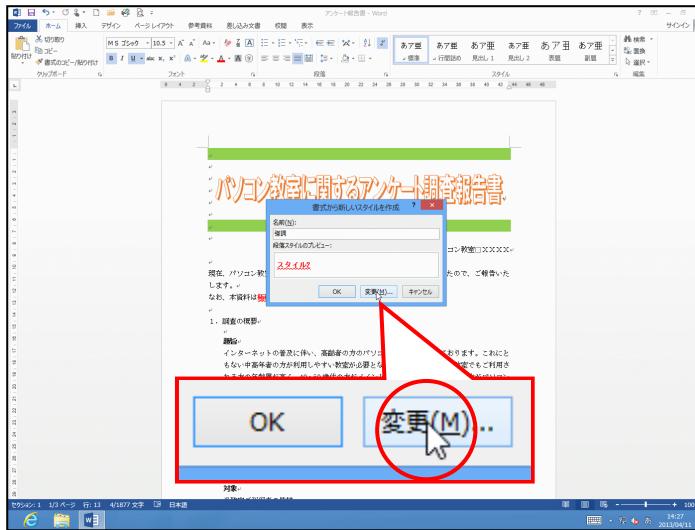


● 【名前(N):】ボックスが次のように青く反転表示した状態で文字を入力すると、上書きされます。

名前(N):
スタイル2

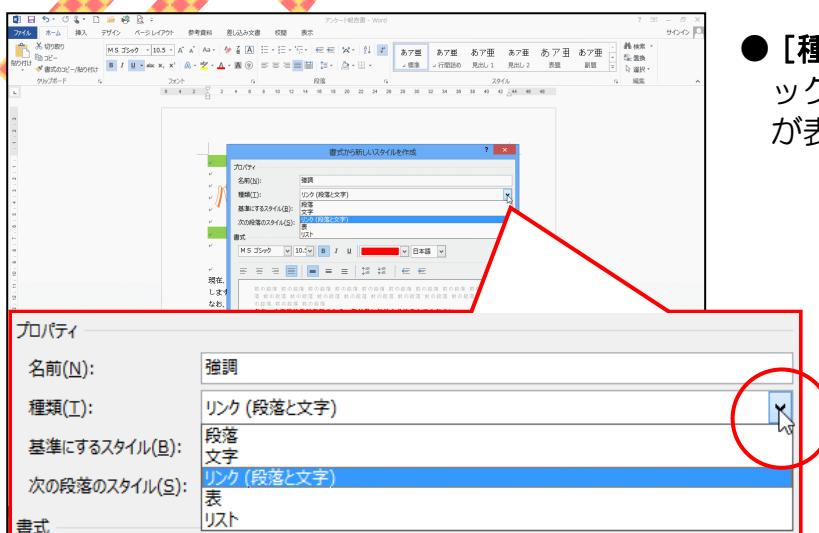


[書式から新しいスタイルを作成] ダイアログボックスの下にある [変更(M)...] ボタンをクリックします。



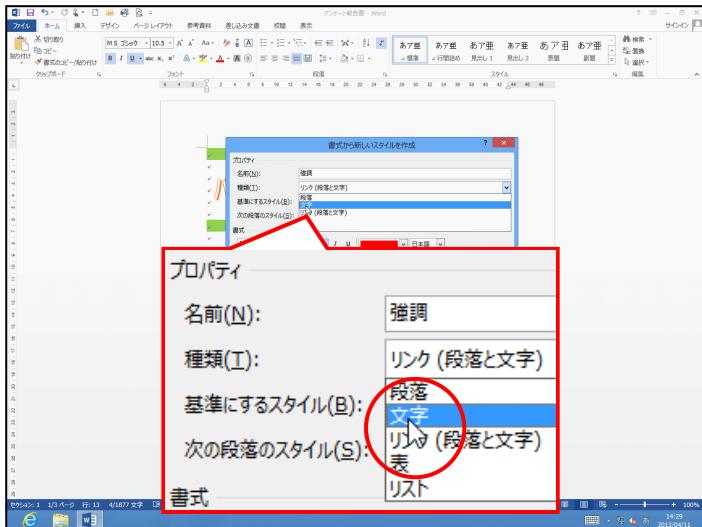
● [変更(M)...] ボタンをクリックすると、詳細な設定ができるように [書式から新しいスタイルを作成] ダイアログボックスが展開されます。

[プロパティ] にある [種類(T):] ボックスの ▾ をクリックします。

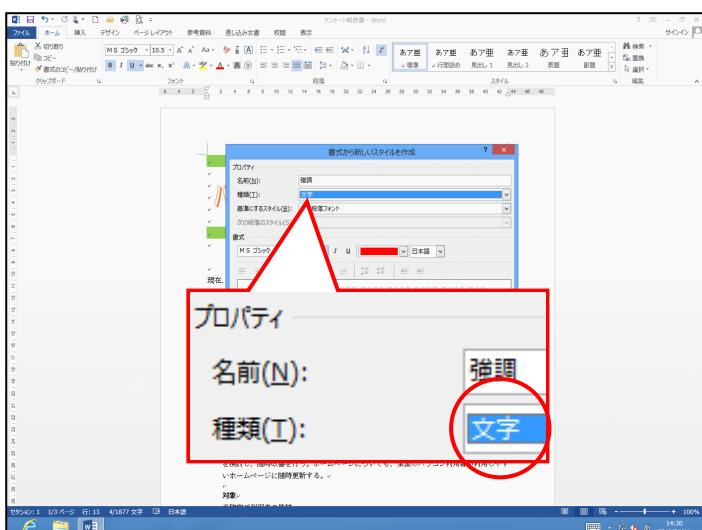


● [種類(T):] ボックスの ▾ をクリックすると、左のように種類の一覧が表示されます。

表示された種類の一覧の中から「文字」をクリックします。



● 文字スタイルを登録するために、種類の一覧から「文字」を選択します。

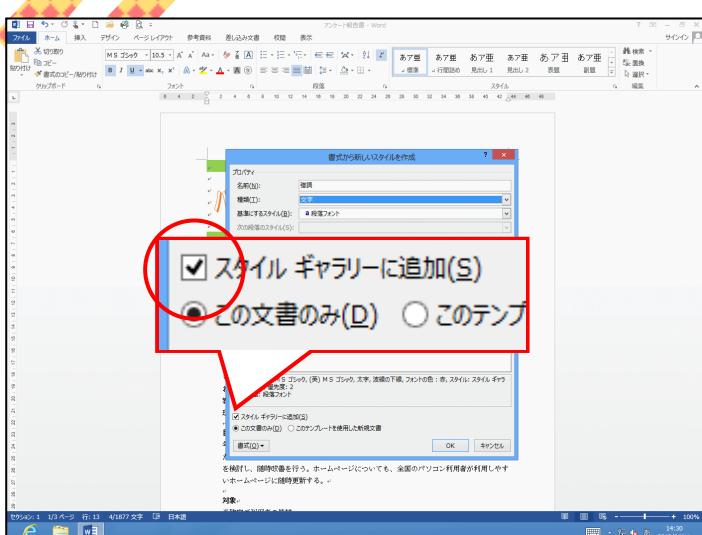


余裕があれば読んでね

● 種類には次のものがあります。

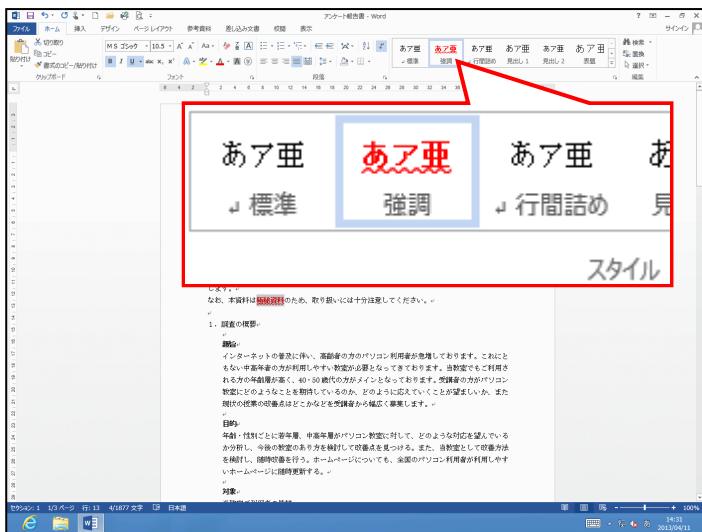
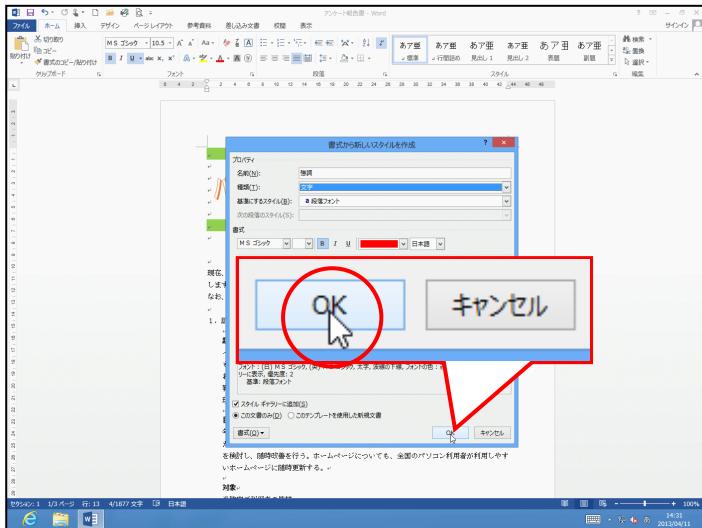
- ・ 段落 … 段落スタイルを新しく作成する場合に選択します。
- ・ 文字 … 文字スタイルを新しく作成する場合に選択します。
- ・ リンク (段落と文字) … 文字書式と段落書式の両方を設定する場合に選択します。
- ・ 表 … 表のスタイルを新しく作成する場合に選択します。
- ・ リスト … リストのスタイルを新しく作成する場合に選択します。

[書式から新しいスタイルを作成] ダイアログボックスの左下にある [スタイル ギャラリーに追加(S)] チェックボックスがオフになっていることを確認します。



● [スタイル ギャラリーに追加(S)] チェックボックスにチェックが入っていると、[スタイルギャラリー]に登録したスタイルが表示されます。

[書式から新しいスタイルを作成] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。



- [OK] ボタンをクリックした時点で、スタイルギャラリーに文字スタイル「強調」が追加されます。今回登録した文字書式は、「アンケート報告書」の 13 行目「極秘資料」と同じ書式で
 - ・フォント… 「MS ゴシック」
 - ・フォントの色… 「赤」
 - ・「波線の下線」
 - ・「太字」になります。

スタイルの削除について P218

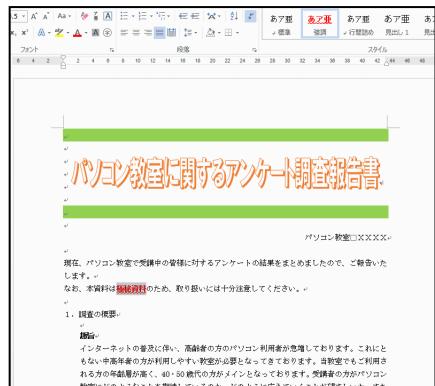
スタイルの変更について P220

③ 登録したスタイルの適用

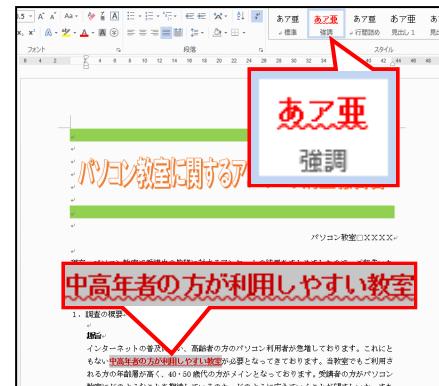
19行目の「中高年者の方が利用しやすい教室」に、登録した文字スタイル「強調」を設定してみましょう。

◆登録したスタイルを適用する方法をマスターしましょう。

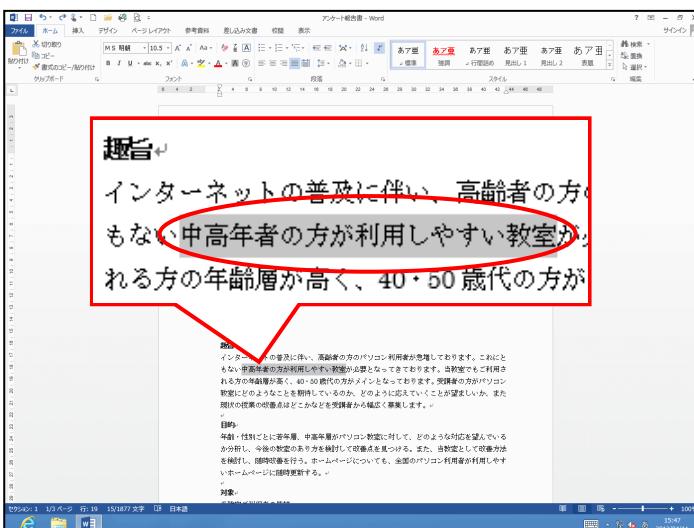
操作前



操作後



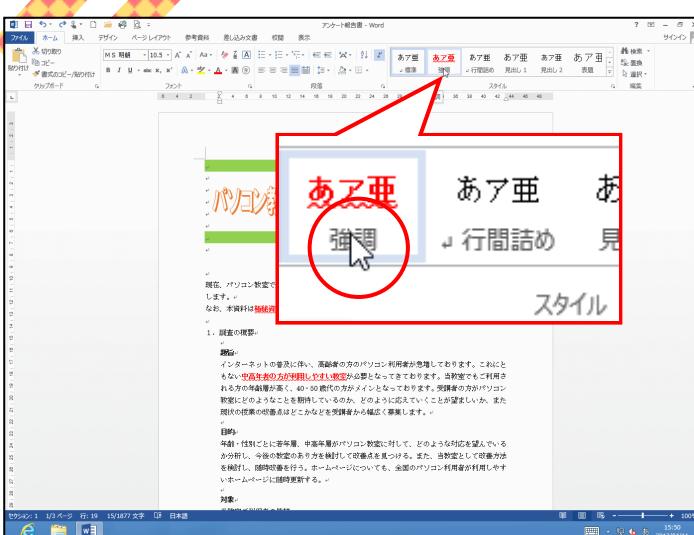
19行目の「中高年者の方が利用しやすい教室」を範囲選択します。



● 「中高年者の方が利用しやすい教室」に登録したスタイル「強調」を適用するために、範囲選択します。



[ホーム] タブが選択されていることを確認して、[スタイル] グループにある一覧から「強調」をクリックします。



● [スタイル] グループに「強調」が表示されていない方は、[スタイル] グループの ▾ をクリックして表示された一覧から「強調」をクリックしましょう。



●クリックした時点で、選択していた文字に文字スタイル「強調」が適用されます。
また、スタイルギャラリーでは「強調」が薄い青色の枠線で囲まれます。



スタイルの適用についての補足説明 P222

趣旨
インターネットの普及に伴い、高齢者の方
もない**中高年者の方が利用しやすい教室**が
おもてなしの年齢層が高く 40・50 歳代の方が

④ 段落スタイルの設定

段落スタイルには、文字書式に加え、配置、箇条書き、段落番号などの段落書式を登録することができます。

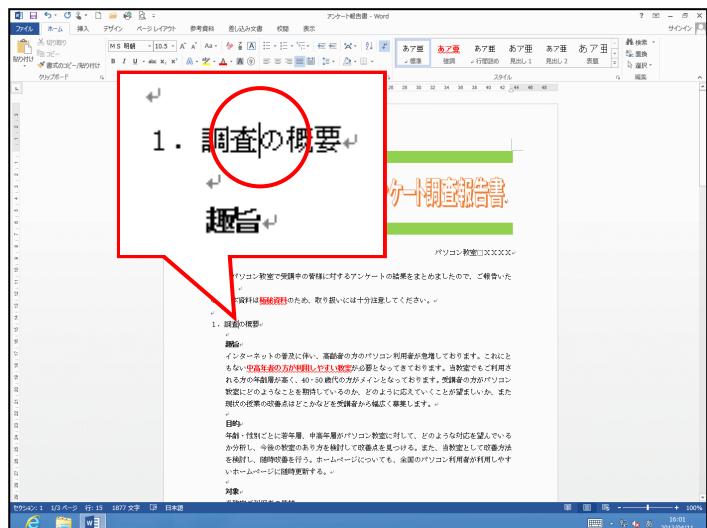
「1. 調査の概要」、「2. アンケート用紙の流れ」、「3. アンケート集計結果」にワードの組み込みスタイル「見出し1」を設定してみましょう。

◆段落スタイルの設定方法をマスターしましょう。

操作前

操作後

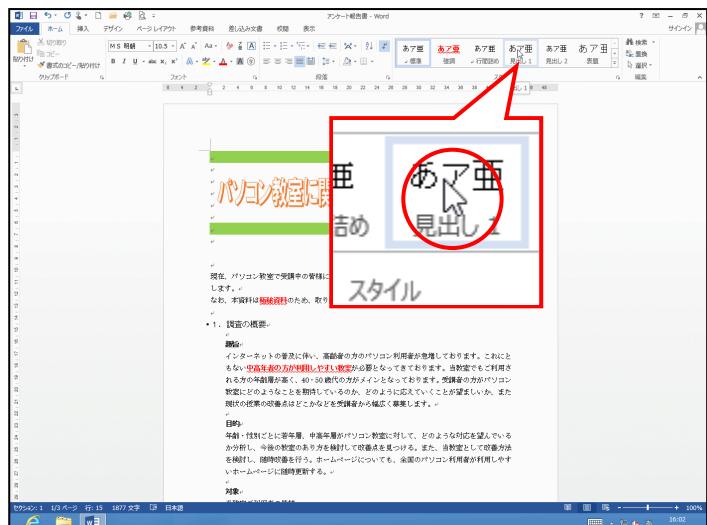
「1. 調査の概要」の段落内にカーソルを移動します。



●段落スタイルを設定する場合は、スタイルを設定したい段落にカーソルを移動します。

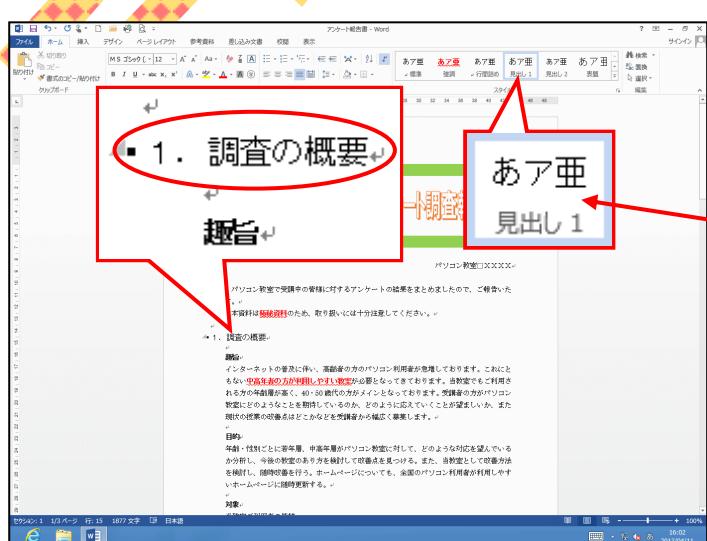


[ホーム] タブが選択されていることを確認して、[スタイル] グループにある「見出し 1」をクリックします。

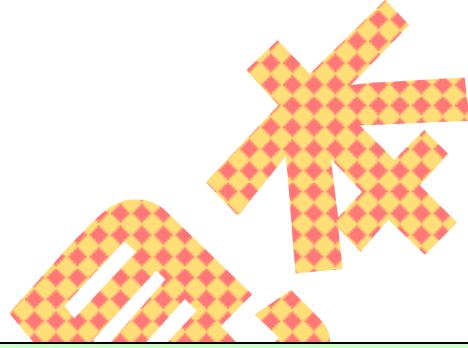
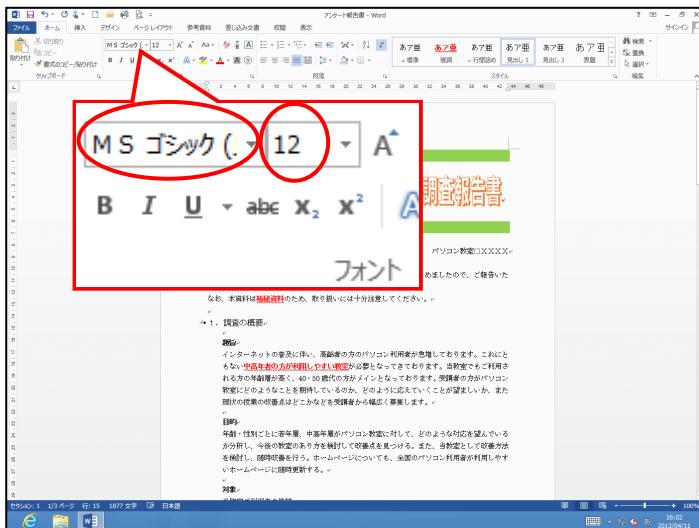


● [スタイル] グループに「見出し 1」が表示されていない方は、[スタイル] グループの ▾ をクリックして表示された一覧から「見出し 1」をクリックしましょう。

●クリックした時点で、選択していた段落に段落スタイル「見出し 1」が適用されます。また、スタイルギャラリーでは「見出し 1」が薄い青色の枠線で囲まれます。



[フォント] グループの [フォント] ボックスに「MS ゴシック」、[フォントサイズ] ボックスに「12」が表示されていることを確認します。



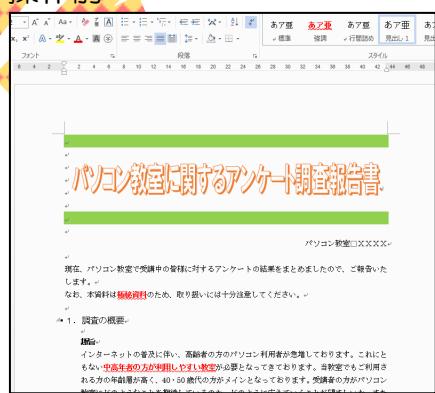
同様にして、2ページの「2. アンケート用紙の流れ」と「3. アンケート集計結果」に、段落スタイル「見出し1」を設定します。

⑤ 段落スタイルの変更

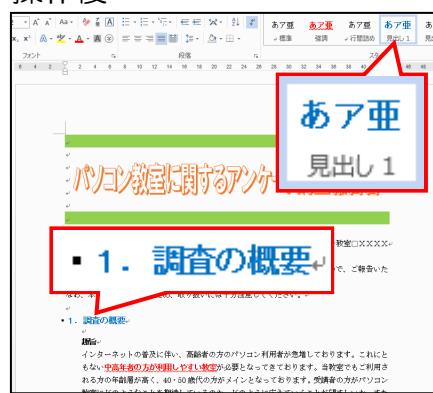
「見出し1」に「太字」とフォントの色「青」の書式を追加してみましょう。

◆段落スタイルの変更方法をマスターしましょう。

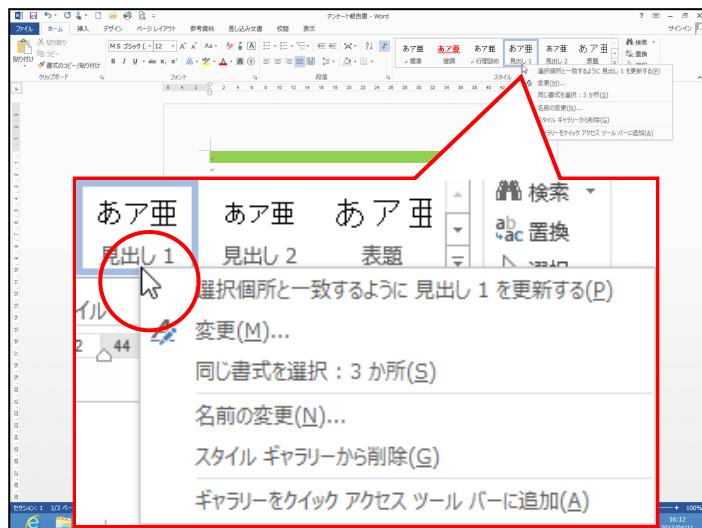
操作前



操作後



[スタイルギャラリー] の「見出し1」上で右クリックします。



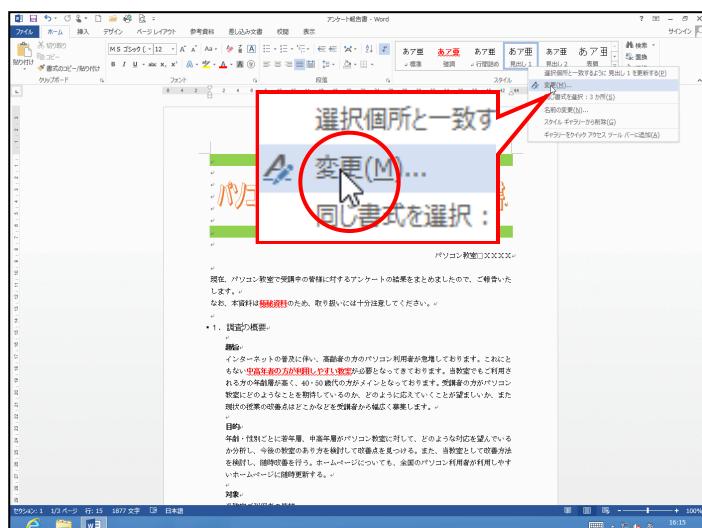
● 「見出し1」上で右クリックすると、左のようなショートカットメニューが表示されます。

注意!

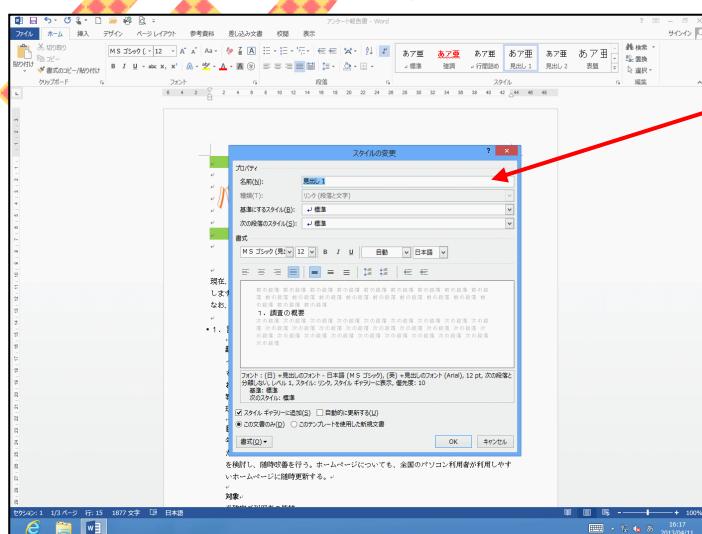
● 「見出し1」の書式を変更するために、必ず「見出し1」上で右クリックしてください。



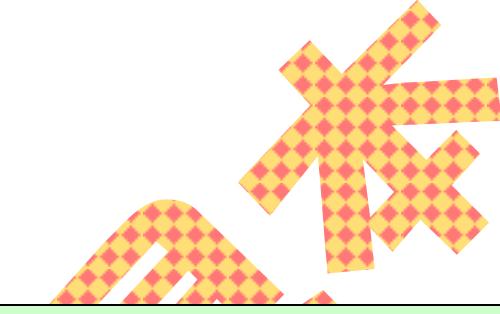
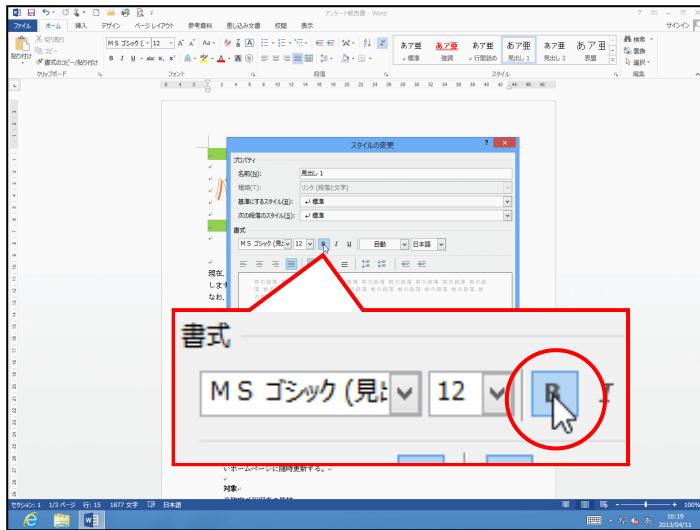
表示されたショートカットメニューから [変更(M)...] をクリックします。



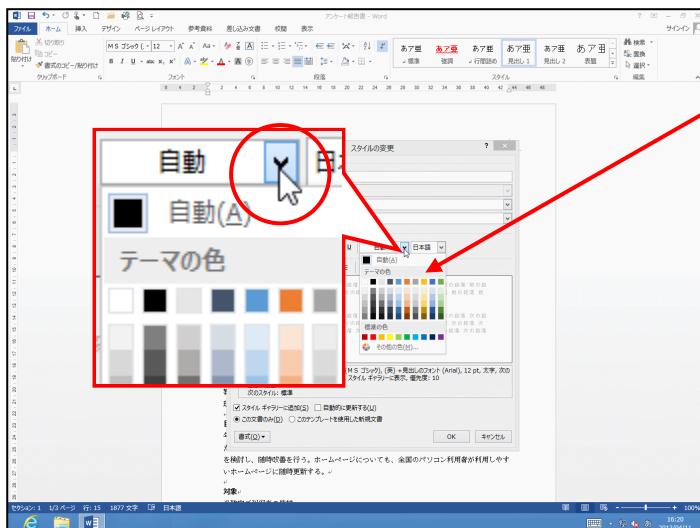
● [変更(M)...] をクリックすると、左のように [スタイルの変更] ダイアログボックスが表示されます。



表示された【スタイルの変更】ダイアログボックスの【書式】で **B** [太字] ボタンをクリックします。



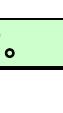
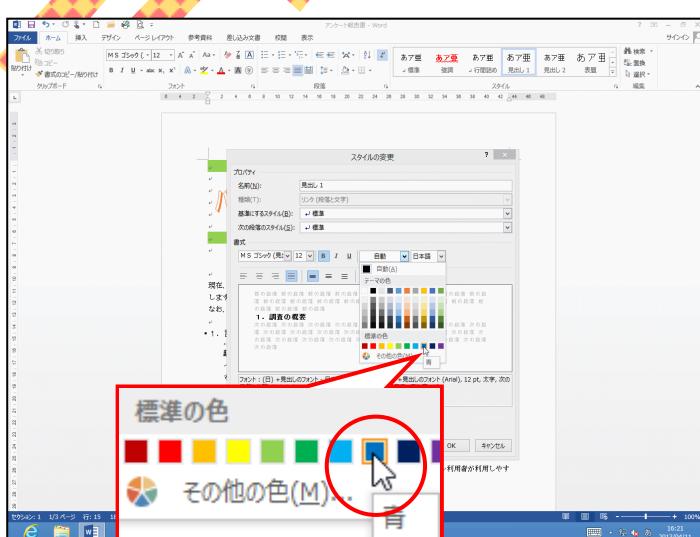
【自動】の右にある をクリックします。

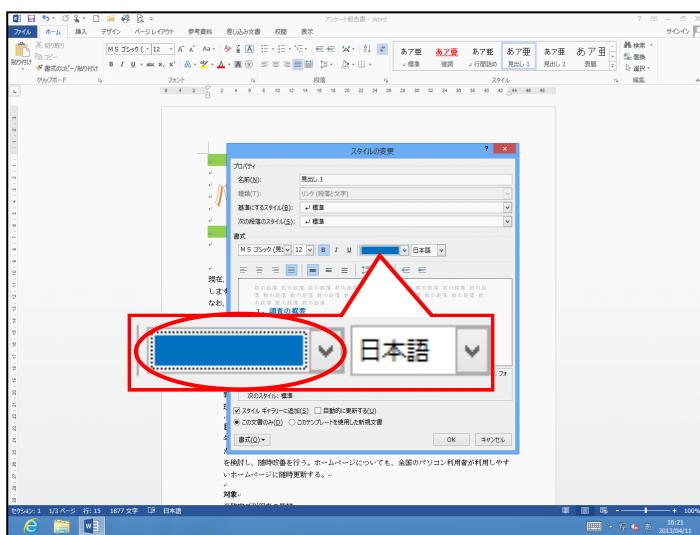


● をクリックすると、左のように
フォントの色の一覧が表示されます。

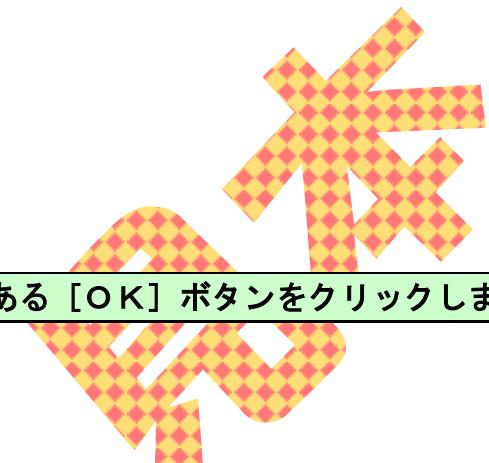


表示された色の一覧から「青」をクリックします。

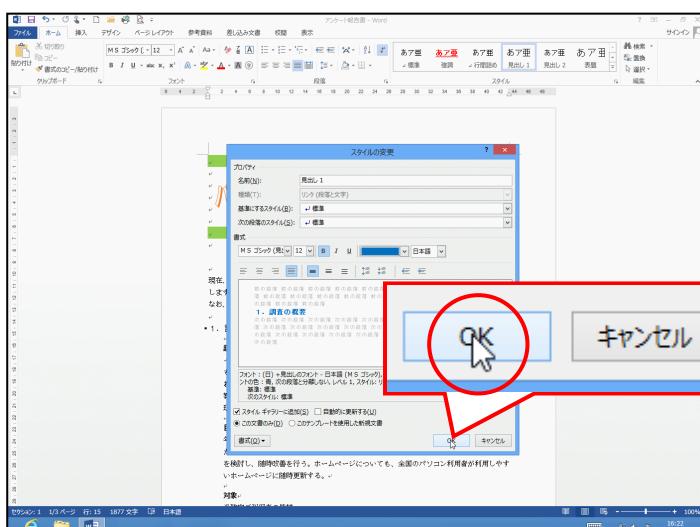




● 「青」をクリックすると、左のように
[フォントの色] ボックスに青
色が表示されます。



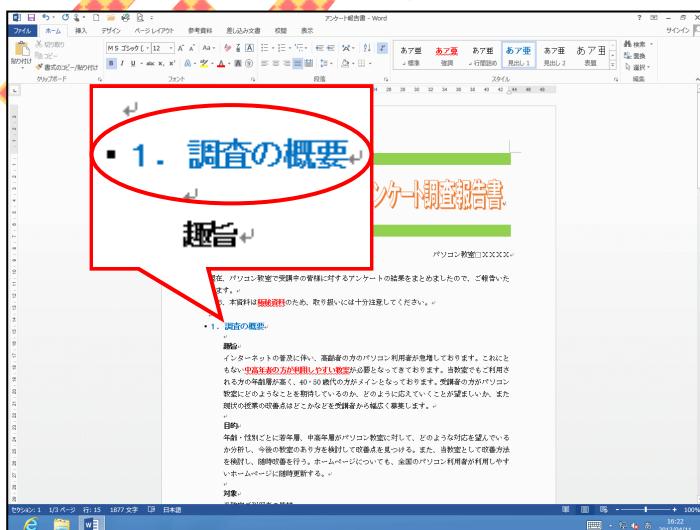
[スタイルの変更] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。



● [OK] ボタンをクリックした時
点で、見出し 1 に設定した段落の文
字書式が「太字」、フォントの色が
「青」に変更されます。



● 「見出し 1」に設定した段落のす
べてが変更されたことを確認して
ください。



その他の段落スタイルの変更方法 P225

スタイル名の表示領域 P226

(3) 文書の区切りを設定

新規に作成した文書は、1つのセクションで構成されています。セクションを使用すると、同じページ内または複数のページ間で、レイアウトを変更することができます。

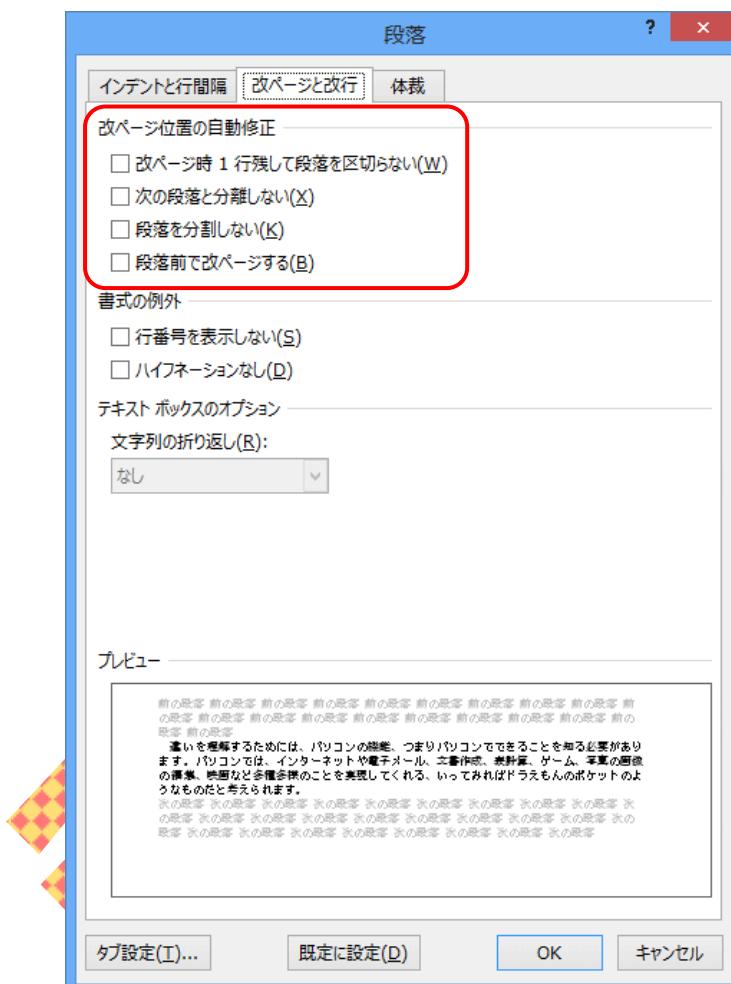
■セクションに設定できる書式の種類

余白、用紙サイズ、印刷の向き、プリンターの用紙トレイ、ページ罫線、垂直方向の配置、ヘッダーおよびフッター、段組み、ページ番号、行番号、脚注および文末脚注の書式オプションは、セクションごとに変更することができます。

① 改ページ位置の自動修正

段落内の文章が次のページにまたがってしまう場合、改ページ位置を自動的に調整して、同じページに配置されるように設定することができます。

改ページ位置の自動修正の種類には次の種類があります。



●改ページ時1行残して段落を区切らない(W)

段落の最後の行だけが次のページの先頭に配置された場合、または次の段落の最初の行だけが前のページの最後に配置された場合は、段落を次のページに自動的に送ります。

●次の段落と分離しない(X)

選択した段落と次の段落の間で改ページしないように調整します。

●段落を分割しない(K)

段落の途中で改ページしないように調整します。

●段落前で改ページする(B)

選択した段落の前で改ページします。

■ [段落] ダイアログボックスの表示方法

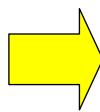
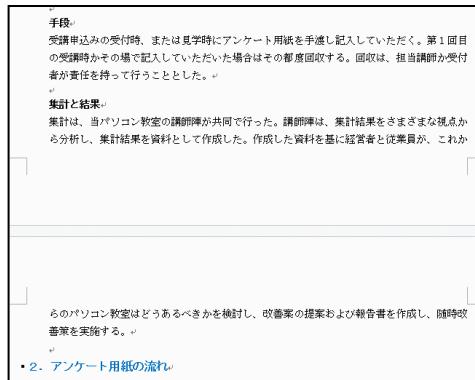
- 対象の段落を選択後、[ホーム] タブもしくは [ページレイアウト] タブの [段落] グループにある 「」 ボタンをクリックします。
- 対象の段落内で右クリックし、表示されるショートカットメニューから [段落(P)...] をクリックします。

② 段落を分割せずに改ページ

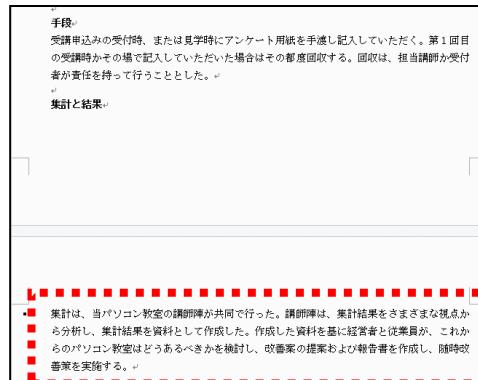
1ページ目の最終段落は、段落途中で改ページされています。段落が分割されないよう改ページしてみましょう。

◆段落を分割せずに改ページする方法をマスターしましょう。

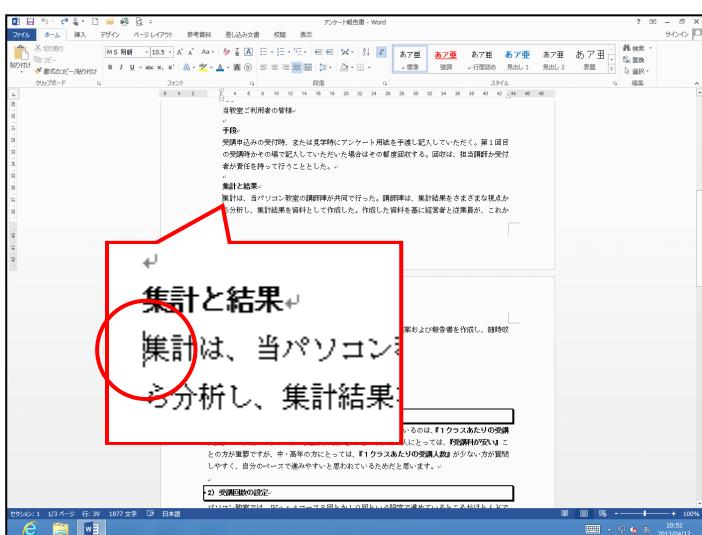
操作前



操作後

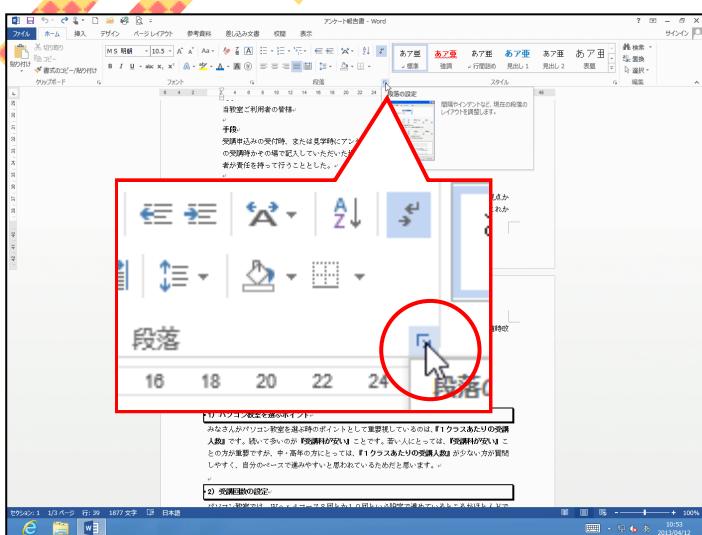


「集計は、当パソコン～随時改善策を実施する。」の段落内にカーソルを移動します。



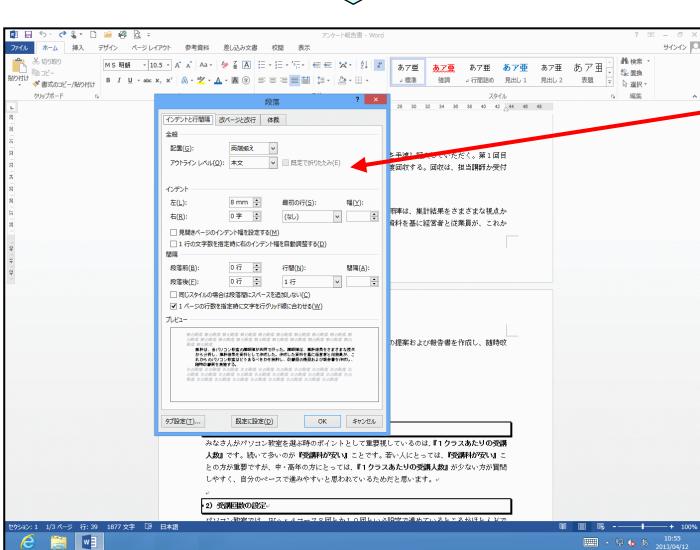
●段落内であれば、どこにカーソルがあっても構いません。

[段落] グループにある □ ボタンをクリックします。



● [ホーム] タブが選択されていることを確認して操作してください。

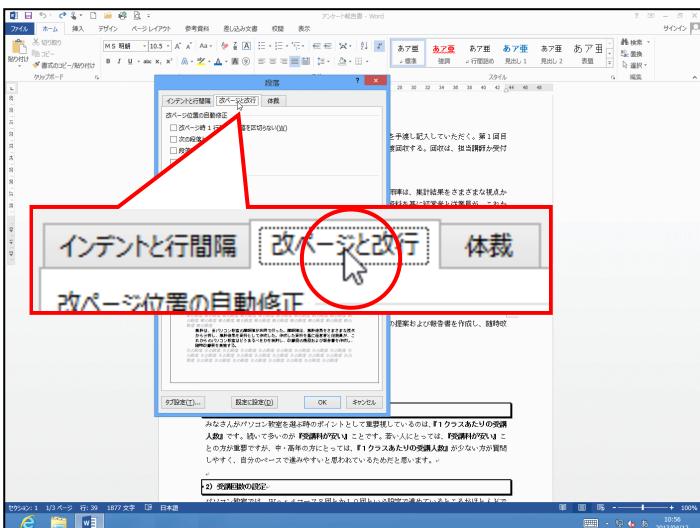




● 「」ボタンをクリックすると、左のように【段落】ダイアログボックスが表示されます。

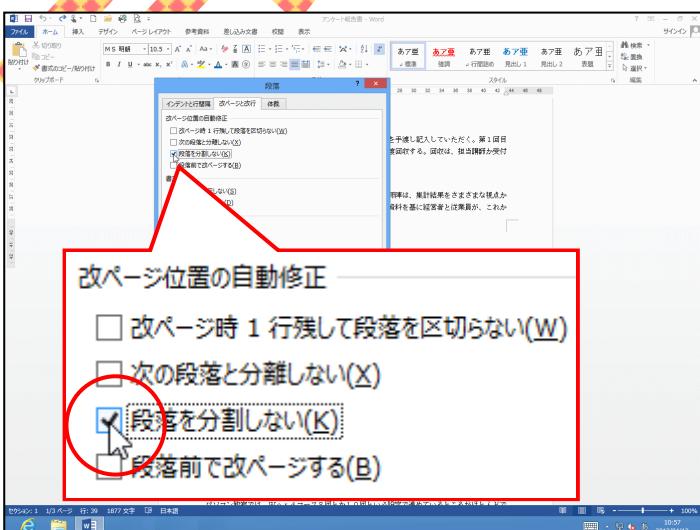


表示された【段落】ダイアログボックスの【改ページと改行】タブをクリックします。



● 【段落】ダイアログボックスが表示された時点で、【改ページと改行】タブが選択されていれば、この操作は必要ありません。

【改ページ位置の自動修正】から【段落を分割しない(K)】をクリックします。

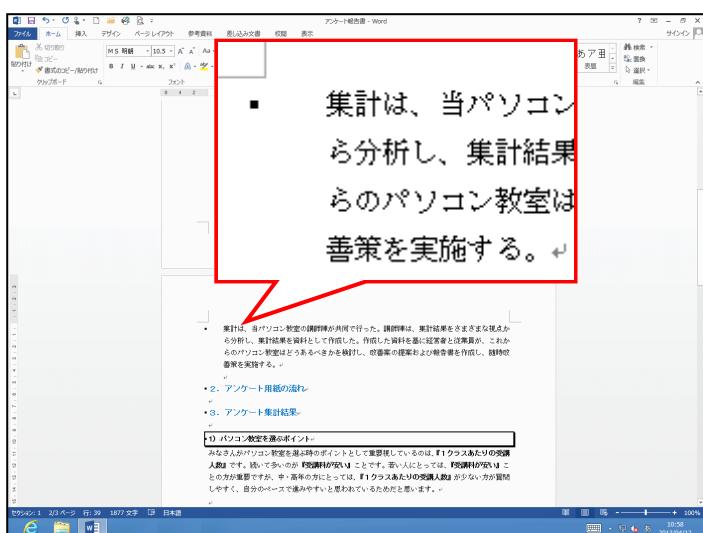
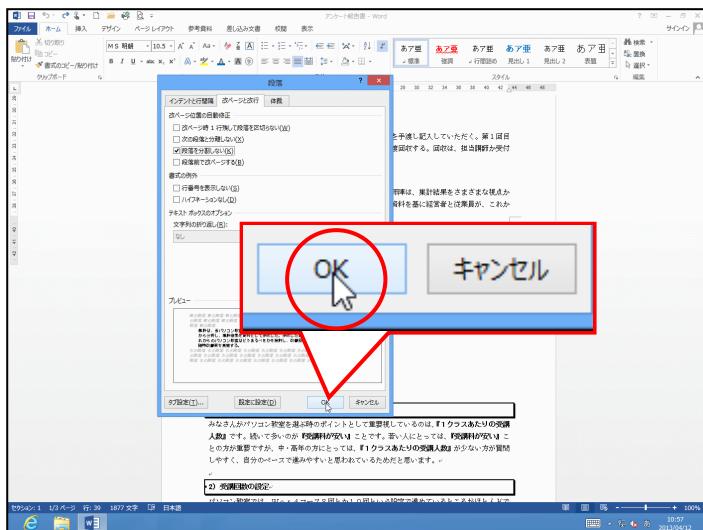


● 【段落を分割しない(K)】を選択すると、段落の途中での改ページが行われることはあります。



● 【段落を分割しない(K)】をクリックすると、左のチェックボックスに が表示されます。

【段落】 ダイアログボックスの右下にある【OK】 ボタンをクリックします。



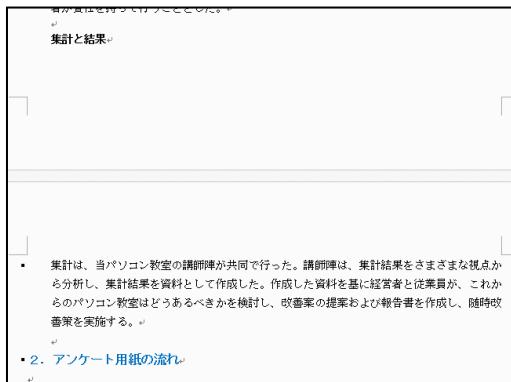
- 【OK】 ボタンをクリックした時点で、カーソルがあった段落が 2 ページ目に移動しました。

③ 2つの段落と一緒に改ページ

「集計と結果」の見出しだけが1ページ目の最後に残ってしまい、本文が2ページ目に移動しました。見出し部分が本文と離れないように改ページを設定してみましょう。

◆2つの段落と一緒に改ページする方法をマスターしましょう。

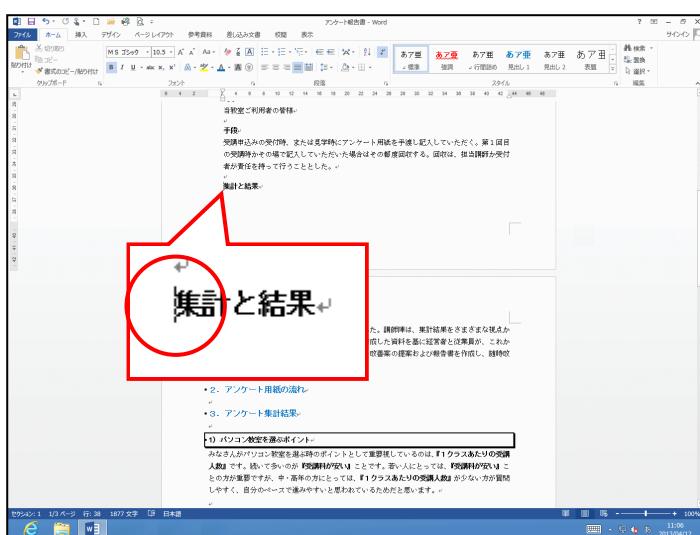
操作前



操作後

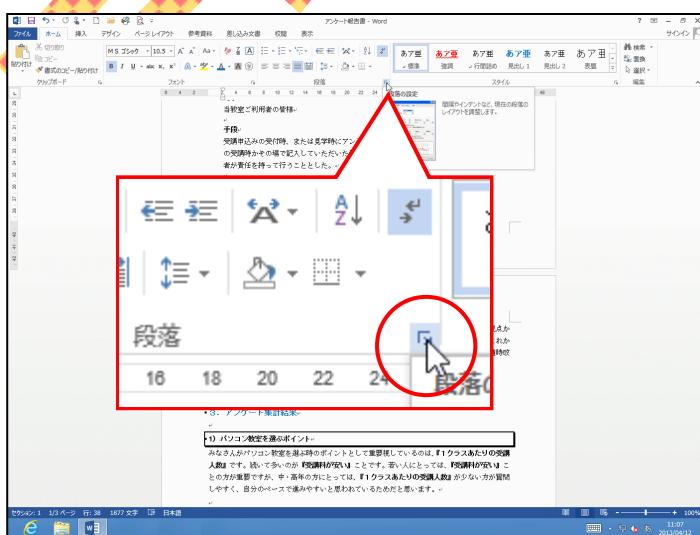


1ページ目の最終段落（集計と結果）の段落にカーソルを移動します。



● 「集計と結果」の段落内であれば、カーソルはどこにあっても構いません。

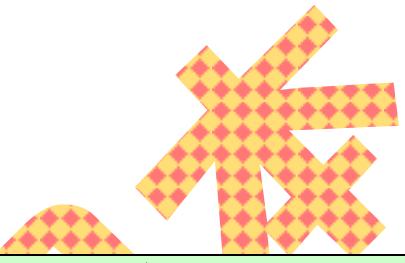
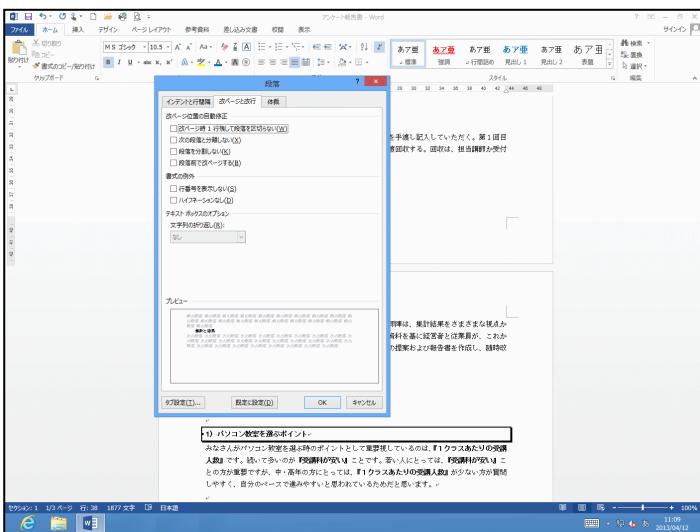
[段落] グループにある □ ボタンをクリックします。



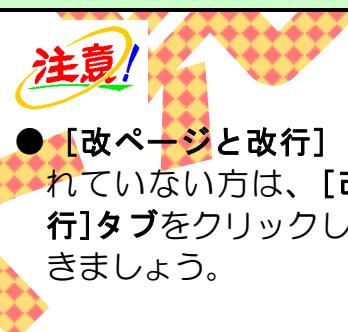
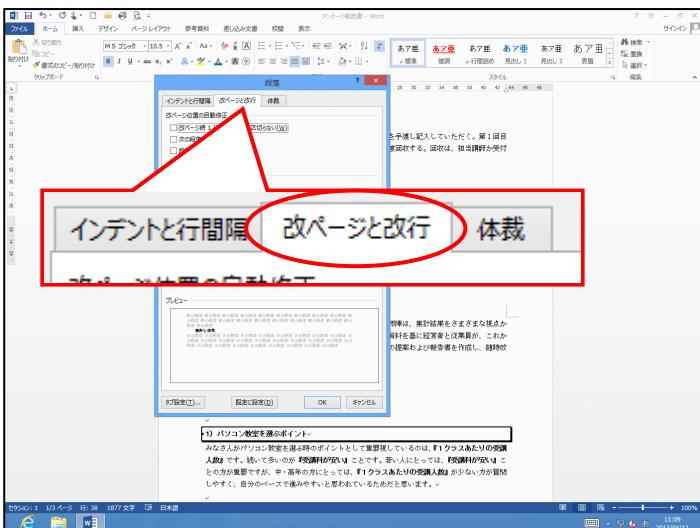
注意!

● [ホーム] タブが選択されていることを確認して操作してください。



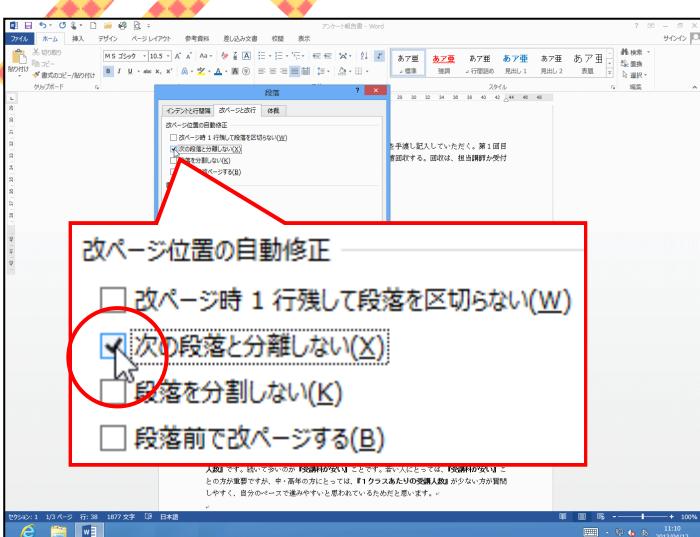


表示された【段落】ダイアログボックスで【改ページと改行】タブが選択されていることを確認します。



● 【改ページと改行】タブが選択されていない方は、【改ページと改行】タブをクリックして選択しておきましょう。

【改ページ位置の自動修正】の【次の段落と分離しない(X)】をクリックします。

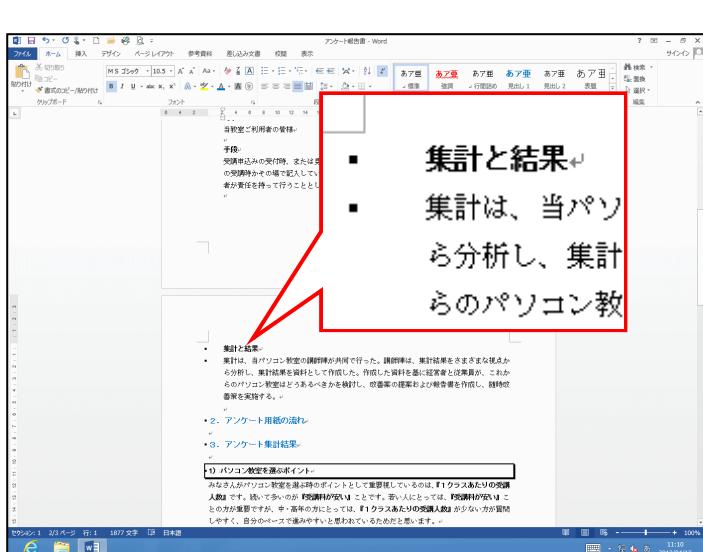
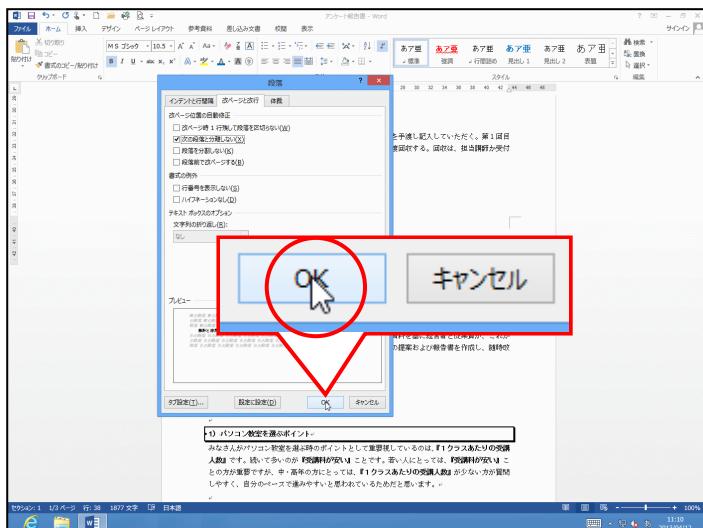


● 【次の段落と分離しない(X)】を選択すると、カーソルのある段落と次の段落を離さずに改ページを行います。



● 【次の段落と分離しない(X)】をクリックすると、左のチェックボックスに が表示されます。

[段落] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。



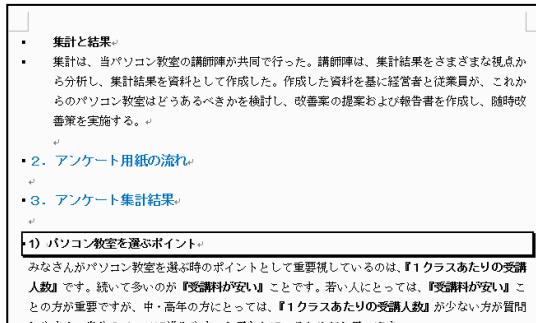
● [OK] ボタンをクリックした時点で、「集計と結果」の段落が次のページに移動しました。

④ 任意の位置で改ページ

「2. アンケート用紙の流れ」を次のページから開始するために、ページ区切りを挿入して改ページしてみましょう。

◆任意の位置で改ページする方法をマスターしましょう。

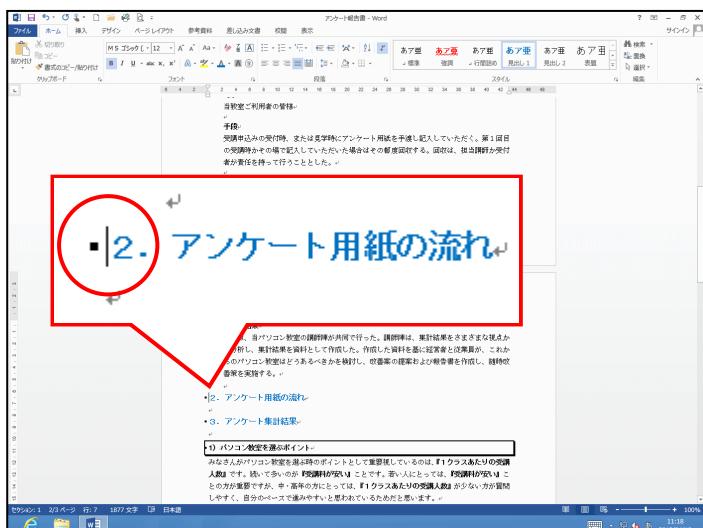
操作前



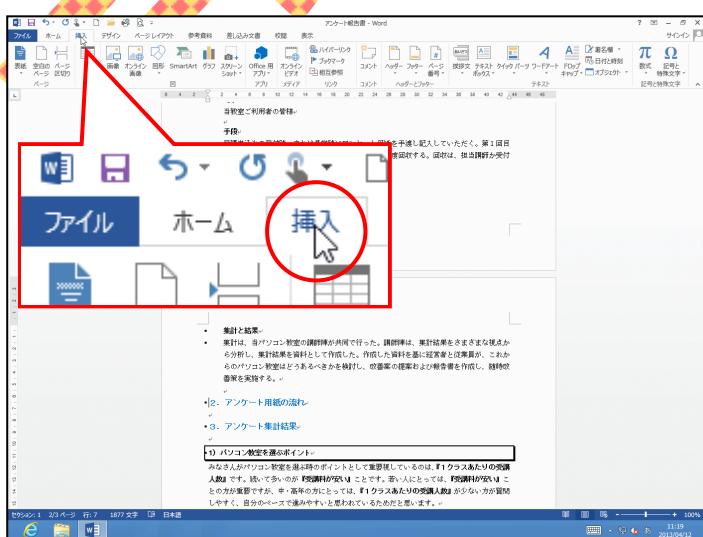
操作後



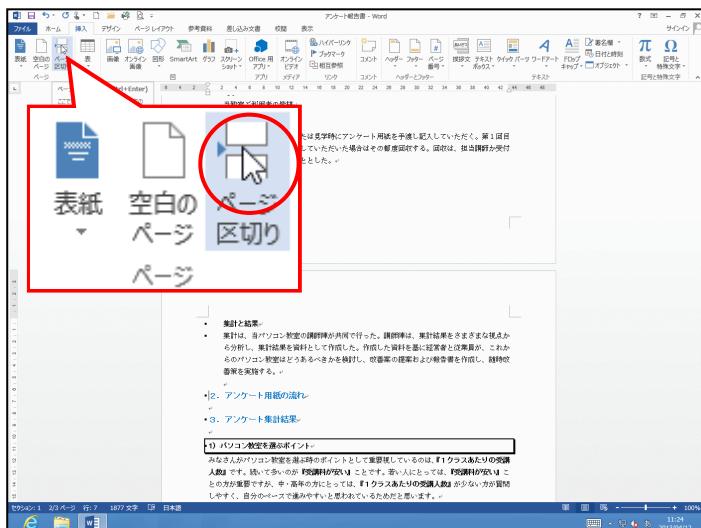
「2. アンケート用紙の流れ」の段落の先頭にカーソルを移動します。



[挿入] タブをクリックします。

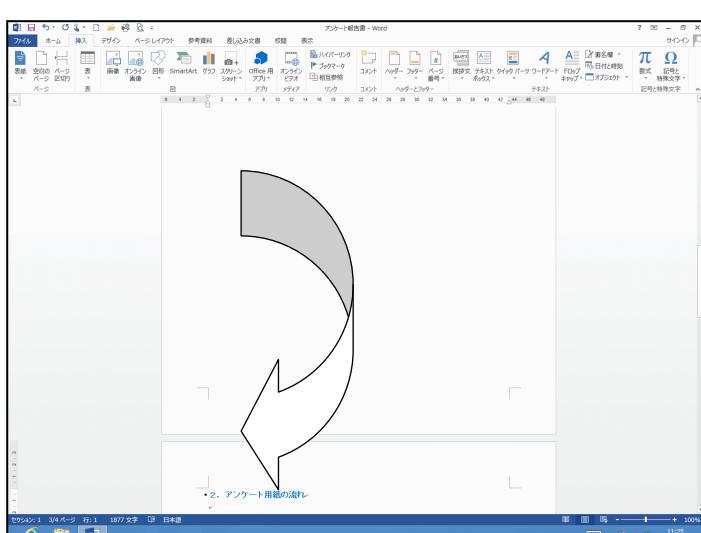


[ページ] グループにある [ページ区切り] ボタンをクリックします。



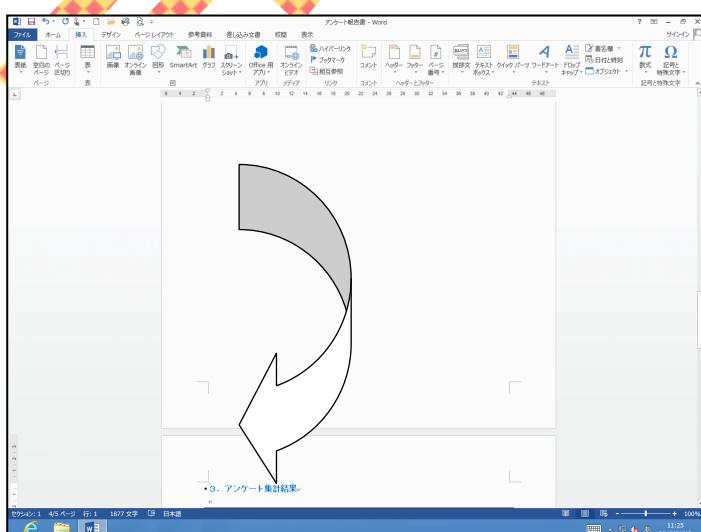
●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更をご参照ください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示

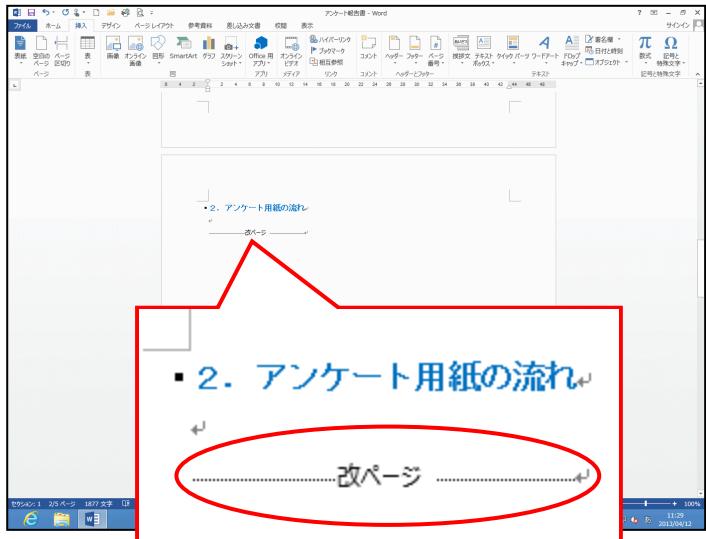


● [ページ区切り] ボタンをクリ
ックした時点で、カーソルのある位
置で改ページされます。

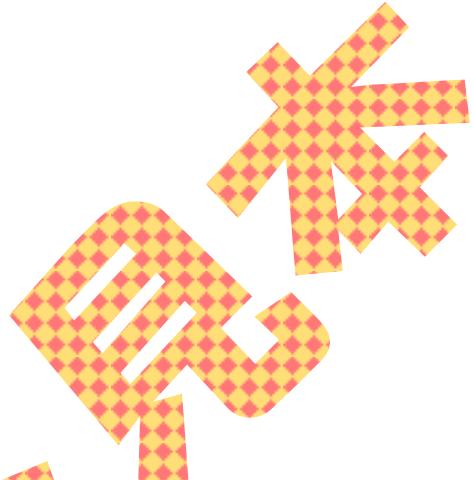
同様にして、「3. アンケート集計結果」の前にもページ区切りを挿入してみましょう。



画面をスクロールして、「2. アンケート用紙の流れ」のページと、その前のページに改ページ区切りが入っていることを確認します。



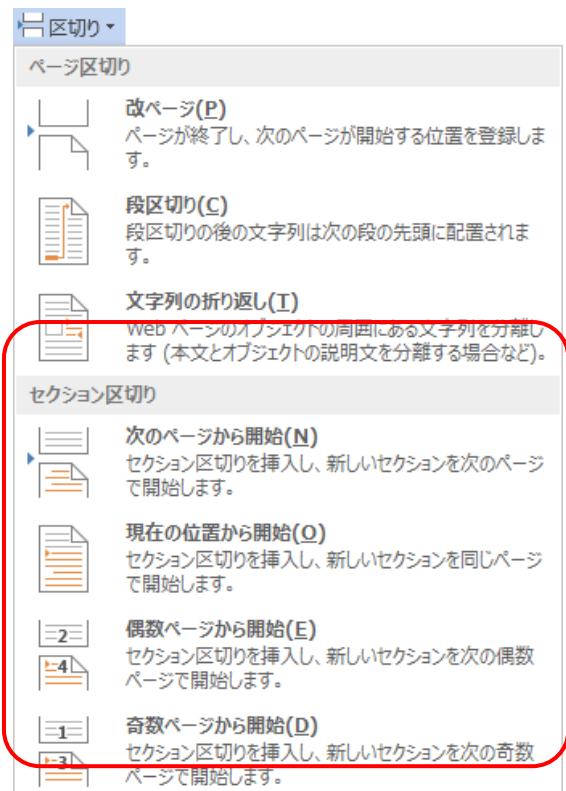
●改ページマークが表示されていない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックします。



⑤ セクション区切りの設定

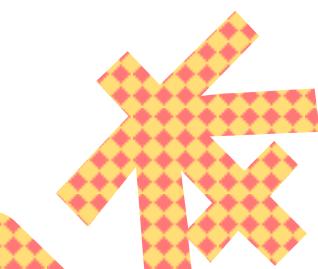
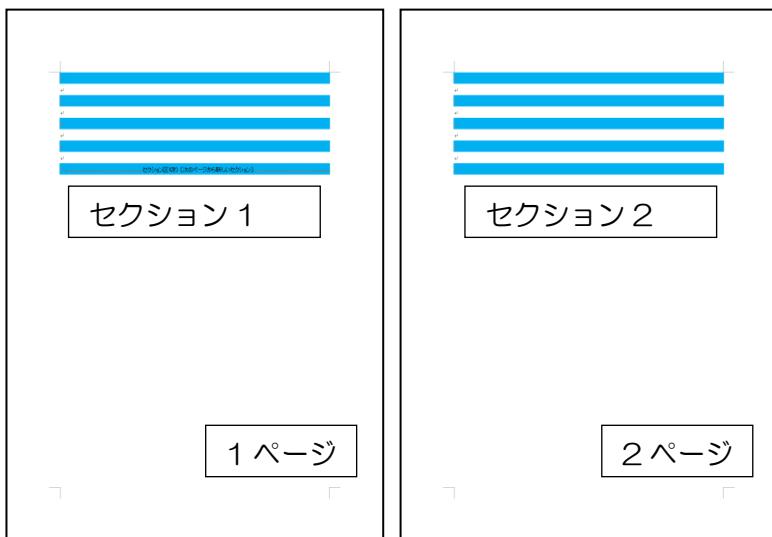
ページ単位で印刷の向きを変更するには、そのページの前後にセクション区切りを挿入し、セクションごとに印刷の向きを設定します。

セクション区切りを設定するには、[ページレイアウト] タブの [ページ設定] グループにある [区切り] ボタンをクリックして、表示される一覧からセクション区切りの種類を選択します。



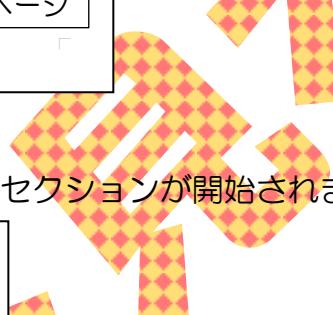
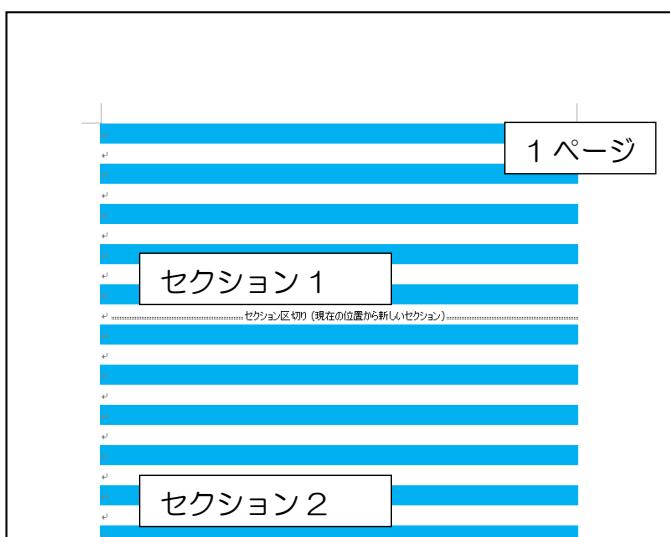
■次のページから開始 (N)

セクション区切りを挿入したページの次のページから、新しいセクションが開始されます。



■現在の位置から開始 (0)

セクション区切りを挿入した位置から、新しいセクションが開始されます。



■偶数ページから開始 (E)、奇数ページから開始 (D)



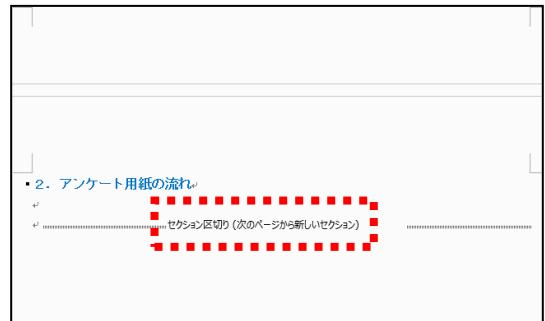
「2. アンケート用紙の流れ」のページだけを横向きに印刷するために、「2. アンケート用紙の流れ」の前と「3. アンケート集計結果」の前に挿入したページ区切りを削除して、代わりに【次のページから開始】セクション区切りを挿入してみましょう。

◆ 【次のページから開始】セクション区切りを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前

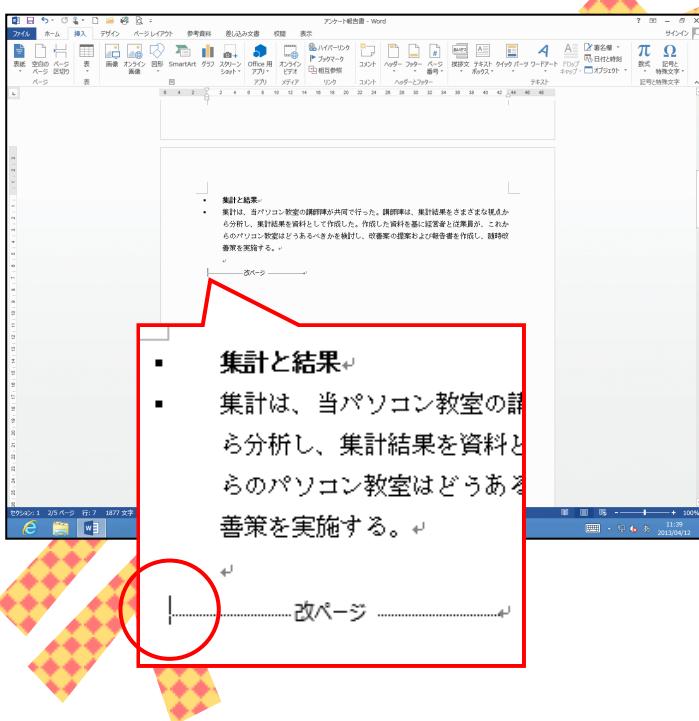


操作後

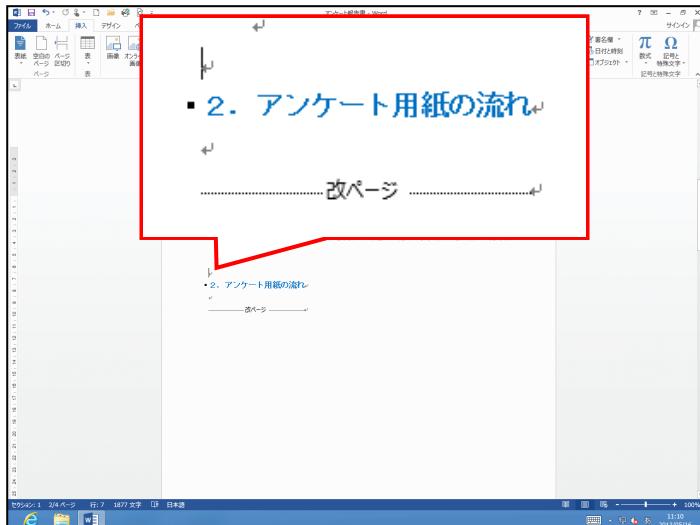


④で挿入したページ区切りを削除するため、2ページ目のページ区切りの前にカーソルを移動します。

●次のようなページ区切りが表示されたところにカーソルを移動します。



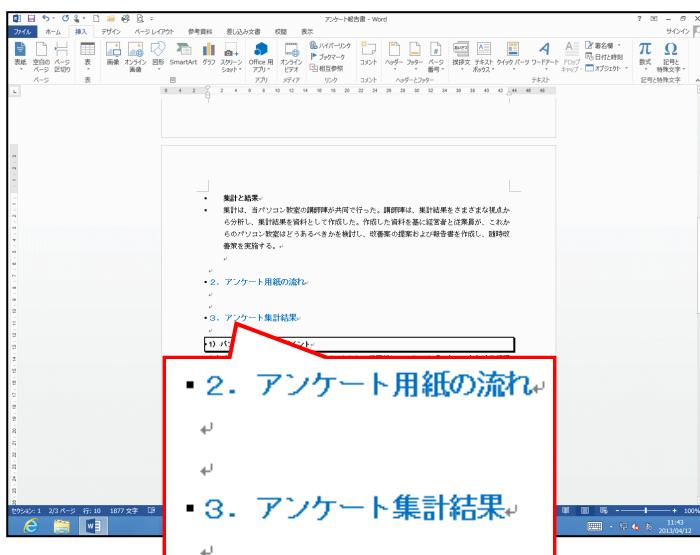
[Delete] キーを押します。



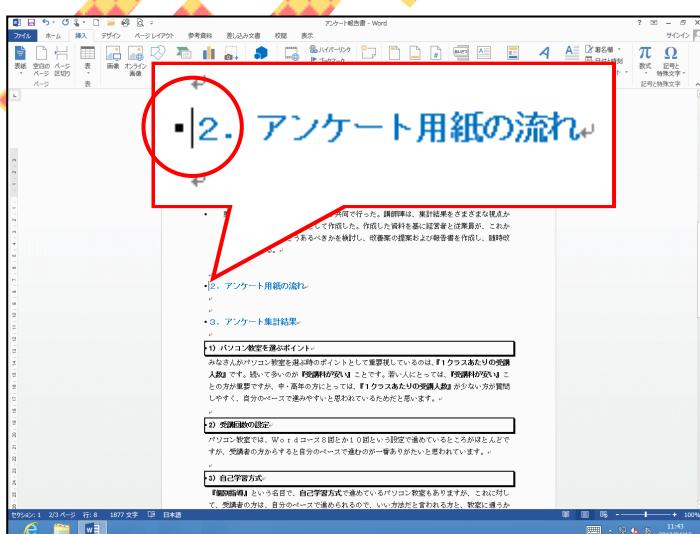
● [Delete] キーを押すと、ページ区切りが削除されて、次のページの先頭にあった文字がカーソルの下に表示されます。



「2. アンケート用紙の流れ」の下に表示されたページ区切りも同様にして削除します。

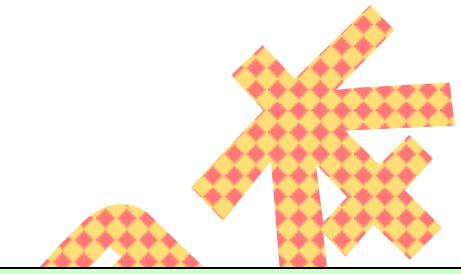
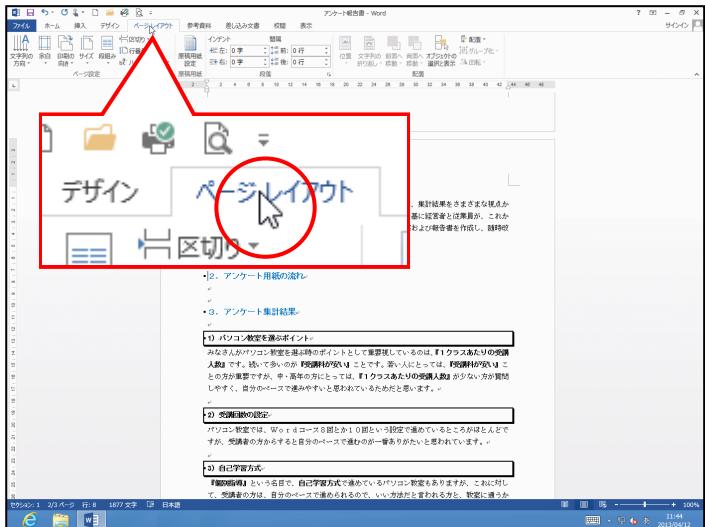


「2. アンケート用紙の流れ」の前にカーソルを移動します。

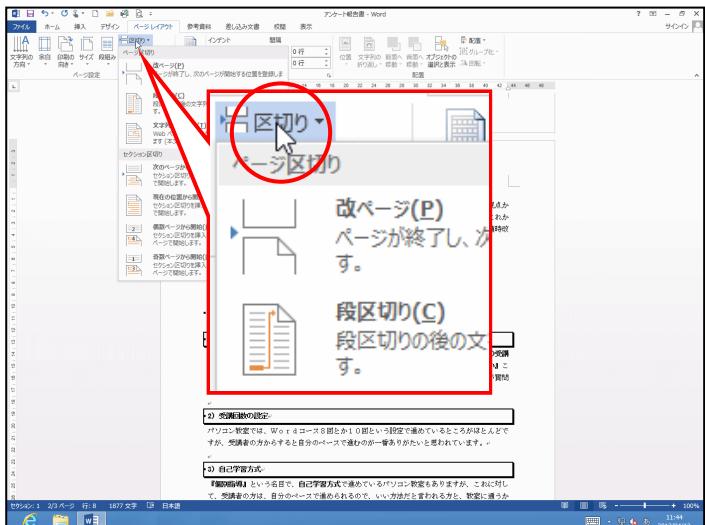


● セクション区切りを挿入する位置にカーソルを移動します。

[ページレイアウト] タブをクリックします。



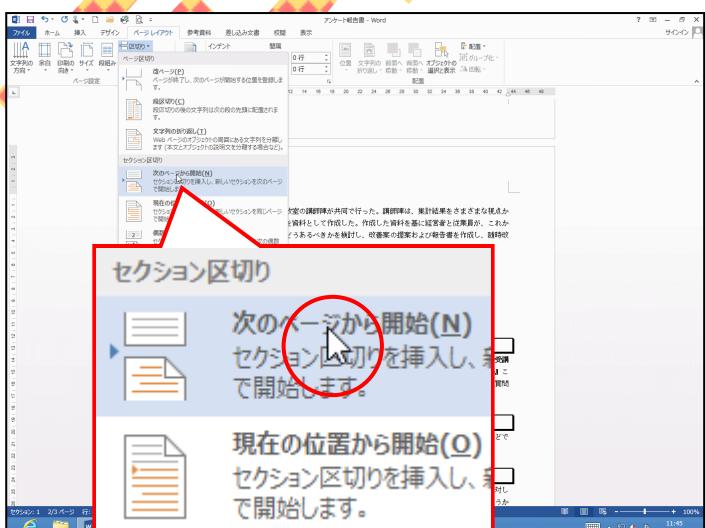
[ページ設定] グループにある [区切り] [区切り] ボタンをクリックします。



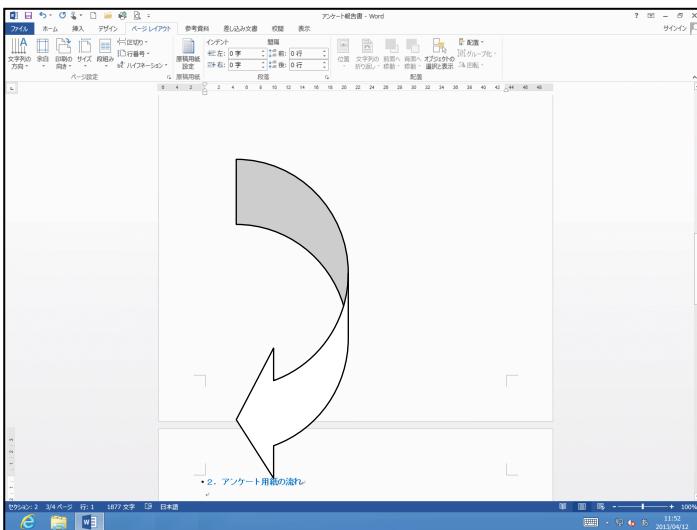
●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)



表示されたセクション区切りの一覧から [次のページから開始(N)] をクリックします。



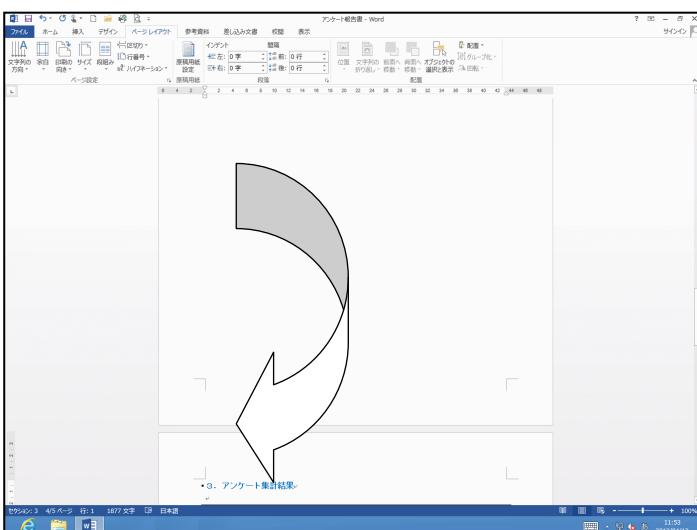
●カーソルのある位置でセクション
を区切り、次のページから新しいセ
クションを開始するために、[次の
ページから開始(N)] を選択します。



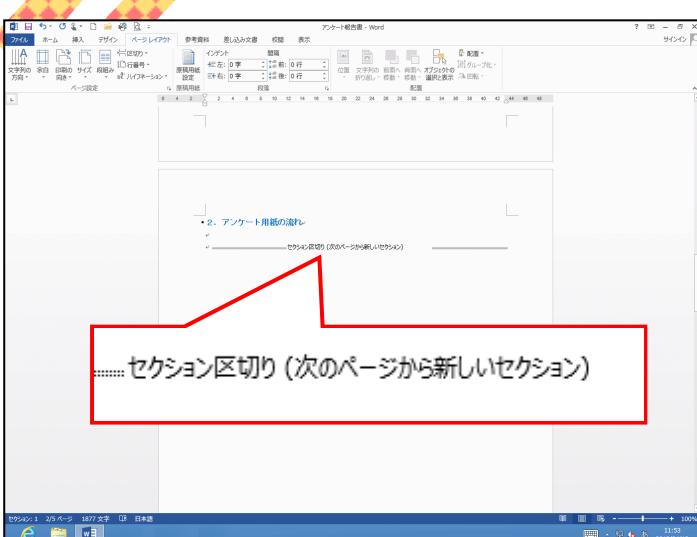
- [次のページから開始(N)] をクリックした時点で、カーソルのあった位置にセクション区切りが挿入されて、カーソルから後ろの文字が次のページに移動します。



同様にして、「3. アンケート集計結果」の前にもセクション区切り（次のページから開始）を挿入します。



画面をスクロールしてセクション区切りが挿入されていることを確認します。



- セクション区切りが挿入された位置には、次のようなマークが表示されます。

.....セクション区切り (次のページから新しいセクション)

- セクション区切りのマークが表示されていない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックします。

(4) セクションごとに書式を設定

通常の改ページ操作では、印刷の向きを一部だけ変更することはできません。しかし、

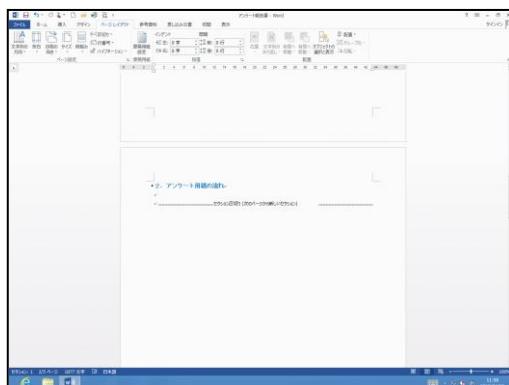
(3) ⑤ セクション区切りの設定で行った操作により、各セクションに書式を設定できるようになりました。

① 書式の変更

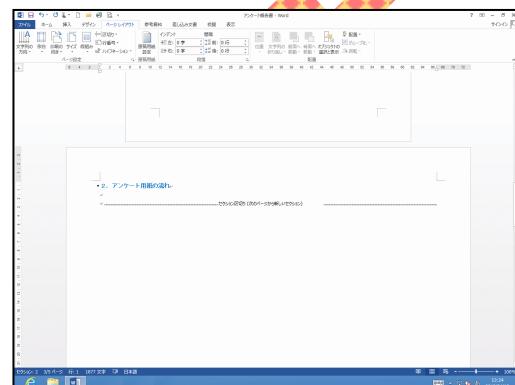
セクション2(2. アンケート用紙の流れ)だけ、印刷の向きを横に変更してみましょう。

◆セクションごとの印刷の向きを変更する方法をマスターしましょう。

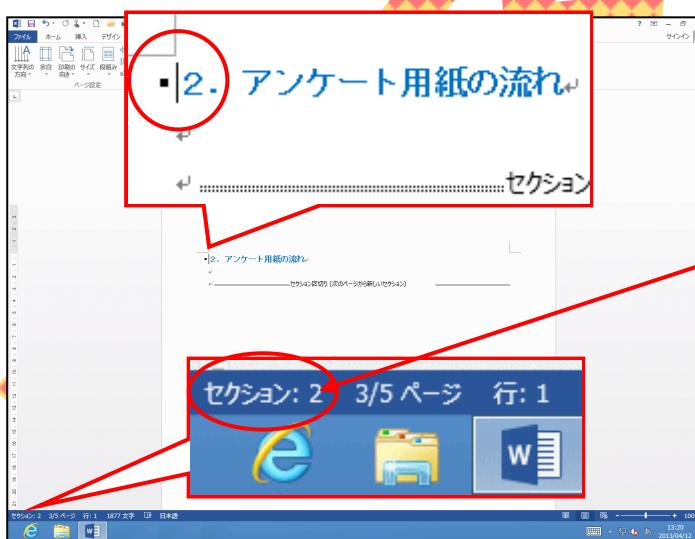
操作前



操作後

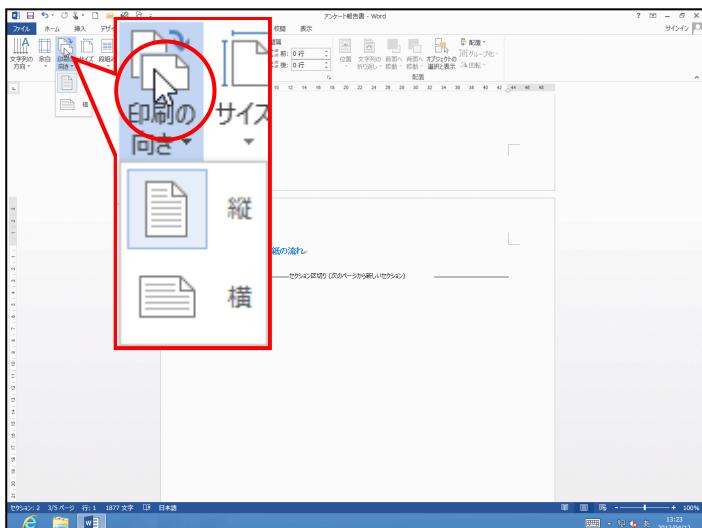


「2. アンケート用紙の流れ」の段落にカーソルを移動します。



●同一セクション内（セクション2）であれば、カーソルはどこにあっても構いません。
カーソルが現在どのセクションにあるかの判断は、P10 ① ステータスバーのユーザー設定で表示したセクションを参考にしましょう。

[ページ設定] グループにある [印刷の向き] ボタンをクリックします。

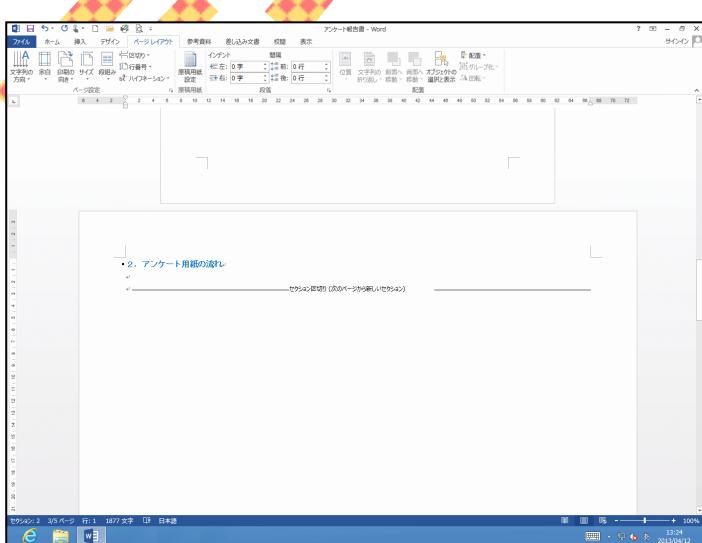
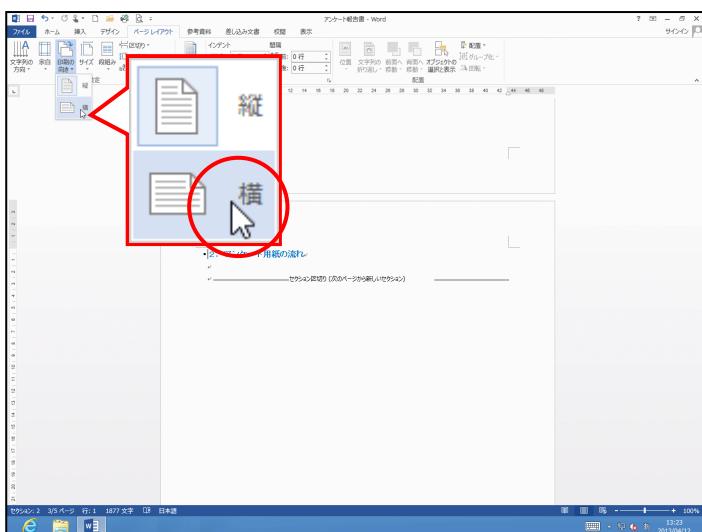


注意!

- [ページレイアウト] タブが選択されていることを確認して操作してください。



表示された一覧から [横] をクリックします。



- [横] をクリックすると、左のようにカーソルがあったセクションの印刷の向きだけが横に変わります。



セクション区切りについての補足説明

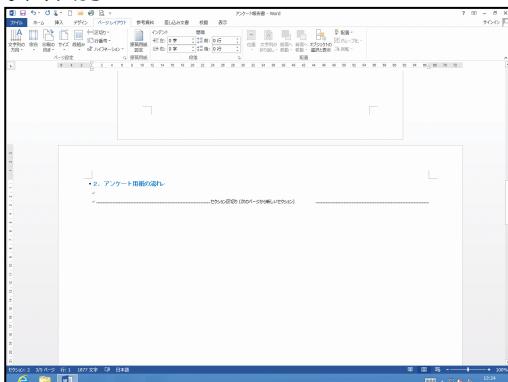
P227

② 書式変更の確認

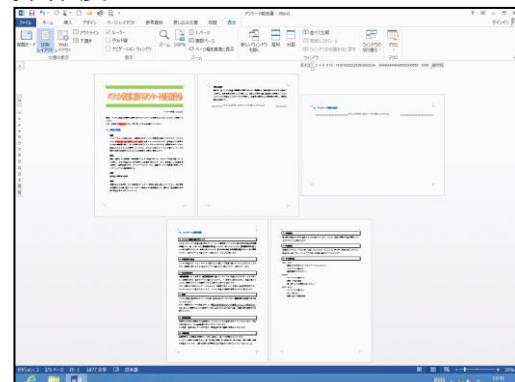
セクション2（2. アンケート用紙の流れ）の印刷の向きが変わったことを確認してみましょう。

◆セクション2の印刷の向きが変わったことを確認する方法をマスターしましょう。

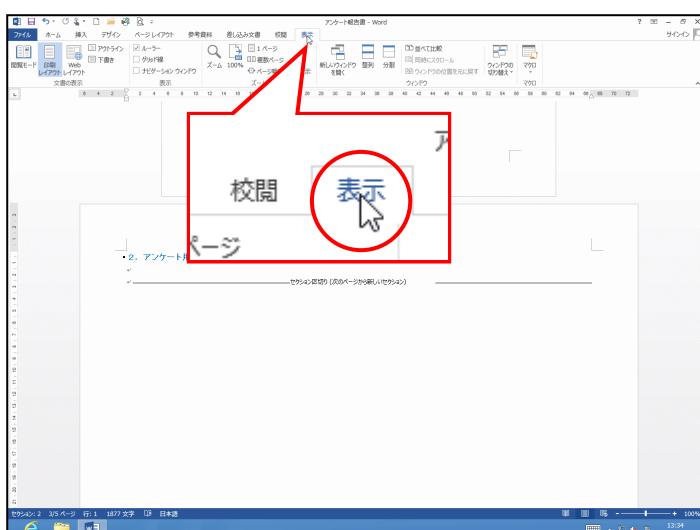
操作前



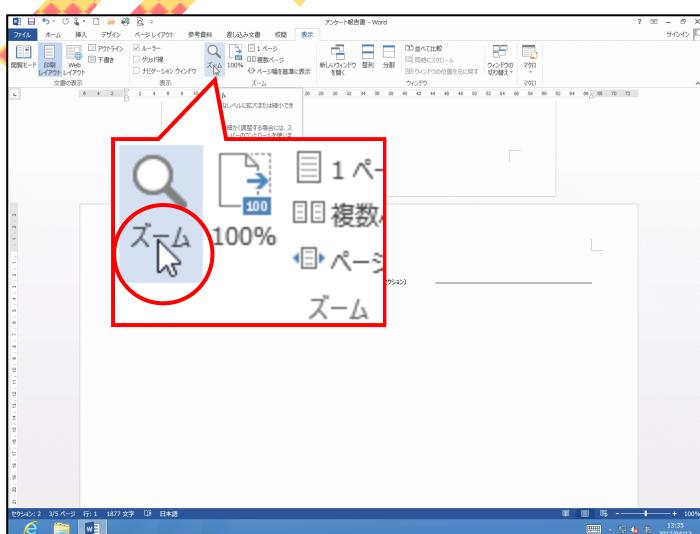
操作後



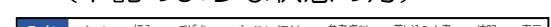
[表示] タブをクリックします。

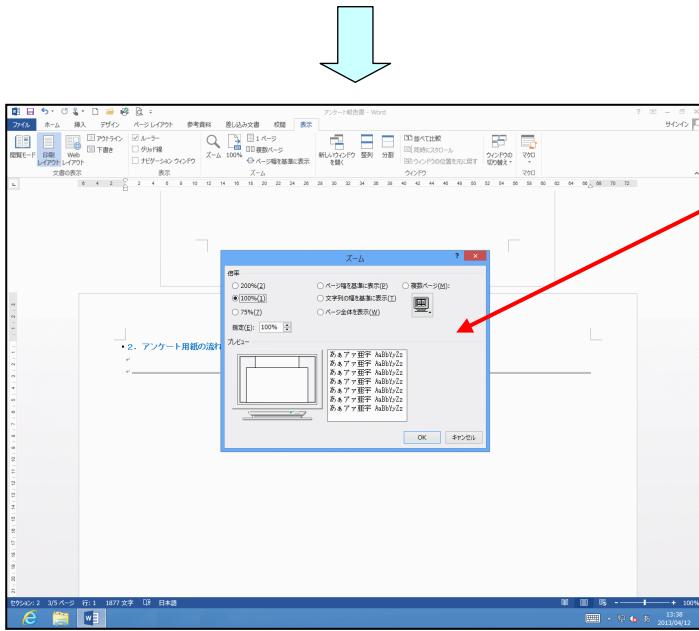


[ズーム] グループにある [ズーム] ボタンをクリックします。

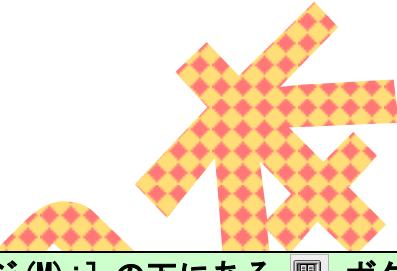


●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

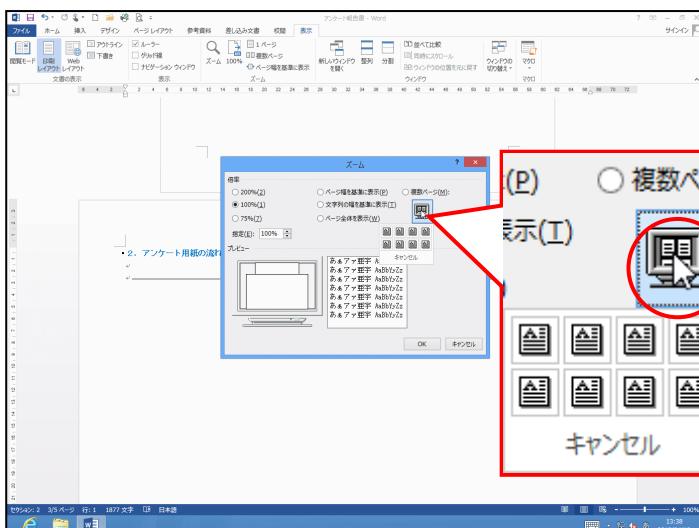




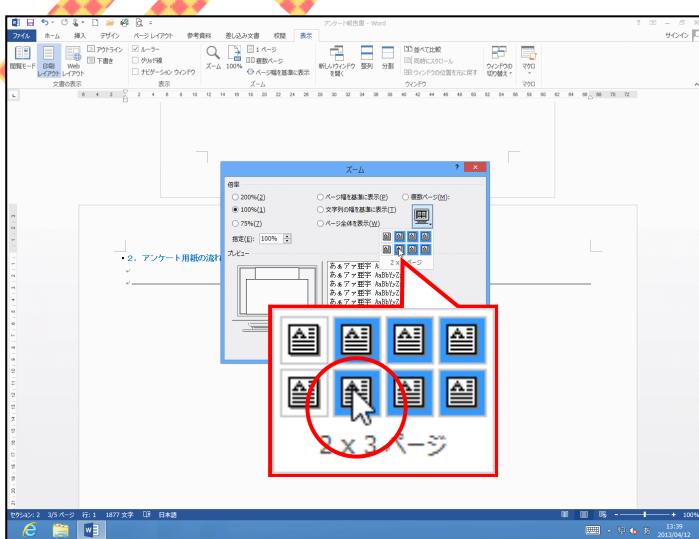
● [ズーム] ボタンをクリックすると、左のように [ズーム] ダイアログボックスが表示されます。



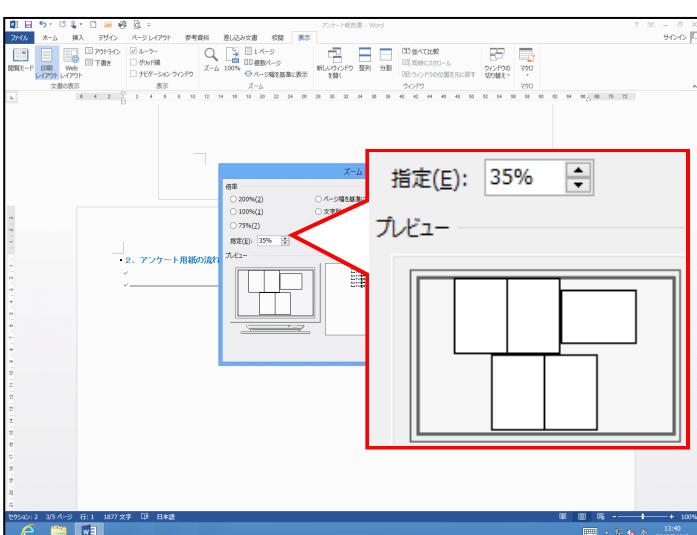
表示された [ズーム] ダイアログボックスの [複数ページ(M):] の下にある ボタンをクリックします。



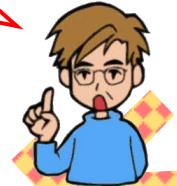
「2×3ページ」と表示されるところまでマウスを移動し、そのままクリックします。



●表示された一覧から「2×3ページ」にポイントすると、青く反転表示されます。

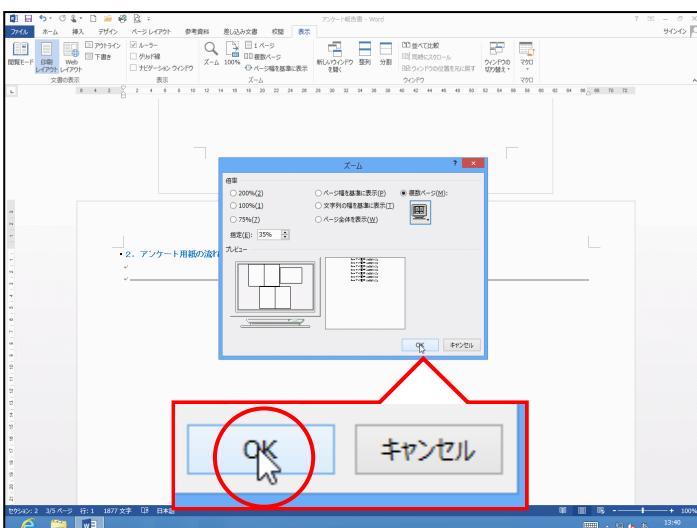


● 「**2×3 ページ**」と表示されたところでクリックすると、[指定(E):]ボックスの倍率、またその下にあるプレビューが変わります。

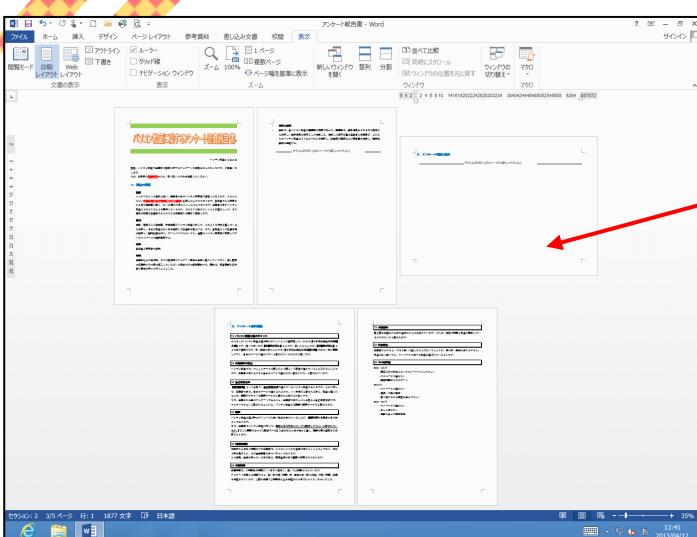


● 左図では、[指定(E):]ボックスの倍率が「35%」になっていますが、皆さんのお使いのパソコンでは、違う数字が表示される場合もあります。

[ズーム] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。

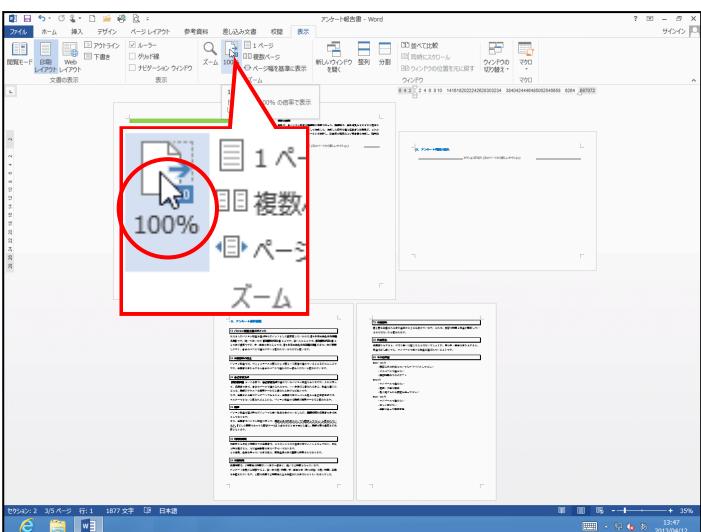


● [OK] ボタンをクリックすると、5ページすべてが表示されます。また、セクション2（2. アンケート用紙の流れ）だけ、ページの向きが「横」になっていることが確認できます。

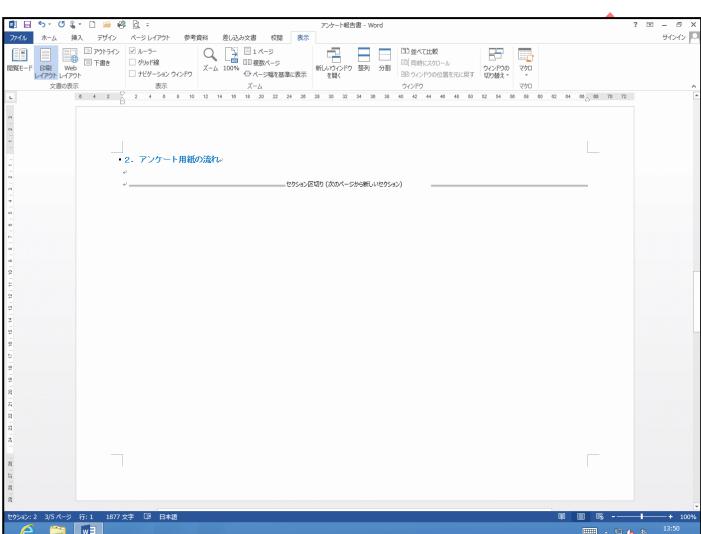
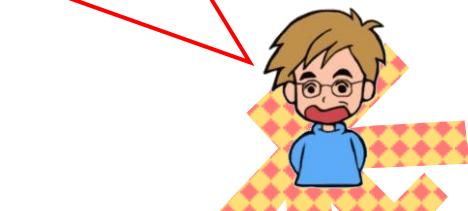


セクション2（2. アンケート用紙の流れ）だけが、ページの向きが「横」になっていることが確認できたので、表示倍率を元の100%に戻しておきましょう。

[ズーム] グループにある [100%] ボタンをクリックします。



● [表示] タブが選択されていることを確認して操作してください。



上書き保存をして「アンケート報告書」を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題11で理解度を試して下さい。☆☆

3. 図の利用

ここでは、ワードⅡでも使用した **SmartArt**（スマートアート）を使って効率よく図形を作成する方法と、テキストボックスを使って任意の場所に文章を配置する方法について説明します。

(1) SmartArt

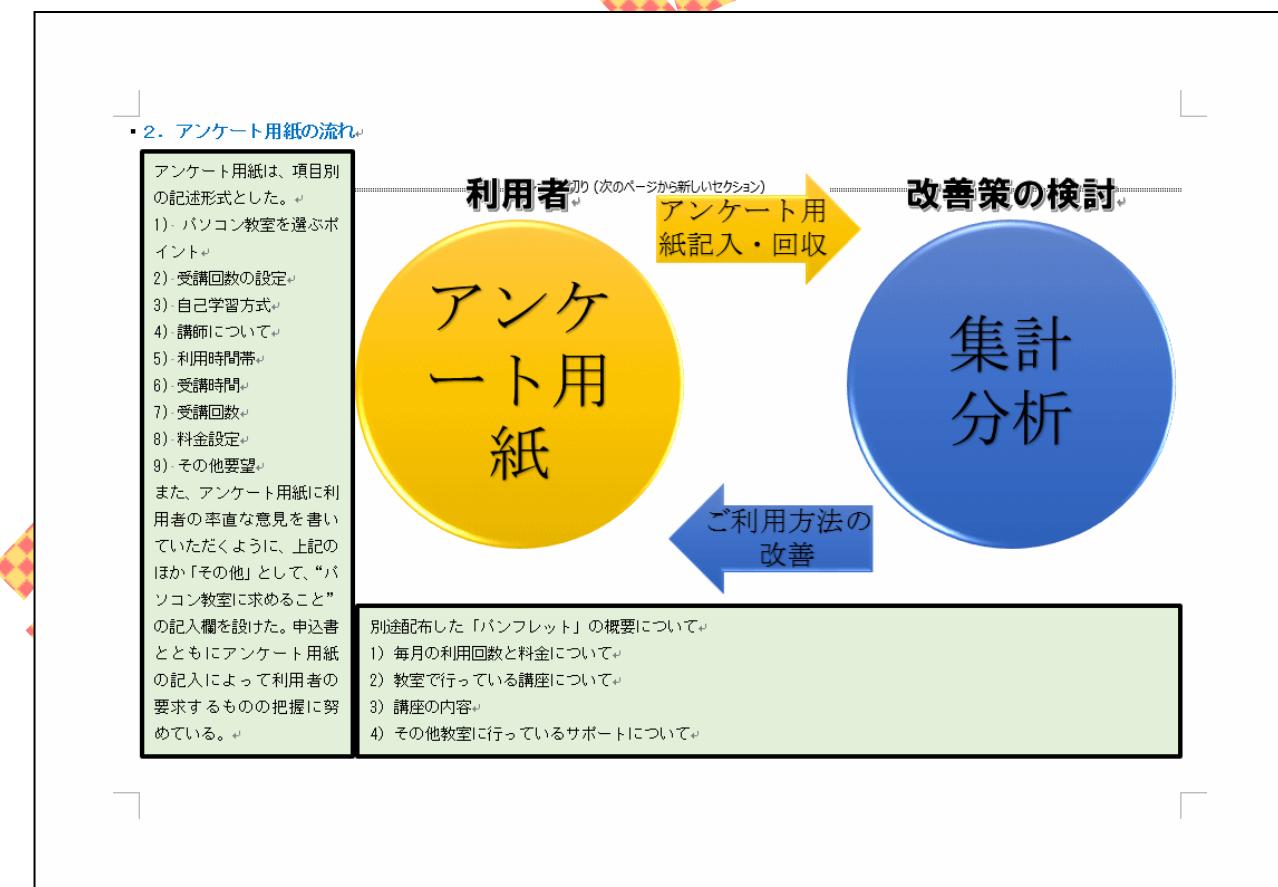
ワードⅡでも学習しましたが、**SmartArt**とは、組織図や循環図、ピラミッド型図表などの総称です。SmartArt を使えば、種類別に分けられた一覧から目的の図表を選択するだけで、情報をわかりやすく視覚的に表す図表が作成できます。

SmartArt は、[挿入] タブの [図] グループから挿入します。

■ [挿入] タブ



① 【完成例】

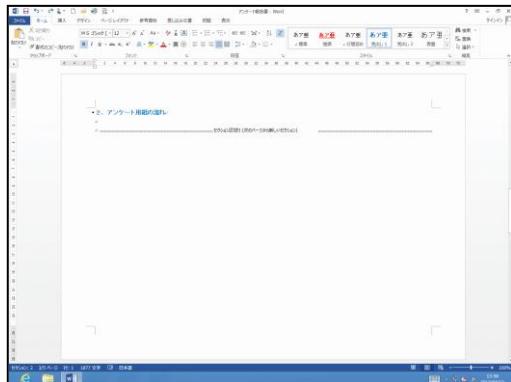


② SmartArt の挿入

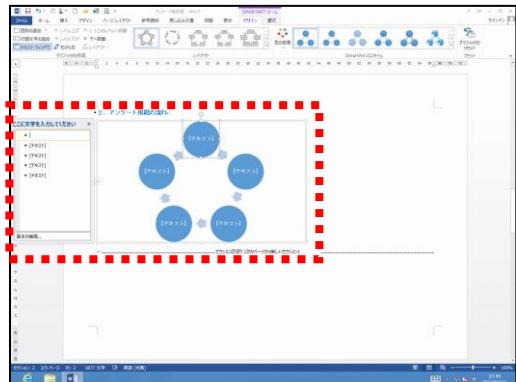
「2. アンケート用紙の流れ」の下に SmartArt の「基本の循環」を挿入してみましょう。

◆SmartArt の挿入方法をマスターしましょう。

操作前

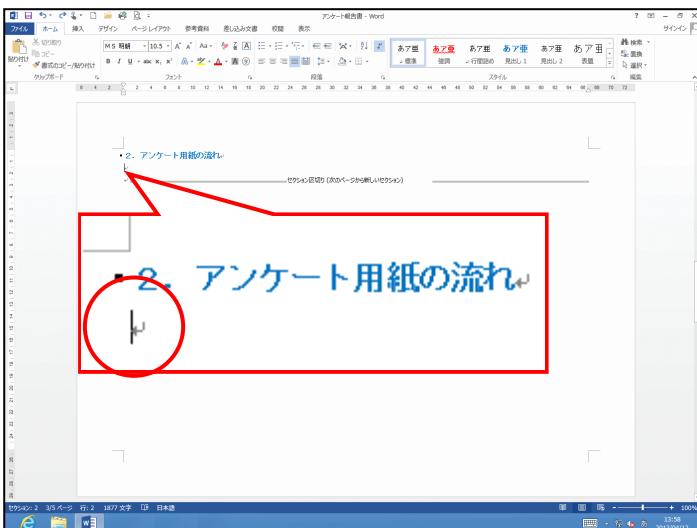


操作後



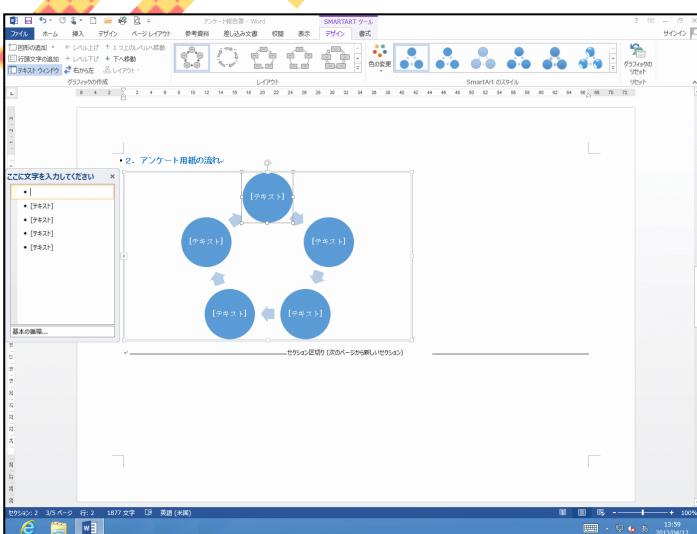
リムーバブルディスクに保存した「アンケート報告書」を開き、3 ページ 2 行目にカーソルを移動します。

●SmartArt を挿入する位置にカーソルを移動します。



SmartArt グラフィックの「基本の循環」を挿入します。

●「SmartArt グラフィックの挿入方法」を忘れた方は、ワードⅡを参照してください。



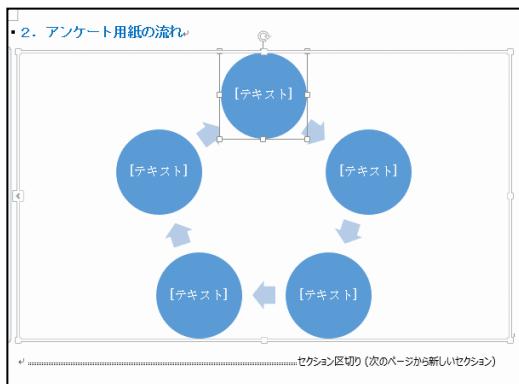
③ 図形の削除

P47 の完成例のように、挿入した SmartArt (基本の循環) のうち、ここで必要な図形は、円が 2 つと矢印が 2 つです。

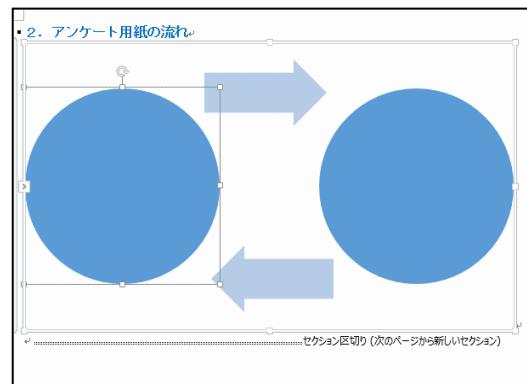
ここでは、必要なない図形を削除してみましょう。

◆図形を削除する方法をマスターしましょう。

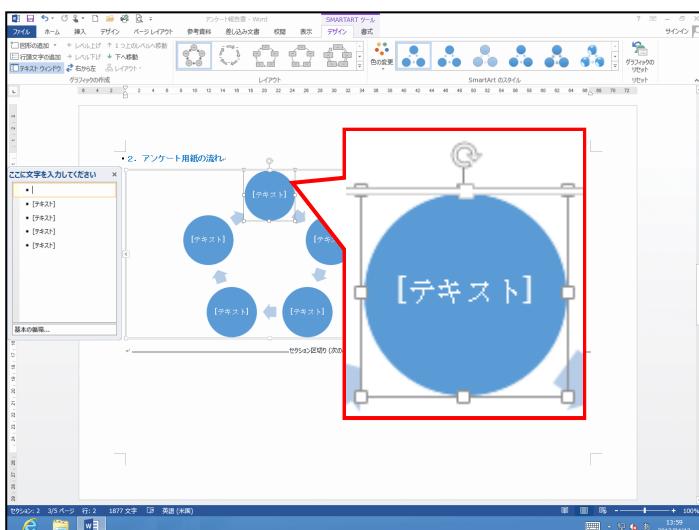
操作前



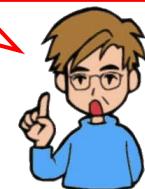
操作後



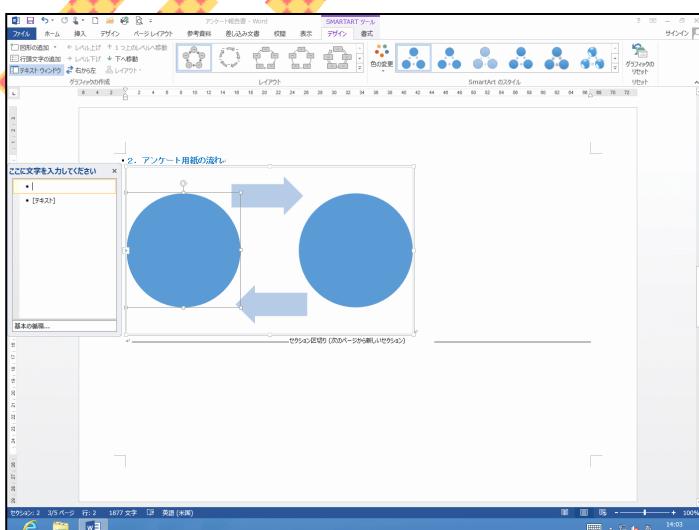
一番上の図形が選択されていることを確認します。



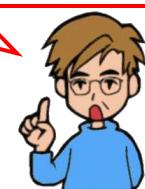
●図形が選択されていれば、図形の周りに□(サイズ変更ハンドル)が表示されています。



[Delete] キーを 3 回押します。



● [Delete] キーを 1 回押すと、図形が 1 つ削除されます。図形が 1 つ削除されると、自動的に次の図形が選択されます。



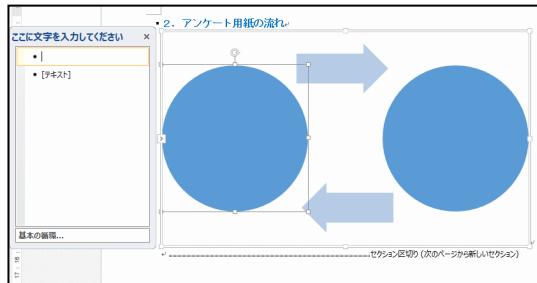
●ここで必要な円の図形は 2 つなので、3回 [Delete] キーを押して、円の図形を 2 つにします。円の図形の数に合わせて、矢印の図形の数も減ります。

④ 図形に文字を入力する

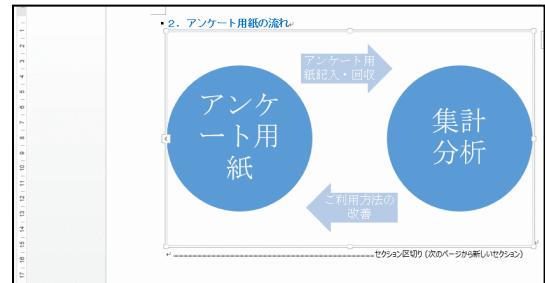
テキストウィンドウを使って、図形に文字を入力してみましょう。

◆テキストウィンドウを使って、図形に文字を入力する方法をマスターしましょう。

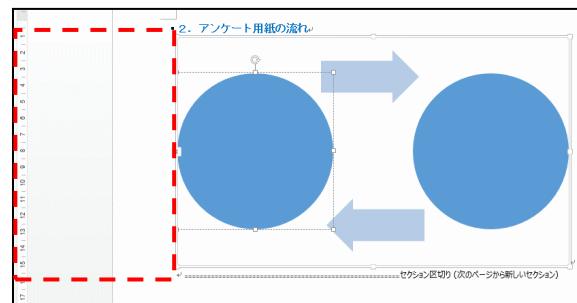
操作前



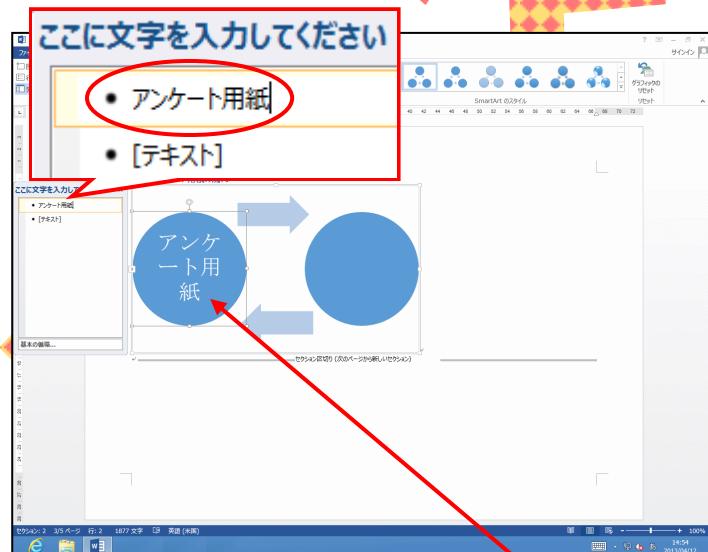
操作後



右図のようにテキストウィンドウが表示されていない方は、表示しておきましょう。
「テキストウィンドウの表示方法」を忘れた方は、ワードⅡを参照してください。



左の丸の図形が選択されていること、テキストウィンドウにカーソルが表示されていることを確認して「アンケート用紙」と入力し、入力した文字を確定します。

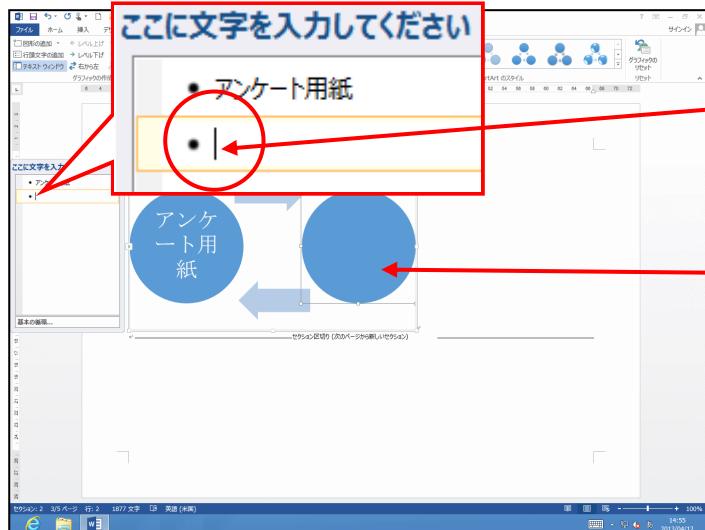


● 文字を確定するときに、[Enter] キーを押しすぎないように注意してください。[Enter] キーを押しすぎると、1つ目の入力情報が確定てしまい、図形が1つ増えてしまいます。
図形が増えてしまった場合は、
[Delete] キーを押して図形を削除します。(P49 ③ 図形の削除参照)



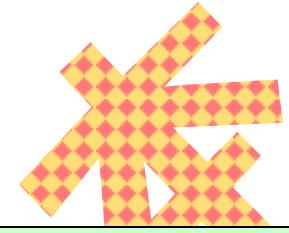
● テキストウィンドウに入力した情報は、選択されている図形(図形の周りに□が表示されている図形)に反映されます。

「アンケート用紙」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[↓] キーを押します。

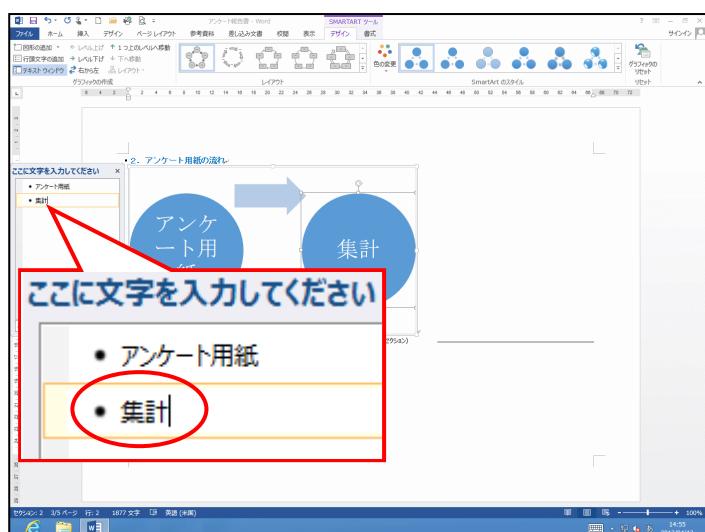


- [↓] キーを押すと、1つ目の入力情報が確定し、2つ目にカーソルが移動します。

- またテキストウィンドウの2つ目にカーソルが移動すると同時に、右側の図形が選択されます。



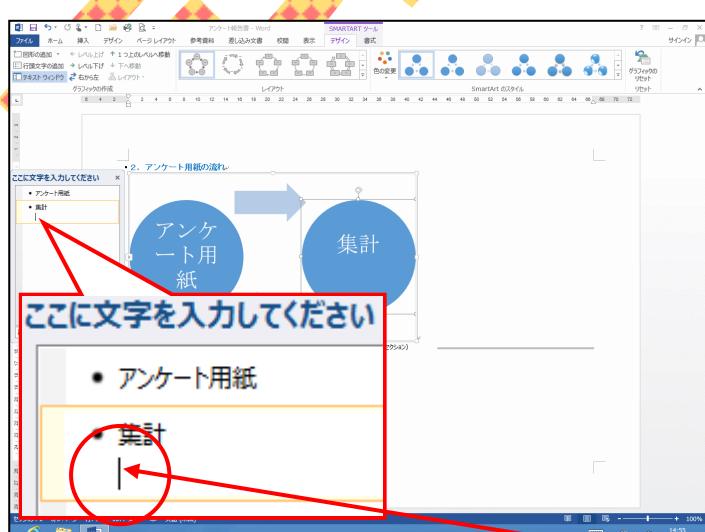
テキストウィンドウの2つ目にカーソルが表示されていることを確認して「集計」と入力し、入力した文字を確定します。



- 文字を確定するときに、[Enter] キーを押しすぎないように注意してください。[Enter] キーを押しすぎると、2つ目の入力情報が確定してしまい、図形が1つ増えてしまいます。



「集計」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押します。

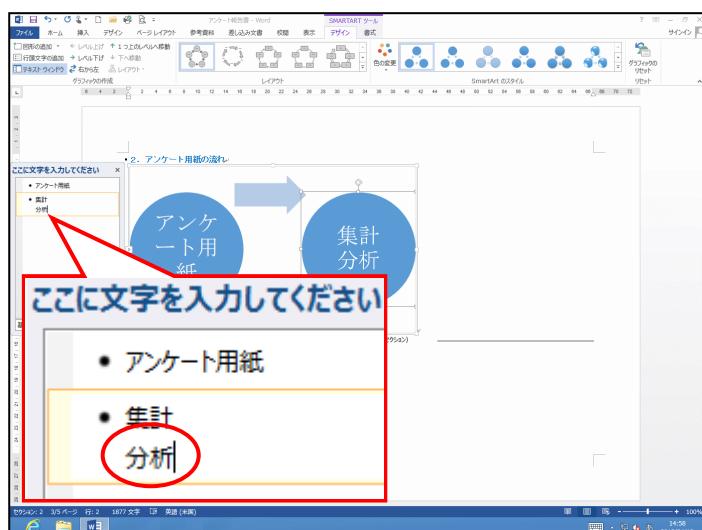


- 必ず [Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押してください。[Shift] キーを押さずに [Enter] キーだけを押すと、入力情報が確定してしまい、図形が1つ増えてしまいます。



- [Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押すと、2つ目の入力情報内で改行されます。

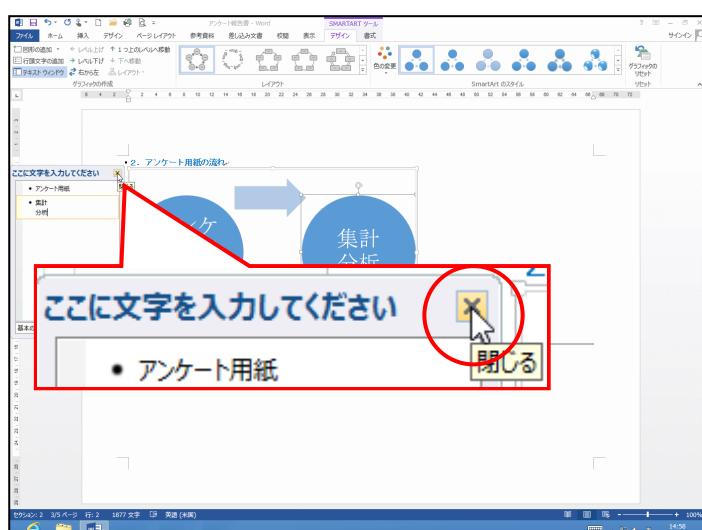
「分析」と入力し、入力した文字を確定します。



● 文字を確定するときに、[Enter] キーを押しすぎないように注意してください。[Enter] キーを押しすぎると、2つ目の入力情報が確定してしまい、図形が1つ増えててしまいます。

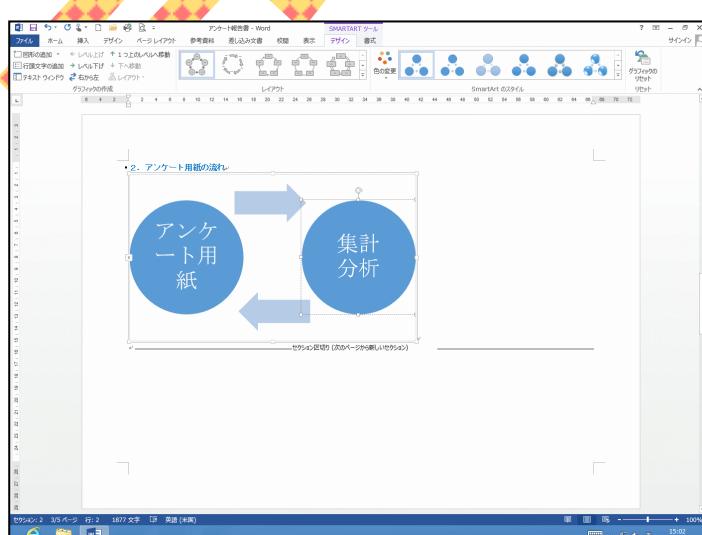


テキストウィンドウの右上にある ✕ [閉じる] ボタンをクリックします。

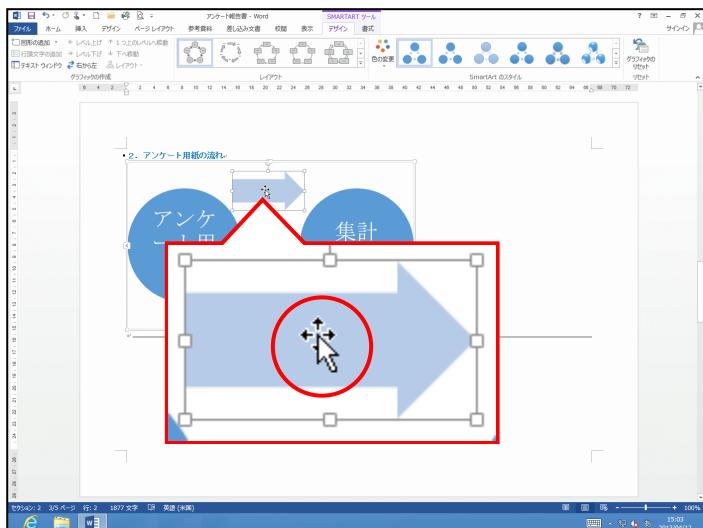


● 必要のなくなったテキストウィンドウを閉じるための操作です。

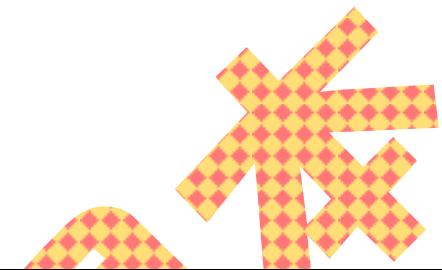
● ✕ [閉じる] ボタンをクリックすると、テキストウィンドウが画面から消えます。



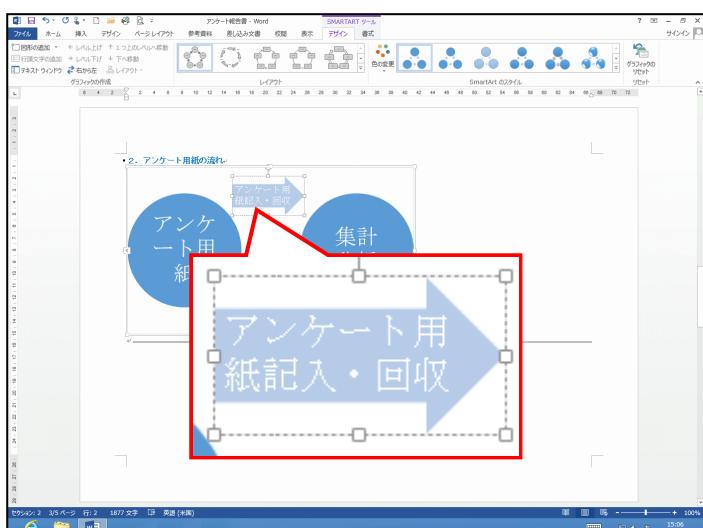
上の矢印の図形をクリックして選択します。



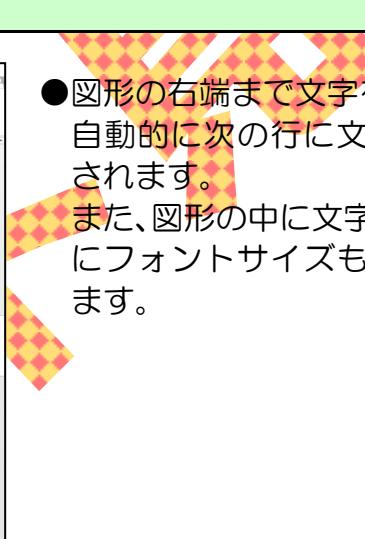
●矢印の図形の中にマウスポインターを移動すると↑の形になり、そのままクリックすると、矢印の図形が選択されます。



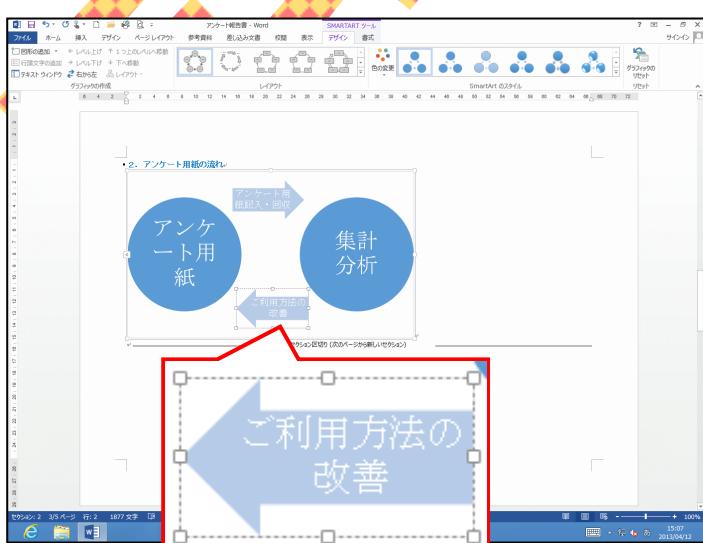
「アンケート用紙記入・回収」と入力します。



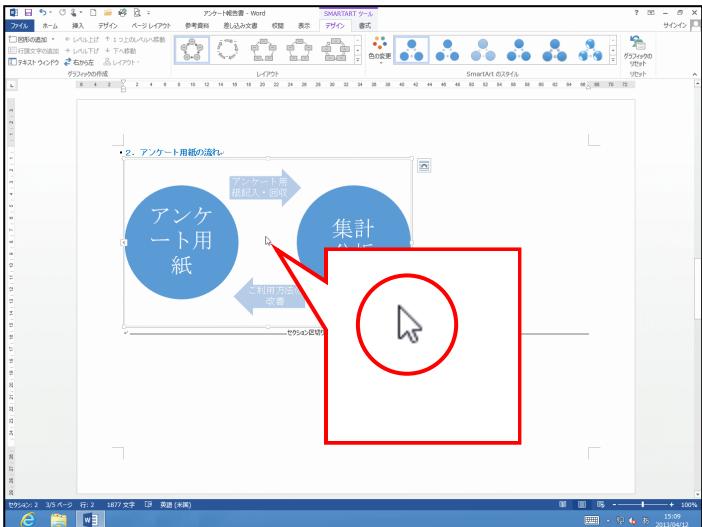
●図形の右端まで文字を入力すると、自動的に次の行に文字列が折り返されます。また、図形の中に文字が収まるようにフォントサイズも自動調整されます。



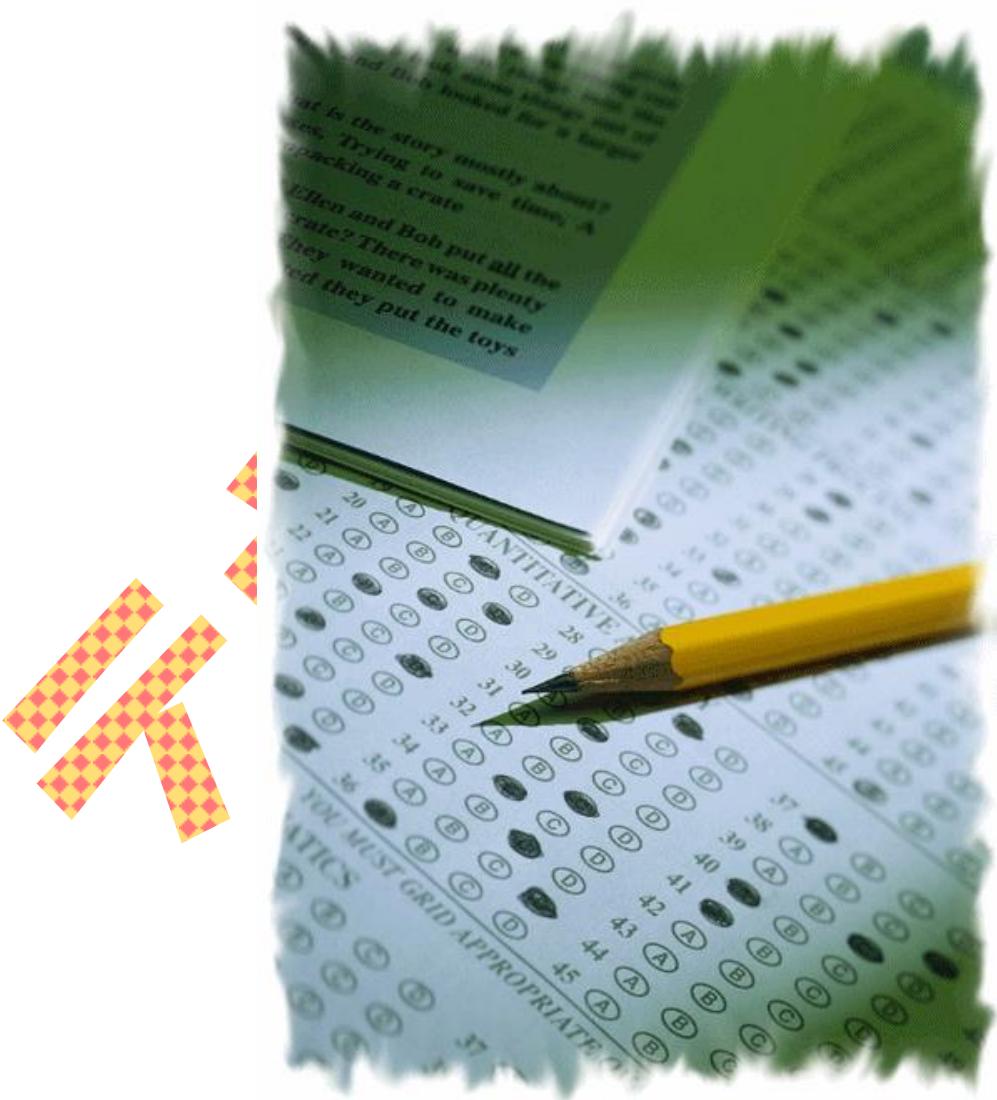
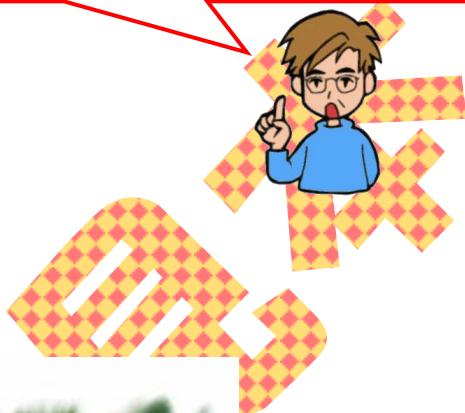
同様にして、下の矢印の図形に「ご利用方法の改善」を入力します。



SmartArt 内の余白部分でクリックします。



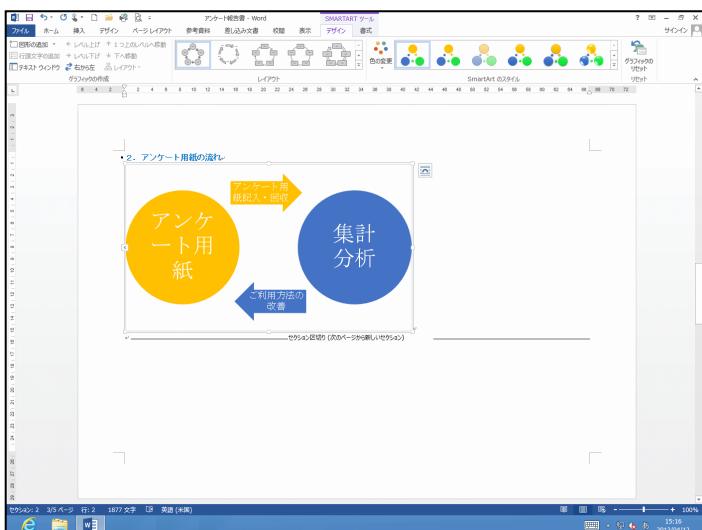
●矢印の図形の選択を解除し、
SmartArt 全体を選択するための
操作です。
左のように図形の周りに □ (サイ
ズ変更ハンドル)が表示されていな
ければ、SmartArt 全体が選択され
ています。



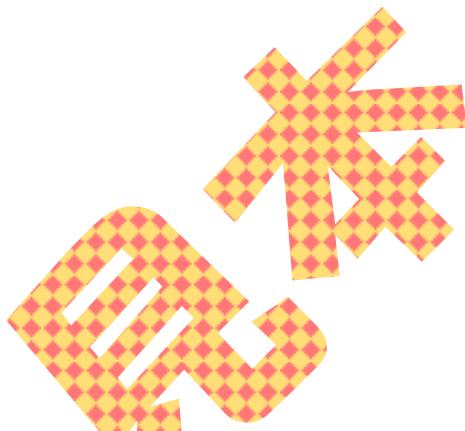
◎ SmartArt の装飾として、色の変更とスタイルの設定を行いましょう。

まず、文書内に挿入されている SmartArt の色を変更してみましょう。

SmartArt の色を「カラフルーアクセント 4 から 5」に設定します。

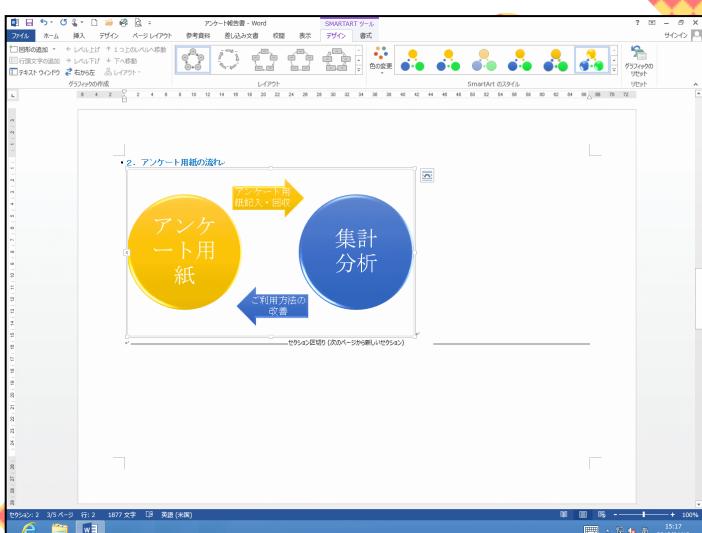


- 「SmartArt の色の変更方法」を忘れた方は、ワード II を参照してください。



次に、文書内に挿入されている SmartArt にスタイルを設定してみましょう。

SmartArt のスタイルを「3-D」の「立体グラデーション」に設定します。



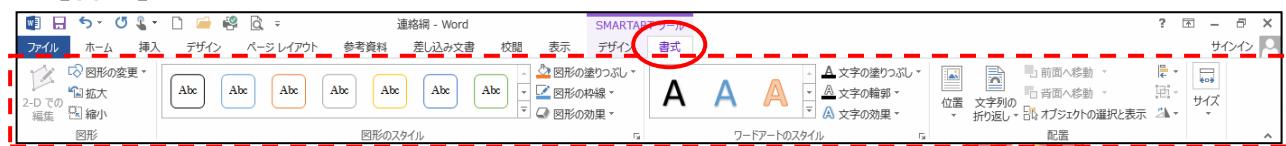
- 「SmartArt のスタイルの変更方法」を忘れた方は、ワード II を参照してください。

⑤ 文字のスタイルの設定

ここからは、入力した文字のスタイルや文字列の折り返しを設定していきます。

ここで新しく学習する、入力した文字のスタイルや文字列の折り返しの設定は [書式] タブを使って行います。

■ [書式] タブ

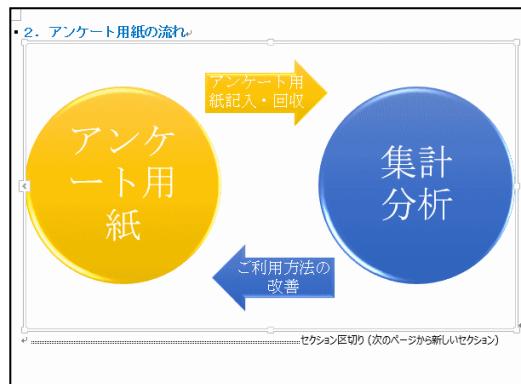


図形に入力した文字にスタイルを設定してみましょう。



◆図形に入力した文字のスタイルの設定方法をマスターしましょう。

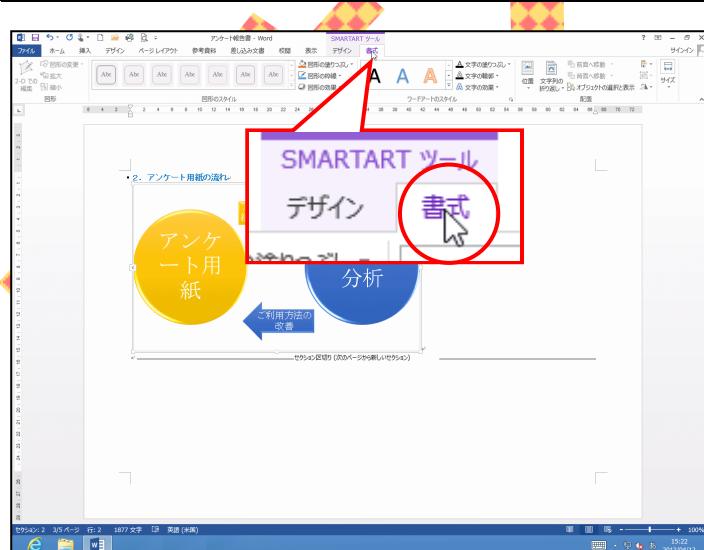
操作前



操作後



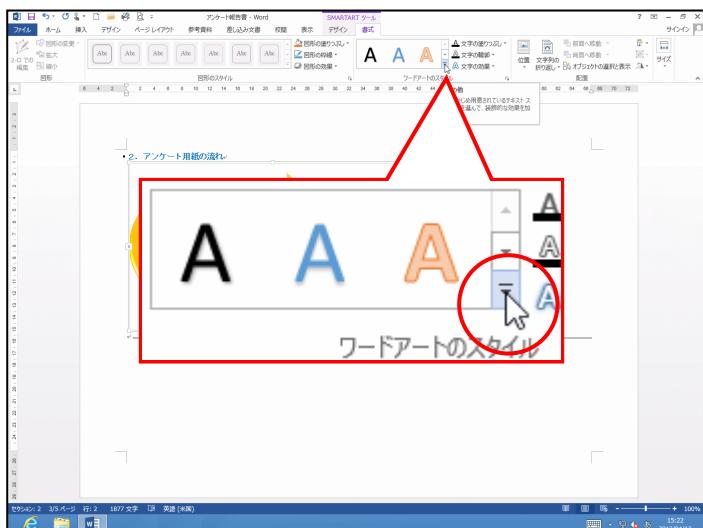
[書式] タブをクリックします。



●Smart Art が選択されていることを確認してから操作してください。

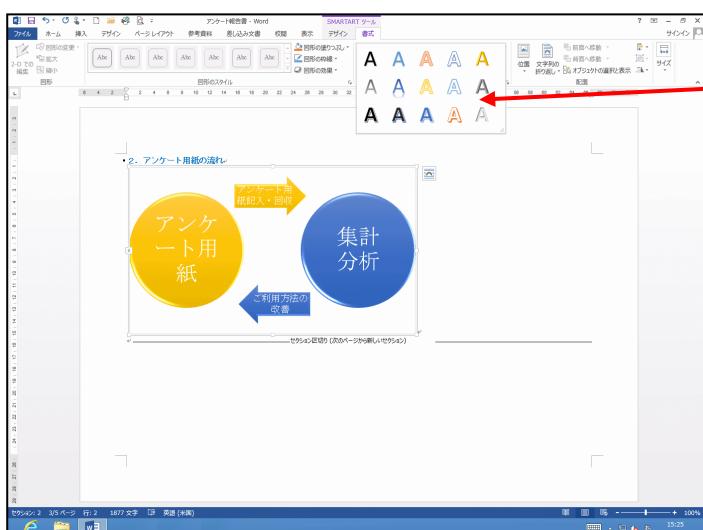


[ワードアートのスタイル] グループにある [その他] ボタンをクリックします。



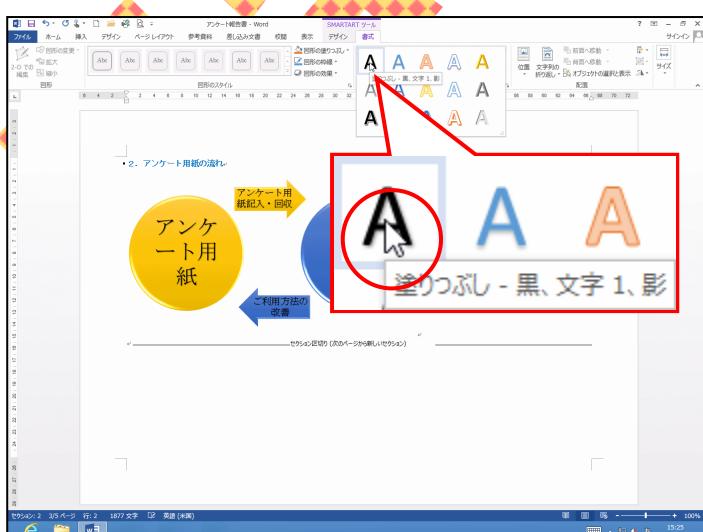
●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)

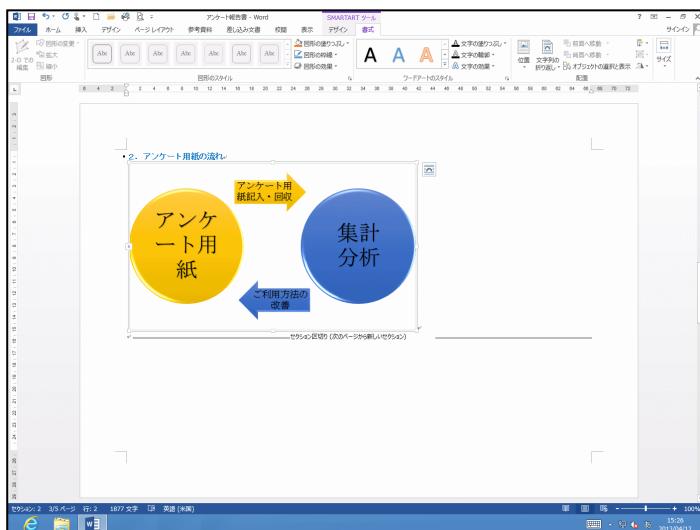
【参考】Word ribbon interface with the 'More Options' button highlighted.



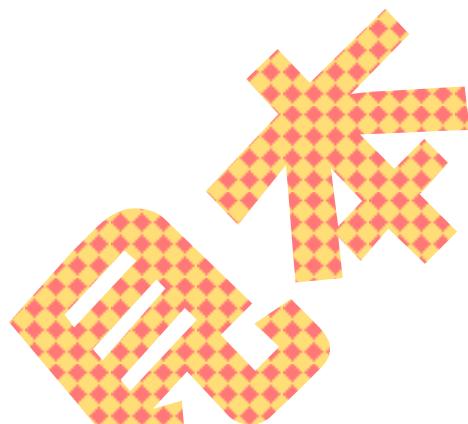
● [その他] ボタンをクリックす
ると、左のよう[スタイルの一覧が
表示されます。]

表示されたスタイルの一覧から「塗りつぶし黒、文字1、影」をクリックします。





●「塗りつぶしー黒、文字1、影」をクリックした時点で、選択したスタイルが確定します。



⑥ 文字列の折り返し

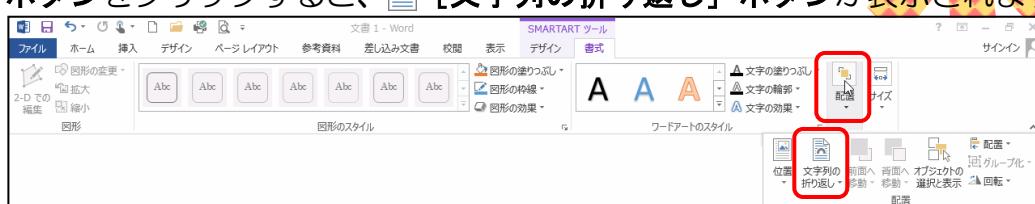
SmartArt は、通常、文字列の折り返しが「行内」で挿入されます。⑧ SmartArt の移動の前準備として SmartArt の文字列の折り返しを「前面」に設定してみましょう。

文字列の折り返しの設定は、次に示す【書式】タブの【配置】グループにある [文字列の折り返し] ボタンか、ワード 2013 からの新機能である [レイアウトオプション] ボタンを使って設定します。

■ [書式] タブ [文字列の折り返し] ボタン



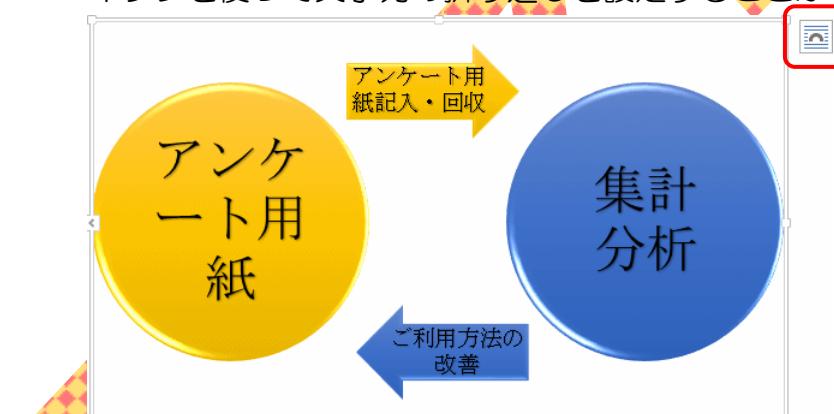
※下の図のように [文字列の折り返し] ボタンが、画面上にない方は、 [配置] ボタンをクリックすると、 [文字列の折り返し] ボタンが表示されます。



新機能

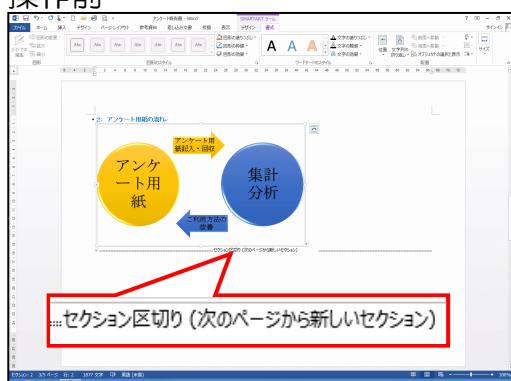
■ [レイアウトオプション] ボタン

ワード 2013 より、クリップアートや SmartArt などの画像を挿入した際に、画像に右上に [レイアウトオプション] ボタンが表示されるようになりました。このボタンを使って文字列の折り返しを設定することができます。

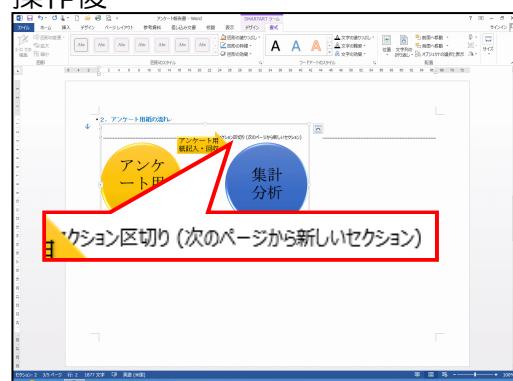


◆SmartArt の文字列の折り返しを設定する方法をマスターしましょう。

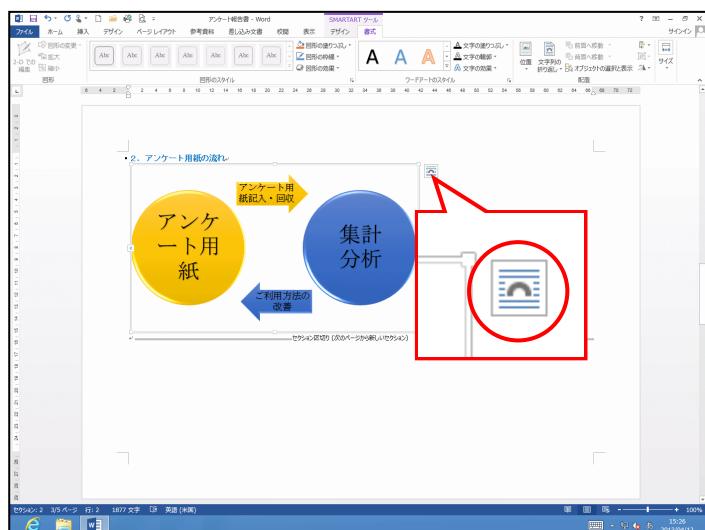
操作前



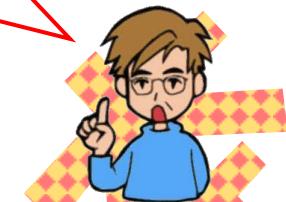
操作後



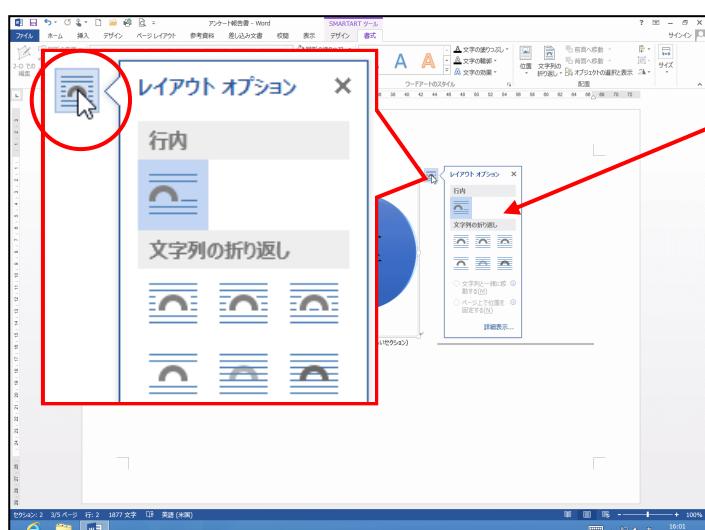
[レイアウト オプション] ボタンが表示されていることを確認します。



- [レイアウト オプション] ボタンが表示されていない方は、SmartArt 内の余白部分でクリックし、[レイアウト オプション] ボタンを表示しておきましょう。

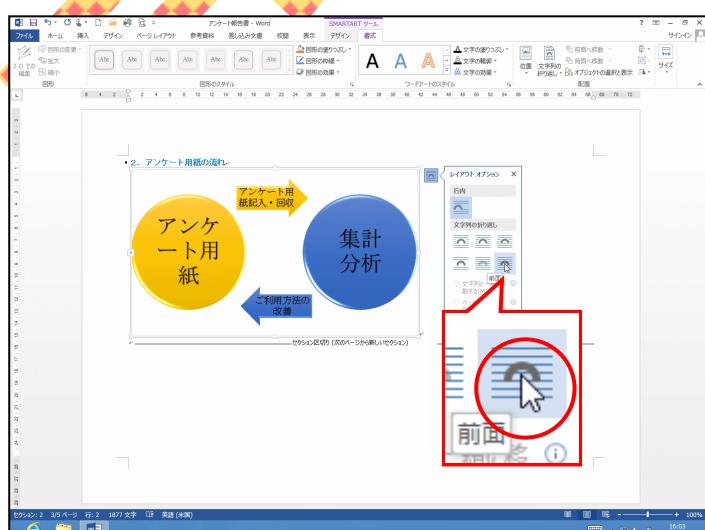


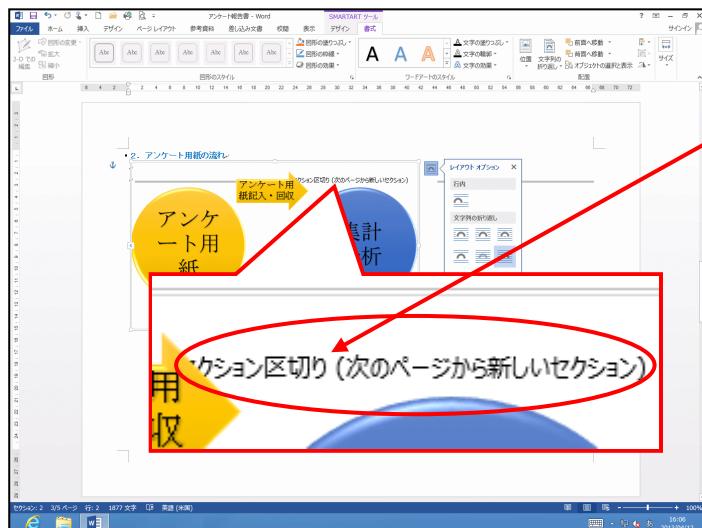
[レイアウト オプション] ボタンにポイントし、クリックします。



- [レイアウト オプション] ボタンをクリックすると、左のようにレイアウトの種類が表示されます。

表示された折り返しの中から [前面] にポイントし、クリックします。

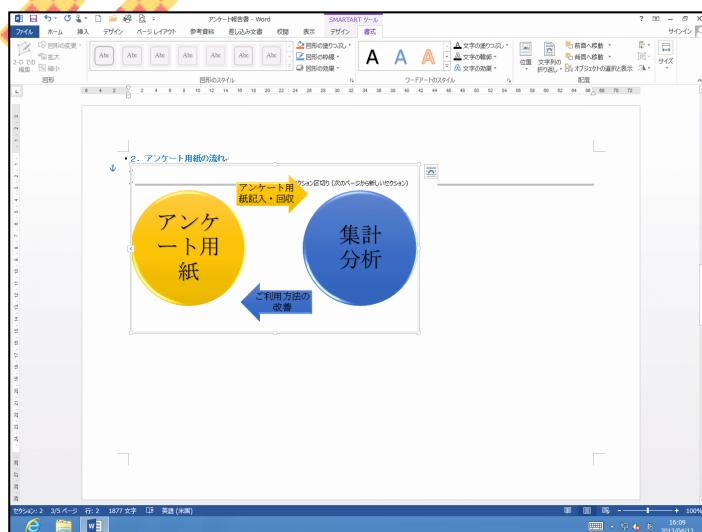
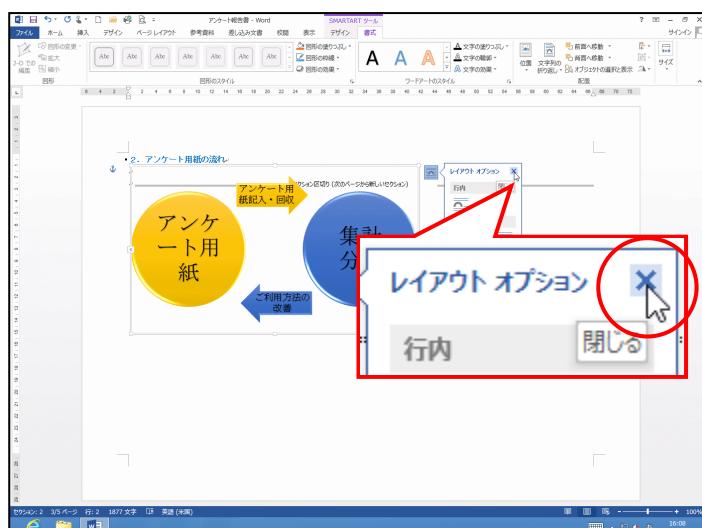




- 「前面」をクリックした時点で、左のようにセクション区切りのマークが SmartArt の背面に表示されます。



[レイアウト オプション] の × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。

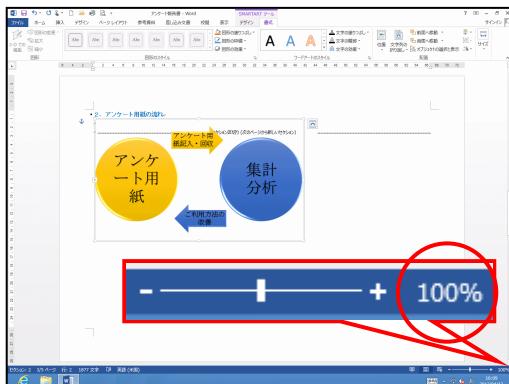


⑦ 表示倍率の変更

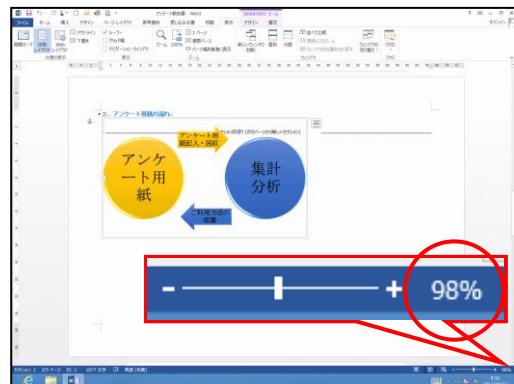
この後、⑧ SmartArt の移動 で図形全体を移動するのですが、その前に 3 ページ目全体が表示されるように表示倍率を縮小してみましょう。

◆表示倍率の変更方法をマスターしましょう。

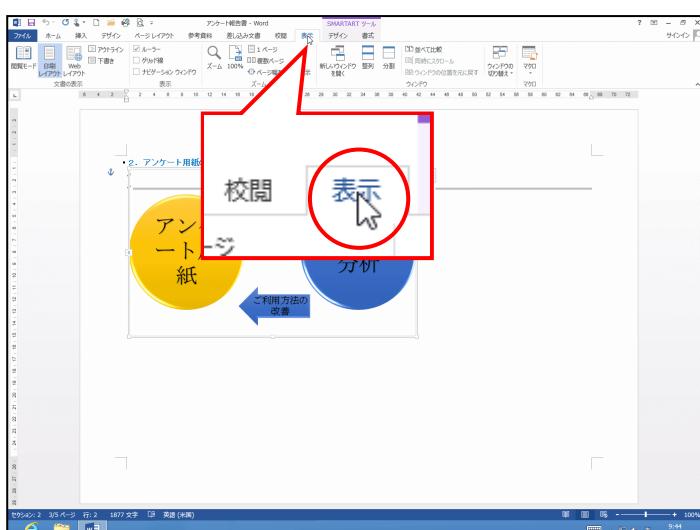
操作前



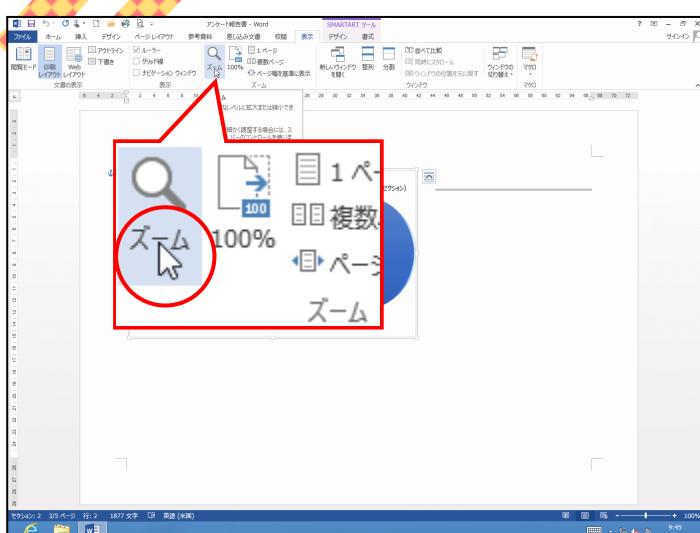
操作後



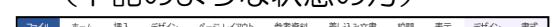
[表示] タブをクリックします。

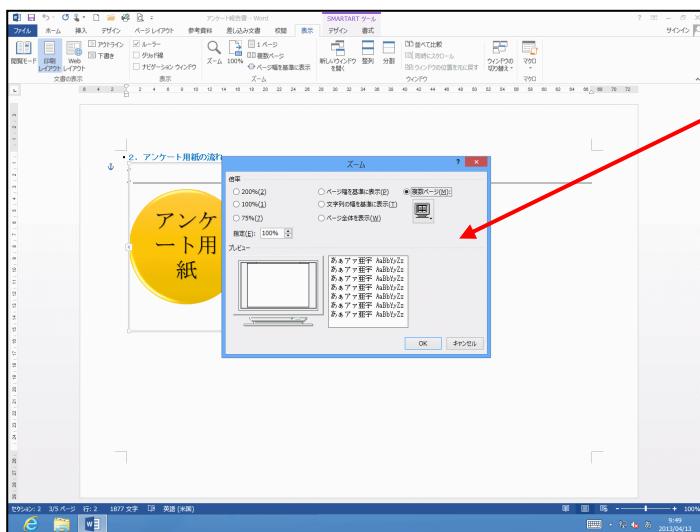


[ズーム] グループにある [ズーム] ボタンをクリックします。

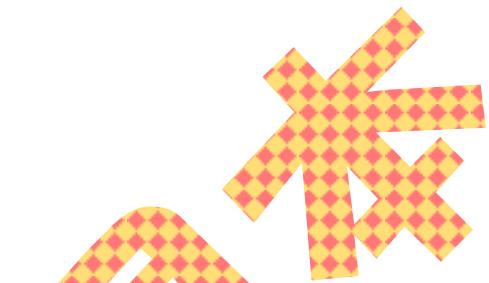


●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

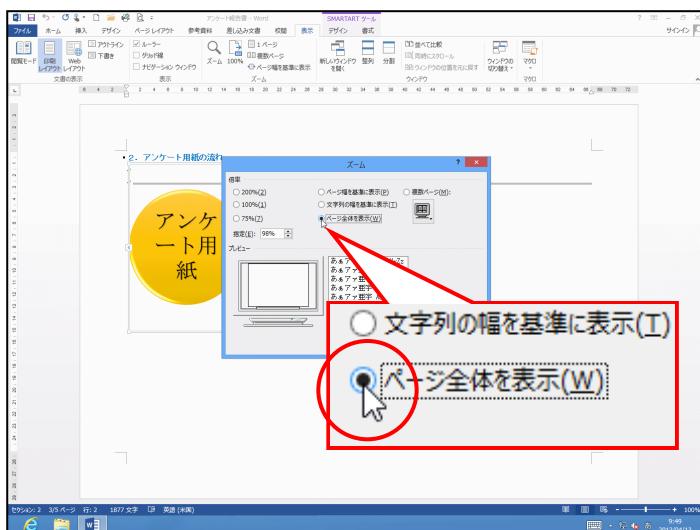




● [ズーム] ボタンをクリックすると、左のよう [ズーム] ダイアログボックスが表示されます。



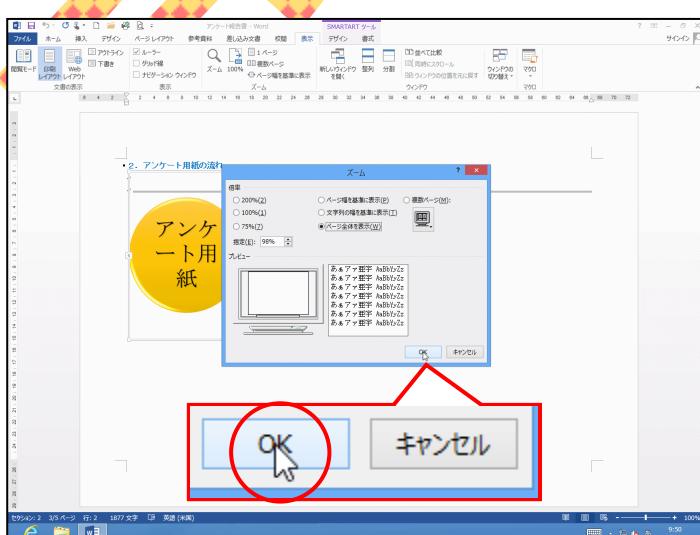
表示された [ズーム] ダイアログボックスから [ページ全体を表示(W)] をクリックします。

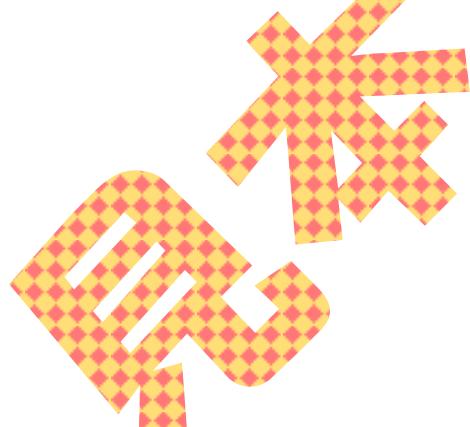
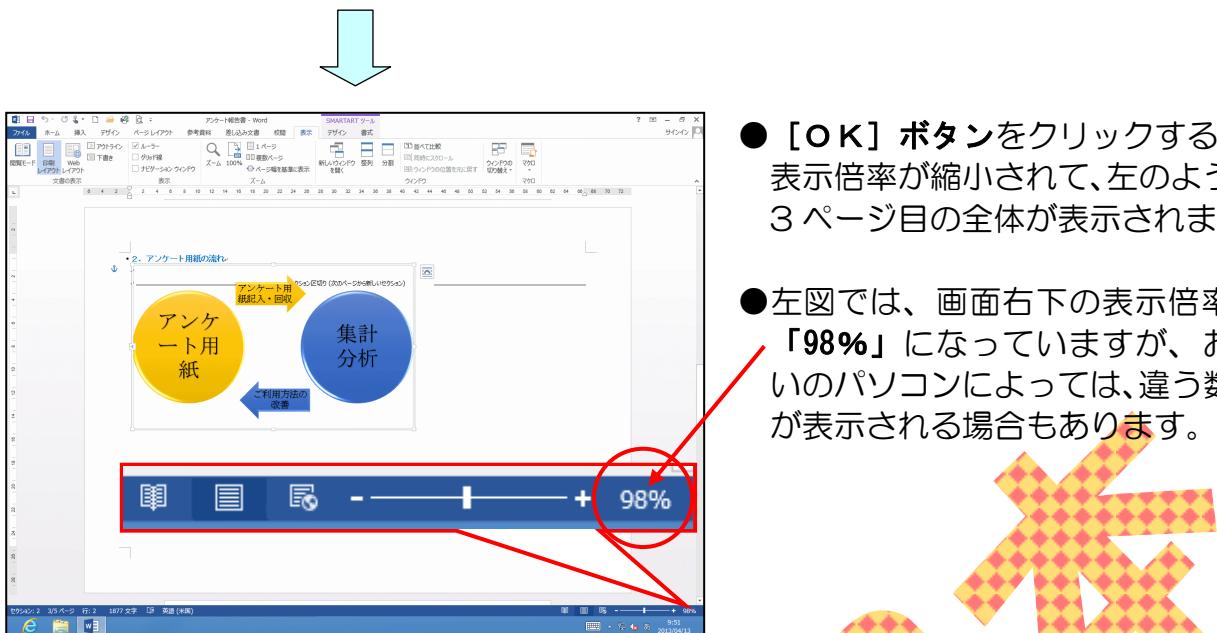


● [ページ全体を表示(W)] をクリックすると、左に が表示されます。



[ズーム] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。



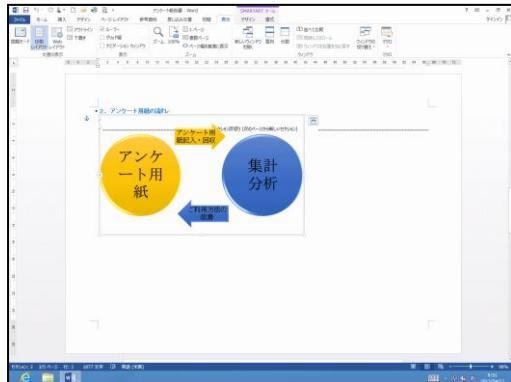


⑧ SmartArt の移動

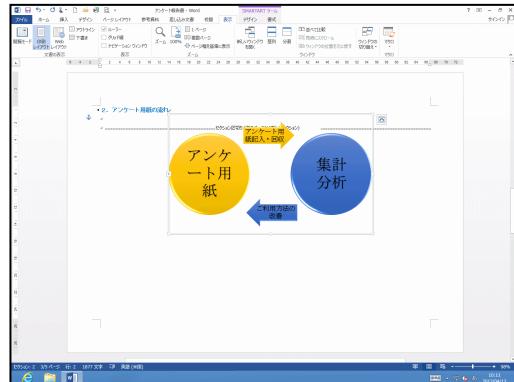
図形全体を右へ移動してみましょう。

◆SmartArt の移動方法をマスターしましょう。

操作前



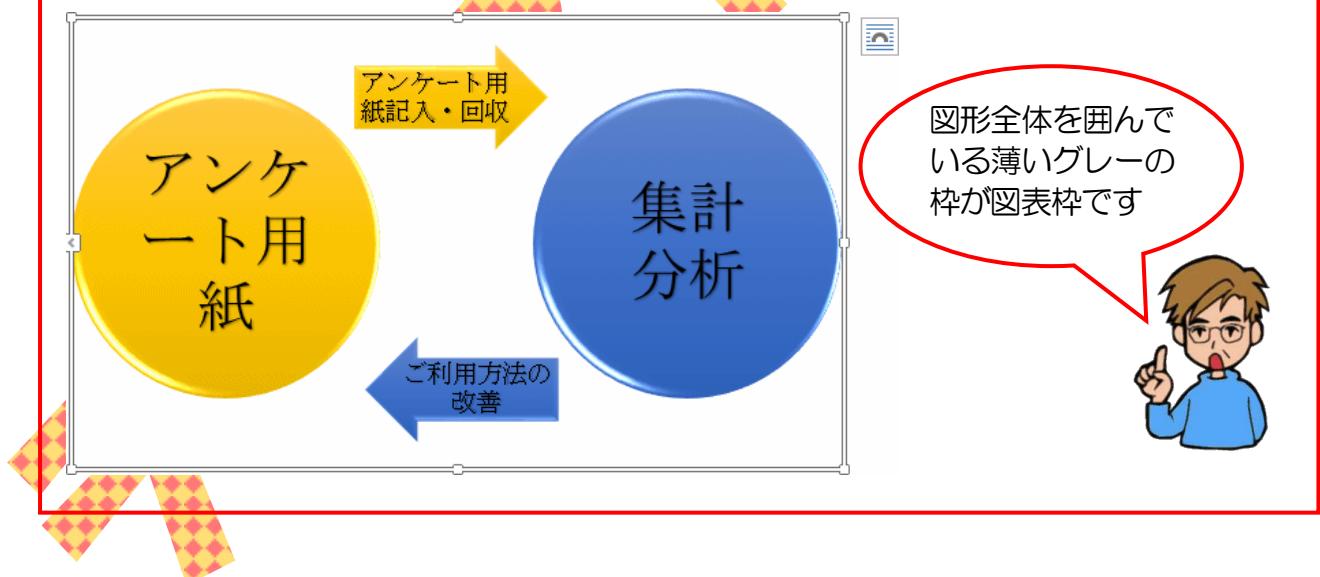
操作後



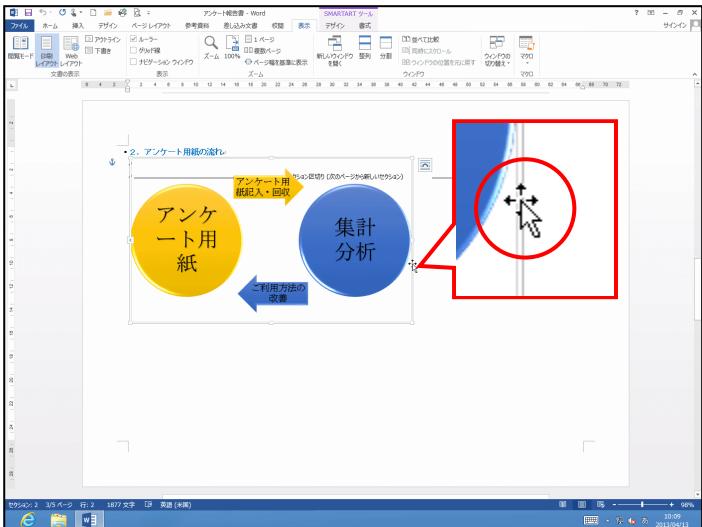
※図表枠

図表枠とは、SmartArt の図形全体を囲んでいる枠のことです、この枠にポイントするとマウスポインターの形が ↑ や ↓、↔、↗、↖ に変わります。

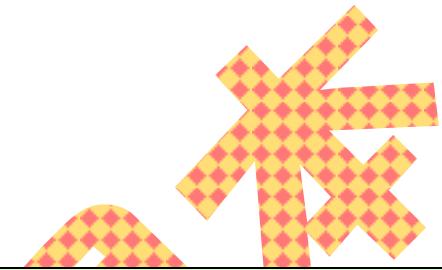
- ・図形全体を移動したい場合は、マウスポインターが ↑ の状態で移動したい場所にドラッグします。
- ・図形全体のサイズを変更したい場合は、↓、↔、↗、↖ のいずれかの状態でドラッグします。



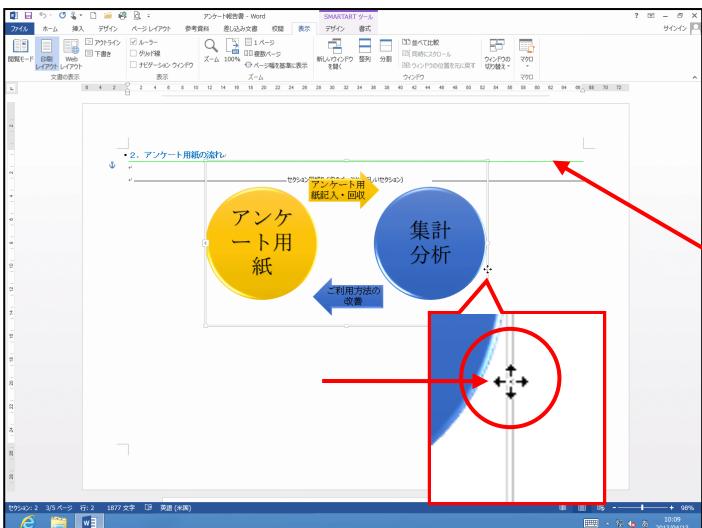
SmartArt の周りに表示された図表枠にポイントします。



- 図表枠にポイントすると、マウスポインターの形が になります。



マウスポインターの形が になっていることを確認して、右方向にドラッグします。



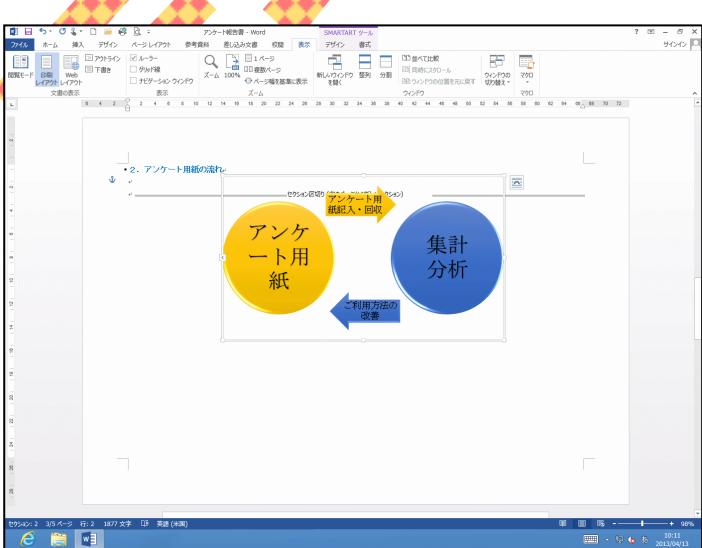
- ドラッグ中のマウスポインターの形は、 になっています。

新機能

- ワード 2013 より、図形を移動する際に配置ガイド（黄緑色の線）が表示されるようになりました。

余裕があれば読んでね

- 水平・垂直に移動したい場合は、**[Shift]** キーを押した状態でドラッグします。



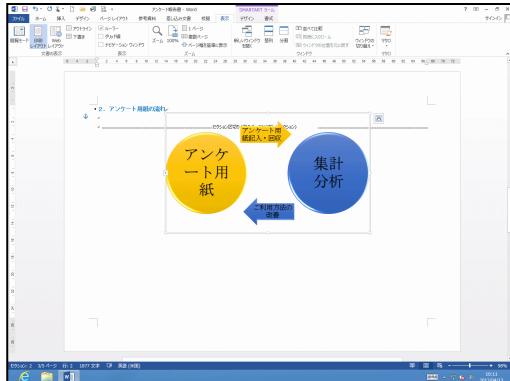
- マウスの左ボタンを離すと、SmartArt の位置が確定します。

⑨ SmartArt のサイズ変更

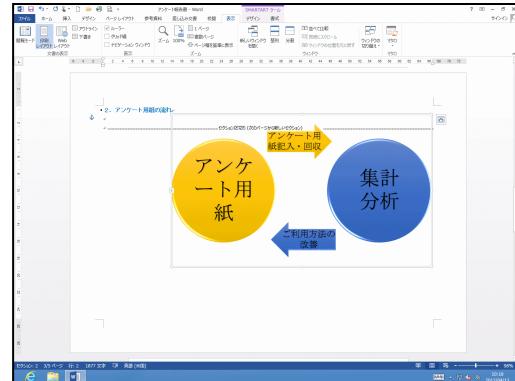
図形全体のサイズを少し大きくしてみましょう。

◆SmartArt のサイズの変更方法をマスターしましょう。

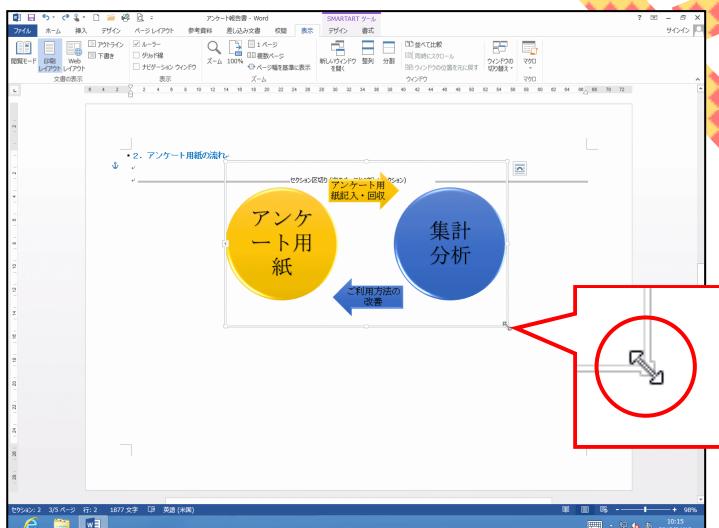
操作前



操作後

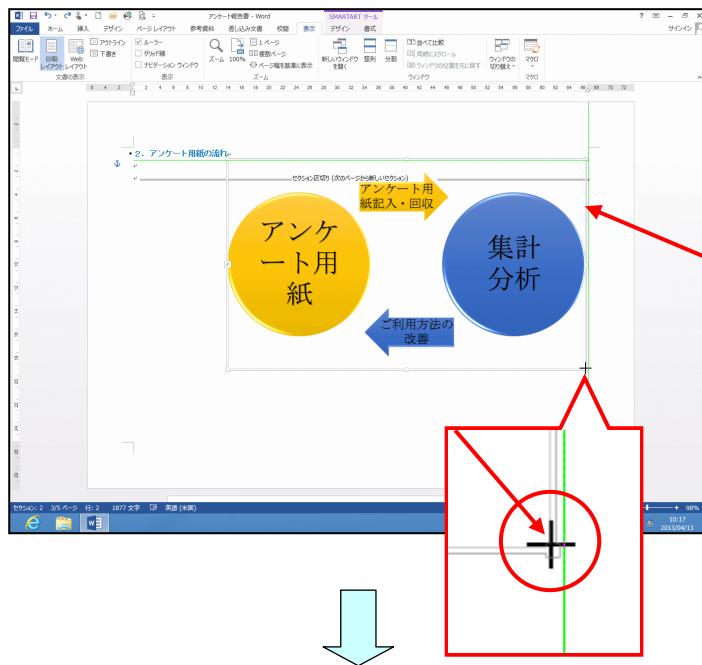


図表枠の右下にある □ (サイズ変更ハンドル) にポイントします。



● □ (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターの形が ↘ になります。

マウスポインターの形が になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



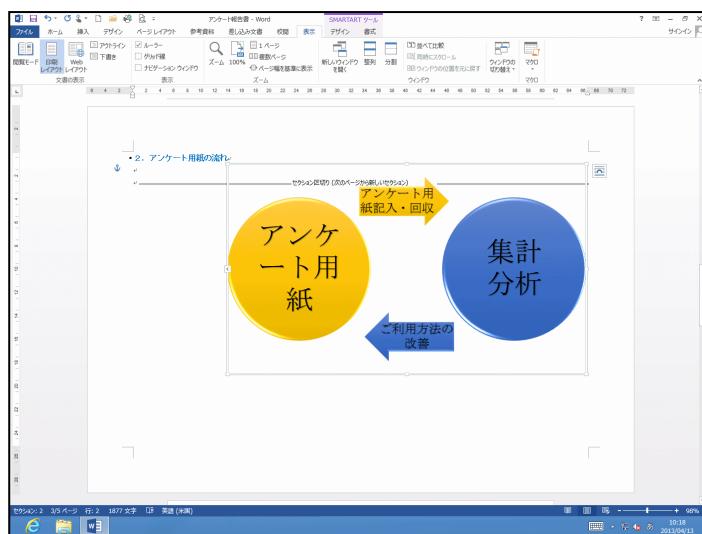
- ドラッグ中のマウスポインターの形は、+ になっています。

新機能

- ワード 2013 より、図形をサイズ変更する際に配置ガイド(黄緑色の線)が表示されるようになりました。

余裕があれば読んでね

- 縦・横の比率を変えずにサイズ変更したい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。

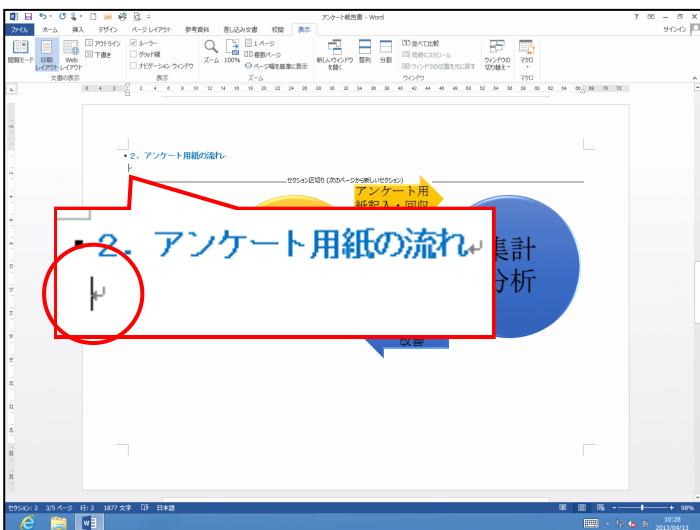


- マウスの左ボタンを離すと、SmartArt の大きさが確定します。

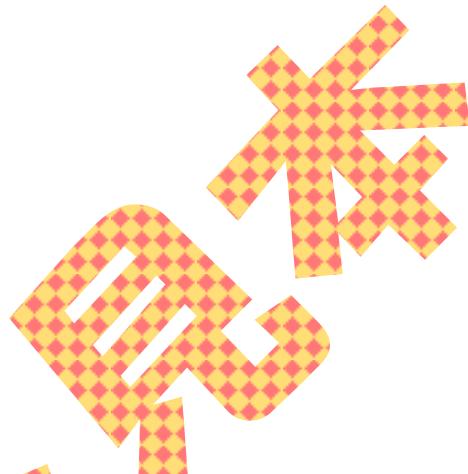
◎ SmartArt の仕上げとして、ワードアートを 2 つ挿入しましょう。

「アンケート用紙」「集計 分析」の円の図形の上にワードアート「利用者」「改善策の検討」をそれぞれ挿入してみましょう。

3 ページ 2 行目にカーソルを移動します。

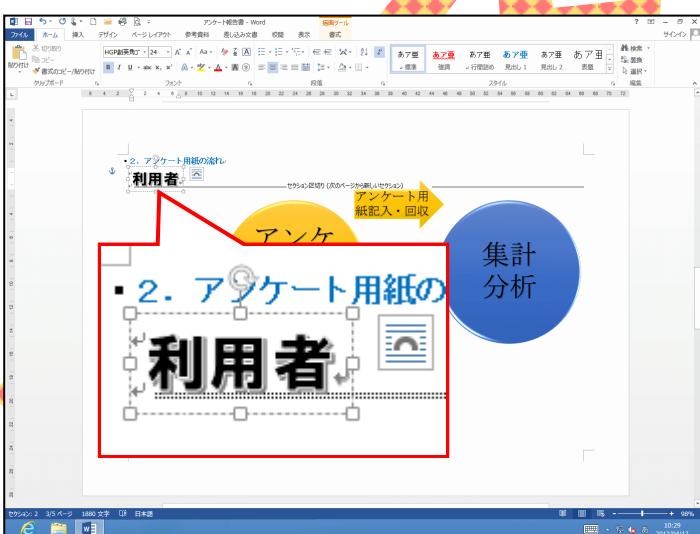


- ワードアートを挿入する位置にカーソルを移動します。



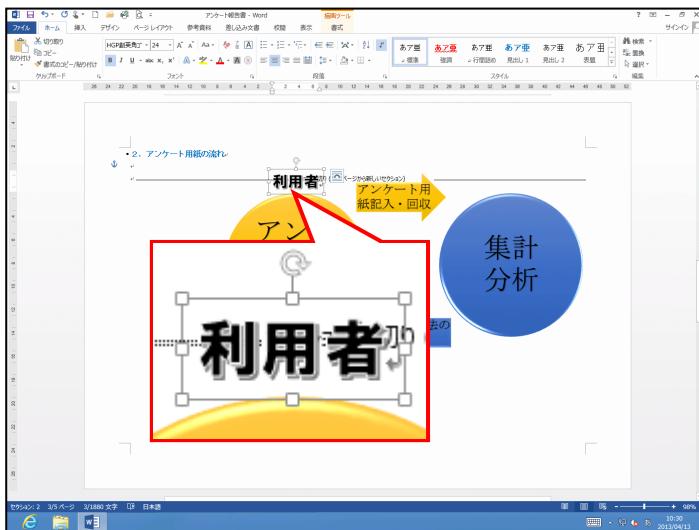
次の条件で、下のようにワードアートを挿入します。

- ワードアートのスタイル：塗りつぶし一黒、文字 1、輪郭一背景 1、影（ぼかしなし）一背景 1
- ワードアートの内容：利用者
- フォント：HGP 創英角ゴシック UB
- フォントサイズ：24pt

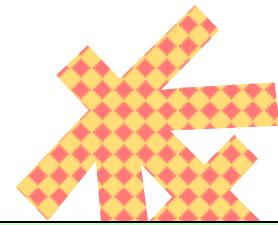


- 「ワードアートの挿入方法」を忘れた方は、ワード I を参照してください。

以下の図を参考にワードアートを移動します。

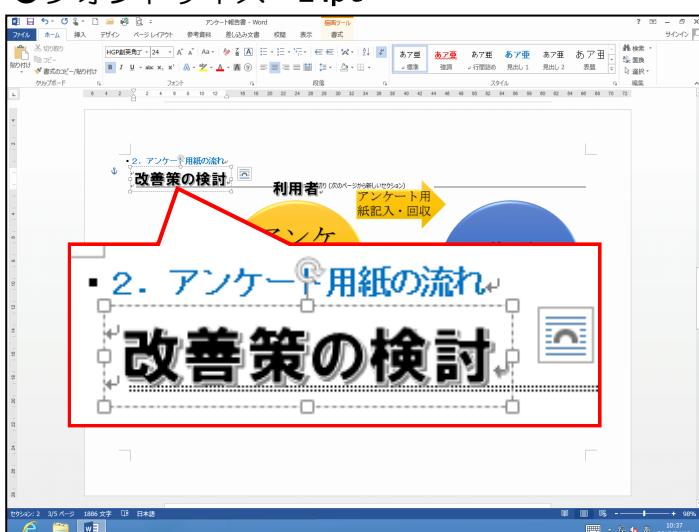


- 「ワードアートの移動方法」を忘れた方は、ワード I を参照してください。

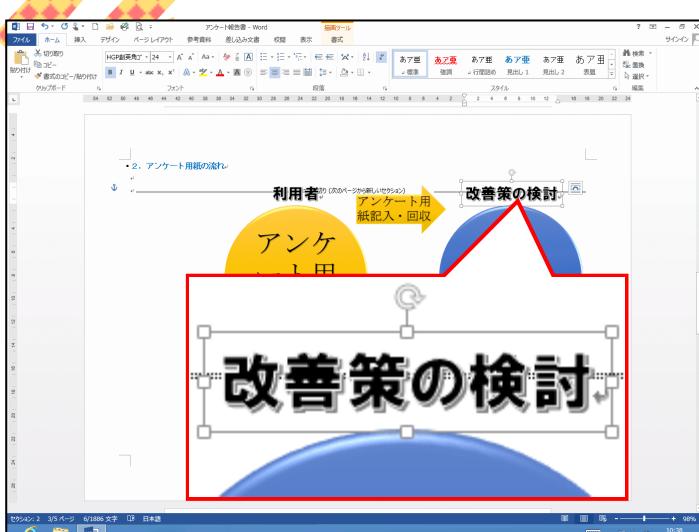


同様にして、3ページ2行目に次の条件で、下のようにワードアートを挿入します。

- ワードアートのスタイル：塗りつぶしー黒、文字1、輪郭ー背景1、影（ぼかしなし）ー背景1
- ワードアートの内容：改善策の検討
- フォント：HGP 創英角ゴシック UB
- フォントサイズ：24pt



以下の図を参考にワードアートを移動します。

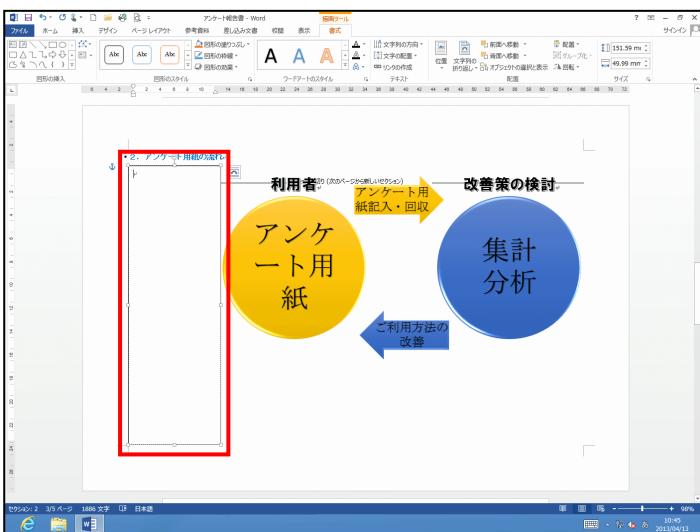


(2) 離れた場所に一連の文章を入力

ここでは、ワードⅡで学習したテキストボックスを2つ描き、それぞれにリンク（関連付け）を設定して、1つ目のテキストボックスから2つ目のテキストボックスに文章を流し込んでみましょう。

◎ 次の操作の準備として、テキストボックスを2つ描きましょう。

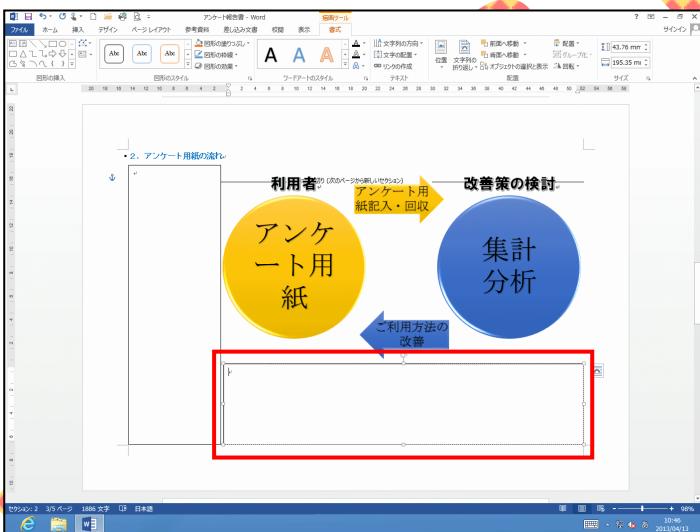
下の図を参考にテキストボックスを描きます。



● 「テキストボックスの作成方法」を忘れた方は、ワードⅡを参照してください。



下の図を参考にして、もう1つのテキストボックスを描いてみましょう。

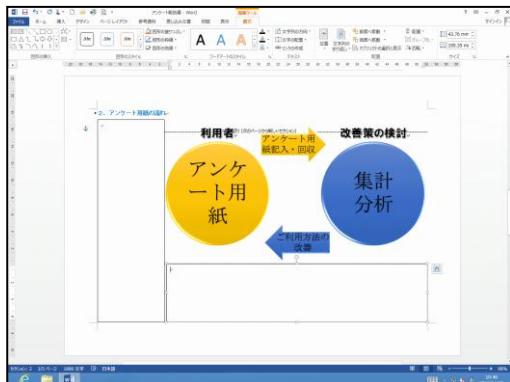


① テキストボックスに文字を追加

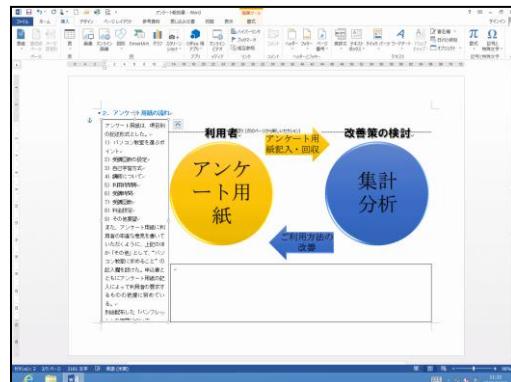
最初に描いた縦長のテキストボックスに、テキストファイル「アンケート概要」の内容を挿入してみましょう。

◆テキストボックスにテキストファイルを挿入する方法をマスターしましょう。

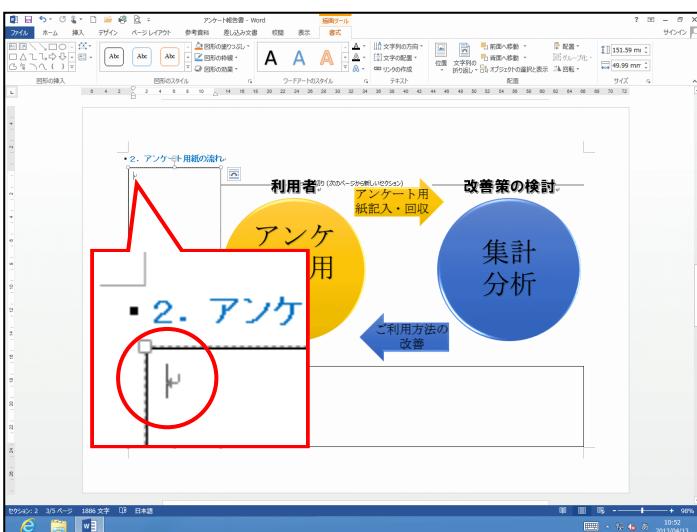
操作前



操作後

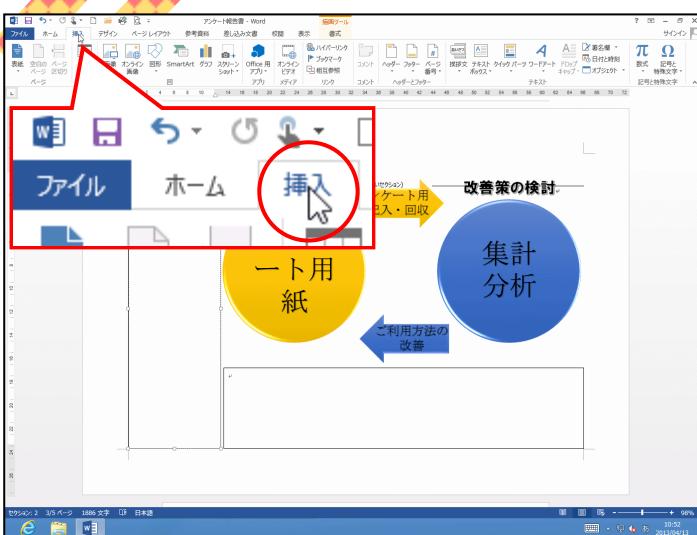


最初に描いた縦長テキストボックス内にカーソルを移動します。

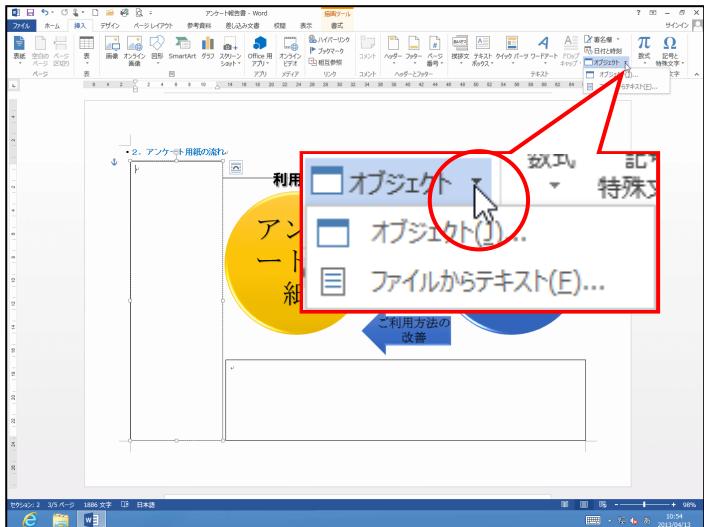


●テキストボックスの枠線の中をクリックすると、カーソルが中に表示されます。

[挿入] タブをクリックします。



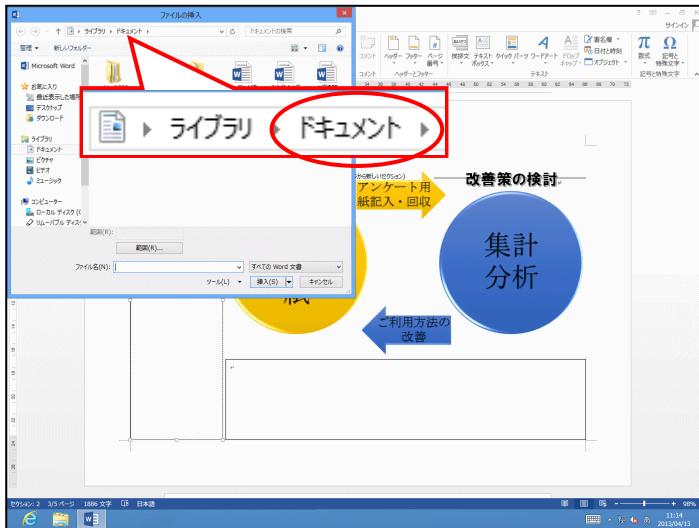
[テキスト] グループにある [オブジェクト] ボタンの▼をクリックします。



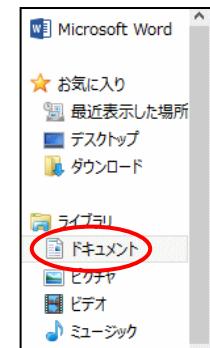
●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)

【参考】

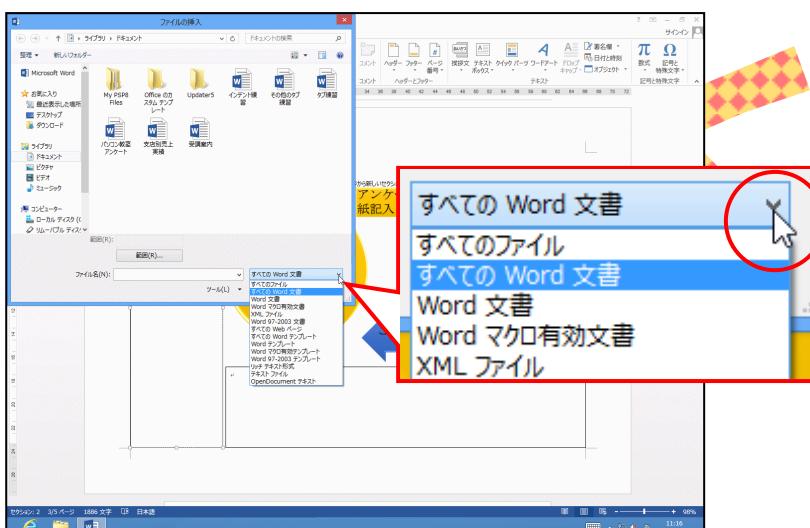
[ファイルの挿入] ダイアログボックスのファイルの場所が「ドキュメント」になっていることを確認します。



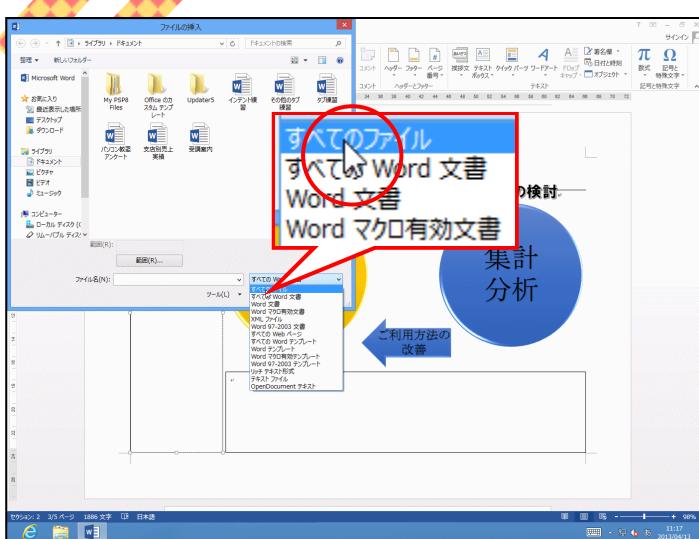
●ファイルの場所に「ドキュメント」が表示されていない方は、[ファイルの挿入] ダイアログボックスの左にある「ドキュメント」をクリックしてください。



[ファイルの挿入] ダイアログボックスの右下にある「すべての Word 文書」の右にある▼をクリックします。

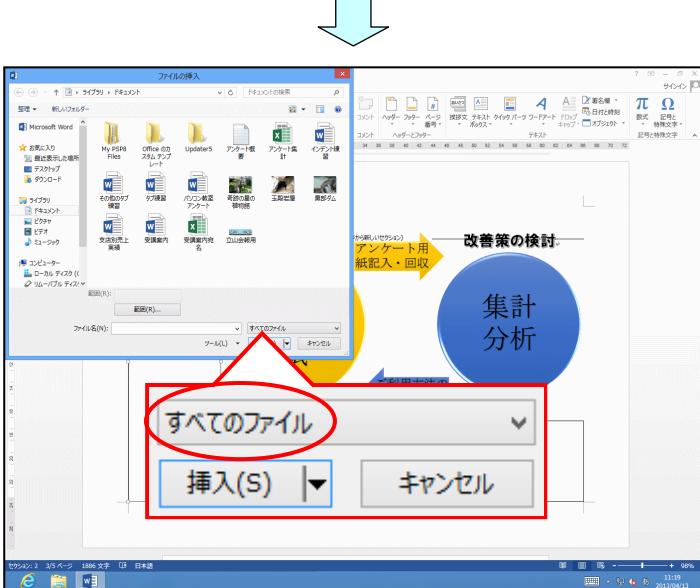


表示された一覧から「すべてのファイル」をクリックします。

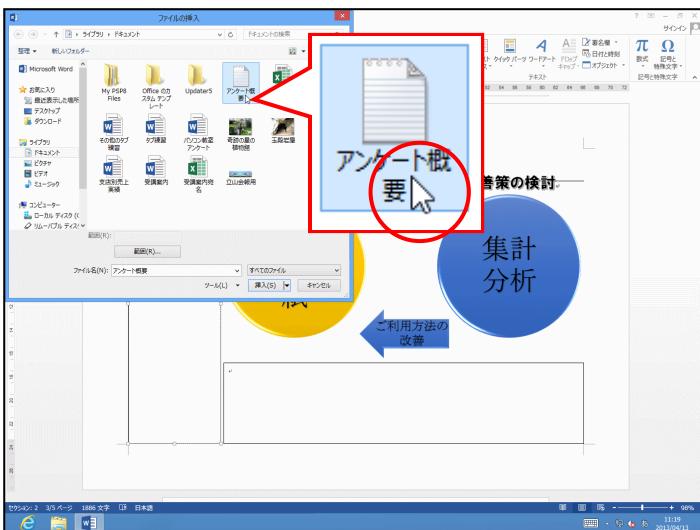


●挿入するファイルは、ワード文書ではなく、テキストデータ（文字データ）なので、ファイルの種類を変更しないと「アンケート概要」は表示されません。



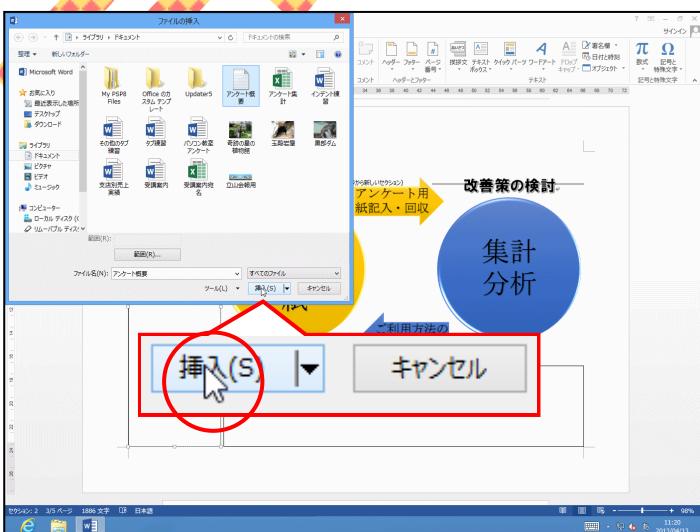


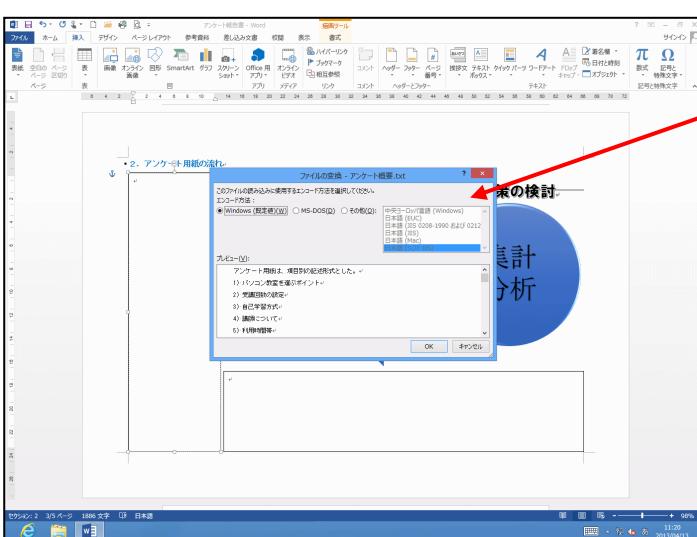
「アンケート概要」をクリックします。



● 「アンケート概要」をクリックすると、青く反転表示されます。

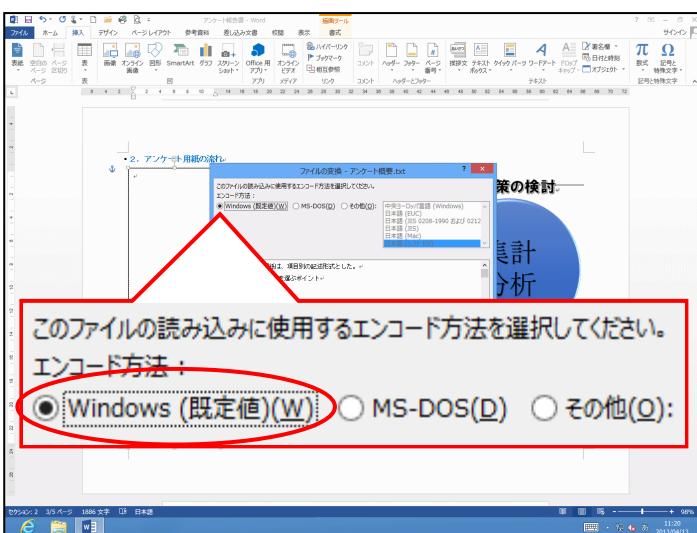
[ファイルの挿入] ダイアログボックスの右下にある [挿入(S)] ボタンをクリックします。





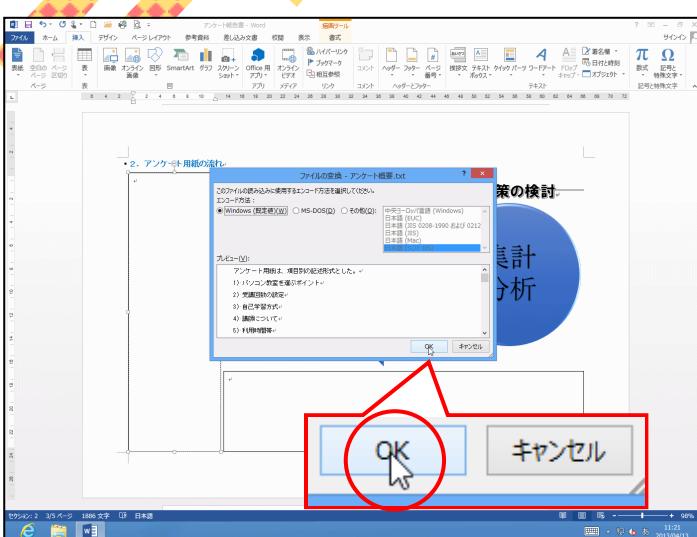
● [挿入(S)] ボタンをクリックすると、左のように [ファイルの変換] ダイアログボックスが表示されます。

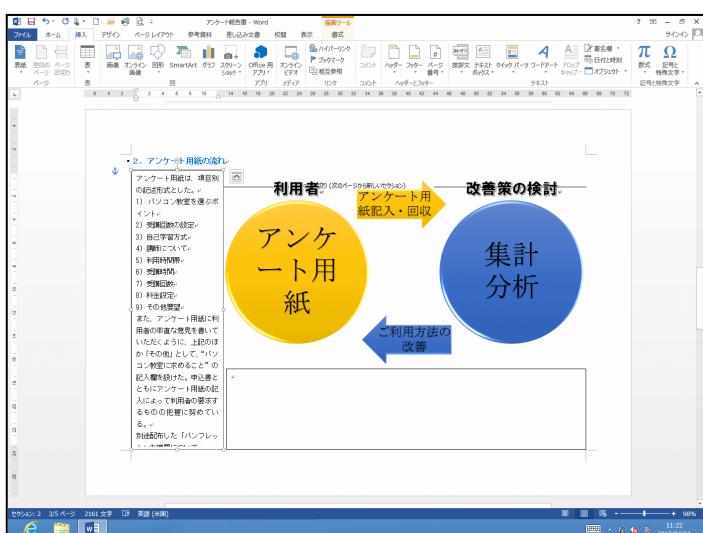
表示された [ファイルの変換] ダイアログボックスの「エンコード方法」で [Windows(既定値)(W)] が選択されていることを確認します。



エンコードについての補足説明 P227

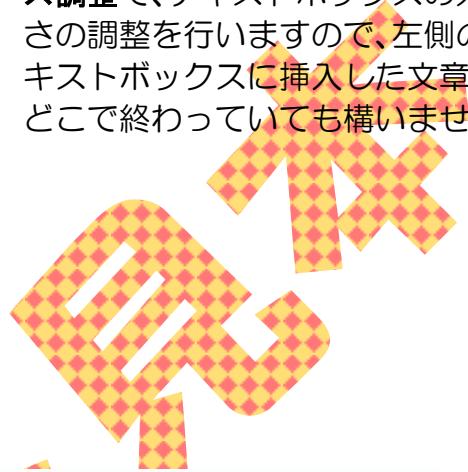
[ファイルの変換] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。





● [OK] ボタンをクリックした時
点で、「アンケート概要」のデータ
がカーソルを表示させたテキスト
ボックス内に表示されます。

● P80 ③ テキストボックスのサイ
ズ調整で、テキストボックスの大
きさの調整を行いますので、左側のテ
キストボックスに挿入した文章は、
どこで終わっていても構いません。

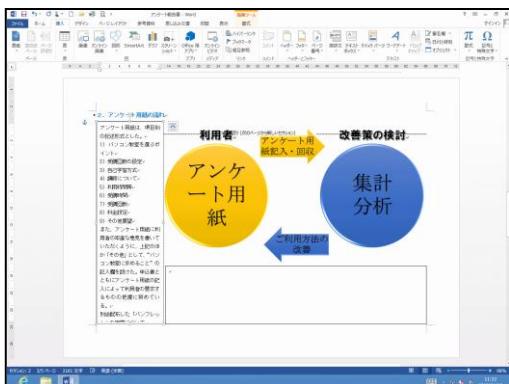


② テキストボックスにリンクを設定

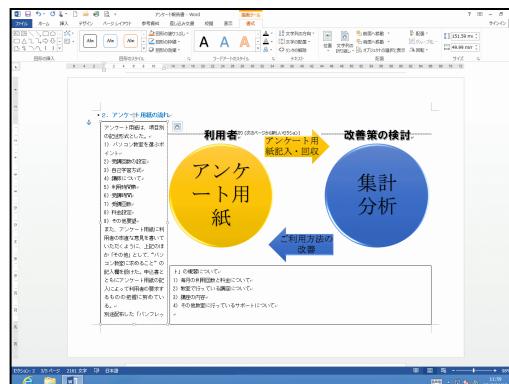
2つのテキストボックスの間にリンクを設定して、それぞれのテキストボックスに文章を流し込んでみましょう。

◆テキストボックスにリンクを設定する方法をマスターしましょう。

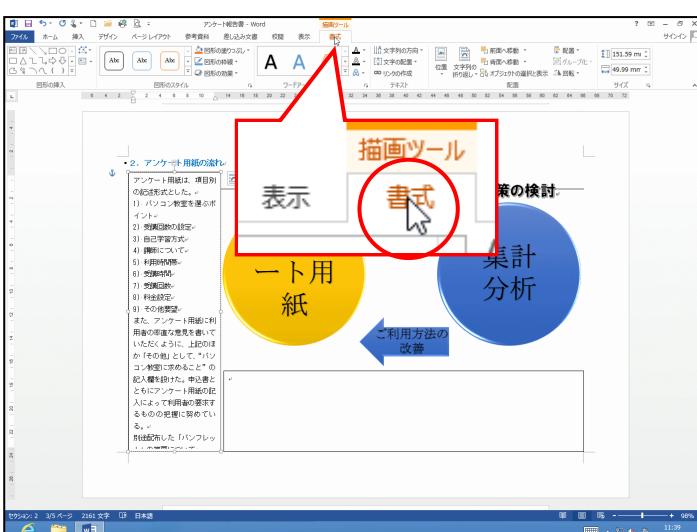
操作前



操作後



描画ツールの【書式】タブをクリックします。

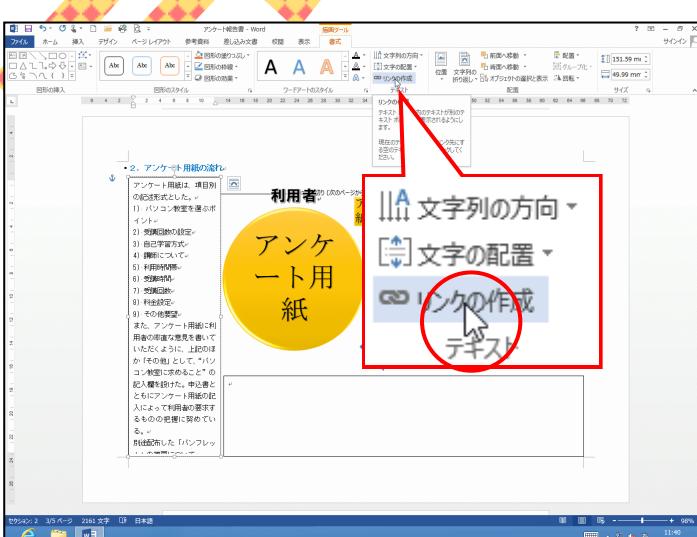


注意!

- 文章が挿入されているテキストボックスが選択されていることを確認してから操作してください。なお、テキストボックスが選択されていないと【書式】タブは表示されません。

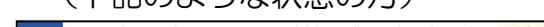


【テキスト】グループにある🔗リンクの作成【リンクの作成】ボタンをクリックします。

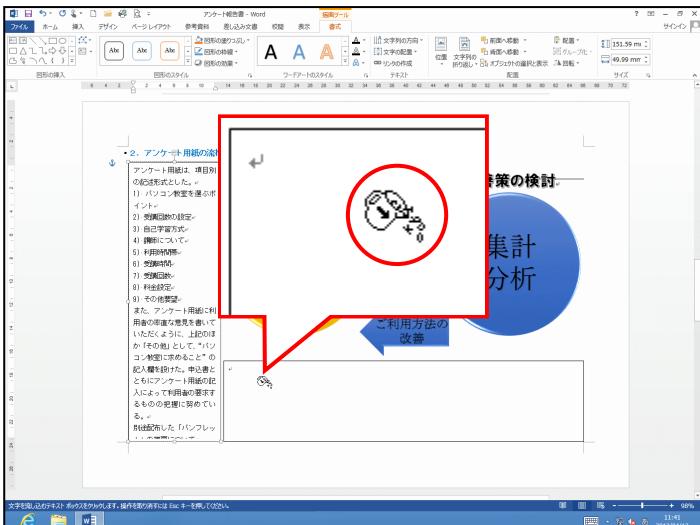


- 🔗 リンクの作成【リンクの作成】ボタンをクリックすると、マウスポインターが🔗の状態になります。

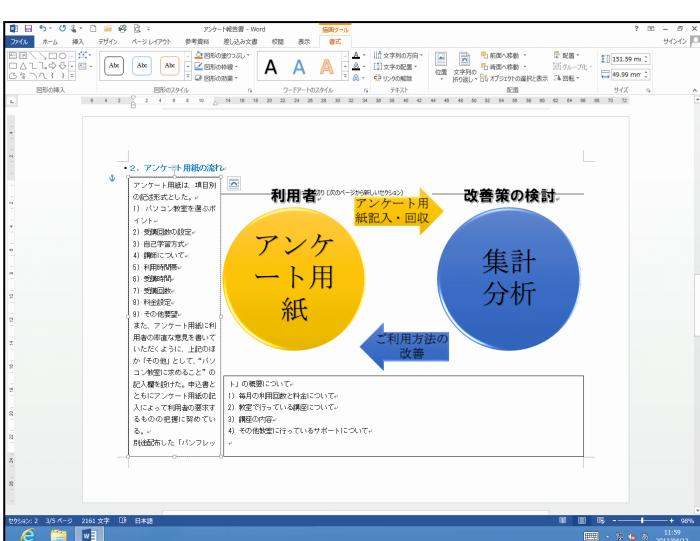
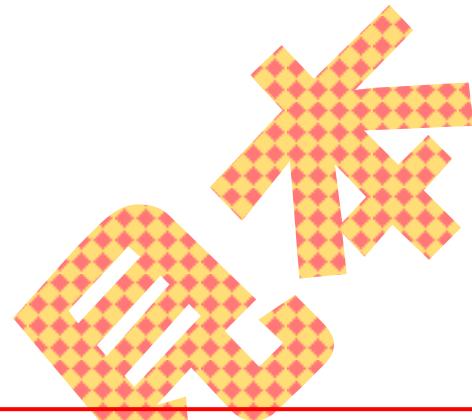
- リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)



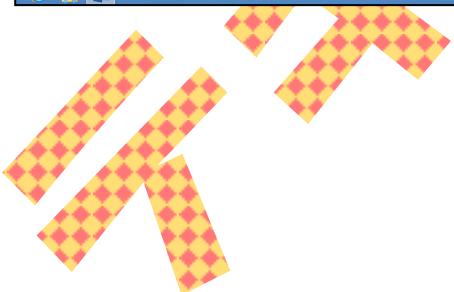
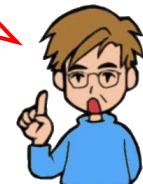
空のテキストボックスの中でマウスポインターが  になっていることを確認してクリックします。



● 空のテキストボックス内にマウスポインターを移動すると、マウスポインターが  の状態になります。



● マウスポインターが  の状態で、空のテキストボックス内でクリックすると、左のテキストボックスに入りきらなかった文章の続きを表示されます。



● P80 ③ テキストボックスのサイズ調整で、テキストボックスの大きさの調整を行いますので、右側のテキストボックスの文章は、どこから始まっていても構いません。

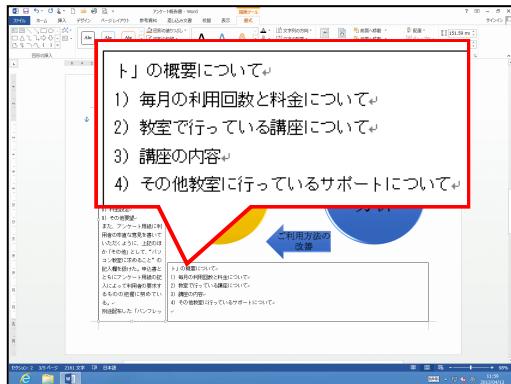
テキストボックスについての補足説明 P228

③ テキストボックスのサイズ調整

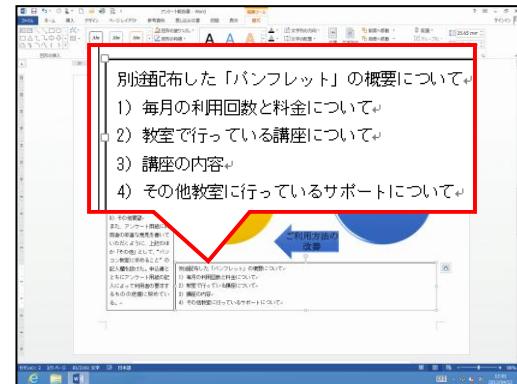
完成例(P47)を参考に、それぞれのテキストボックスのサイズを調整してみましょう。右側のテキストボックスには「別途配布した「パンフレット」の概要について」から始まるようにしてみましょう。

◆テキストボックスのサイズの調整方法をマスターしましょう。

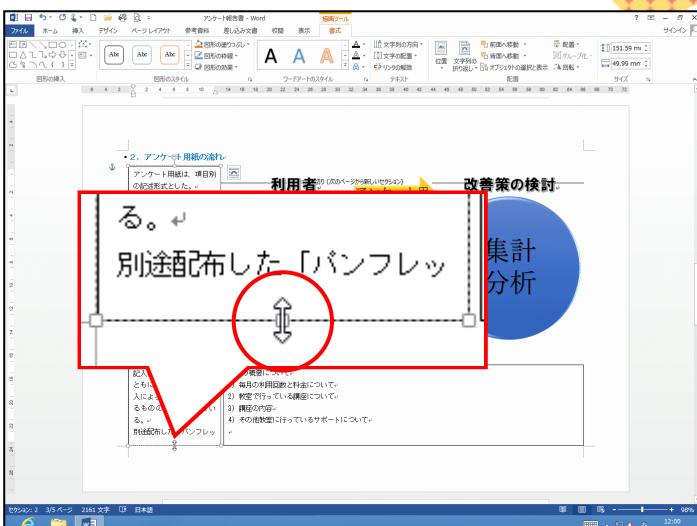
操作前



操作後

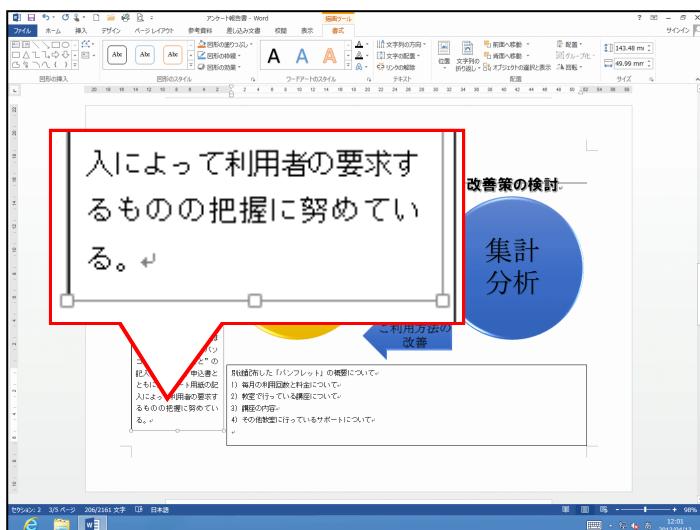


左側のテキストボックスを選択し、下中央に表示された □ (サイズ変更ハンドル) にポイントします。



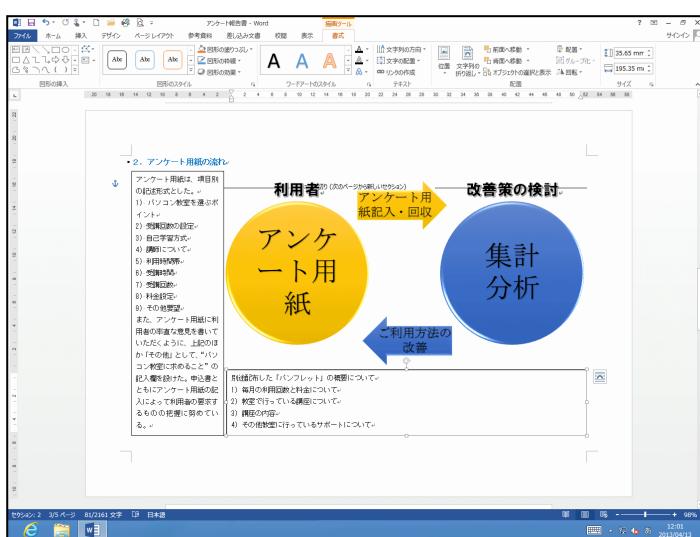
● □ (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが ↑ の状態になります。

ドラッグして大きさを調整します。



●上に約 1 行分ドラッグすると、左側のテキストボックスにあった文字が下側のテキストボックスに流れ込みます。
皆さんのパソコンが左と同じであるとは限りません。
左と同じように 1 つ目のテキストボックスの最後に「努めている。」が表示されるように大きさを調整します。

右側のテキストボックスも大きさを調整しておきましょう。

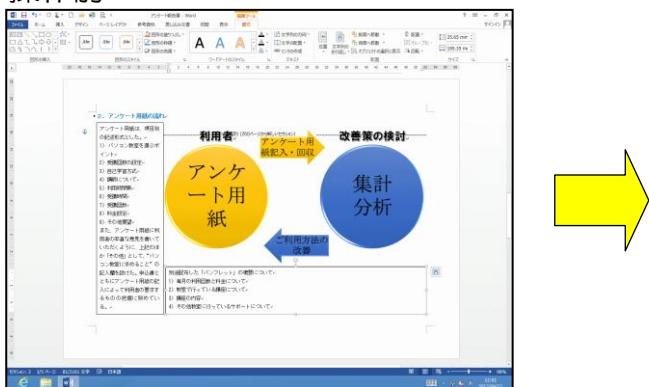


④ テキストボックスの書式を設定する

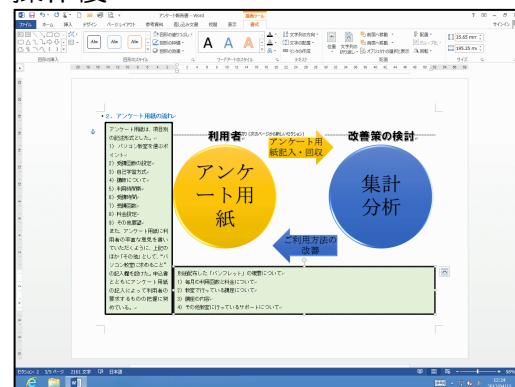
テキストボックスを「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」で塗りつぶし、枠線の種類を「3pt」に設定してみましょう。

◆テキストボックスの書式を設定する方法をマスターしましょう。

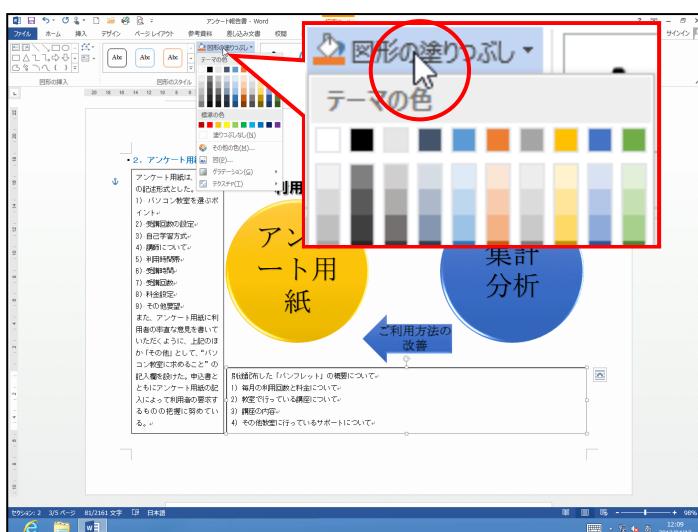
操作前



操作後



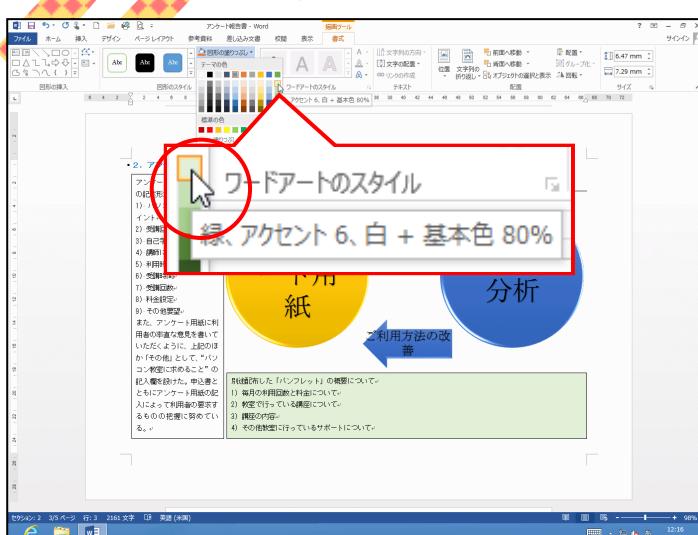
どちらかのテキストボックスが選択されていることを確認して【図形のスタイル】グループにある [図形の塗りつぶし]・[図形の塗りつぶし] ボタンをクリックします。



注意!
● [書式] タブが選択されている状態で操作してください。
なお、テキストボックスが選択されていないと [書式] タブは表示されません。



表示された色の一覧から「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」をクリックします。





●色の一覧から「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」をクリックすると、左のように選択したテキストボックスの色が「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」に変わります。

●色の一覧から「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」をクリックすると、左のように選択したテキストボックスの色が「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」に変わります。



同様にして、もう1つのテキストボックスにも「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」を設定します。



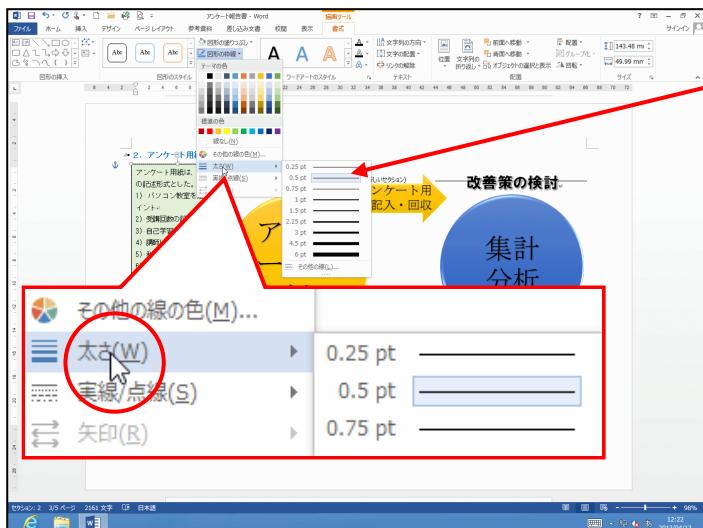
【図形のスタイル】グループにある [図形の枠線] - [図形の枠線] ボタンをクリックします。



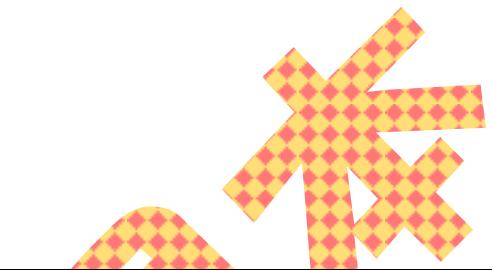
● [書式] タブが選択されている状態で操作してください。
なお、テキストボックスが選択されていないと [書式] タブは表示されません。



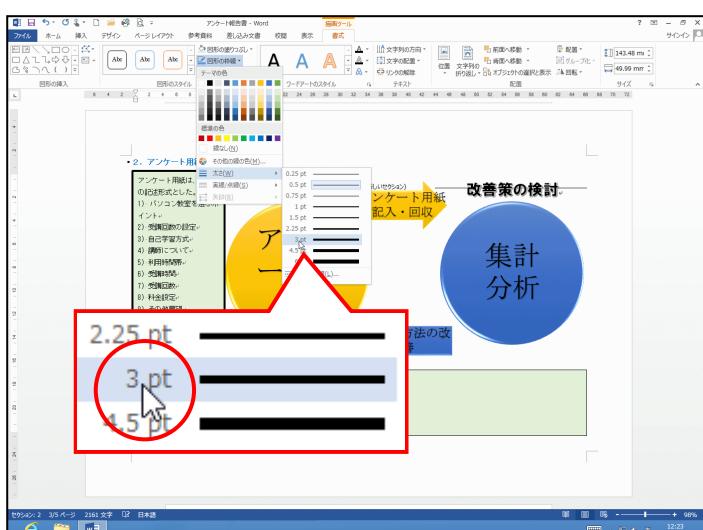
表示された一覧から「太さ(W)」にポイントします。



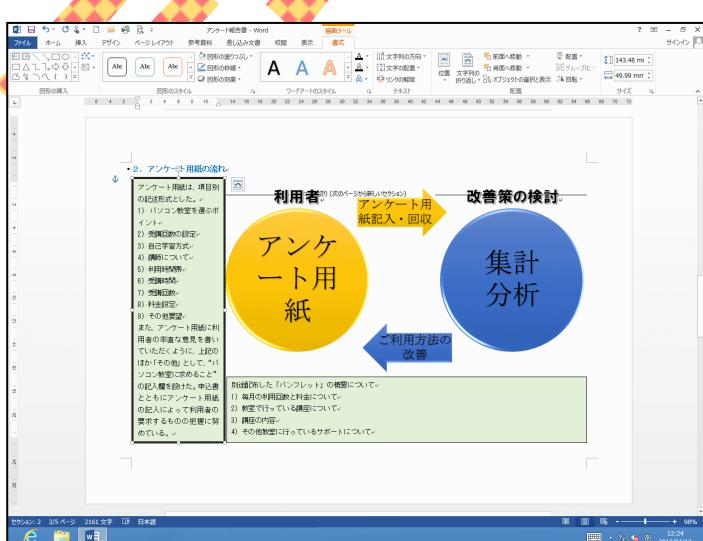
● [太さ(W)]にポイントすると、右側に線の太さの一覧が表示されます。



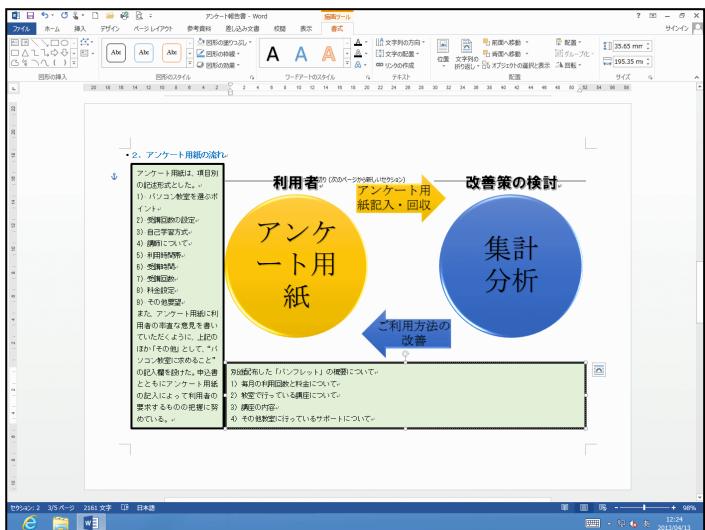
右側に表示されたの線の太さの一覧から「3pt」をクリックします。



● 線の太さの一覧から「3pt」をクリックすると、左のように選択したテキストボックスの線の太さが「3pt」に変わります。



同様にして、もう1つのテキストボックスの線の太さも「3pt」に設定します。

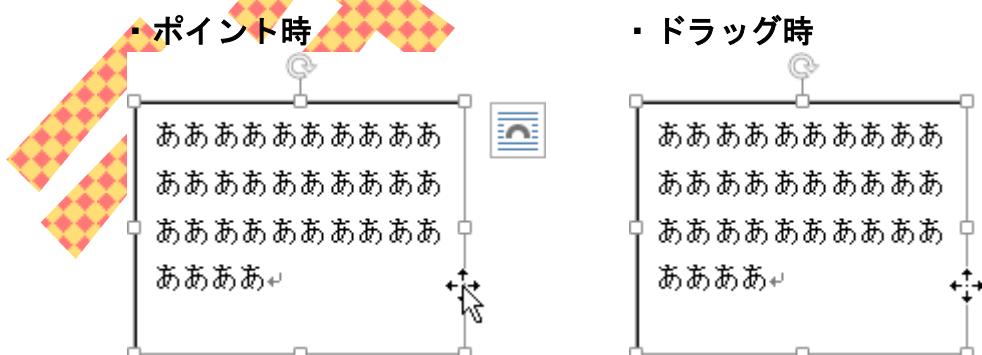


上書き保存をして「アンケート報告書」を閉じておきましょう。



■テキストボックスの移動

テキストボックスを移動するには、テキストボックスを選択して、表示された枠線上にポイントし、マウスポインターが の形でドラッグします。ドラッグ中のマウスポインターの形は、 になります。



☆☆ここまでくれば、練習問題1で理解度を試して下さい。☆☆

4. 長文作成機能

ここでは、長文を作成するときに便利なアウトラインの作成、アウトライン番号の設定、脚注の挿入および目次作成の機能について説明します。

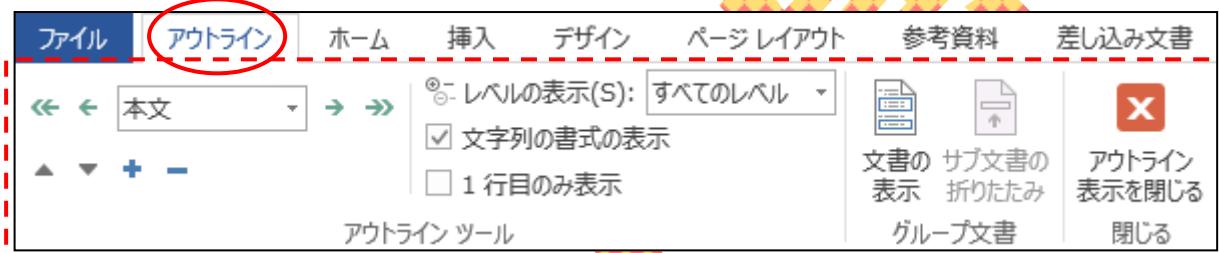
(1) アウトライン機能

アウトラインとは、文書の階層構造のことをいいます。アウトライン機能を使うと、文書に設定した見出しスタイルにしたがって文書の構成を確認したり、見出しレベルを変更したり、見出しに含まれる文書内容を効率的に移動したりして、まとめていくことができます。

アウトライン機能を使うには、画面の表示モードをアウトライン表示に切り替えます。

アウトライン表示に切り替えると、[ホーム] タブの左側に [アウトライン] タブが表示されます。

■ [アウトライン] タブ



■ アウトライン記号

アウトライン表示モードでは、段落ごとに「見出し」と「本文」が分かれて表示されます。見出しレベルには、レベルが9段階あり、見出し以外の段落は本文になります。アウトライン表示では、見出しや本文などの状態を示すアウトライン記号が表示されます。

アウトライン記号	意味
+	本文または下位見出しを持つ見出し
-	本文の下位見出しを持たない見出し
○	本文

これらのアウトライン記号をクリックすると、その見出しと下位にある見出しや本文がすべて選択されます。また、見出しの **+** をダブルクリックすると、下位見出しや本文の表示／非表示が切り替わります。

① アウトラインレベルとスタイル

アウトラインを作成するには、文書の表示モードを印刷レイアウト表示から**アウトライン表示**に切り替えて、各段落に「レベル1」～「レベル9」の「アウトラインレベル」を設定します。

アウトラインレベルを設定しない段落は「本文」として扱われ、アウトラインレベルを設定した段落には、自動的に「見出し1」～「見出し9」が設定されるようになっています。

④ 見出し1 → レベル1

○ この段落は見出し1の本文です。

④ 見出し2 → レベル2

○ この段落は見出し2の本文です。

④ 見出し3 → レベル3

○ この段落は見出し3の本文です。

本文

レベル1

レベル2

レベル3

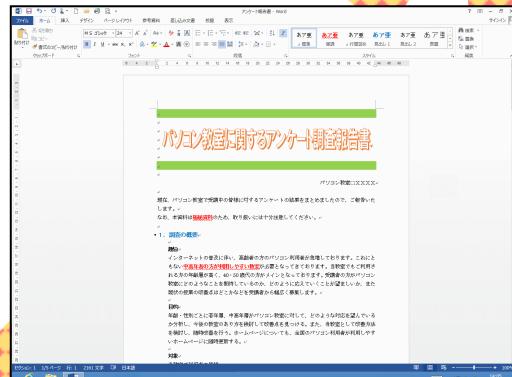
② アウトライン表示に切り替える

①でも説明しましたが、アウトラインを設定するには表示モードをアウトライン表示に切り替えて行います。

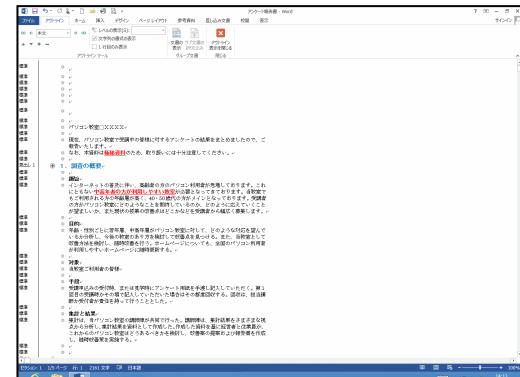
アウトライン表示に切り替えるには、次のように操作します。

◆ アウトライン表示に切り替える方法をマスターしましょう。

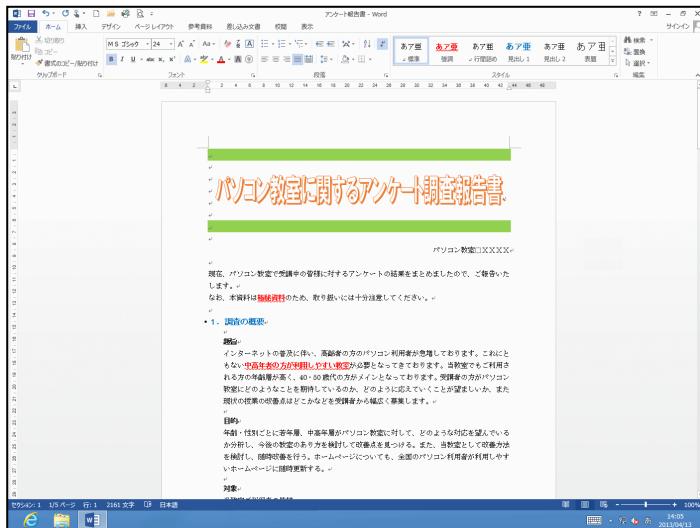
操作前



操作後

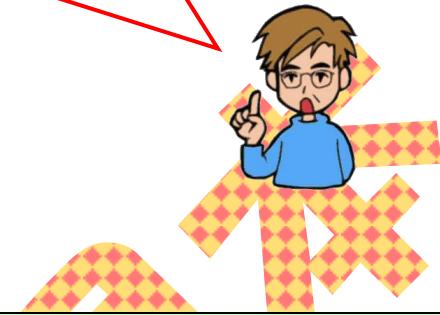


リムーバブルディスクに保存した「アンケート報告書」を開きます。

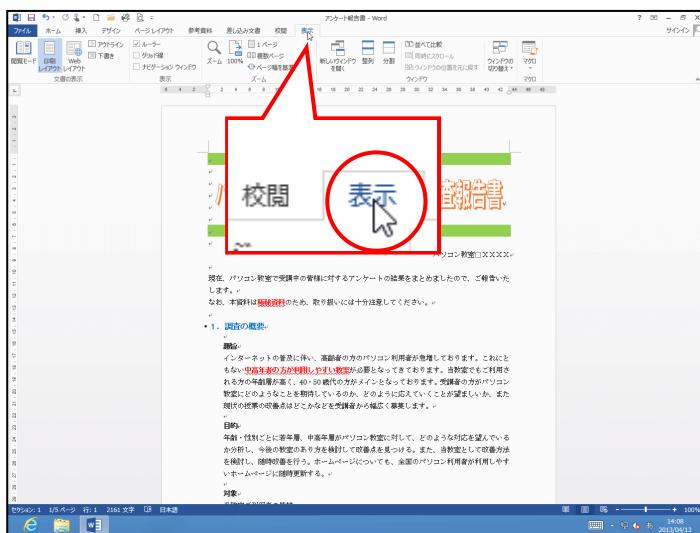


● 「アンケート報告書」を開いたときに表示倍率が 100%にならない方は、100%に切り替えてください。

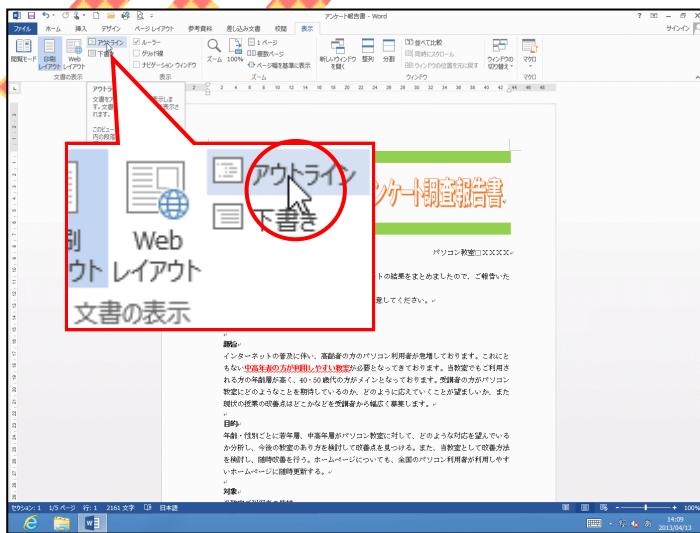
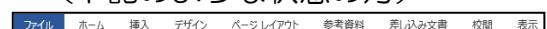
「表示倍率を 100%にする方法」を忘れた方は、P46 を参照してください。

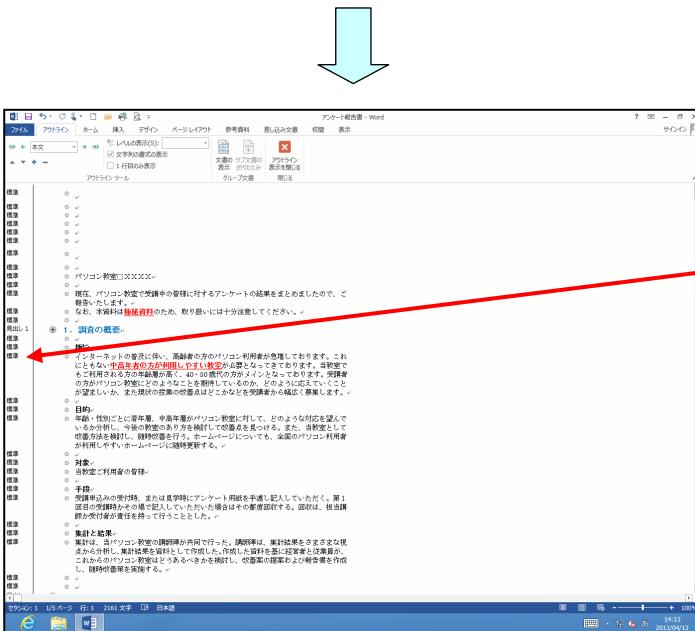


[表示] タブをクリックします。



● リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)





●左の図のようにスタイル名が表示されていない方は、**P226 スタイル名の表示領域**を参照してください。
左の図は、スタイル名の表示領域を「15mm」に設定しています。



③ アウトラインを設定する

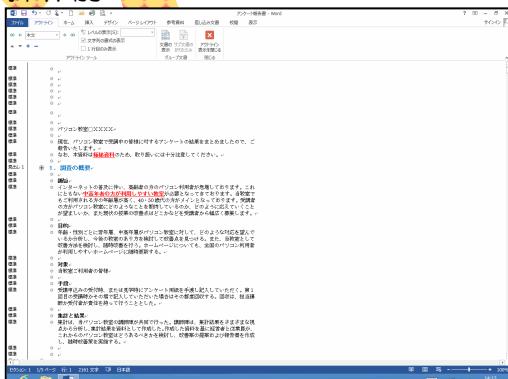
見出しレベルは、マウスのドラッグ操作で簡単に変更することができます。

また、【アウトライン】タブの【アウトライン ツール】グループにあるボタンを使って変更することもできます。

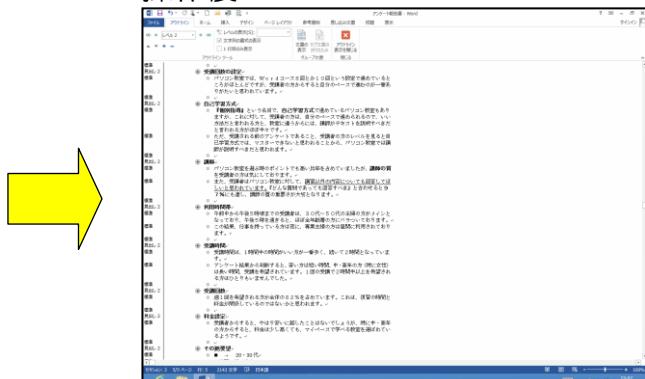
ボタン	意味
←	見出し1に変更
↑	レベル上げ
↓	レベル下げ
→	標準文字列
▲	1つ上のレベルへ移動
▼	1つ下のレベルへ移動

◆アウトラインを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



「1. 調査の概要」の段落にカーソルを移動します。

●段落内であれば、どこにカーソルが
あっても構いません。

本

「アウトライン ツール」グループにある「アウトライン レベル」ボックスに「レベル1」が表示されていることを確認します。

●見出し1に設定された段落は、アウ
トラインレベルが「レベル1」に
設定されています。

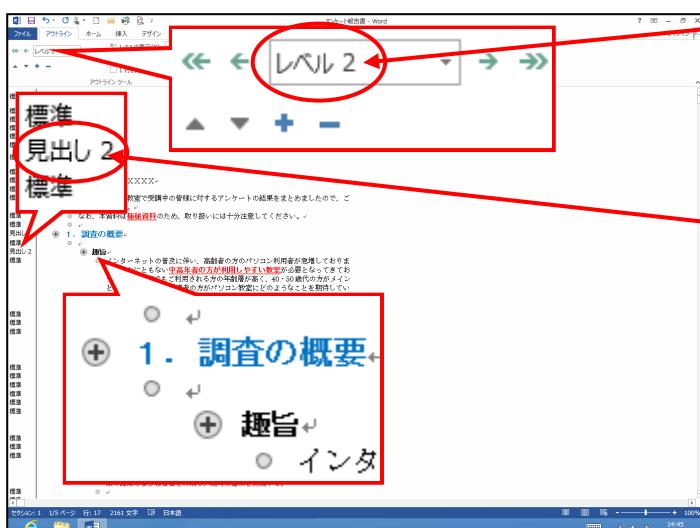
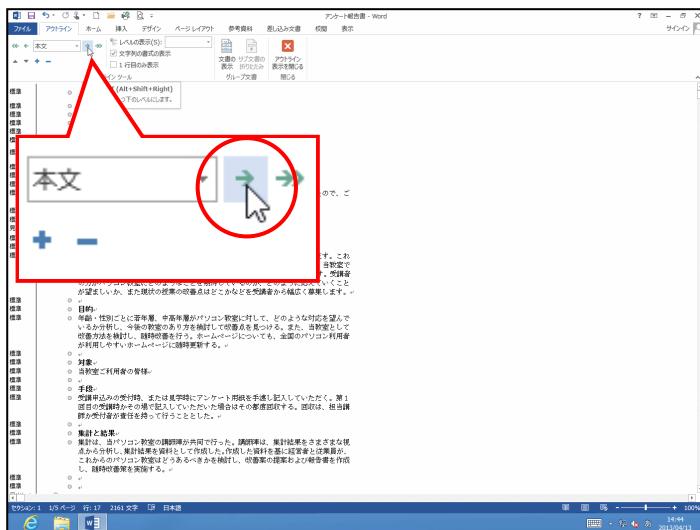
●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)



「1. 調査の概要」の下にある「趣旨」の段落にカーソルを移動します。

●調整の概要」の下にある「趣旨」の段落にカーソルを移動します。

[アウトライン ツール] グループにある → [レベル下げ] ボタンをクリックします。

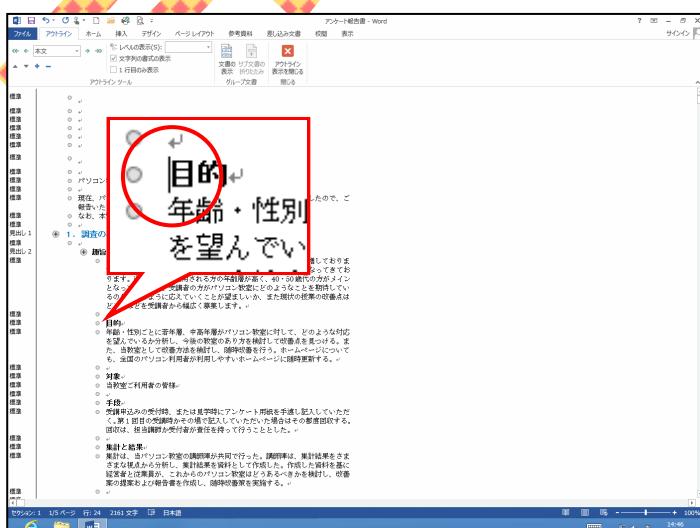


● → [レベル下げ] ボタンをクリックすると、アウトラインレベルが「本文」から「レベル2」に変わります。

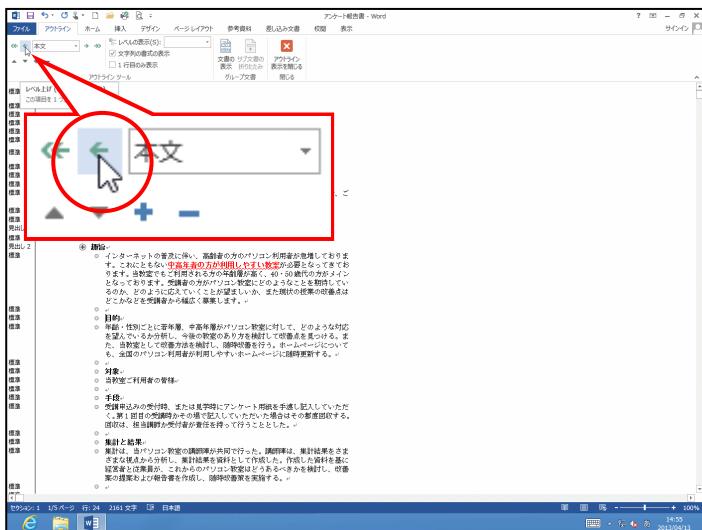
● 「レベル2」に設定されたことでスタイル名の表示領域が「見出し2」に変わります。

● この文書は、「本文」の上のレベルが「レベル1」に設定されています。そのため → [レベル下げ] ボタンをクリックすると、「レベル1」の下のレベル、つまり「レベル2」が設定されます。

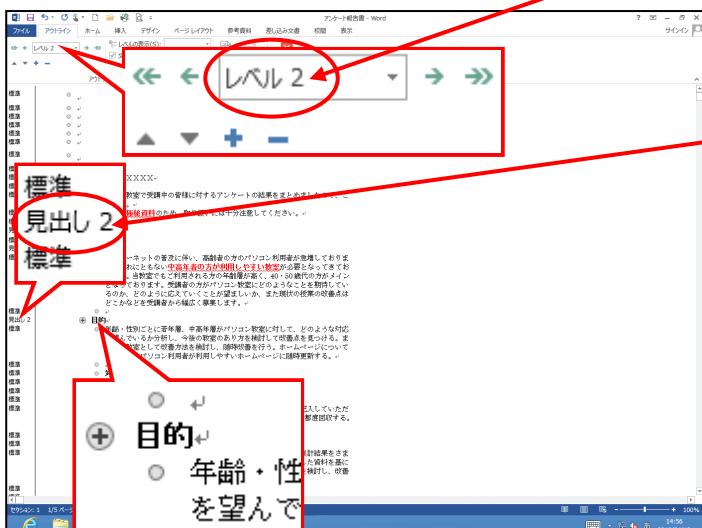
「趣旨」の下にある「目的」の段落にカーソルを移動します。



[アウトライン ツール] グループにある ← [レベル上げ] ボタンをクリックします。



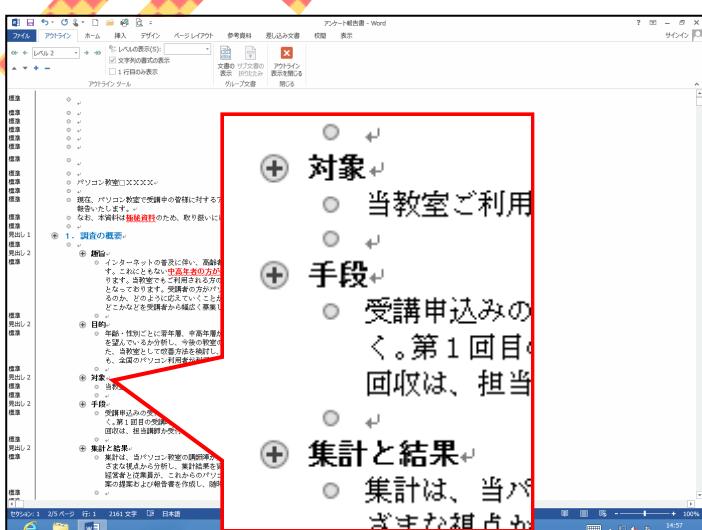
- ← [レベル上げ] ボタンをクリックすると、アウトラインレベルが「本文」から「レベル2」に変わります。



- 「レベル2」に設定されたことでスタイル名の表示領域が「見出し2」に変わります。

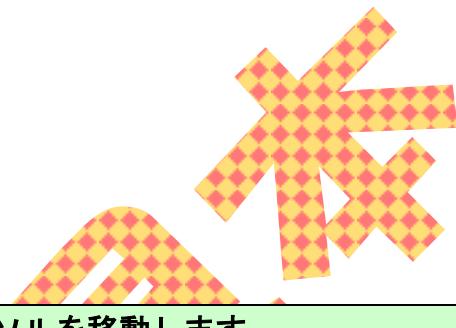
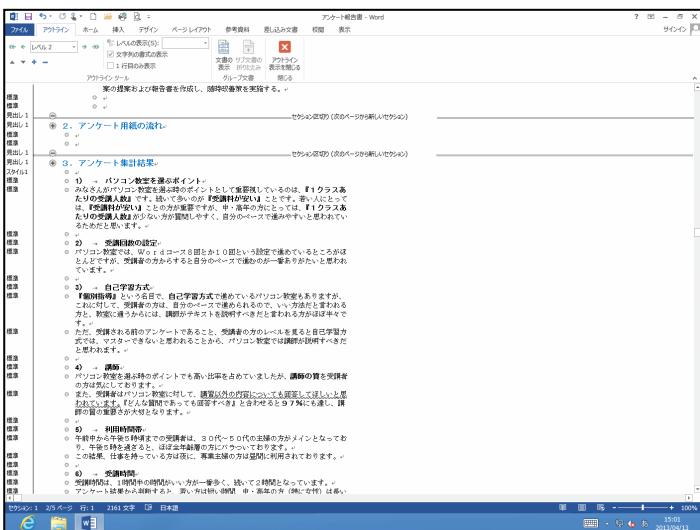
- 直前の操作で、「趣旨」を「レベル2」に設定したことにより、この文書は、「本文」の上のレベルが「レベル2」に設定されています。そのため ← [レベル上げ] ボタンをクリックすると、「本文」の上のレベル、つまり「レベル2」が設定されます。

「対象」、「手段」、「集計と結果」の段落も同様にして、← [レベル上げ] ボタンをクリックし、「レベル2」に設定します。

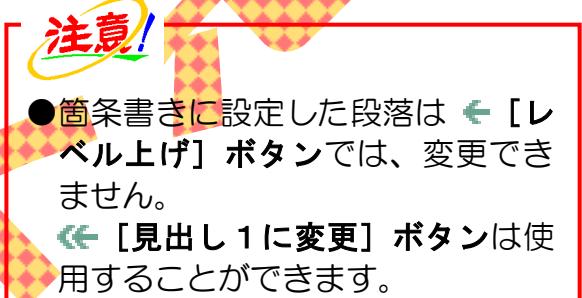
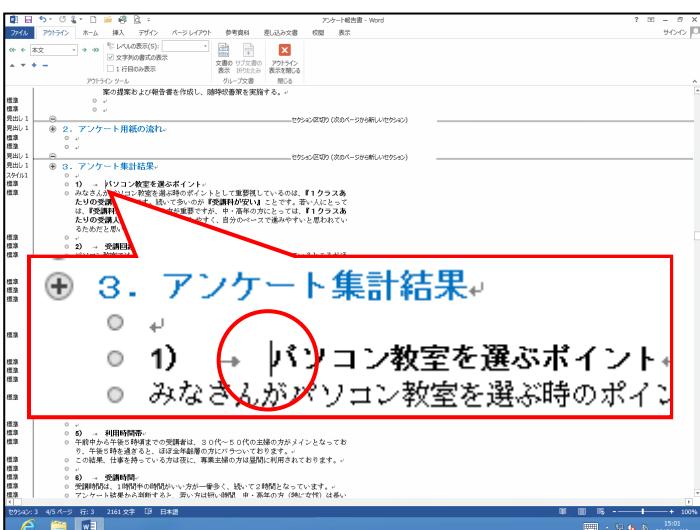


4ページ目は別の方でレベルを設定してみましょう。

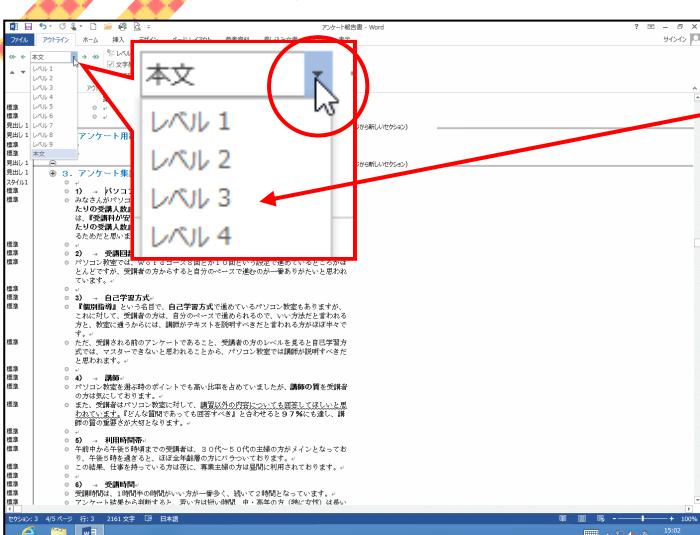
画面をスクロールして4ページ目（3. アンケート集計結果のページ）を表示します。



「1) パソコン教室を選ぶポイント」の段落にカーソルを移動します。

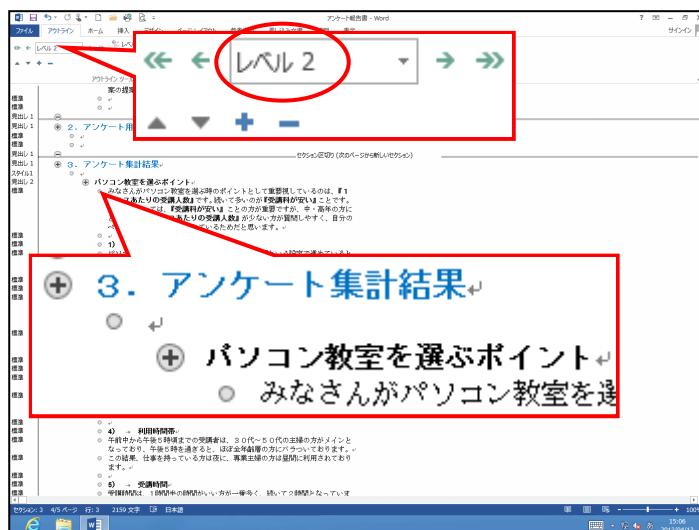


[アウトライン ツール] グループにある [アウトライン レベル] ボックスの右にある▼をクリックします。



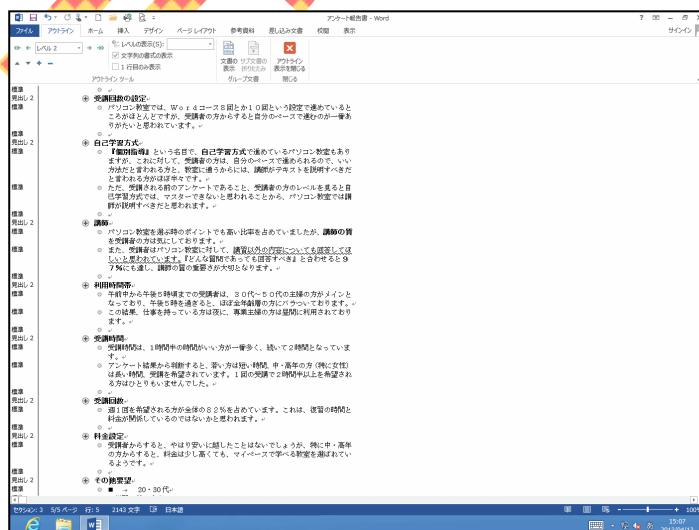
● [アウトライン レベル] ボックスの▼をクリックすると、左のようにレベルの一覧が表示されます。

表示された一覧から「レベル2」をクリックします。



●「レベル2」をクリックした時点で、箇条書きの設定が解除されます。

同様にして、「受講回数の設定」～「その他要望」の箇条書き部分についても「レベル2」に設定します。



● [F4] キーは使用できません。

余裕があれば読んでね

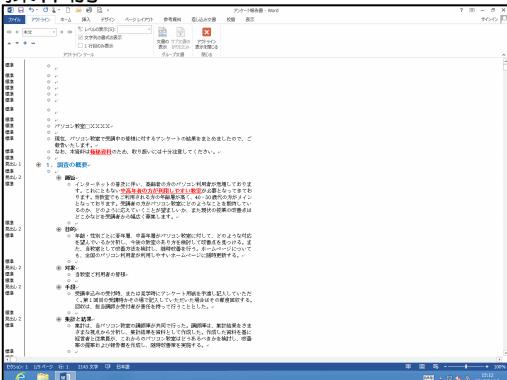
● [F4] キーには、直前に行った操作を繰り返すという機能があります。

④ アウトライントラックの範囲選択方法

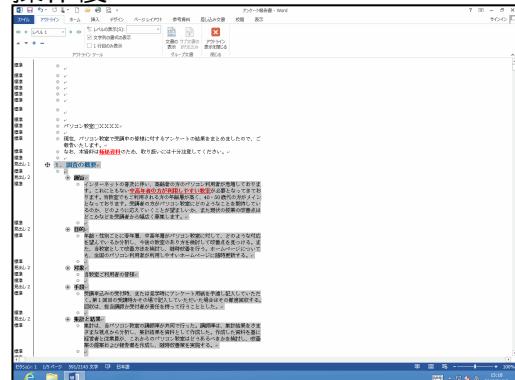
ここでは、アウトライン表示された場合の範囲選択の方法について説明します。

◆アウトラインの選択方法をマスターしましょう。

操作前

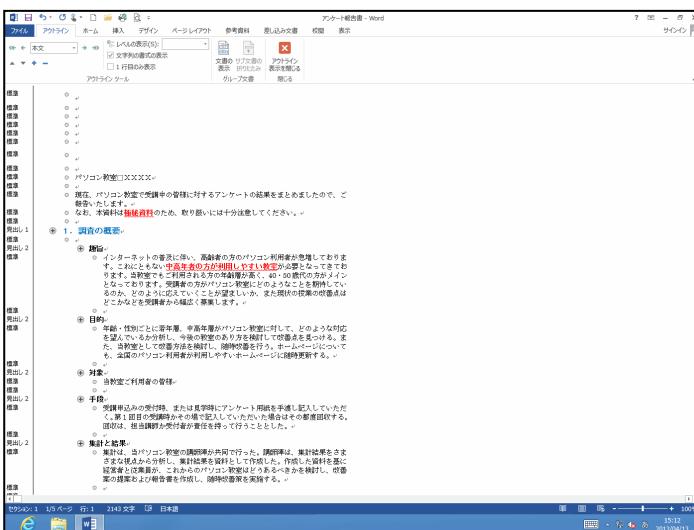


操作後

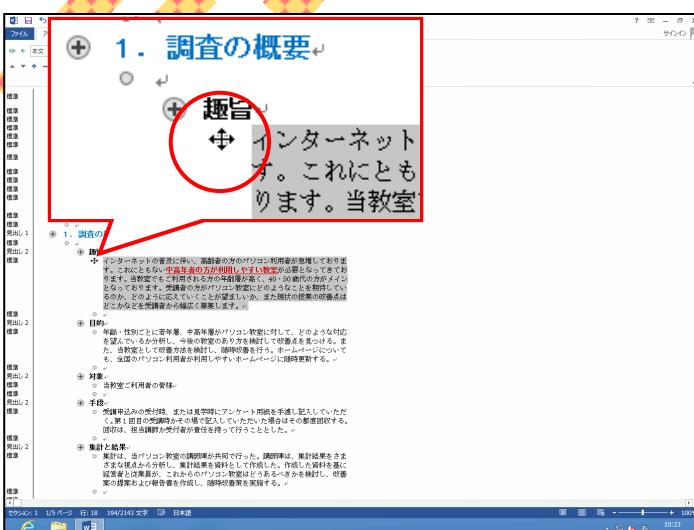


■本分のみ選択

先頭ページが表示されるようにスクロールします。



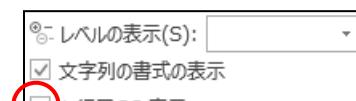
18行目（インターネットの普及に）の前にある ● (アウトライン記号) にポイントし、マウスポインターが ✎ の状態でクリックします。



- ● (アウトライン記号) にポイントすると、マウスポインターが ✎ の状態になります。
- (アウトライン記号) をクリックすると、レベルが「本文」に設定された段落のみ選択されます。

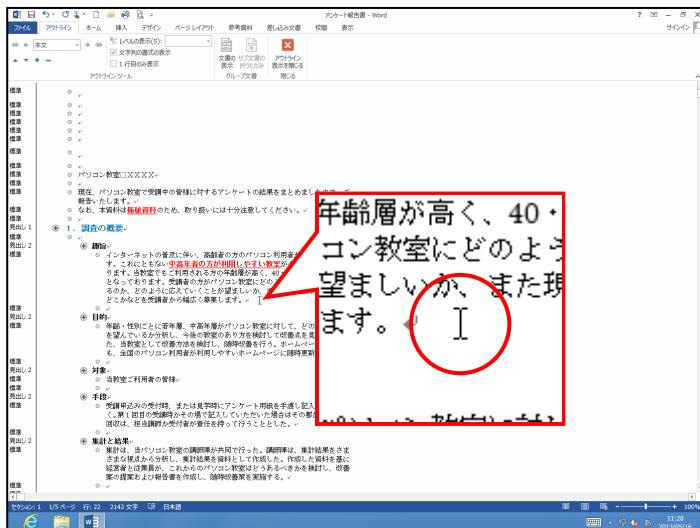


- 本文が1行しか表示されていない場合は、[アウトラインツール] グループにある [1行目のみ表示] のチェックボックスをオフにします。

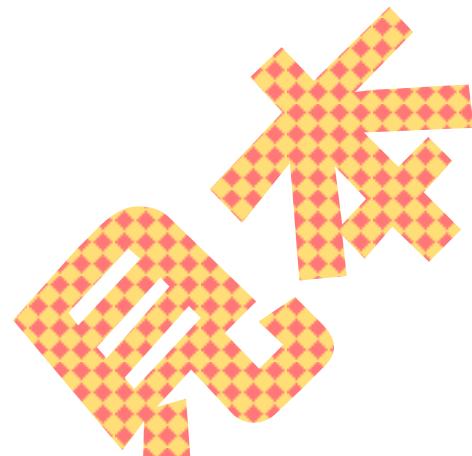


■選択の解除

マウスポインターが  の形になるところでクリックします。

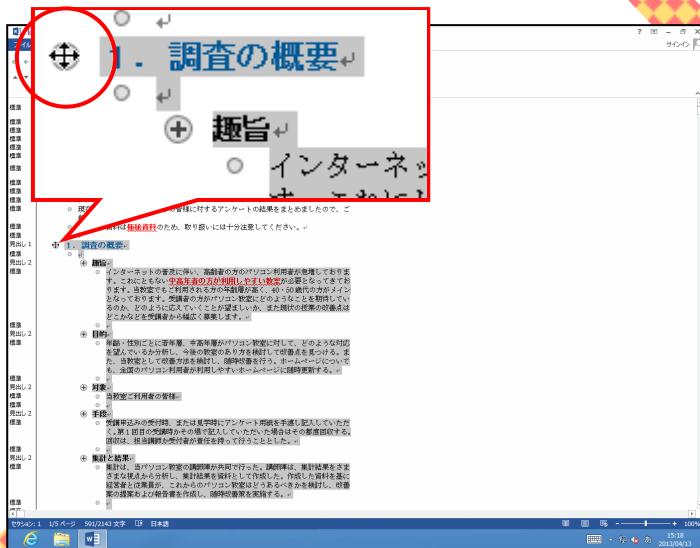


●マウスポインターの形が  なるところでクリックしても、同じように選択が解除されます。



■見出し1を選択

15行目（1. 調査の概要）の前にある  (アウトライン記号) にポイントし、マウスポインターが  の状態でクリックします。



●見出し1のアウトライン記号をクリックすると、見出し1に含まれる見出しとその本文がすべて選択されます。

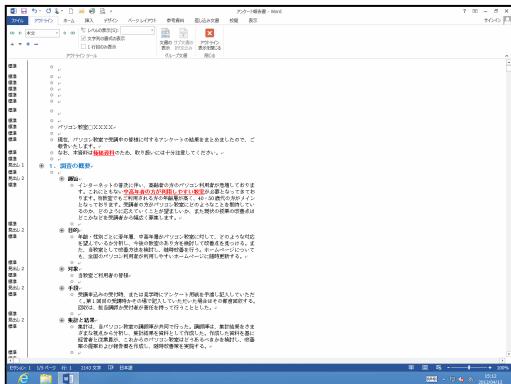
次の操作のために選択を解除しておきましょう。

⑤ アウトライン表示の切り替え方法

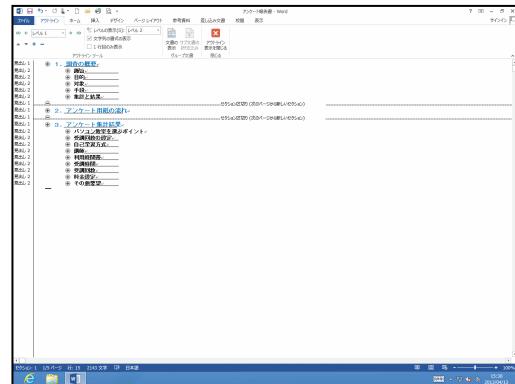
[アウトライン ツール] グループにある [レベルの表示(S):] ボックスを利用すると、表示するアウトラインレベルを指定して折りたたんだり、展開したりすることができます。ここでは、表示を切り替えて文書のアウトラインを確認してみましょう。

◆アウトライン表示の切り替え方法をマスターしましょう。

操作前

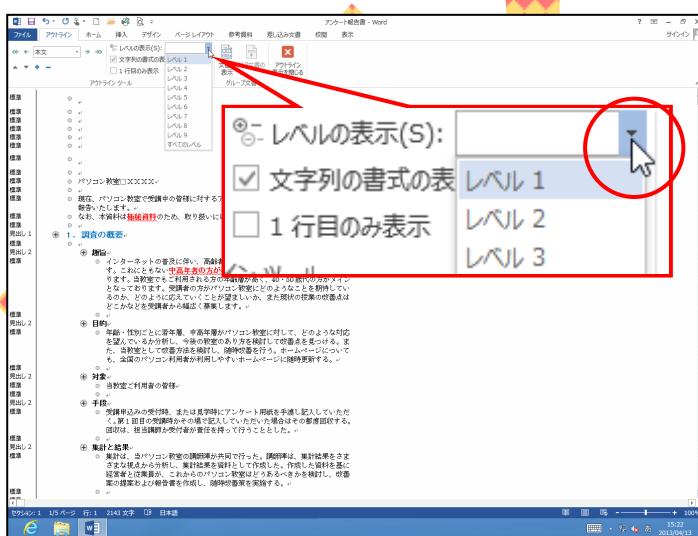


操作後



■見出し 1 レベルを表示する

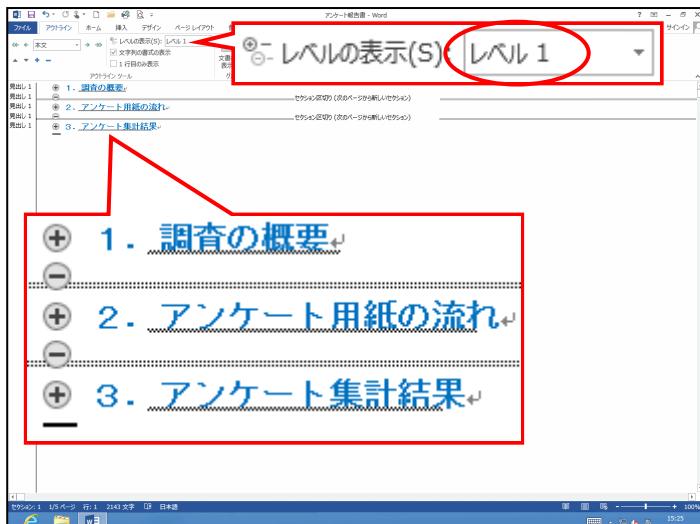
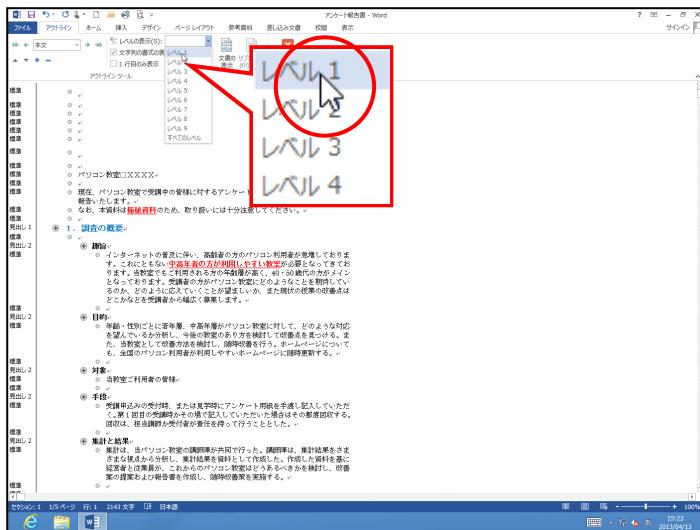
[アウトライン ツール] グループにある [レベルの表示(S):] ボックスの右側にある▼をクリックします。



● [レベルの表示(S):] ボックスの▼をクリックすると、左のようにレベルの一覧が表示されます。

● カーソルはどこにあっても構いません。

表示されたレベルの一覧から「レベル1」をクリックします。



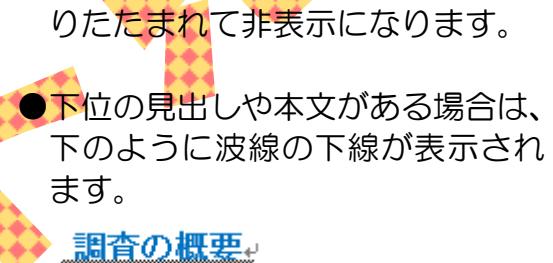
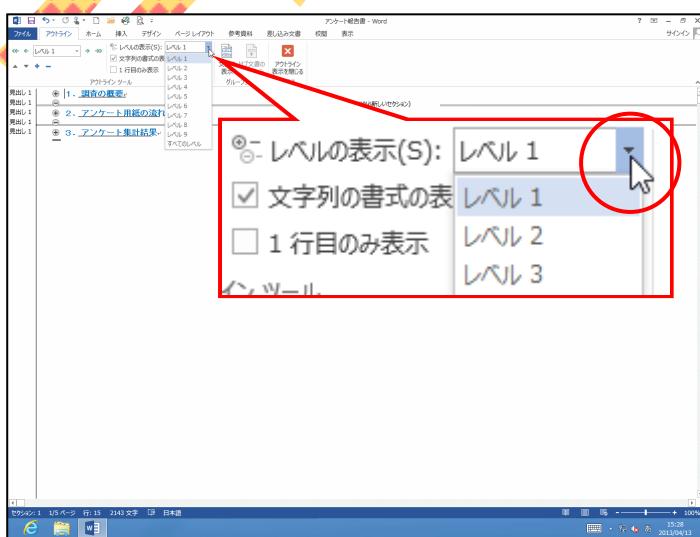
●「レベル1」をクリックすると、
レベル2以降のアウトラインが折
りたたまれて非表示になります。

●下位の見出しや本文がある場合は、
下のように波線の下線が表示され
ます。

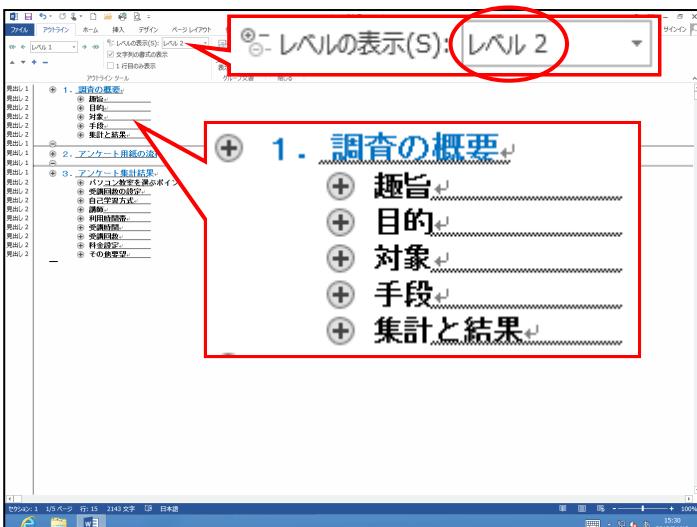
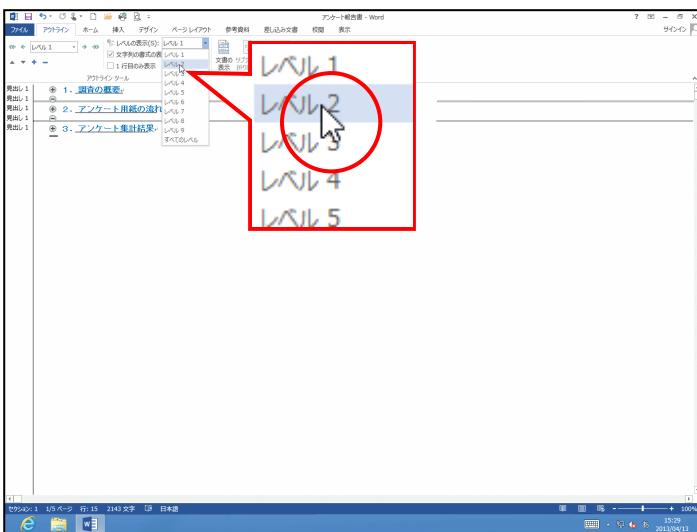
調査の概要

■見出し2レベルを表示する

[レベルの表示(S):] ボックスの右にある▼をクリックします。



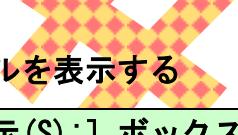
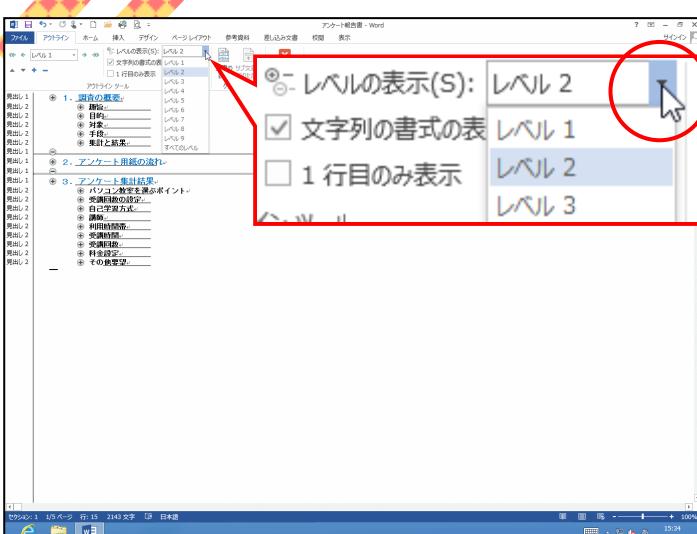
表示されたレベルの一覧から「レベル2」をクリックします。



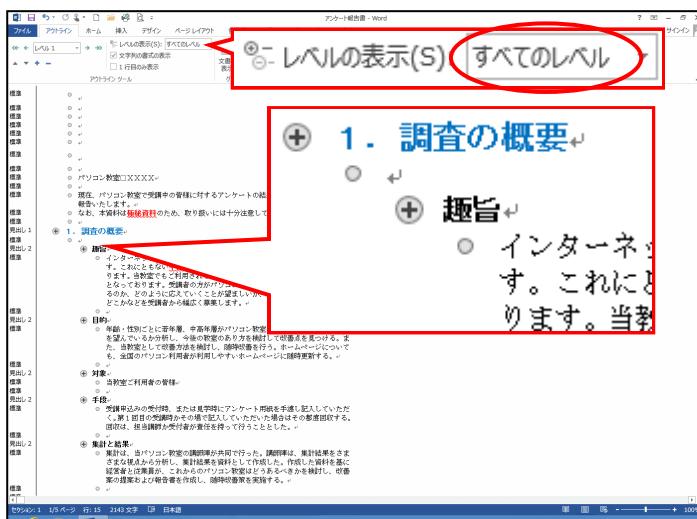
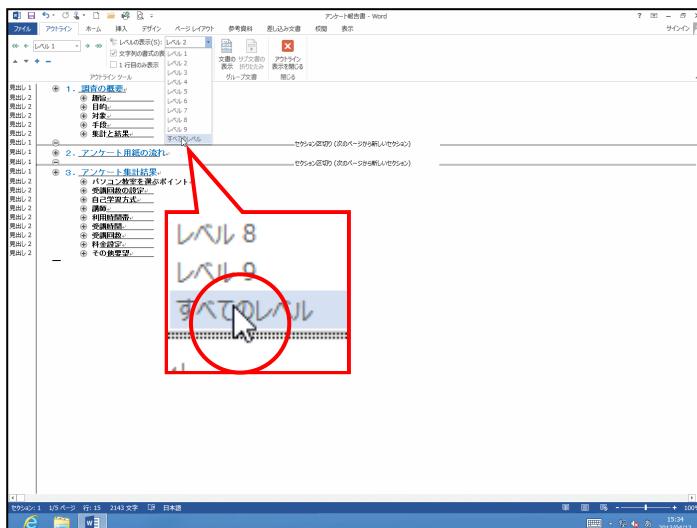
● 「レベル2」をクリックすると、レベル1とレベル2が表示されます。

■すべてのレベルを表示する

[レベルの表示(S):] ボックスの右にある▼をクリックします。



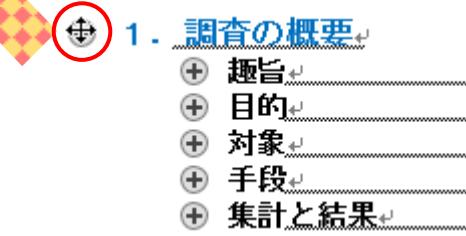
表示されたレベルの一覧から「すべてのレベル」をクリックします。



- 「すべてのレベル」をクリックすると、見出しおよび本文がすべて表示されます。

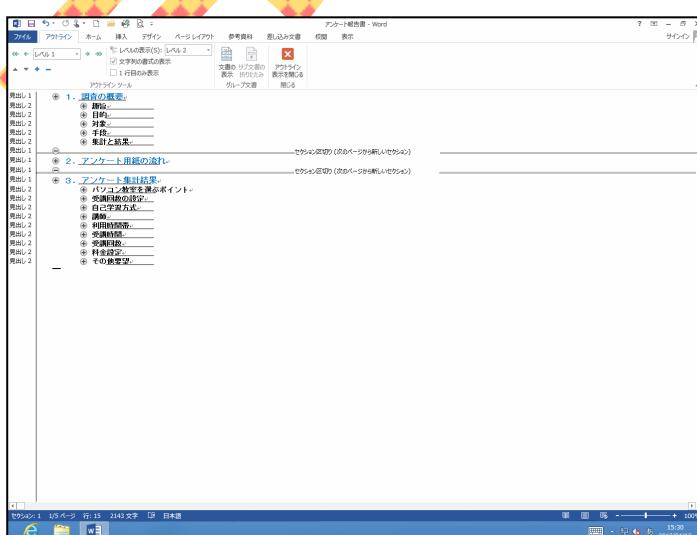
余裕があれば読んでね

- 見出しの左に表示された + をダブルクリックしても、下位の見出しが展開することができます。



その他の展開と折りたたみ方法 P228

次の操作のために、下のように「見出しレベル 2」を表示しておきましょう。



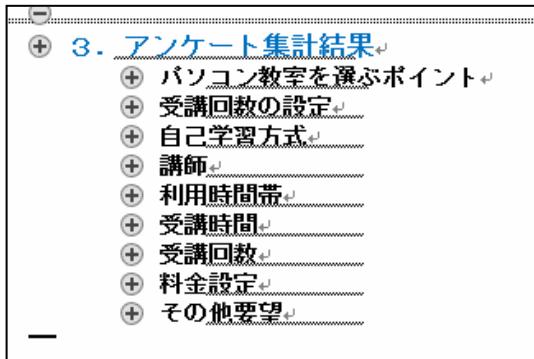
⑥ 見出しの移動

見出しを移動してアウトラインを変更することができます。アウトラインを移動すると、下位の見出しや本文も含めて変更されるので、その見出しに含まれる文章が長い場合は効率よく編集作業を行うことができます。

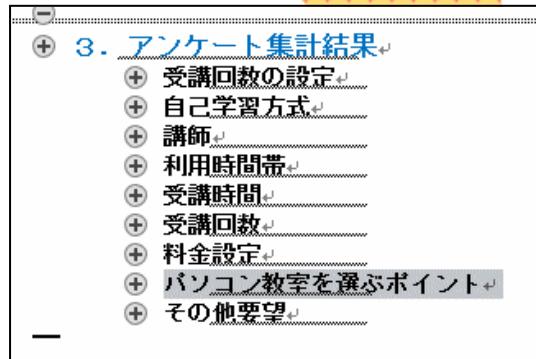
4 ページ目にある「パソコン教室を選ぶポイント」を「料金設定」の後ろに移動してみましょう。

◆見出しの移動方法をマスターしましょう。

操作前

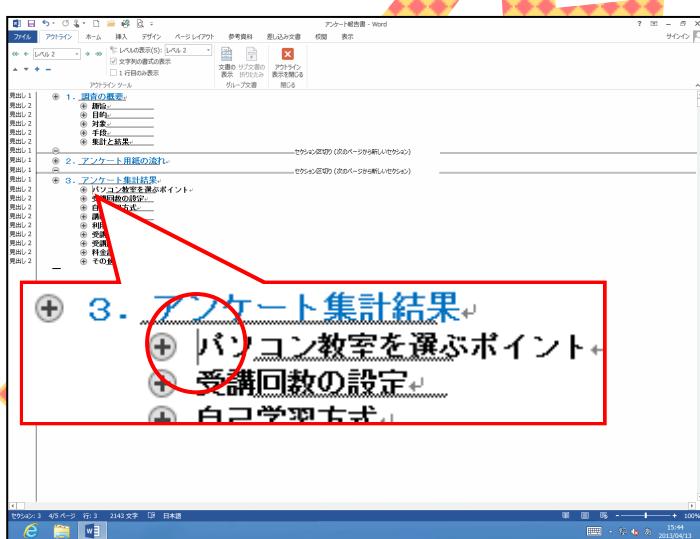


操作後

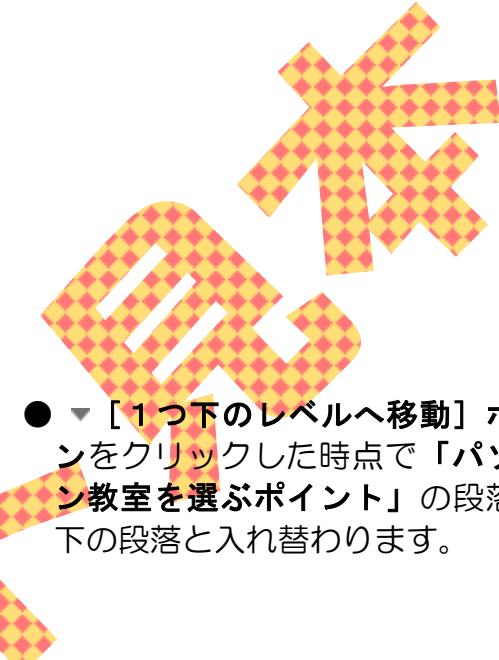
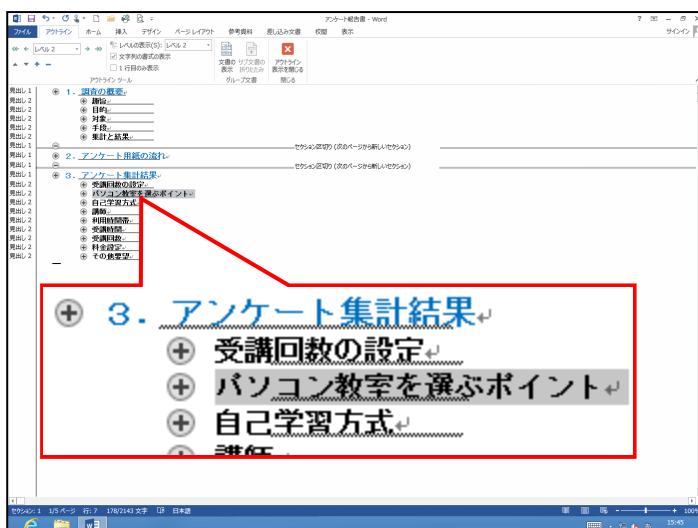
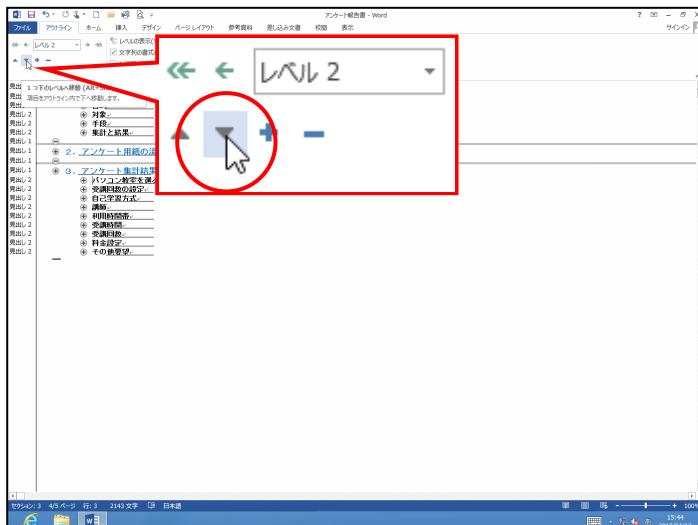


「パソコン教室を選ぶポイント」の段落内にカーソルを移動します。

- 見出し内(パソコン教室を選ぶポイント)であれば、どこにカーソルがあっても構いません。

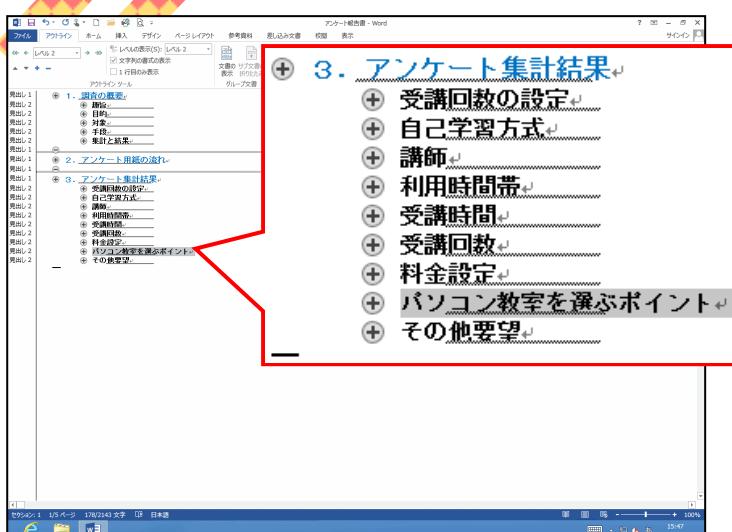


[アウトライン ツール] グループにある ▼ [1つ下のレベルへ移動] ボタンをクリックします。



● ▼ [1つ下のレベルへ移動] ボタンをクリックした時点で「パソコン教室を選ぶポイント」の段落が下の段落と入れ替わります。

続けて、▼ [1つ下のレベルへ移動] ボタンを 6 回クリックして、「その他要望」の上に移動します。



⑦ アウトライン番号の設定

アウトライン番号を設定すると、「第1章」「第1節」「第1項」のように階層化した連続番号を見出しに設定できます。また、設定した後に見出しを削除したり移動したりすると、自動的にアウトライン番号が振りなおされます。

ここでは、見出し1に「1」、見出し2に「(ア)」を設定してみましょう。

◆アウトライン番号の設定方法をマスターしましょう。

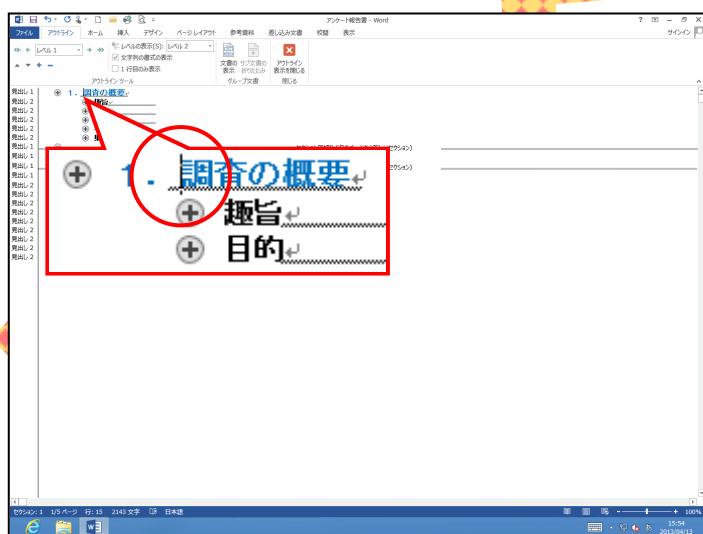
操作前

① 1. 調査の概要
② 2. アンケート用紙の流れ
③ 3. アンケート集計結果
④ 4. パソコン教室を選ぶポイント
⑤ 5. その他要望

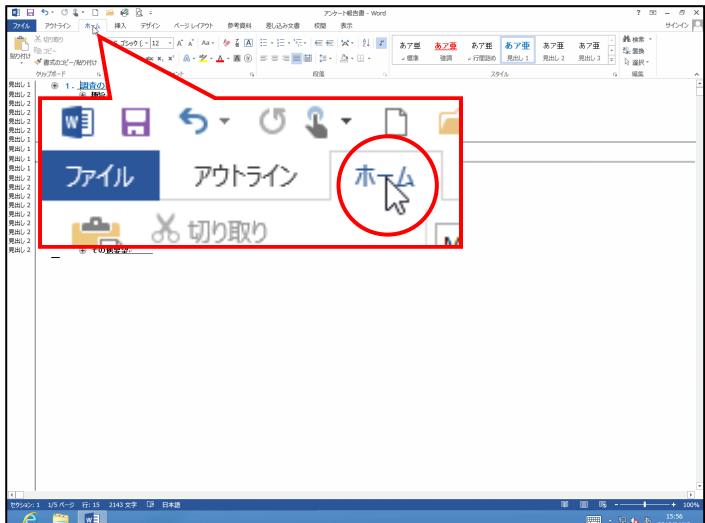
操作後

① 1 → 1. 調査の概要
② 2 → 2. アンケート用紙の流れ
③ 3 → 3. アンケート集計結果
④ 4 → パソコン教室を選ぶポイント
⑤ 5 → その他要望

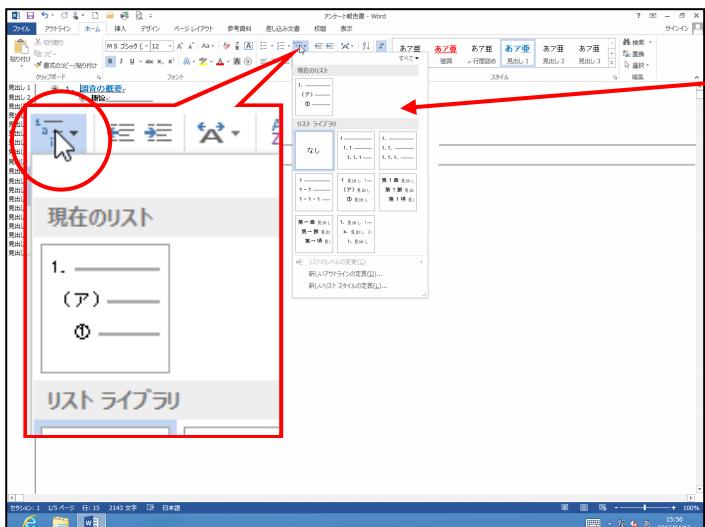
1ページ目の「1. 調査の概要」の段落内にカーソルを移動します。



[ホーム] タブをクリックします。

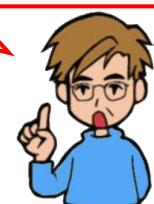


[段落] グループにある [アウトライン] ボタンをクリックします。

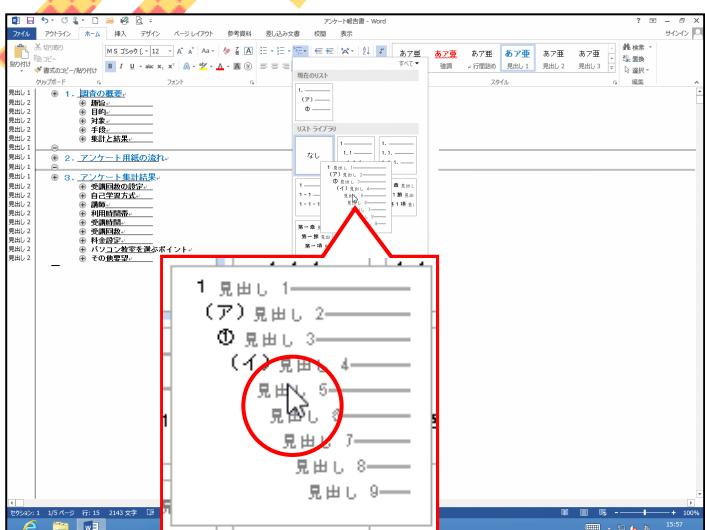


● [アウトライン] ボタンをクリックすると、左のようにアウトライン番号の一覧が表示されます。

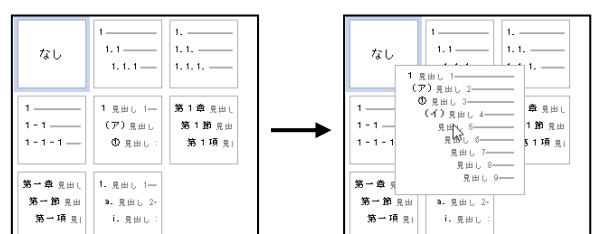
● リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)



表示された一覧の [リストライブラリ] から見出し 1 が「1」、見出し 2 が「(ア)」、見出し 3 が「①」のリストをクリックします。



● 見出し 1 が「1」、見出し 2 が「(ア)」、見出し 3 が「①」のリストにポイントすると、次のようにポイントしたリストが拡大されます。

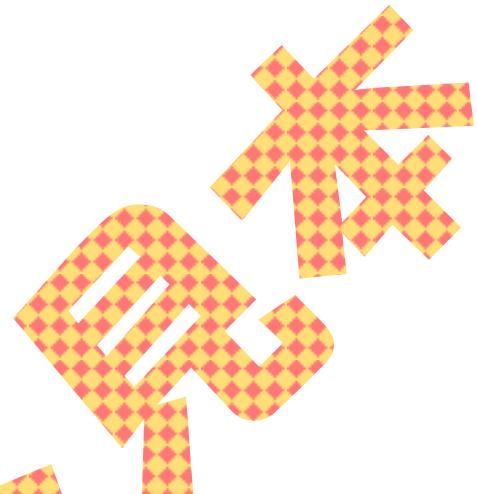


1 → 1. 調査の概要
 + (ア) 楽旨
 + (イ) 目的
 + (ウ) 対象
 + (エ) 手段
 + (オ) 集計と結果

2 → 2. アンケート用紙の流れ
 + (ア) 受講回数の設定
 + (イ) 自己学習方式
 + (ウ) 講師
 + (エ) 利用時間帯
 + (オ) 受講時間
 + (カ) 料金設定
 + (ク) パソコン教室を選ぶポイント
 + (ケ) その他要望

3 → 3. アンケート集計結果
 + (ア) 受講回数の設定
 + (イ) 自己学習方式
 + (ウ) 講師
 + (エ) 利用時間帯
 + (オ) 受講時間
 + (カ) 料金設定
 + (ク) パソコン教室を選ぶポイント
 + (ケ) その他要望

●見出し 1 が「1」、見出し 2 が「(ア)」、見出し 3 が「①」のリストをクリックした時点で、文書に選択したアウトライン番号が設定されます。



⑧ アウトライン番号の書式変更

ここでは、レベル 1 とレベル 2 に設定されたアウトライン番号の書式を次のように変更してみましょう。

レベル 1	番号の種類	なし
	タブ位置	0mm
レベル 2	番号の種類	1, 2, 3, …
	番号書式	1)
	左インデントからの距離	5mm

ここでは確認だけです！まだ操作しないで！！



◆アウトライン番号の書式の変更方法をマスターしましょう。

操作前

① 1 → 1. 調査の概要
 + (ア) 楽旨
 + (イ) 目的
 + (ウ) 対象
 + (エ) 手段
 + (オ) 集計と結果

② 2 → 2. アンケート用紙の流れ
 + (ア) 受講回数の設定
 + (イ) 自己学習方式
 + (ウ) 講師
 + (エ) 利用時間帯
 + (オ) 受講時間
 + (カ) 料金設定
 + (ク) パソコン教室を選ぶポイント
 + (ケ) その他要望

③ 3 → 3. アンケート集計結果
 + (ア) 受講回数の設定
 + (イ) 自己学習方式
 + (ウ) 講師
 + (エ) 利用時間帯
 + (オ) 受講時間
 + (カ) 料金設定
 + (ク) パソコン教室を選ぶポイント
 + (ケ) その他要望

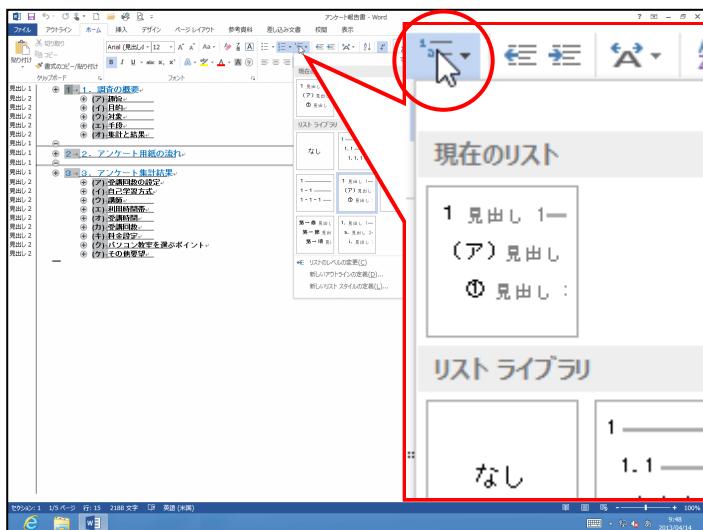
操作後

1. 調査の概要
 1) 楽旨
 2) 目的
 3) 対象
 4) 手段
 5) 集計と結果

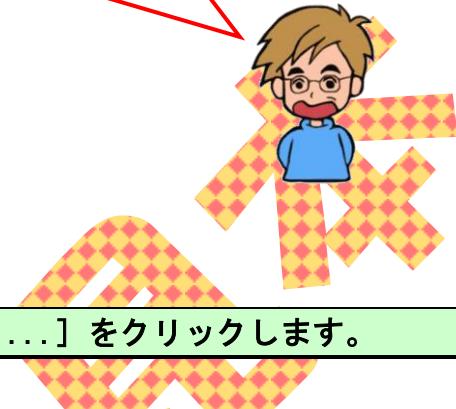
2. アンケート用紙の流れ
 1) 受講回数の設定
 2) 自己学習方式
 3) 講師
 4) 利用時間帯
 5) 受講時間
 6) 料金設定
 7) パソコン教室を選ぶポイント
 8) その他要望

3. アンケート集計結果
 1) 受講回数の設定
 2) 自己学習方式
 3) 講師
 4) 利用時間帯
 5) 受講時間
 6) 料金設定
 7) パソコン教室を選ぶポイント
 8) その他要望

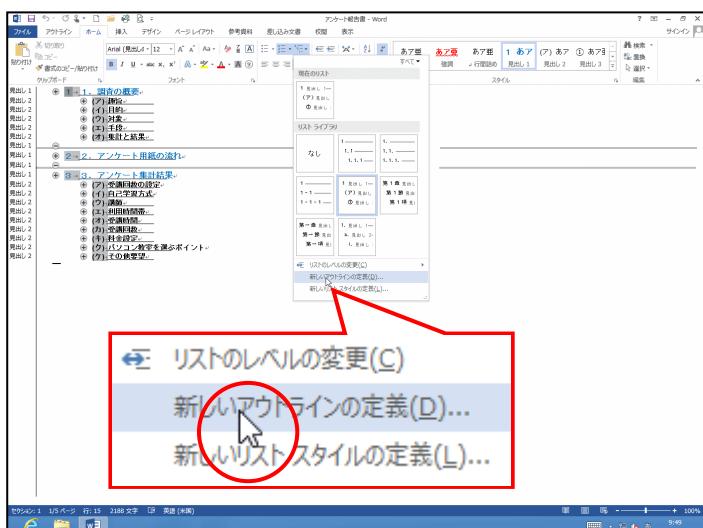
「1. 調査の概要」の段落内にカーソルがあることを確認して、[段落] グループにある [アウトライン] ボタンをクリックします。



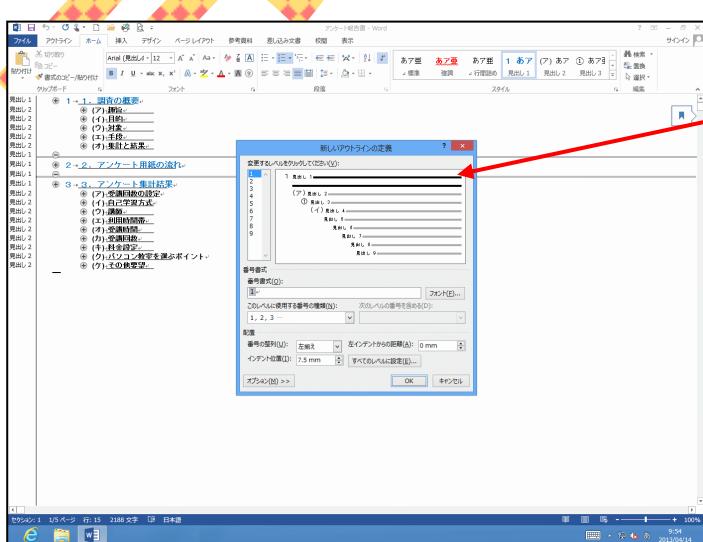
- [ホーム] タブが選択されていることと、見出しレベル 2 が表示されていることを確認してから操作してください。



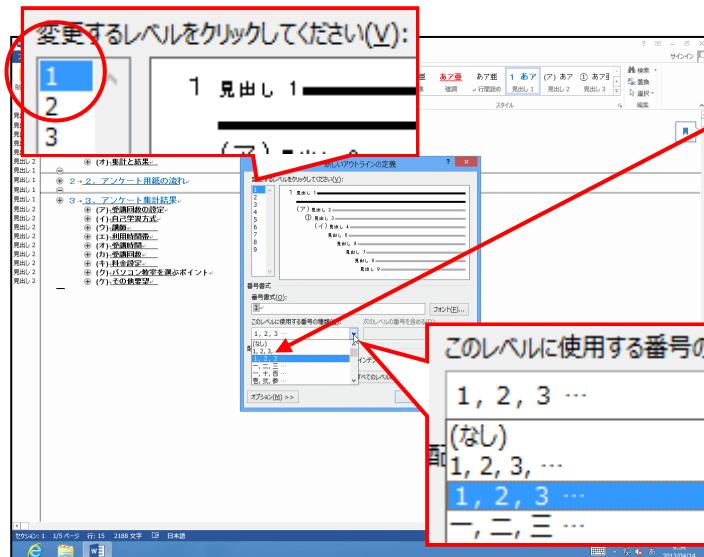
表示された一覧から [新しいアウトラインの定義(D)...] をクリックします。



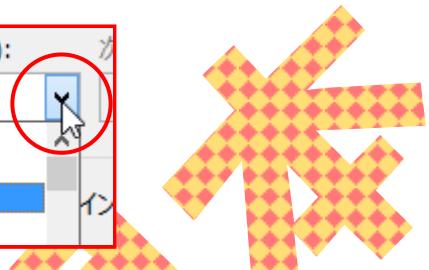
- [新しいアウトラインの定義(D)...] をクリックすると、左のように [新しいアウトラインの定義] ダイアログボックスが表示されます。



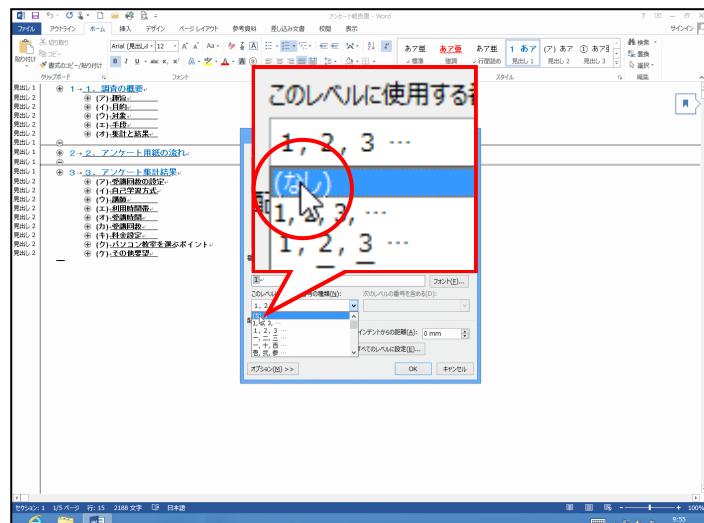
[変更するレベルをクリックしてください(V):] で「1」が選択されていることを確認して、[このレベルに使用する番号の種類(N):] ボックスの ▾ をクリックします。



● ▾ をクリックすると、番号の種類の一覧が表示されます。

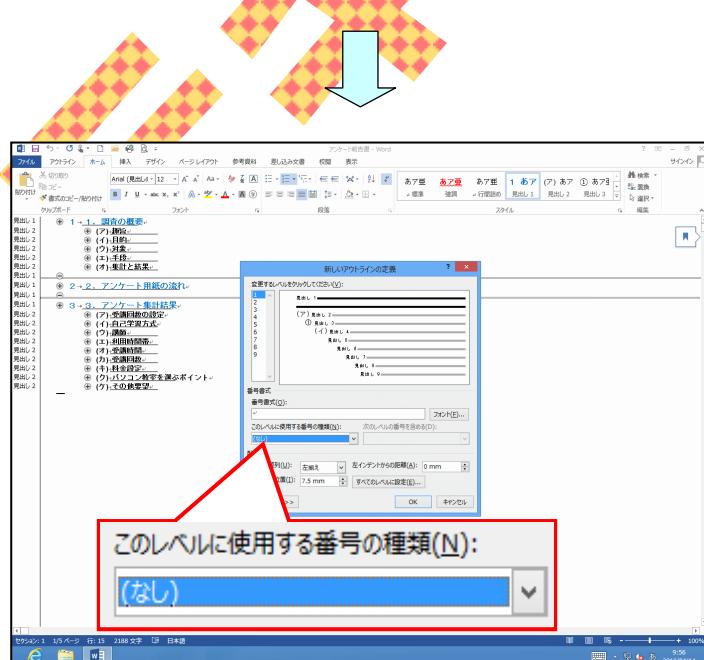


表示された一覧から「(なし)」をクリックします。

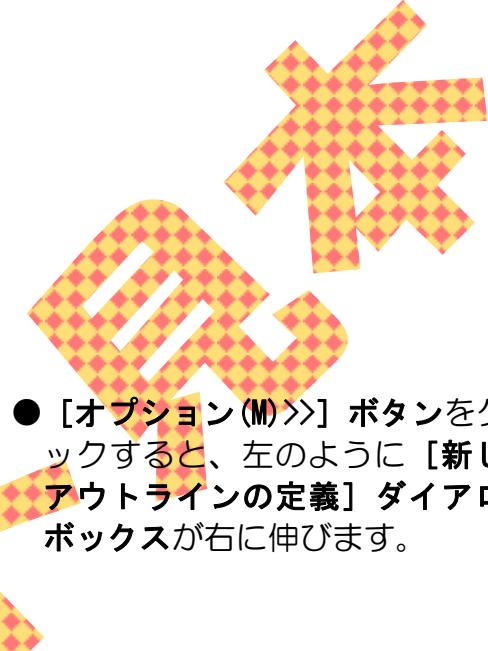
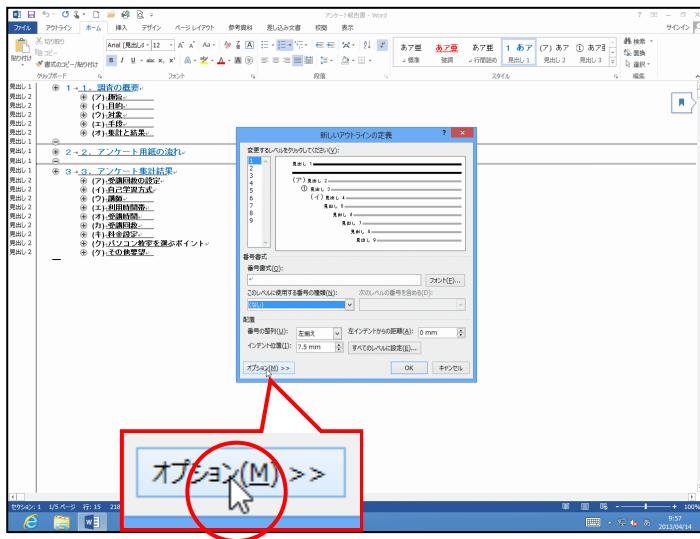


● 現在の見出し 1 の書式は、次のようにになっており、番号が重複しています。この番号を 1 つ削除するために「(なし)」をクリックします。

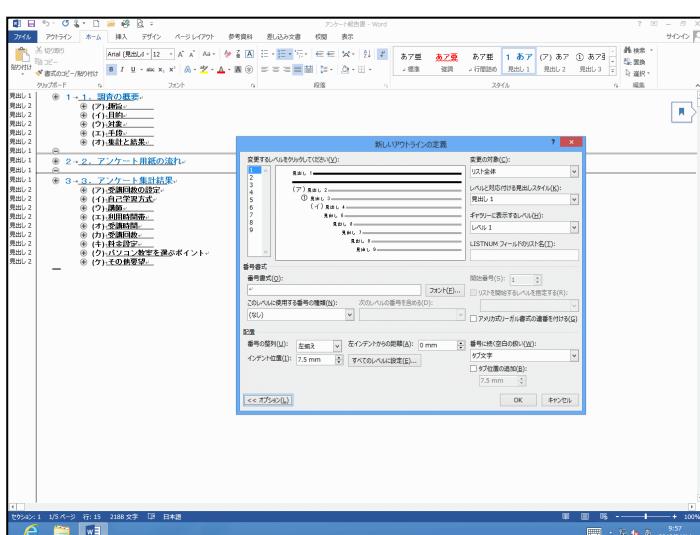
① → ②. 調査の概要



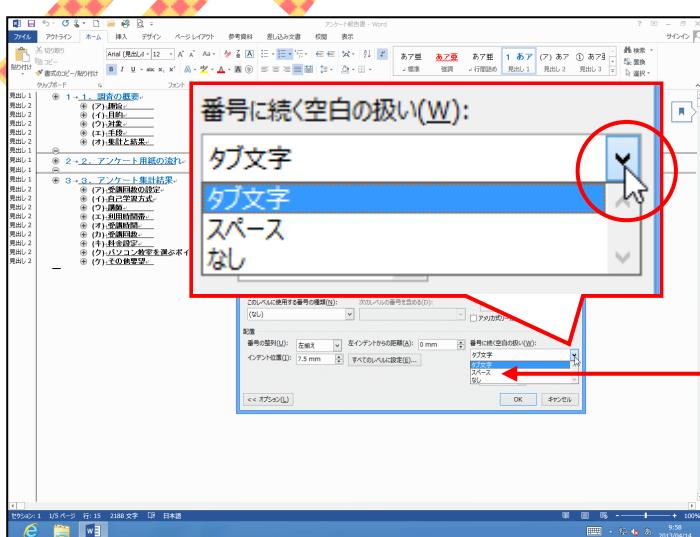
[新しいアウトラインの定義] ダイアログボックスの左下にある [オプション(M)>>] ボタンをクリックします。



● [オプション(M)>>] ボタンをクリックすると、左のように [新しいアウトラインの定義] ダイアログボックスが右に伸びます。

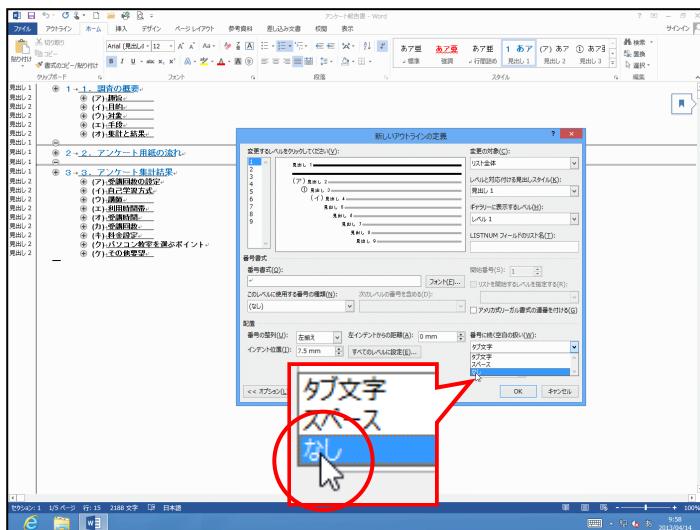


[番号に続く空白の扱い(W):] ボックスの ▾ をクリックします。



● ▾ をクリックすると、番号に続く空白をどう扱うのかの一覧が表示されます。

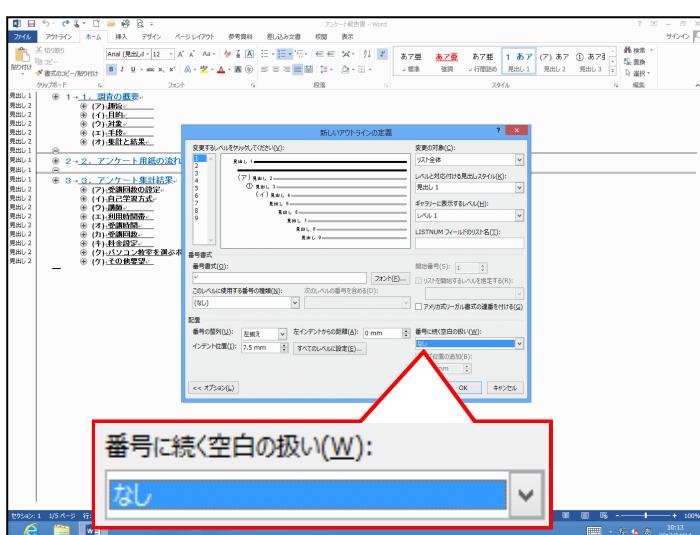
表示された一覧から「なし」をクリックします。



注意!

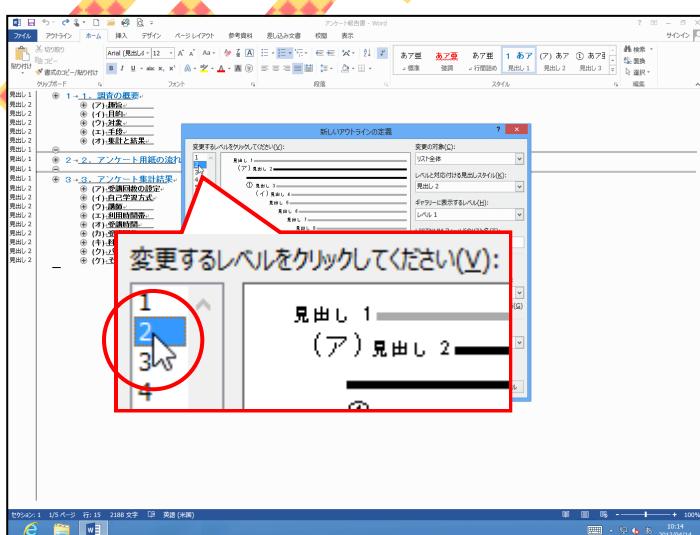
●「なし」を指定せずに、「タブ文字」のままでは、次のように要らないタブ文字が入ります。

① → 1. 調査の概要



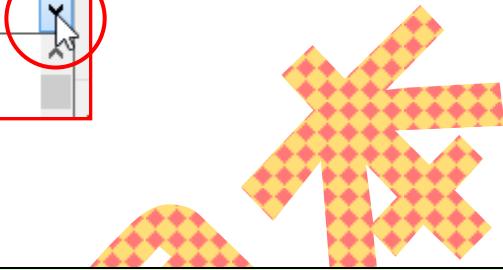
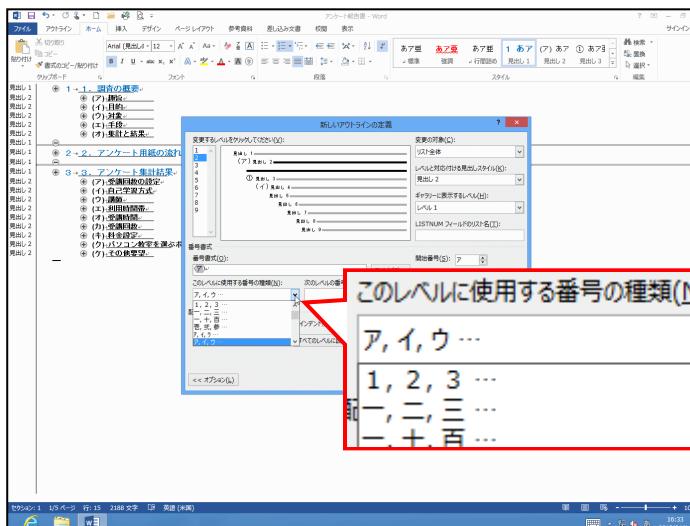
●ここまでで、レベル1に対するアウトライン番号の書式変更は完了です。

[変更するレベルをクリックしてください(V):] で「2」をクリックします。

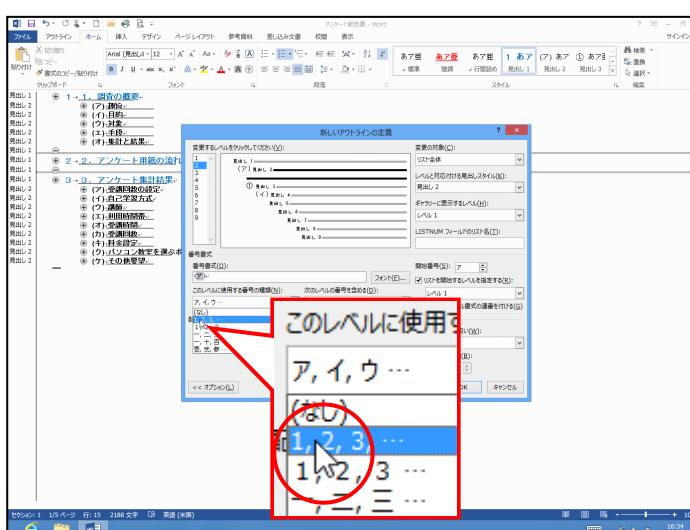


●ここからレベル2に対してのアウトライン番号の書式変更を行います。

[このレベルに使用する番号の種類(N):] ボックスの をクリックします。

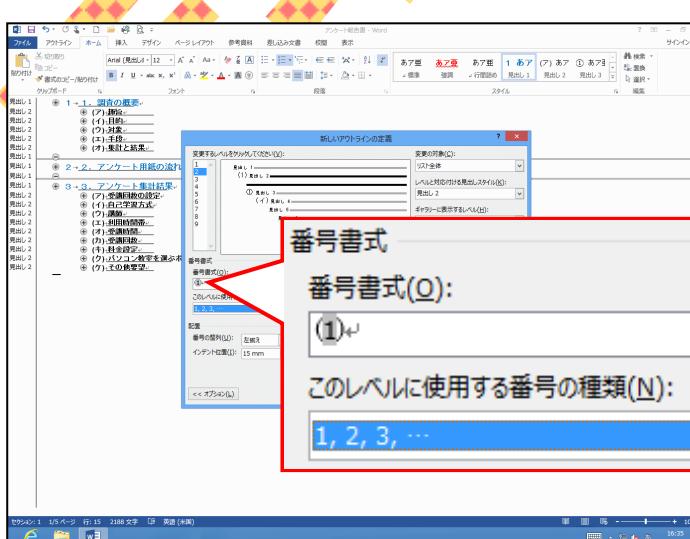


表示された一覧から「1, 2, 3, …」をクリックします。



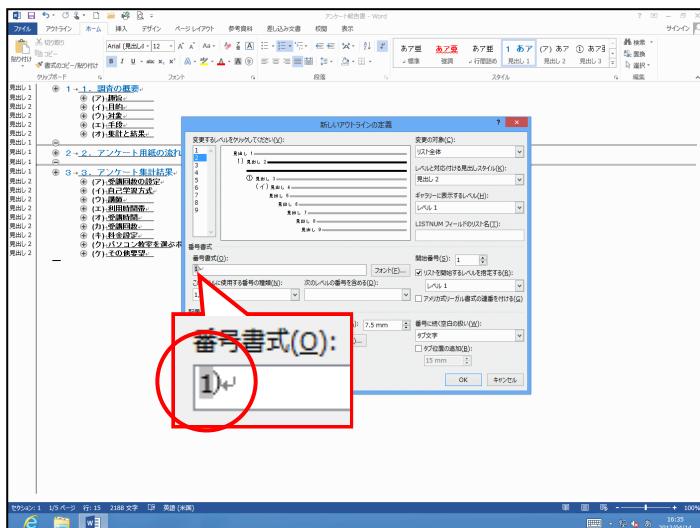
注意!

- 全角の「1, 2, 3」と間違わないように注意しましょう。
- また、「1, 2, 3, …」はスクロールしないと表示されません。スクロールバーの を数回押して「1, 2, 3, …」を表示させてください。

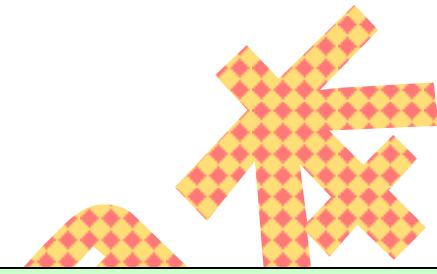


●「1, 2, 3, …」をクリックすると、[番号書式(O):] ボックスには、「ア」に代わって「1」が表示されます。

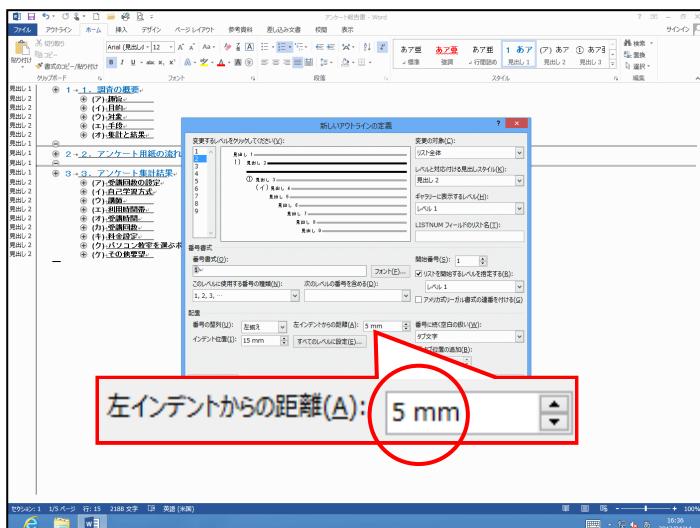
[番号書式(0):] ボックスの「()」を削除します。



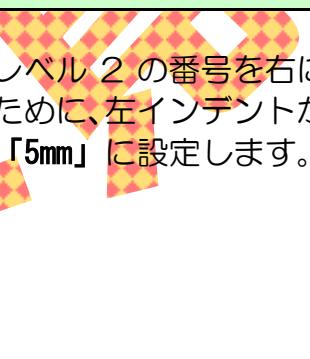
● 「()」を削除しないと「(1)」のように表示されてしまいます。



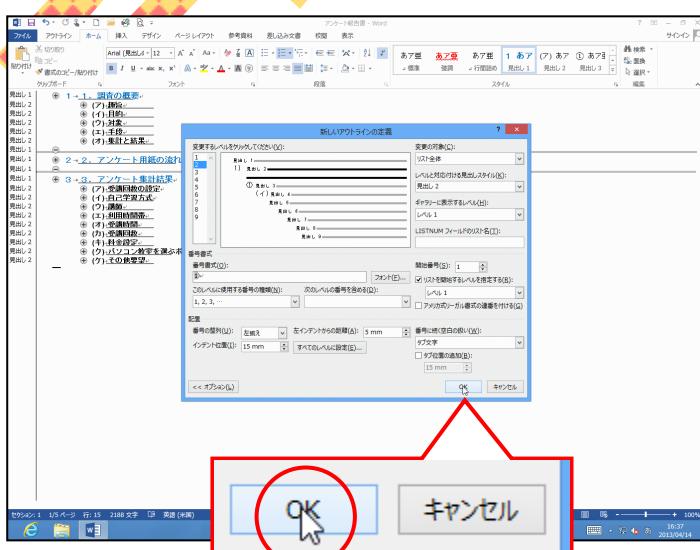
[配置] の [左インデントからの距離(A):] ボックスに「5mm」を設定します。



● レベル 2 の番号を右に字下げするために、左インデントからの距離を「5mm」に設定します。



[新しいアウトラインの定義] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。





Word document showing a bulleted list under '調査の概要':

- ① 調査の概要
 - ① 1) 目的
 - ② 2) 目的
 - ③ 3) 対象
 - ④ 4) 手段
 - ⑤ 5) 集計と結果
- ② アンケート用紙の流れ
- ③ アンケート用紙の流れ

- [OK] ボタンをクリックした時点で、左のようにアウトライン番号の書式が変更されます。

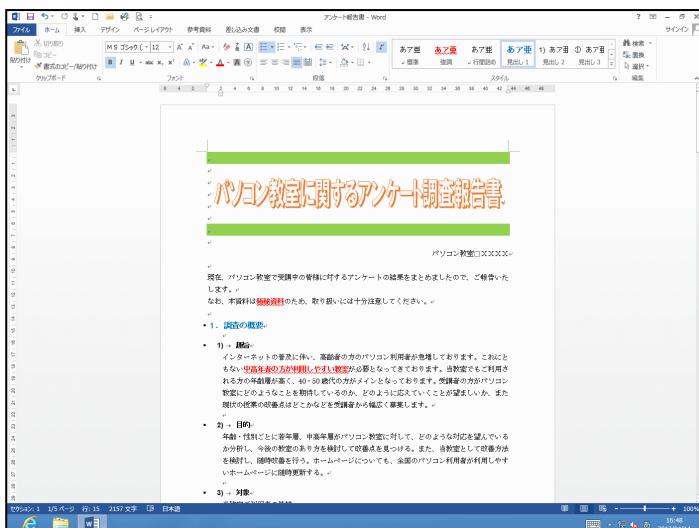
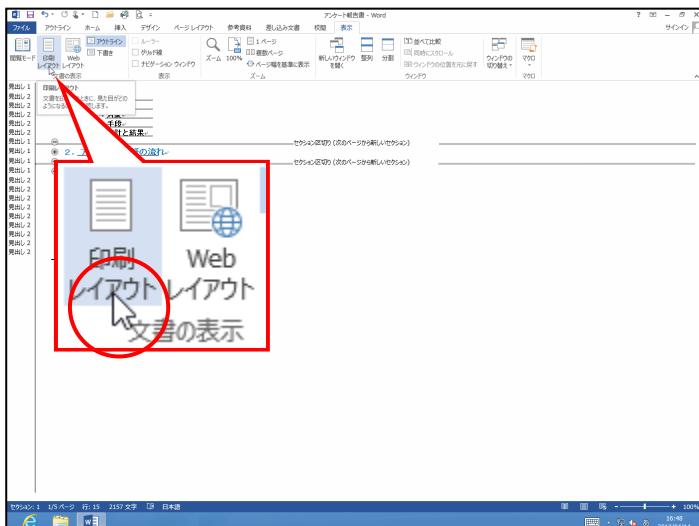


アウトライン番号の書式が変更されたところで、「アウトライン表示」から「印刷レイアウト表示」に切り替えましょう。

[表示] タブをクリックします。

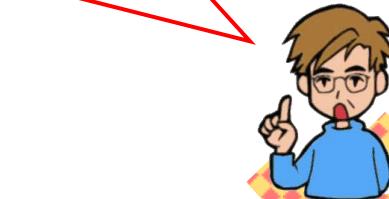
Word document showing the 'View' tab selected in the ribbon.

[文書の表示] グループにある [印刷レイアウト] ボタンをクリックします。



●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

[ファイル] [アウトライン] [ホーム] [挿入] [デザイン] [ページレイアウト] [参考資料] [差し込み文書] [校閲] [表示]



余裕があれば読んでね

●画面右下のズームスライダーの左にある文書の表示モードの中から
[印刷レイアウト] ボタンをクリックしても同じ操作になります。



(2) 脚注の挿入

「脚注」を使うと、用語や文章の補足説明や参考文献などの追加情報を、本文と区別して入力できます。追加情報があることを示す番号や文字のことを「脚注記号」、脚注として追加する情報のことを「脚注内容」といい、次の2つの種類があります。また、1つの文書には脚注と文末脚注の両方を作成することができます。

■脚注

脚注記号がページごとに振られて、脚注内容が各ページの最後に表示されます。

■文末脚注

脚注記号が文書全体を通して振られて、脚注内容が文書の最後にまとめて表示されます。

これらの脚注は、【参考資料】タブの【脚注】グループから設定します。

■ 【参考資料】タブ



① 脚注の挿入

次の表に示すような脚注を文書の中に挿入してみましょう。

場所	脚注記号の書式	脚注内容
インターネット(1ページ18行目)	A, B, C・・・	世界中をクモの巣状に結んだネットワーク
ホームページ(1ページ27行目)	A, B, C・・・	インターネット上にある情報を発信するためのページ
Word(4ページ4行目)	A, B, C・・・	Microsoft社が作成した、パソコンで文書作成するためのアプリケーションソフト

◆脚注の挿入方法をマスターしましょう。

操作前

1. 調査の概要
1) 趣旨
インターネットの普及に伴い、高齢者のパソコン利用者が急増しております。これにともない中高年齢の方の利用しやすい教室が必要となっております。当教室でもご利用される方の中年齢層が高く、40~50歳代の方がメインとなっております。受講者の方がパソコン教室などのようなことを期待しているのか、どのように対応していくことが望ましいか、また現状の改善点はどこなどを受講者から幅広く募集します。

2) 目的
年齢・性別ごとに若年層、中高年層がパソコン教室に対して、どのような対応を望んでいるか分析し、今後の教室のあり方を検討して改善点を見つける。また、当教室として改善方法を検討し、随時改善を行う。ホームページについても、全国のパソコン利用者が利用しやすいホームページに随時更新する。

3) 対象
当教室ご利用者の皆様。

4) 手段
受講申し込みの受け付け、または見学時にアンケート用紙を手渡し記入していただく。第1回目の受講時かその場で記入していただいた場合はその都度回収する。回収は、担当講師が受付者が責任を持って行うこととした。

操作後

1. 調査の概要
1) 趣旨
インターネットの普及に伴い、高齢者のパソコン利用者が急増しております。これにともない中高年齢の方の利用しやすい教室が必要となっております。当教室でもご利用される方の中年齢層が高く、40~50歳代の方の利用しやすい教室が必要となっております。受講者の方がパソコン教室などのようなことを期待しているのか、どのように対応していくことが望ましいか、また現状の改善点はどこなどを受講者から幅広く募集します。

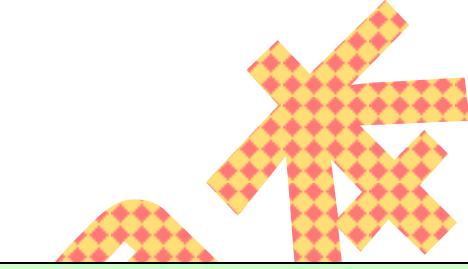
2) 目的
年齢・性別ごとに若年層、中高年層がパソコン教室に対して、どのような対応を望んでいるか分析し、今後の教室のあり方を検討して改善点を見つける。また、当教室として改善方法を検討し、随時改善を行う。ホームページについても、全国のパソコン利用者が利用しやすいホームページに随時更新する。

3) 対象
当教室ご利用者の皆様。

4) 手段
世界中をクモの巣状に結んだネットワーク
インターネット上にある情報を発信するためのページ

脚注を挿入する1ページ18行目の「インターネット」の後にカーソルを移動します。

1) → 趣旨
インターネットの普及に
もない中高年者の方が利



[参考資料] タブをクリックします。

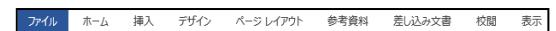
参考資料

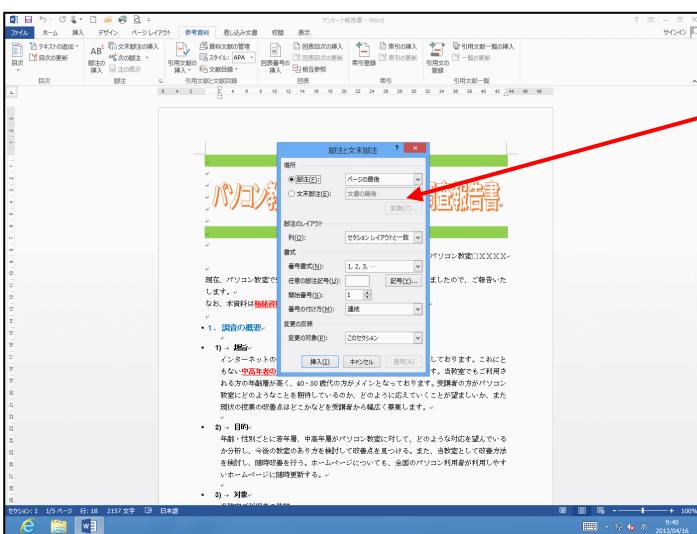


[脚注] グループの □ ボタンをクリックします。

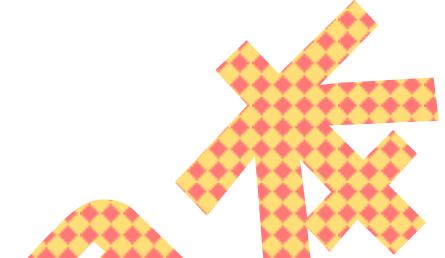
文末脚注の挿入
AB¹次の脚注
注の表示
脚注

●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

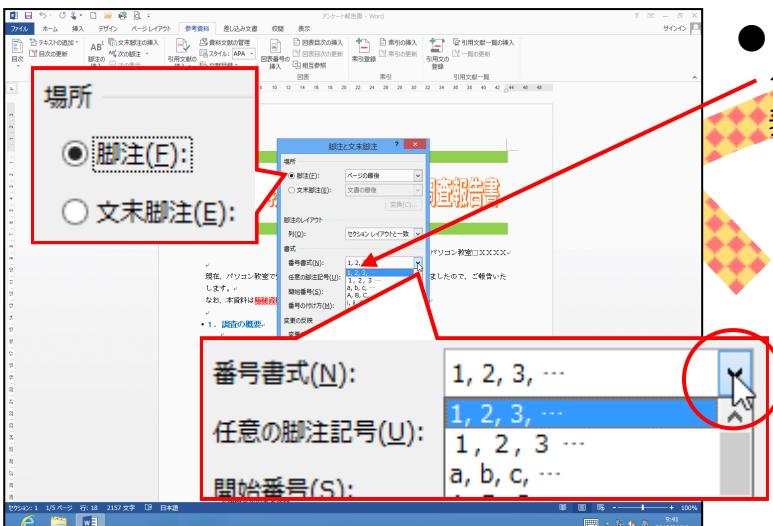




● [脚注] グループの「」ボタンをクリックすると、左のように [脚注と文末脚注] ダイアログボックスが表示されます。

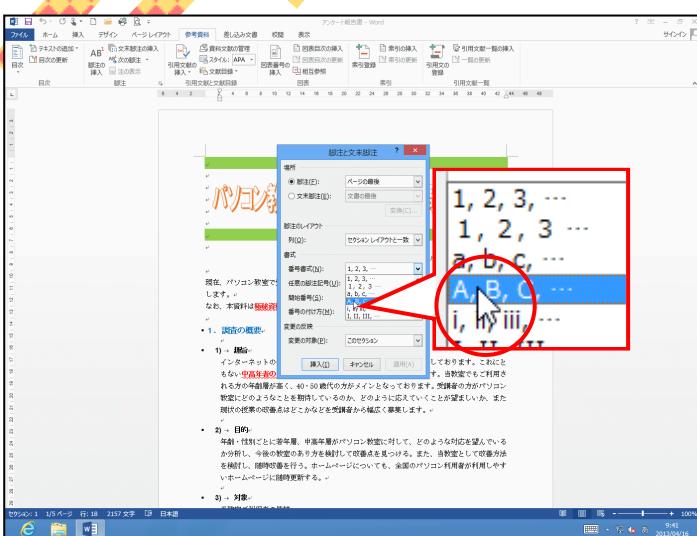


表示された [脚注と文末脚注] ダイアログボックスの「場所」に [脚注(F):] が選択されていることを確認して、[番号書式(N):] ボックスの をクリックします。

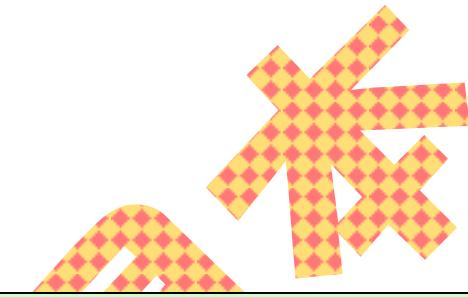
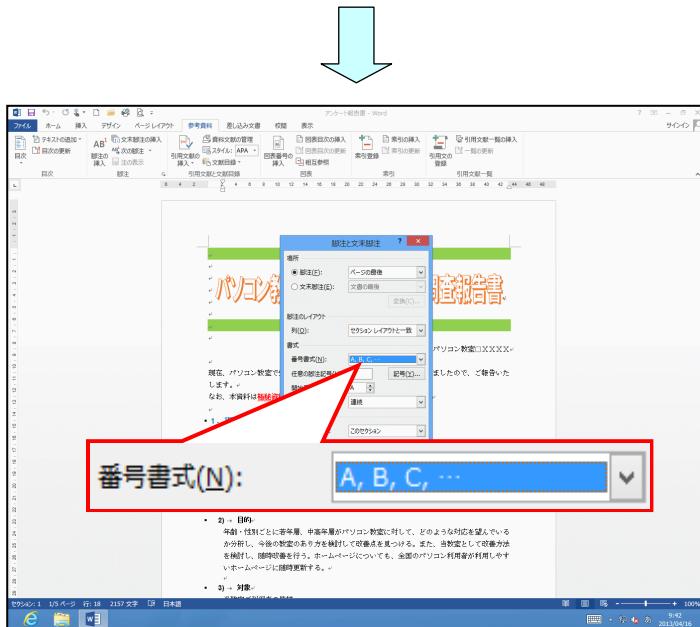


● [番号書式(N):] ボックスの をクリックすると、番号書式の一覧が表示されます。

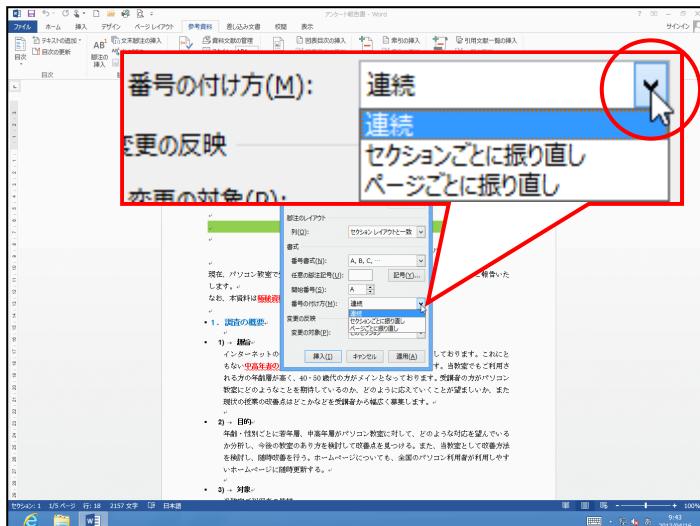
表示された番号書式の一覧から「A, B, C, …」をクリックします。



● 文書内に表示する脚注記号に「A, B, C, …」を指定します。



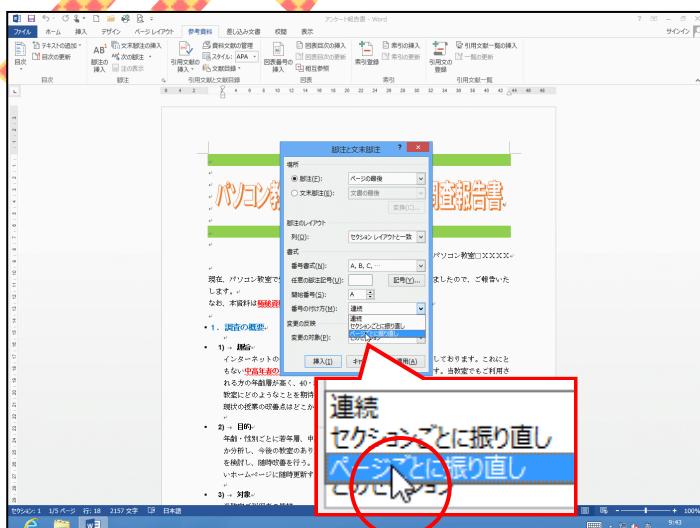
[番号の付け方(M):] ボックスの ▾ をクリックします。



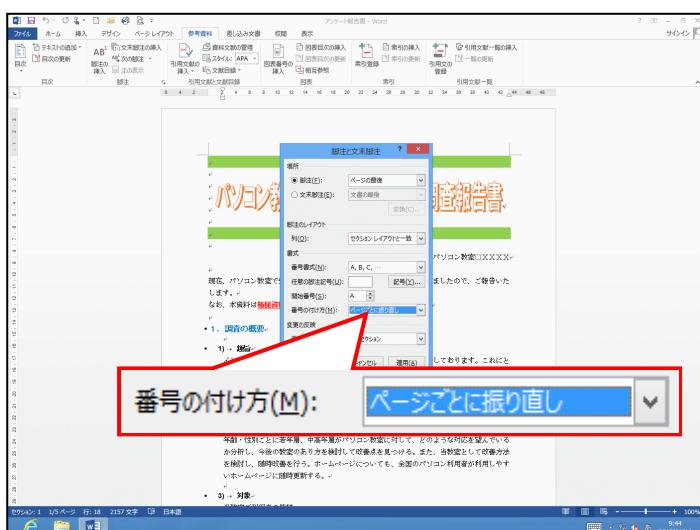
● [番号の付け方(M):] ボックスの ▾ をクリックすると、左のように番号の付け方の一覧が表示されます。

- ・「連続」…文書全体を通して一連の番号が振られます。
- ・「セクションごとに振り直し」…セクションごとに一連の番号が振られます。
- ・「ページごとに振り直し」…ページごとに一連の番号が振られます。

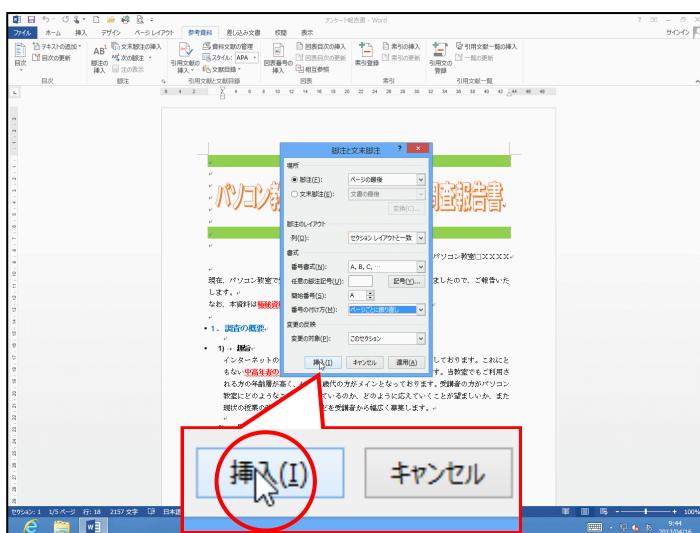
表示された番号の付け方の一覧から「ページごとに振り直し」をクリックします。



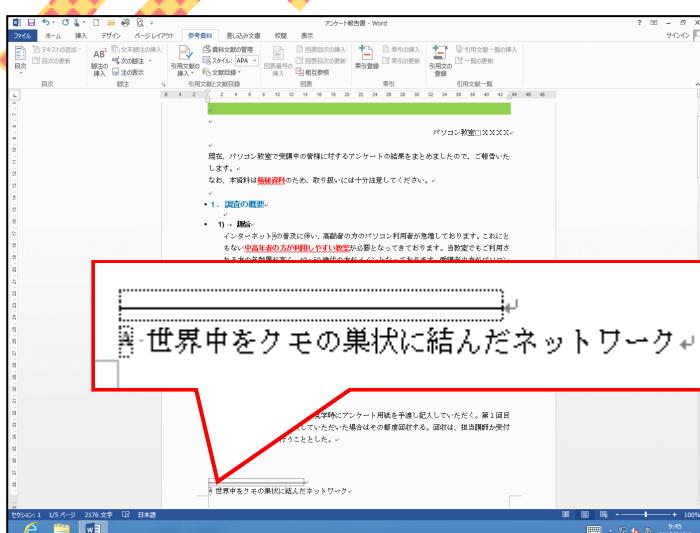
● 今回はページごとに一連の番号が振られるように指定します。



【脚注と文末脚注】ダイアログボックスの【挿入(I)】ボタンをクリックします。



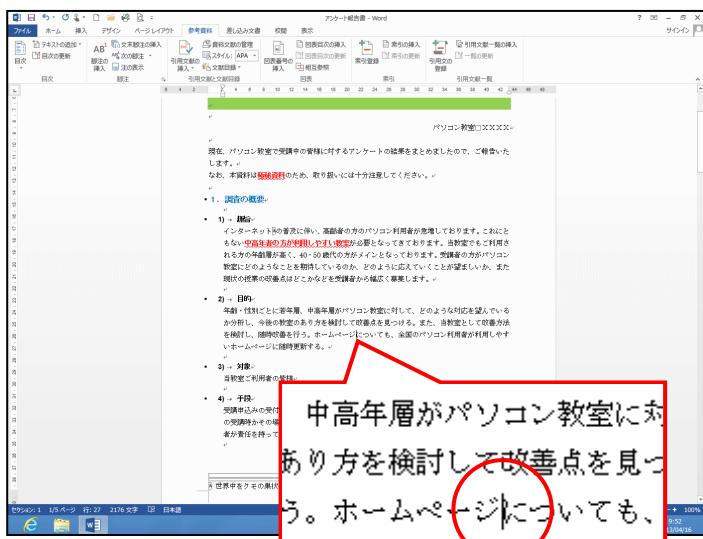
ページの最後に脚注を入力する領域が作成されるので、「世界中をクモの巣状に結んだネットワーク」を入力します。



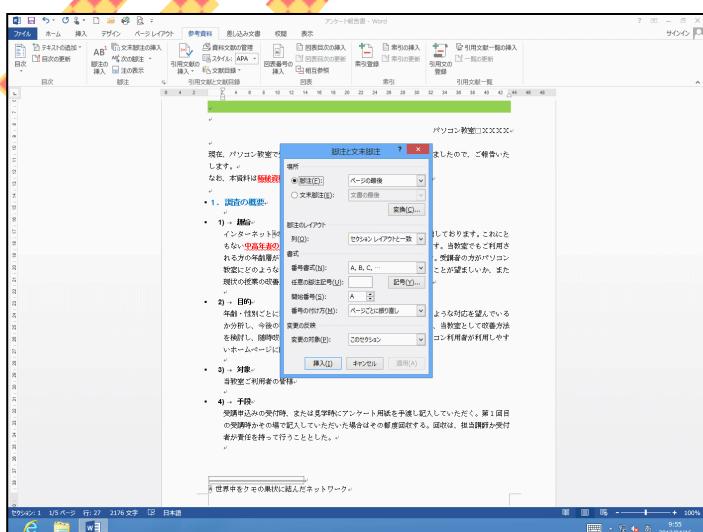
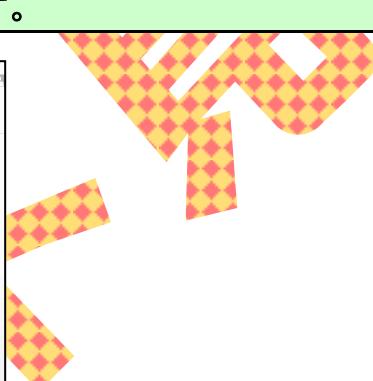
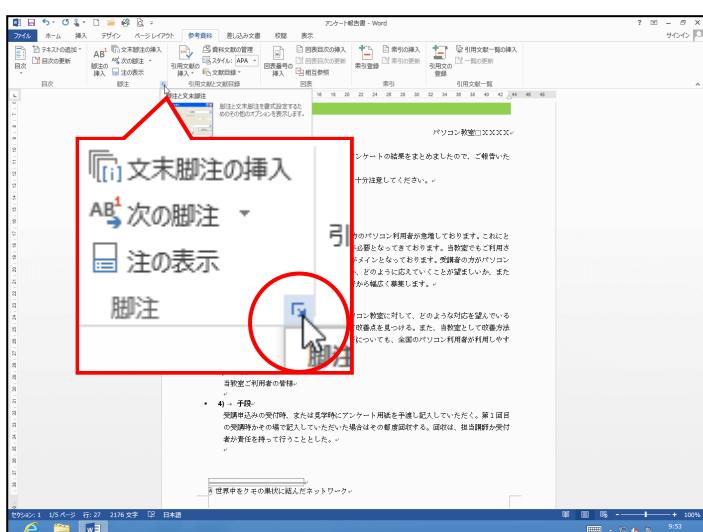
● 【挿入(I)】ボタンをクリックすると、カーソルがあった場所に脚注記号が表示されて、ページの最後に脚注内容を入力する領域が表示されます。

● ページの最後に表示された脚注内容の領域に文字を入力します。

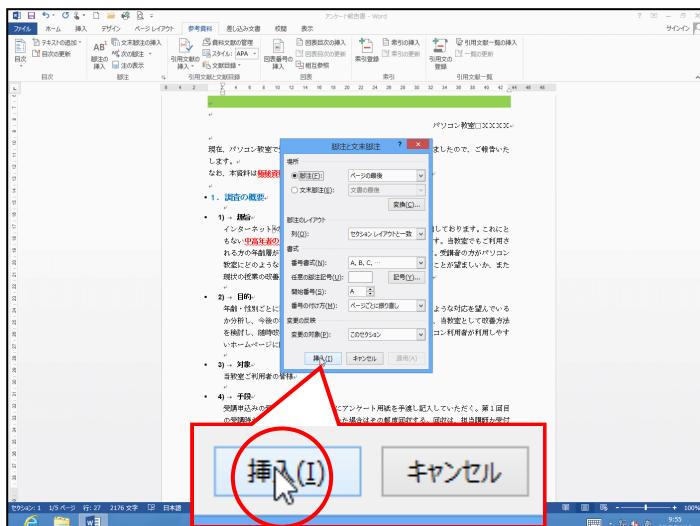
続けて1ページ27行目の「ホームページ」の後ろにカーソルを移動します。



[脚注] グループの  ボタンをクリックします。

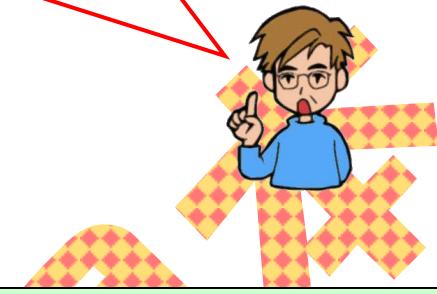


【脚注と文末脚注】ダイアログボックスの【挿入(I)】ボタンをクリックします。

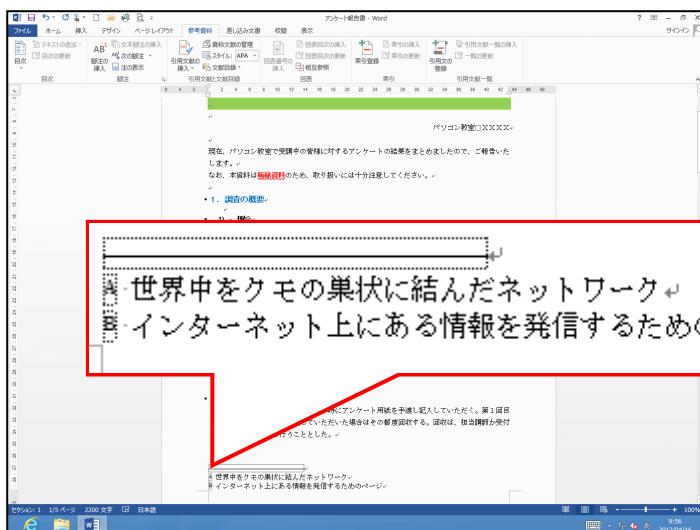


注意!

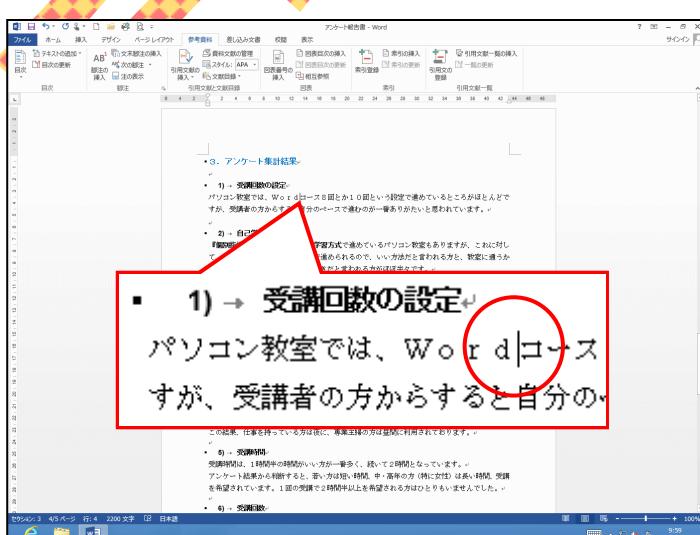
● 1回の設定で「番号書式」などを指定済みなので、ここでは再度指定する必要はありませんが、1回目で指定した内容が表示されていることを確認しておきましょう。



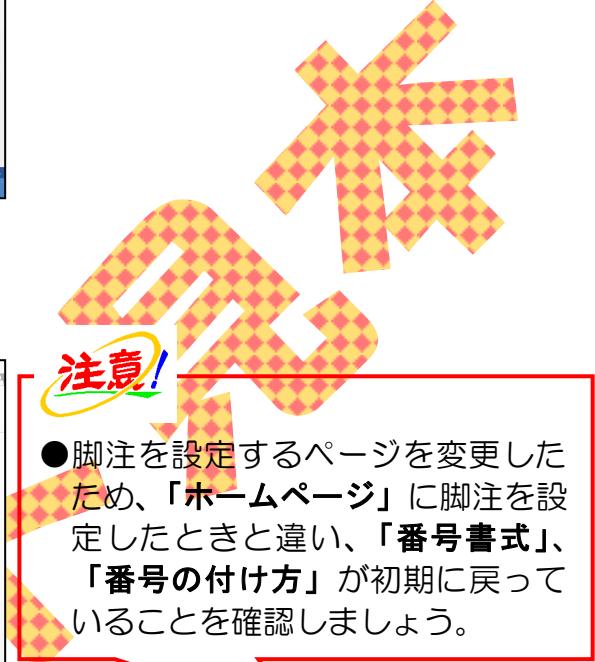
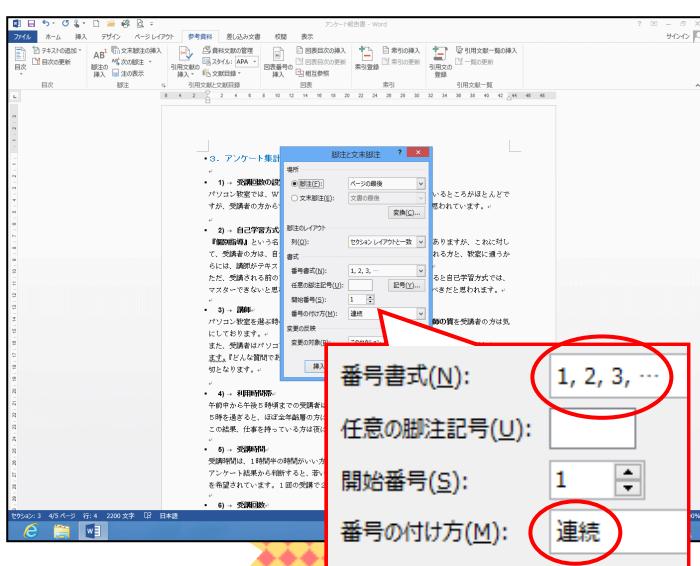
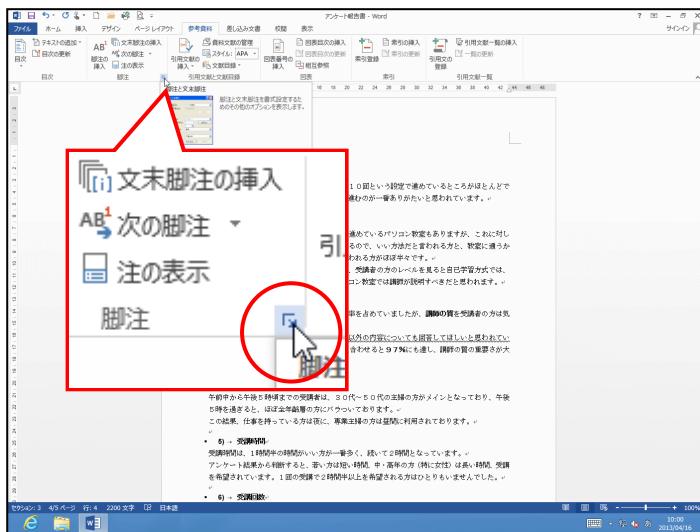
ページの最後に脚注を入力する領域が作成されるので「インターネット上にある情報を発信するためのページ」を入力します。



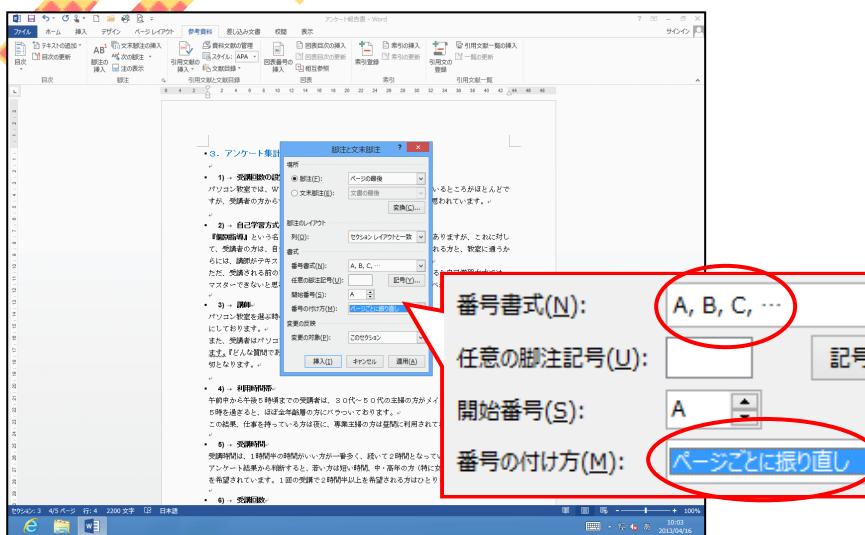
続けて4ページ4行目の「Word」の後ろにカーソルを移動します。



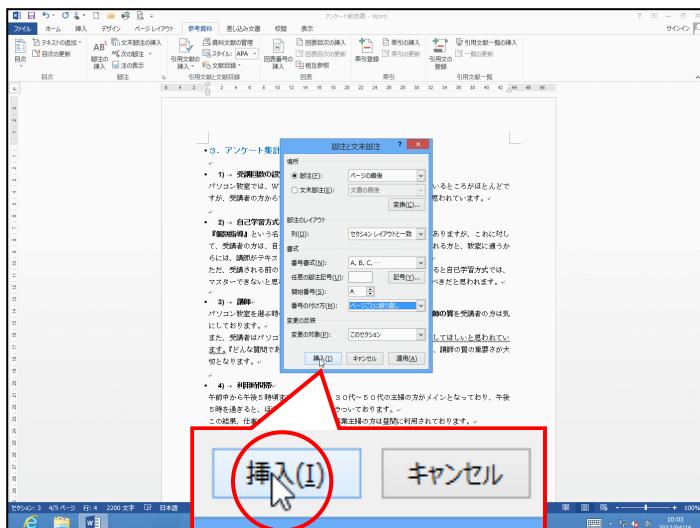
[脚注] グループの □ ボタンをクリックします。



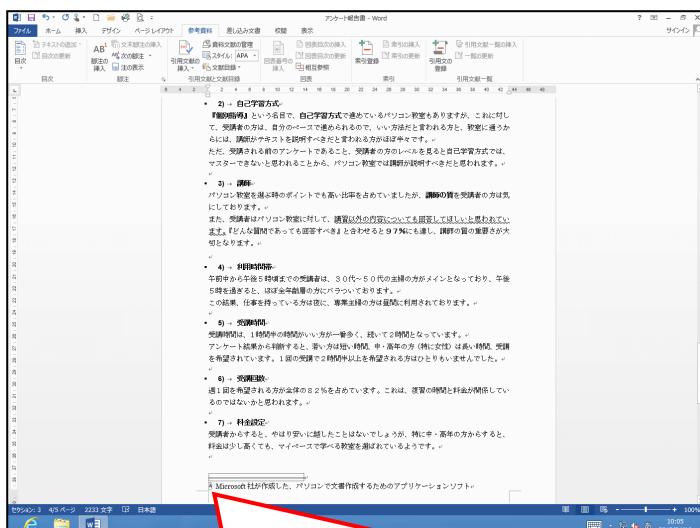
「インターネット」に脚注を設定したときと同様にして、[番号書式(N):] ボックスに「A, B, C, …」を、[番号の付け方(M):] ボックスに「ページごとに振り直し」を指定します。



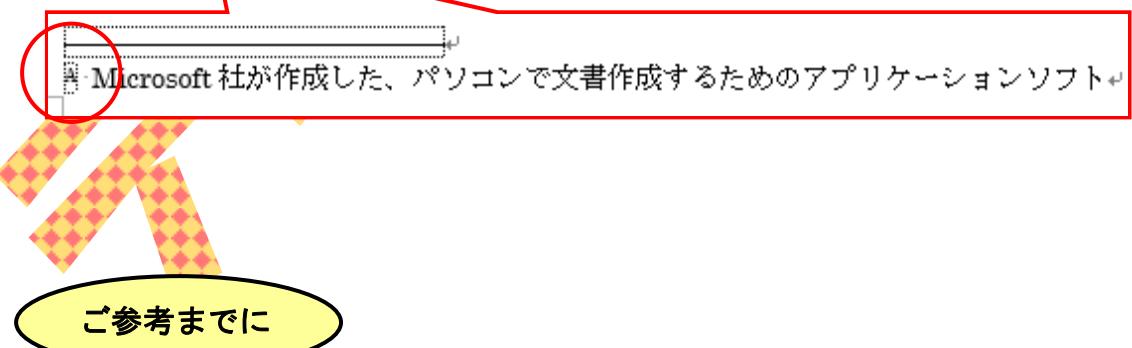
【脚注と文末脚注】ダイアログボックスの【挿入(I)】ボタンをクリックします。



ページの最後に脚注を入力する領域が作成されるので「Microsoft 社が作成した、パソコンで文書作成するためのアプリケーションソフト」を入力します。



- 「番号の付け方」で「ページごとに振り直し」を指定したので、脚注を挿入するページが変われば、脚注番号は、「A」から始まります。



■脚注を削除するには

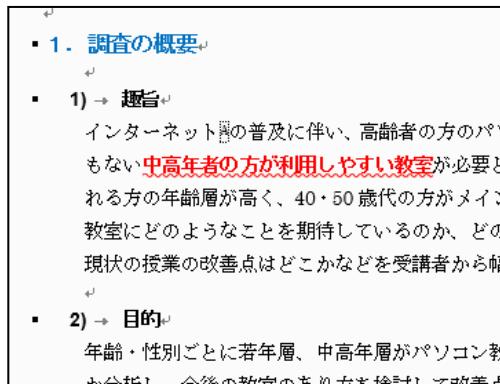
挿入した脚注を削除するには、本文の脚注記号を選択して [Delete] キーもしくは [BackSpace] キーを押して脚注記号を削除します。脚注記号が削除されると、脚注記号が連続している場合、新たに脚注記号が振り直されます。

② 脚注の確認

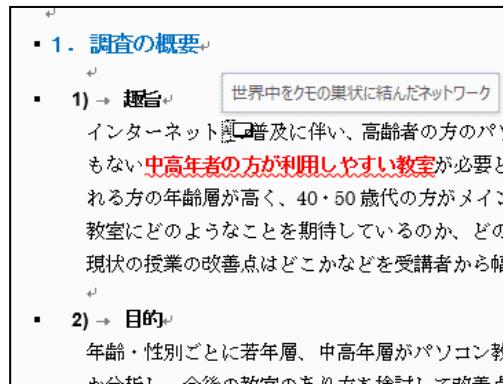
挿入した脚注を確認してみましょう。

◆挿入した脚注の確認方法をマスターしましょう。

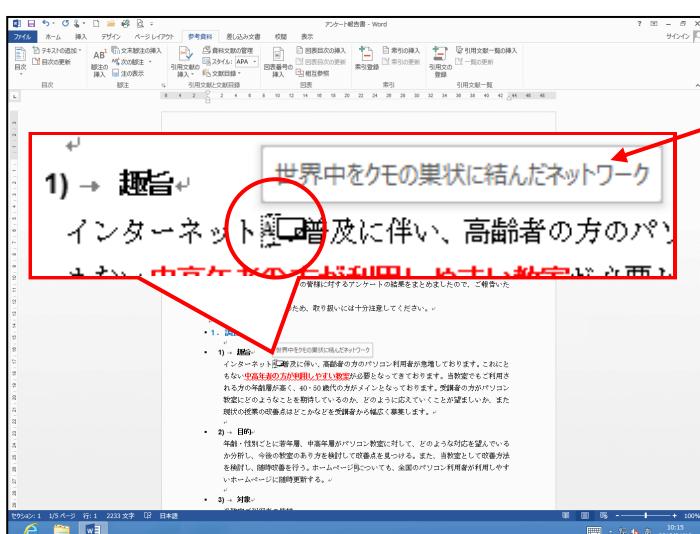
操作前



操作後



脚注を設定した1ページ目の「インターネット」の後に表示された脚注記号「A」にポイントします。



●「A」にポイントすると、マウス.Pointerが「A」の状態になり、脚注として入力した文字がメッセージとして表示されます。

同様にして、1ページ目の「ホームページ」、4ページ目の「Word」の文字の後に設定した脚注にもポイントしてメッセージが表示されることを確認してください。

ご参考までに

■挿入した脚注内容を編集するには

- 本文中に表示された脚注記号をダブルクリックすると、脚注内容にカーソルが移動するので、内容を編集します。
- 脚注内容を直接クリックしてカーソルを移動し、内容を編集します。

(3) 目次の作成

長文を作成する際、目次があると便利です。目次を見てそのページをダイレクトに表示したりすることができます。

目次は、[参考資料] タブの [目次] グループから作成します。

■ [参考資料] タブ

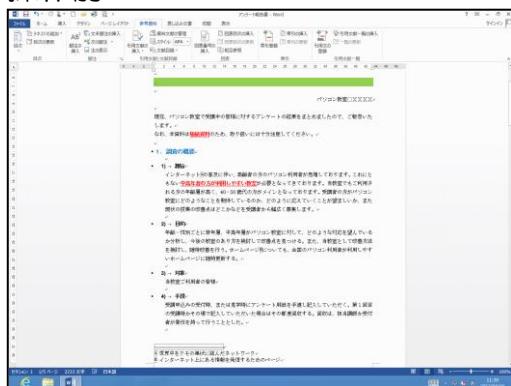


① 目次を作成する

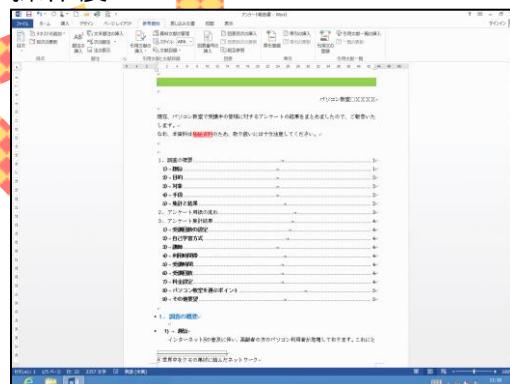
ここでは、レベル 1～レベル 2 のアウトラインに設定した段落から目次を作成してみましょう。

◆ 目次の作成方法をマスターしましょう。

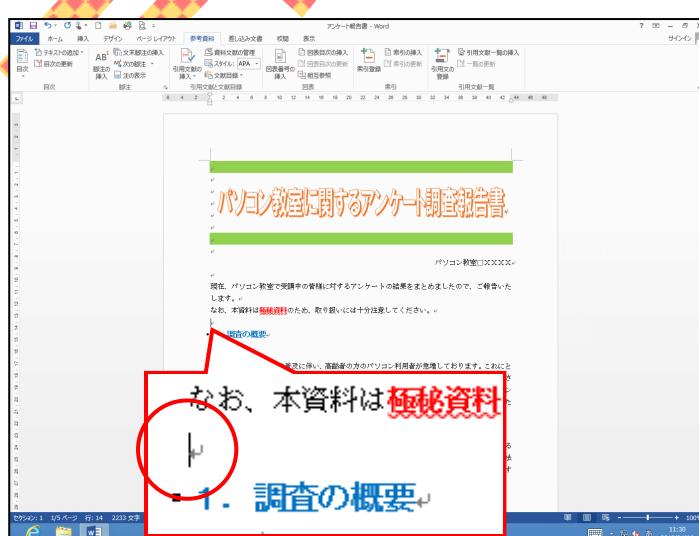
操作前



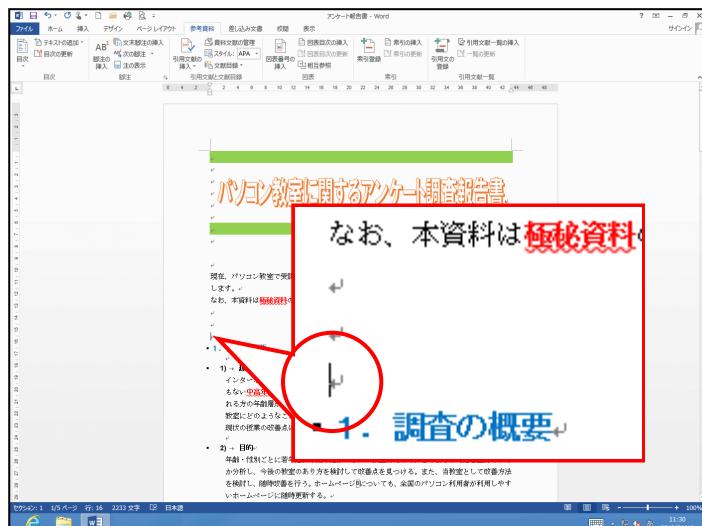
操作後



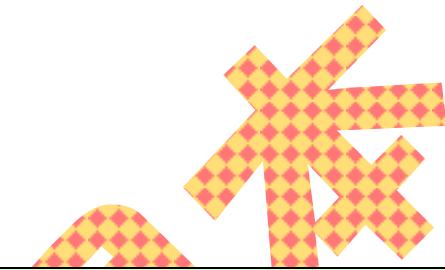
まず、目次を作成する位置にカーソルを移動するために、1 ページ 14 行目の先頭にカーソルを移動します。



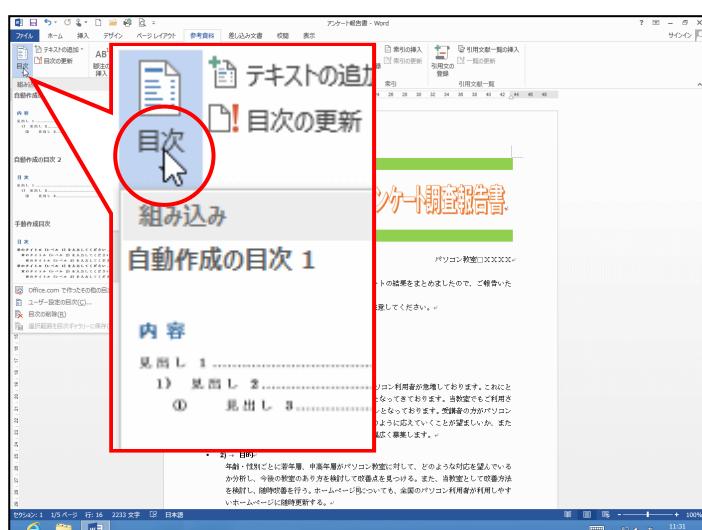
次に空白行を2行追加するため、[Enter]キーを2回押します。



- [Enter]キーを2回押すと、段落記号が2つ挿入されます。



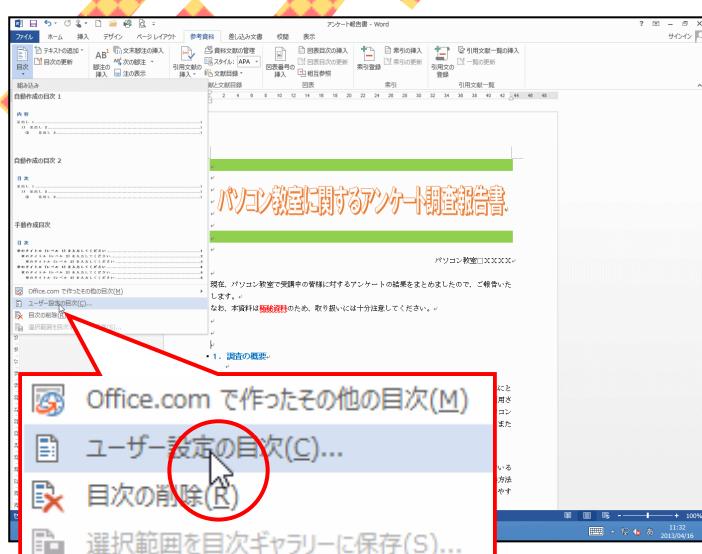
[目次] グループの [目次] ボタンをクリックします。

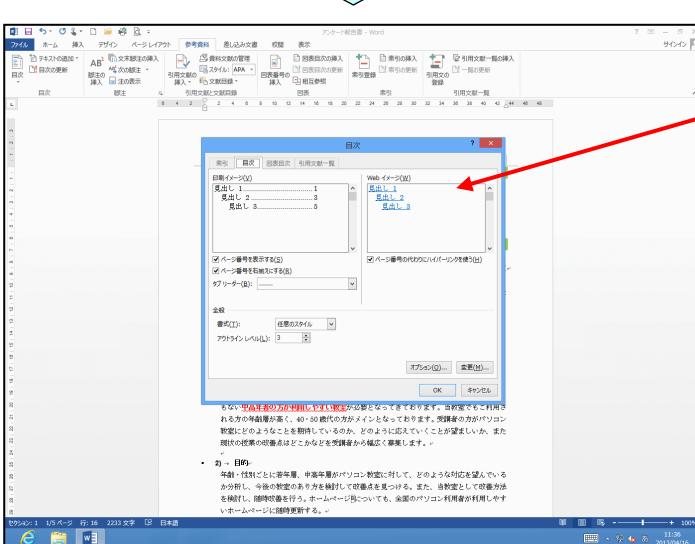


- [参考資料]タブが選択されていることを確認してから操作してください。



表示された一覧から [ユーザー設定の目次(C)...] をクリックします。

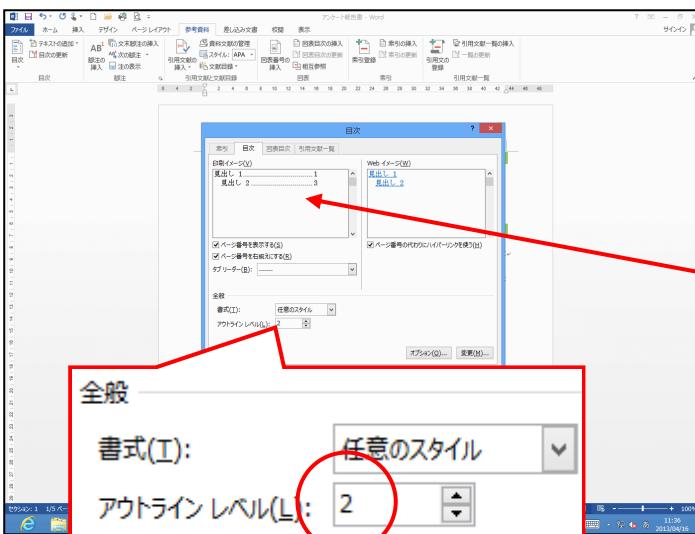




● [ユーザー設定の目次(C)...] をクリックすると、左のように [目次] ダイアログボックスが表示されます。



表示された [目次] ダイアログボックスの [アウトラインレベル(L):] ボックスに「2」を指定します。

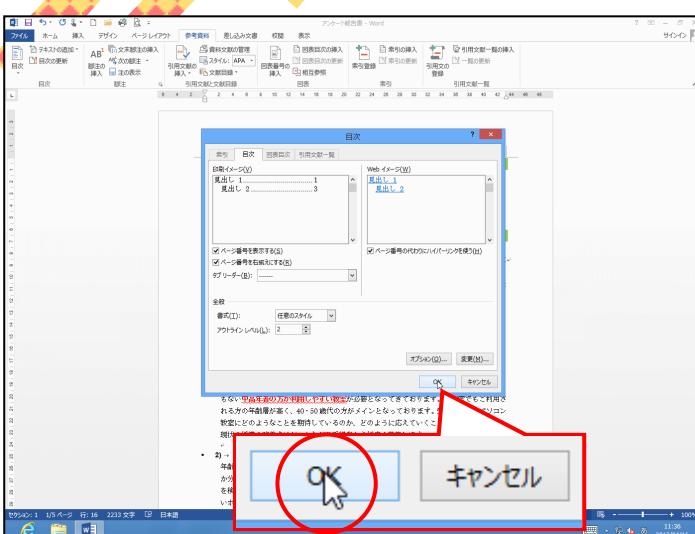


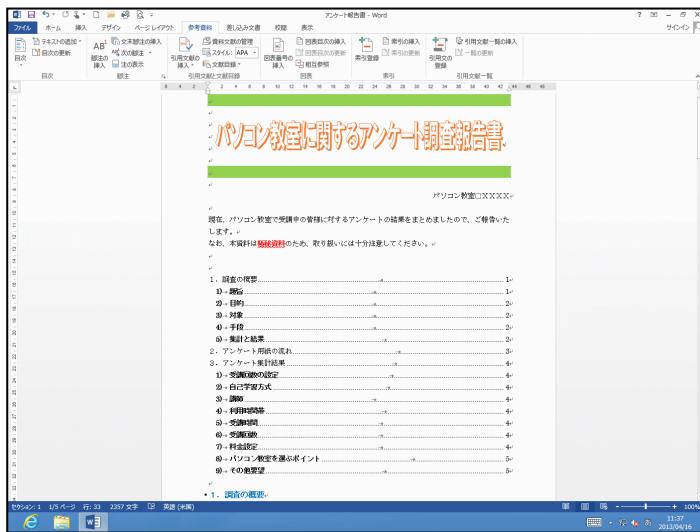
● アウトラインレベルが「2」までを目次として指定するための操作です。



● [印刷イメージ(V)] でイメージを確認してください。

[目次] ダイアログボックスの右下に表示された [OK] ボタンをクリックします。





● [OK] ボタンをクリックすると、左のようにカーソルのあった位置に目次が挿入されます。



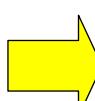
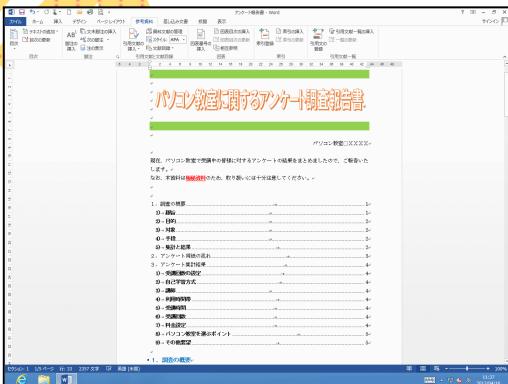
② 目次を利用してカーソルを移動する

①で挿入した目次の部分を「目次フィールド」といいます。目次フィールドを使って、本文中の見出しにカーソルを移動することができます。

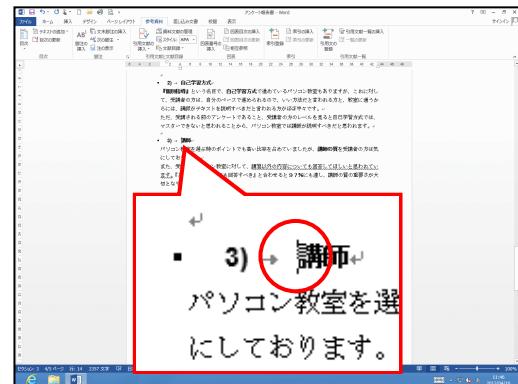
ここでは、目次を利用して4ページ14行目の「講師」にカーソルを移動してみましょう。

◆ 目次を利用して本文へカーソルを移動する方法をマスターしましょう。

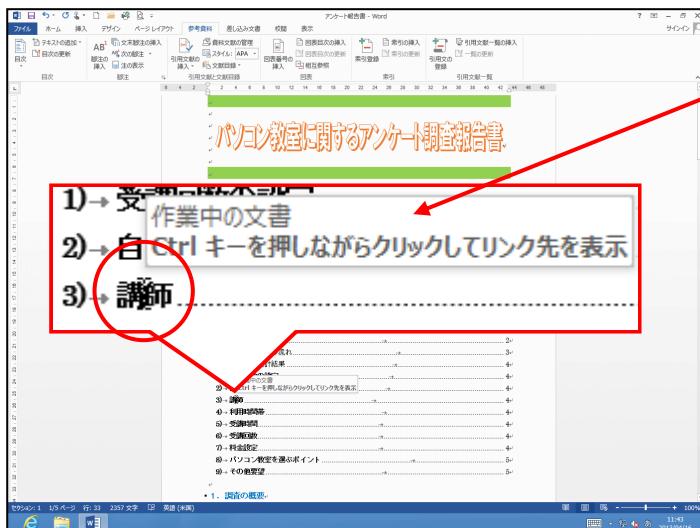
操作前



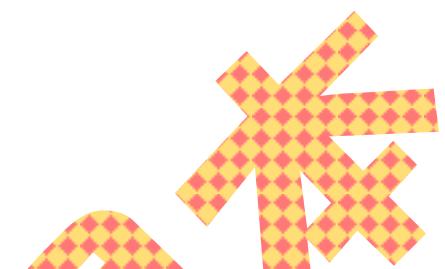
操作後



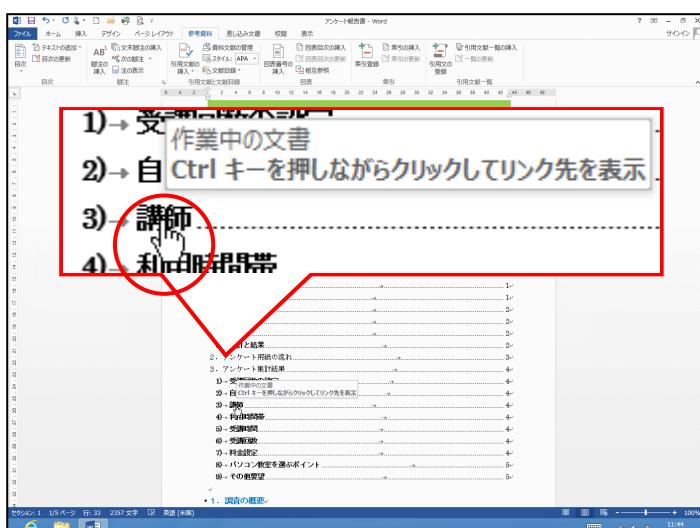
目次フィールドの「講師」にポイントします。



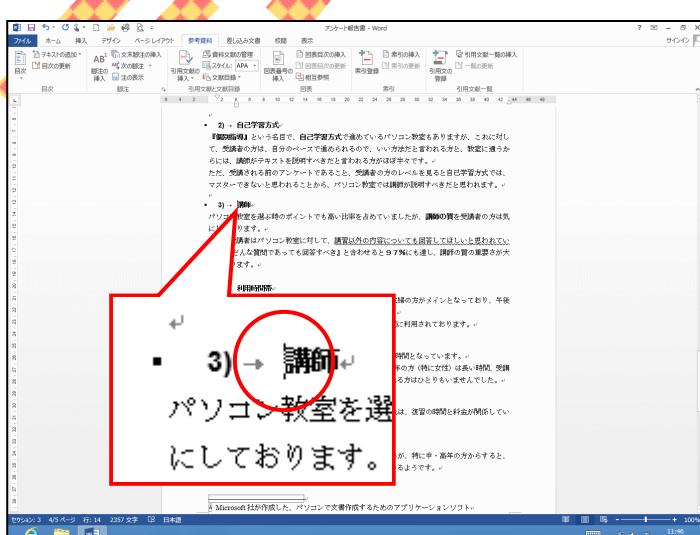
●「講師」にポイントすると、左のようなメッセージが表示されます。



[Ctrl] キーを押した状態でクリックします。



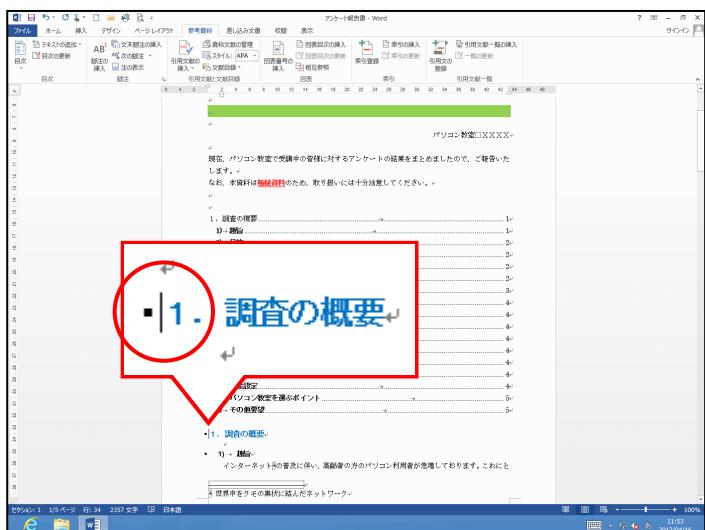
● [Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが → の状態になります。



● [Ctrl] キーを押した状態でクリックすると、「講師」の段落にカーソルが移動します。

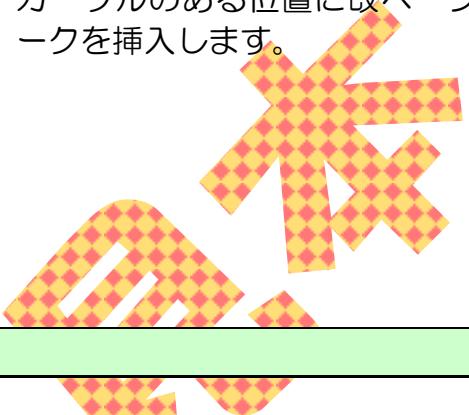
◎ 次の操作の準備として、「1. 調査の概要」を次のページに送りましょう。

1ページ34行目の「1. 調査の概要」の前にカーソルを移動します。

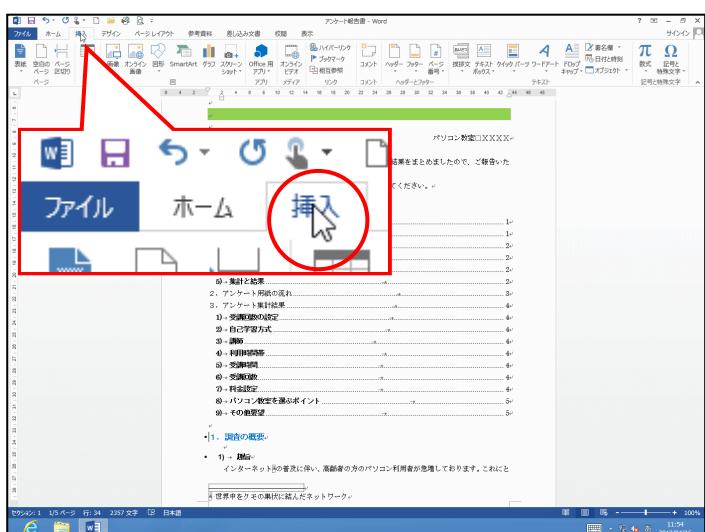


● 「1. 調査の概要」を次ページに送る操作です。

● ページ区切り（改ページ）する位置をここで指定します。
カーソルのある位置に改ページマークを挿入します。

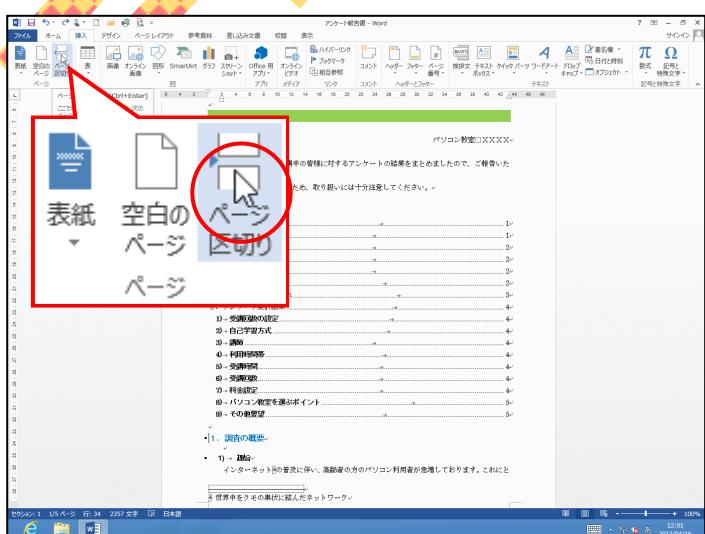


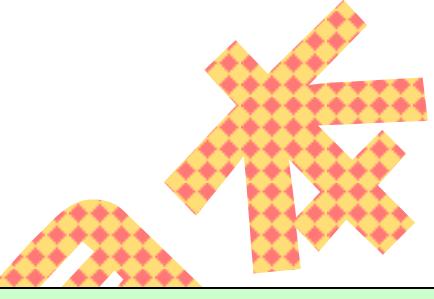
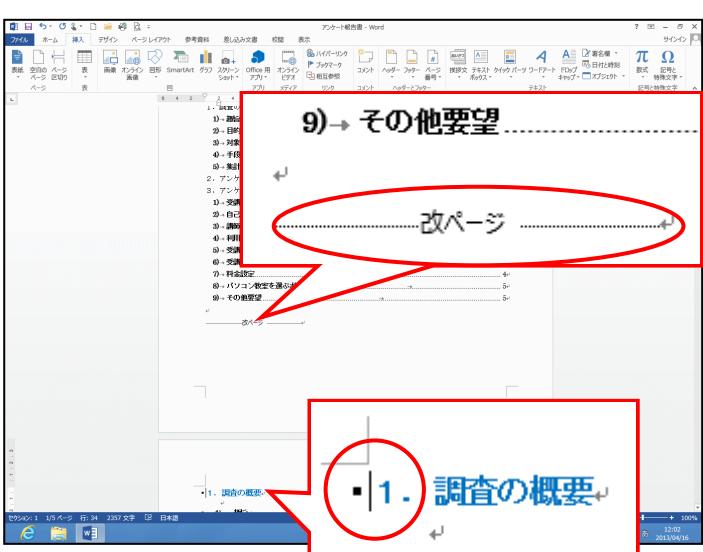
[挿入] タブをクリックします。



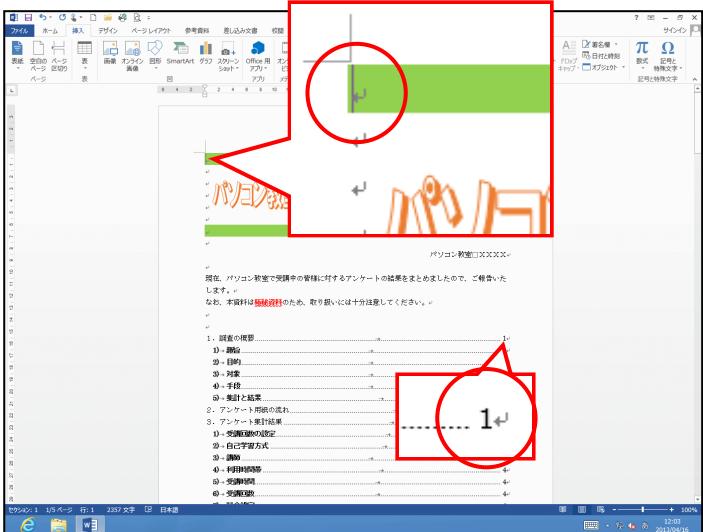
● リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示





[Ctrl] キーを押した状態で [Home] キーを押します。



● [Ctrl] キーを押した状態で [Home] キー（ノートパソコンの場合は、[Ctrl] キーと [Fn] キーを押した状態で [Home] キー）を押すと、カーソルが文書の先頭に移動します。スクロールして目次部分を表示しても構いませんが、文書が何ページにもわたるような長い文書では、上に示した方法が便利です。

● 「1. 調査の概要」を改ページして 2 ページ目に移動したにもかかわらず、目次のページ番号が「1」のままであることを確認します。

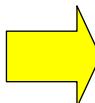
③ 目次の更新

目次を作成した後に本文中の見出しや本文を変更したことで、本文の内容と目次がずれことがあります。このような場合に、簡単に目次の内容を更新することができます。

◆ 目次の更新方法をマスターしましょう。

操作前

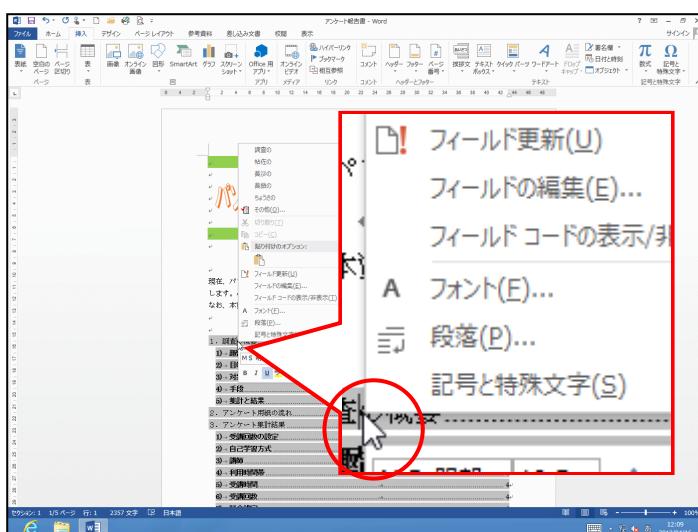
1. 調査の概要	1
1)→ 趣旨	1
2)→ 目的	2
3)→ 対象	2
4)→ 手段	2
5)→ 結計と結果	2
2. アンケート用紙の流れ	3
3. アンケート集計結果	4
1)→ 受講回数の設定	4
2)→ 自己学習方式	4
3)→ 講師	4
4)→ 利用料金	4
5)→ 受講時間	4
6)→ 受講回数	4
7)→ 料金設定	4
8)→ パソコン教室を選ぶポイント	5
9)→ その他要望	5



操作後

1. 調査の概要	2
1)→ 趣旨	2
2)→ 目的	2
3)→ 対象	2
4)→ 手段	2
5)→ 結計と結果	2
2. アンケート用紙の流れ	3
3. アンケート集計結果	4
1)→ 受講回数の設定	4
2)→ 自己学習方式	4
3)→ 講師	4
4)→ 利用料金	4
5)→ 受講時間	4
6)→ 受講回数	4
7)→ 料金設定	4
8)→ パソコン教室を選ぶポイント	5
9)→ その他要望	5

目次フィールド内を右クリックします。

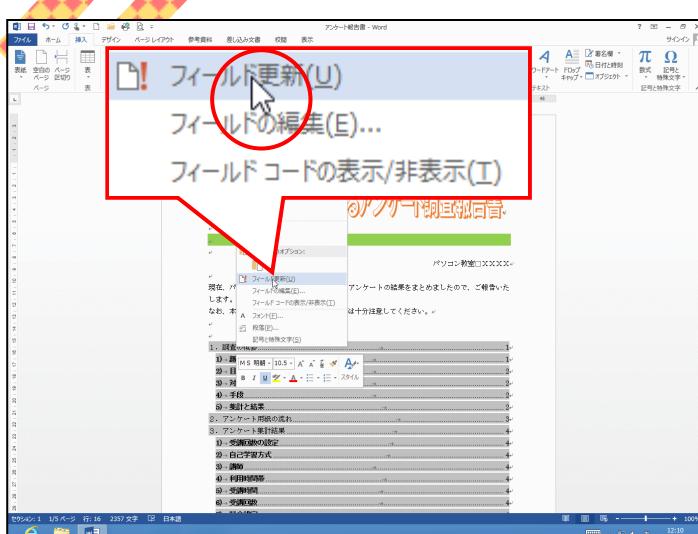


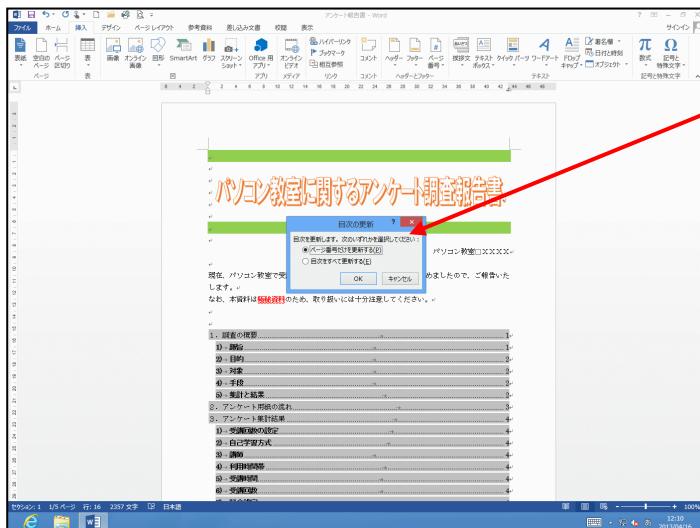
● 目次フィールド内で右クリックすると、左のようにショートカットメニューが表示されます。

注意!

● 右クリックする場所は、目次フィールド内であればどこでも構いません。

表示されたショートカットメニューから [フィールド更新(U)] をクリックします。



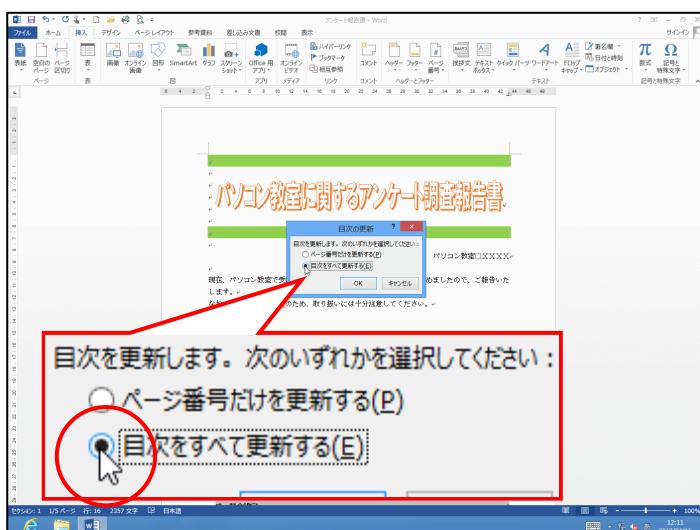


- [フィールド更新(U)] をクリックすると、左のように [目次の更新] ダイアログボックスが表示されます。

余裕があれば読んでね

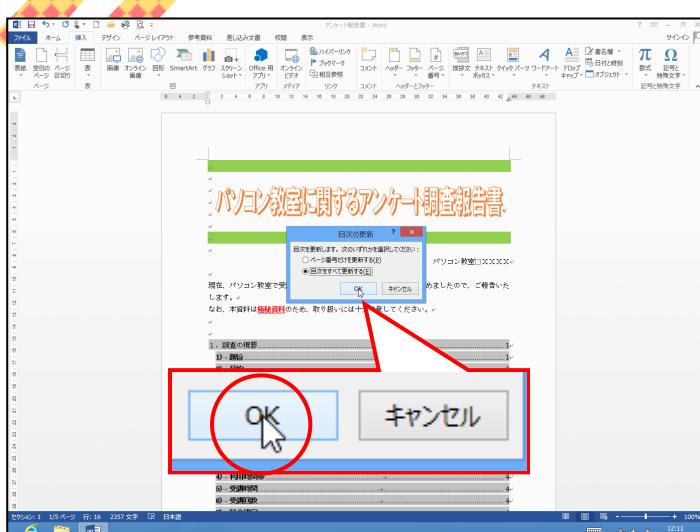
- 目次フィールドにカーソルが表示されている状態で [F9] キーを押しても、[目次の更新] ダイアログボックスが表示されます。

表示された [目次の更新] ダイアログボックスで [目次をすべて更新する(E)] をクリックします。



- [目次をすべて更新する(E)] をクリックすると、○(チェックボックス) に ● が表示されます。

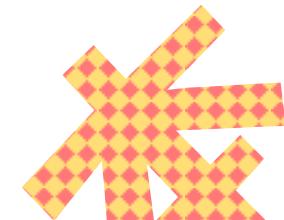
[目次の更新] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。





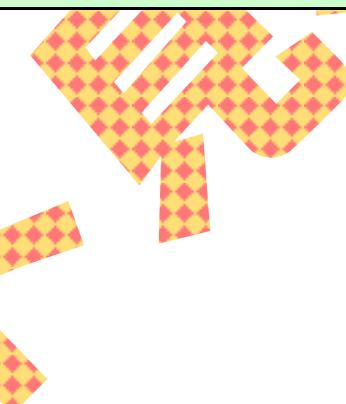
Word document titled "アンケート報告書 - Word". The page contains a title "パソコン教室に関するアンケート調査" and a table of contents. A red circle highlights the number "2" next to the second item in the table of contents.

● [OK] ボタンをクリックすると、
目次の内容とページ番号が更新さ
れるので、確認してみましょう。



カーソルを1ページ15行目に移動します。

Word document showing the cursor moved to page 1, line 15. A red circle highlights the cursor icon at the top left of the page area.



「目次」という文字を入力してフォントを「MSゴシック」、フォントスタイルを「太字」、
フォントサイズを「16pt」に設定し、中央揃えにします。

Word document showing the word "目次" entered into the document. A red box highlights the word. The font is set to "MSゴシック", bold style, and size 16pt, centered on the page.

上書き保存をして「アンケート報告書」を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題13で理解度を試して下さい。☆☆

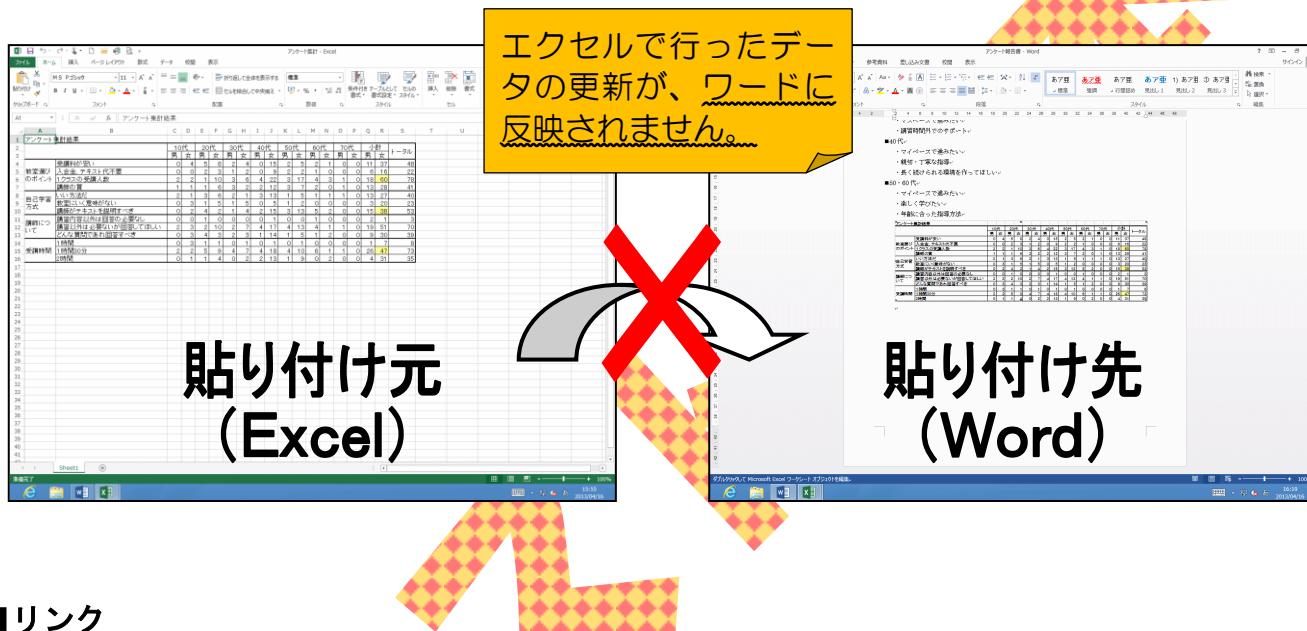
5. 他のアプリケーションの利用

エクセルなどの表計算ソフトで作成したデータ（ワークシート）をワード文書の中に貼り付けて利用することができます。

貼り付ける方法には、「埋め込み」と、「リンク」の2種類の方法があります。

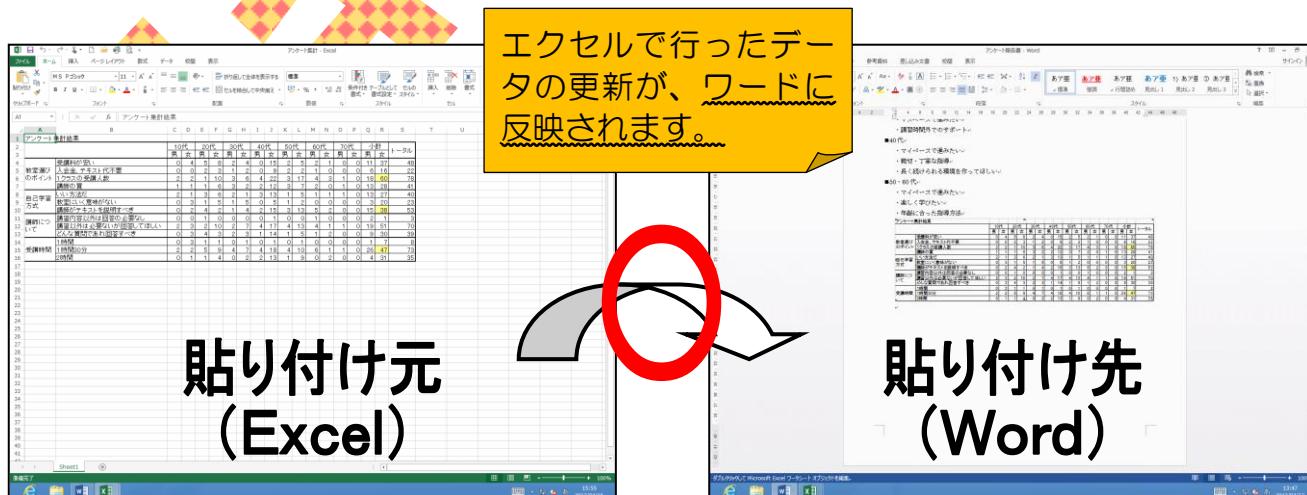
■埋め込み

埋め込みとは、あるファイルのデータ（貼り付け元）を、別のアプリケーションのファイル（貼り付け先）に挿入することをいいます。貼り付け元と貼り付け先のデータは連携されないので、一方でデータの内容を変更しても、もう一方のデータにはその変更内容は反映されません。埋め込んだデータは「埋め込みオブジェクト」として挿入されます。



■リンク

リンクとは、あるファイルのデータ（貼り付け元）と別のアプリケーションファイル（貼り付け先）のデータの情報を関連付け（リンク）、貼り付け元と貼り付け先のデータを連携させることをいいます。貼り付け元のデータの内容を変更すると、貼り付け先のデータは自動的に更新されます。貼り付けたデータは「リンクオブジェクト」として挿入されます。



(1) 埋め込み

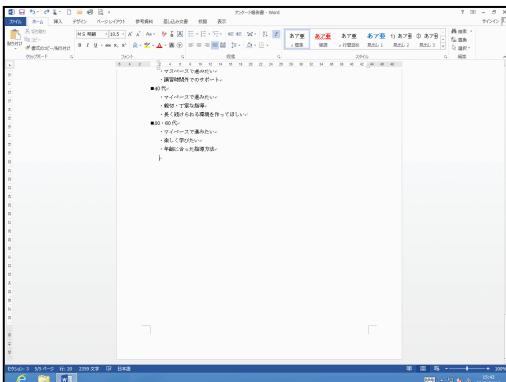
2つの貼り付け方法のうち、「埋め込み」を利用してエクセルのデータを文書内に貼り付けてみましょう。

① 貼り付け元のデータを開く

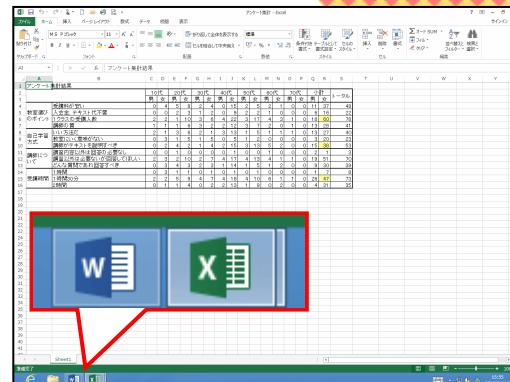
次の方法で貼り付け元のデータを開いてみましょう。

◆貼り付け元のデータを開く方法をマスターしましょう。

操作前



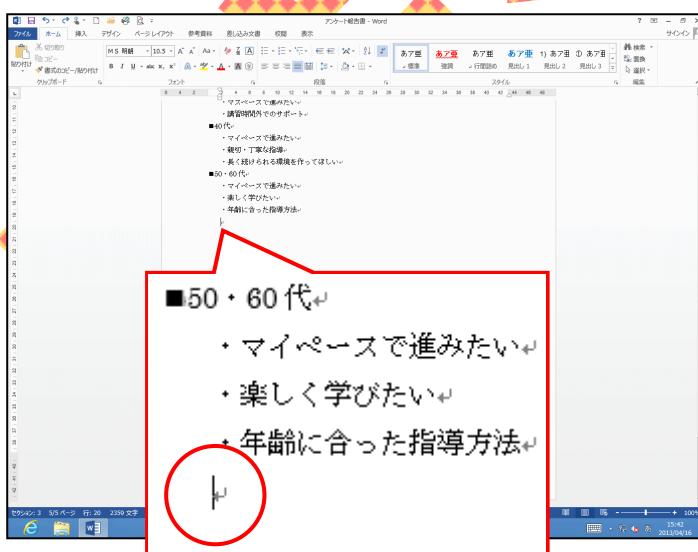
操作後



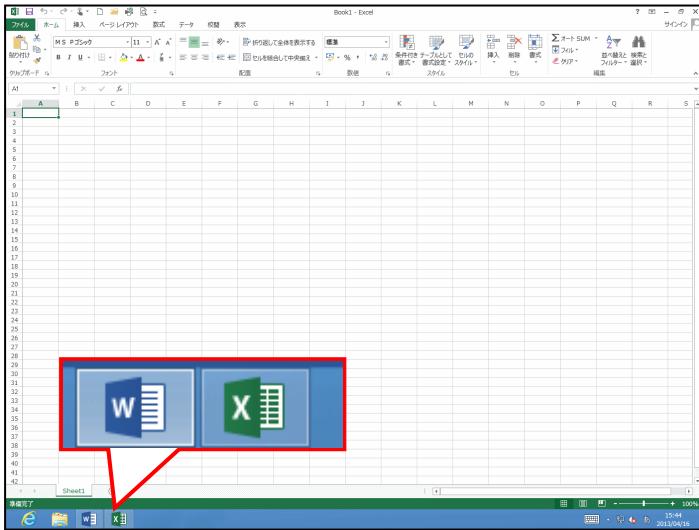
リムーバブルディスクに保存した「アンケート報告書」を開き、文末にカーソルを移動します。

●エクセルのデータの貼り付け先を指定するための操作です。

●[Ctrl] キーを押した状態で [End] キー（ノートパソコンの場合は、[Ctrl] キーと [Fn] キーを押しした状態で [End] キー）を押します。

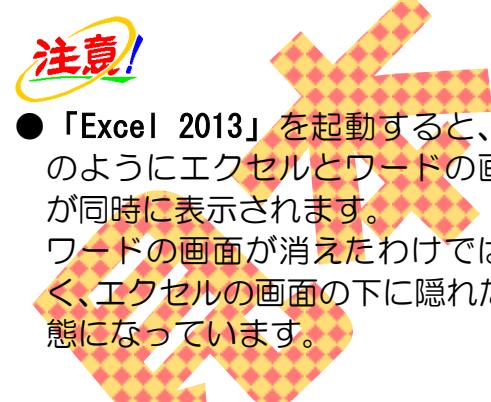


「Excel 2013」を起動します。

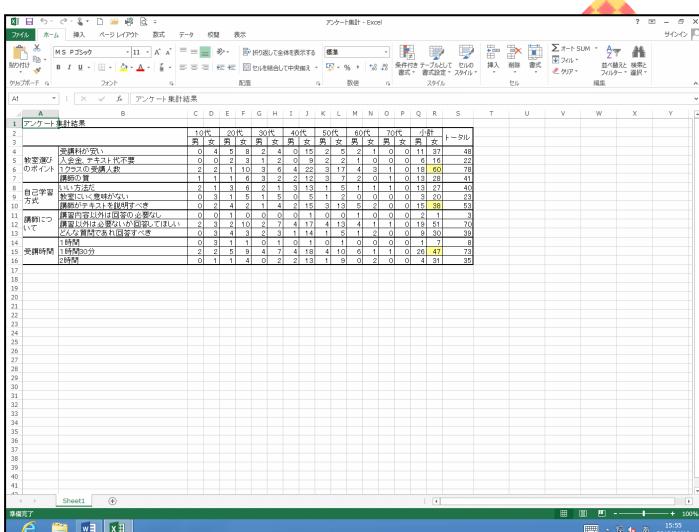


- エクセルを起動するには、スタート画面から [Excel 2013] をクリックし、表示された一覧から「**空白のブック**」をクリックします。

- 「アンケート報告書」のワード文書は開いた状態で、エクセルを起動します。



ドキュメントフォルダーにある「アンケート集計」を開きます。



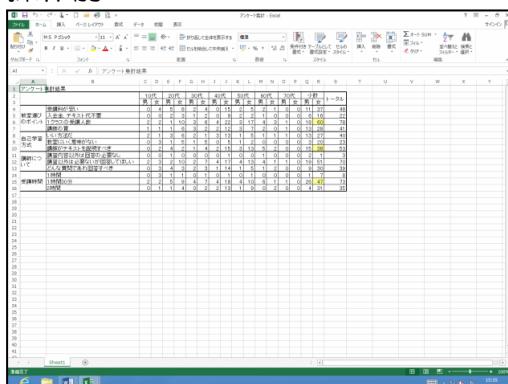
- ドキュメントフォルダーにある「アンケート集計」を開くと、左のような画面が表示されます。

② エクセルの表をワードに貼り付け

エクセルの表をコピーして、ワード文書に貼り付けてみましょう。

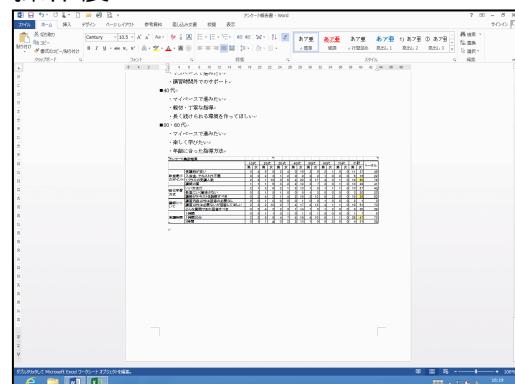
◆エクセルの表をワードに貼り付ける方法をマスターしましょう。

操作前



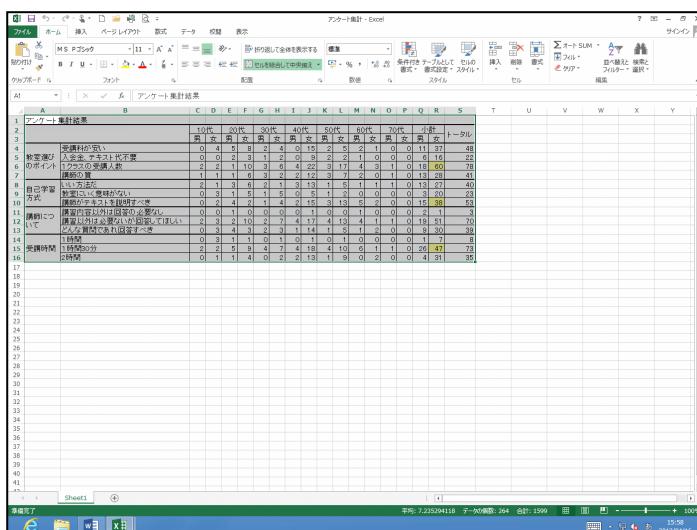
A screenshot of Microsoft Excel showing a table titled "アンケート集計結果". The table has columns for age groups (10代, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代, 70代) and gender (男, 女). The rows contain various survey questions and their corresponding counts. The range A1:S16 is highlighted.

操作後



A screenshot of Microsoft Word showing the same table from Excel pasted into the document. The table is pasted as a separate object, indicated by a small icon in the top-left corner of the table frame.

セル A1 : S16 までの範囲を選択します。

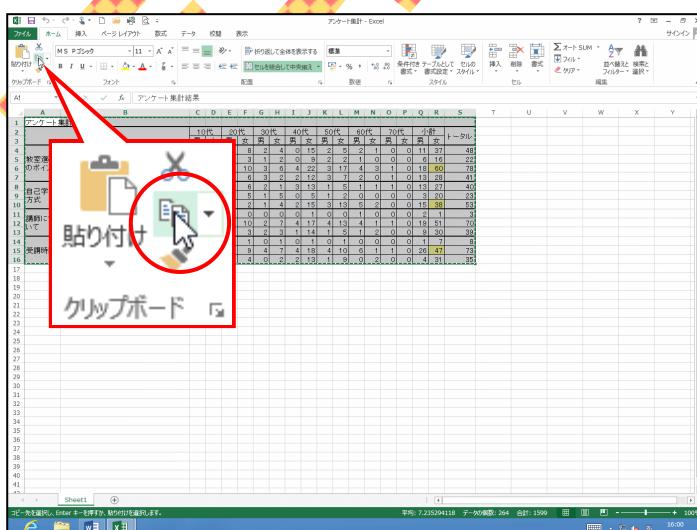


A screenshot of Microsoft Excel showing the range A1:S16 selected. The cells are highlighted in gray, and the status bar at the bottom indicates "A1:S16" and "17行 1列".

●エクセルのウィンドウに表示されている升目の1つ1つをセルといいます。

●A1 から右下に向かってドラッグして S16 まで選択すると、グレーに反転表示されます。

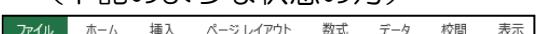
[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [コピー] ボタンをクリックします。



A screenshot of Microsoft Excel showing the ribbon with the "Home" tab selected. The "Clipboard" group is highlighted, and the "Copy" button is circled in red. The status bar at the bottom indicates "A1:S16" and "17行 1列".

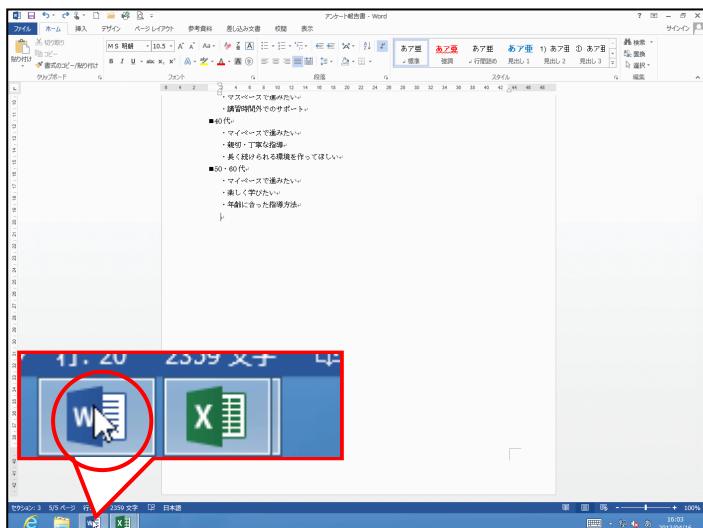
●範囲選択した状態で [コピー] ボタンをクリックすると、範囲選択した部分が点滅した点線で囲まれます。

●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)



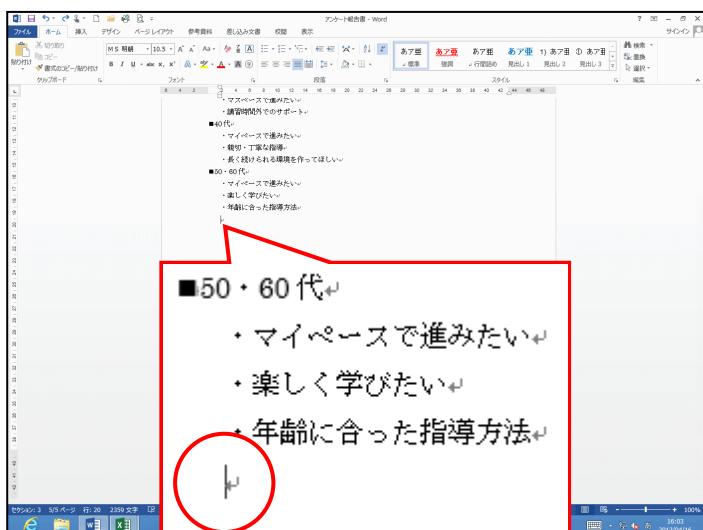


タスクバーに表示された ワードのアイコンをクリックします。



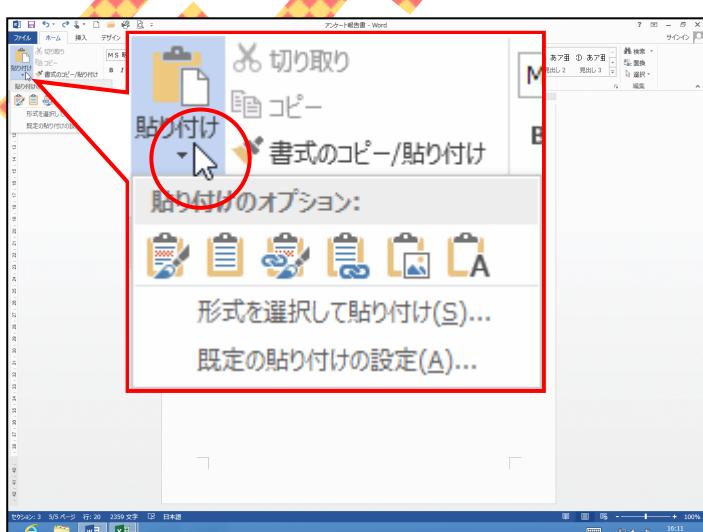
● タスクバーの ワードのアイコンをクリックすると、エクセルからワードに画面が切り替わります。

文末にカーソルが表示されていることを確認します。



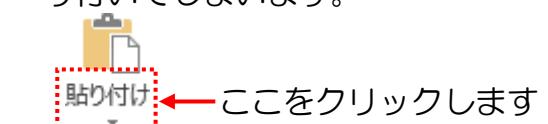
● エクセルのデータの貼り付け先を確認します。文末にカーソルがない方は、カーソルを文末に移動してください。

[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [貼り付け] ボタンをクリックします。

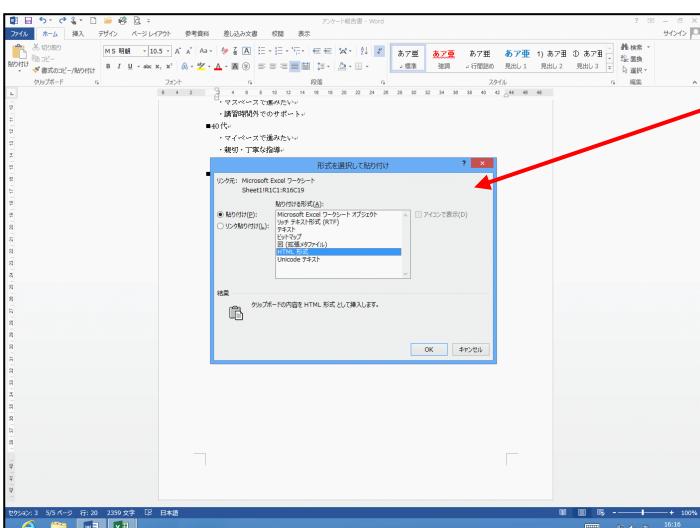
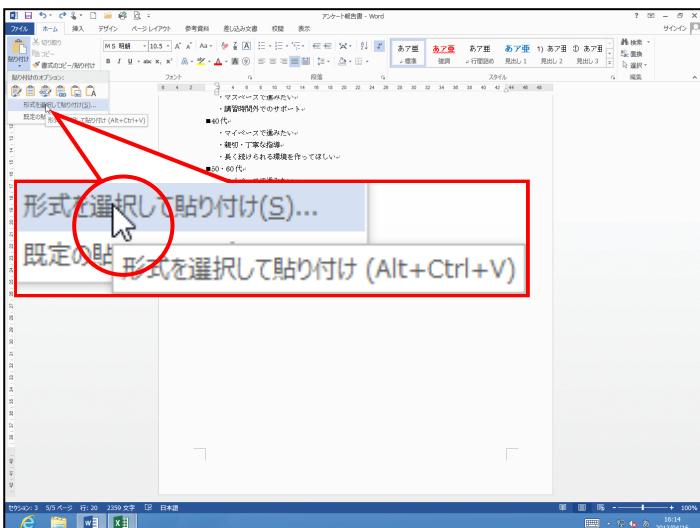


注意!

● [貼り付け] ボタンにポイントすると、下図のようにボタンが 2 つに分かれます。必ず、 をクリックしてください。 をクリックしてしまうと、ワードの表として貼り付いてしまいます。

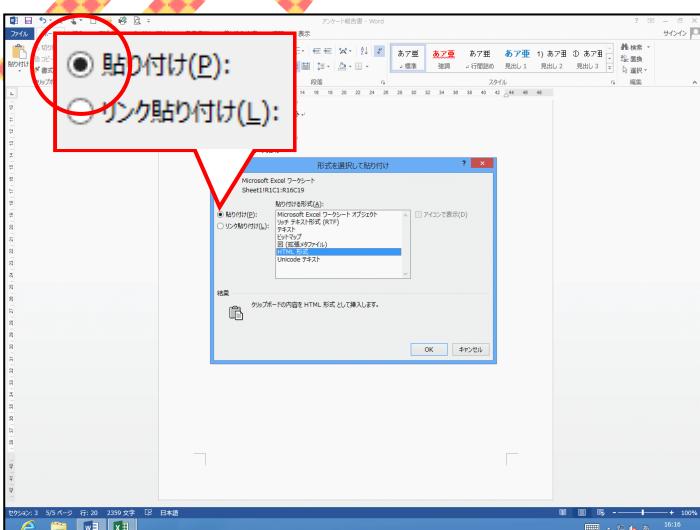


表示されたメニューから [形式を選択して貼り付け(S)...] をクリックします。



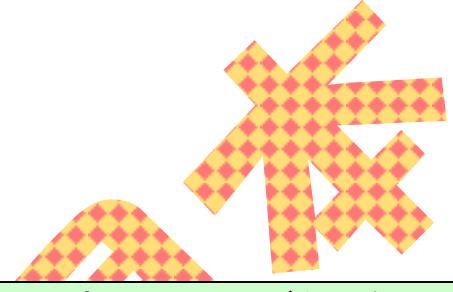
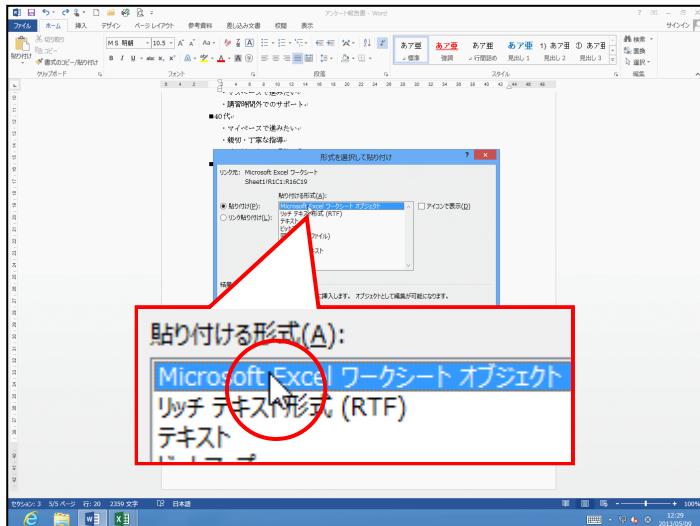
● [形式を選択して貼り付け(S)...] をクリックすると、左のように [形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスが表示されます。

表示された [形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスで [貼り付け(P):] が選択されていることを確認します。

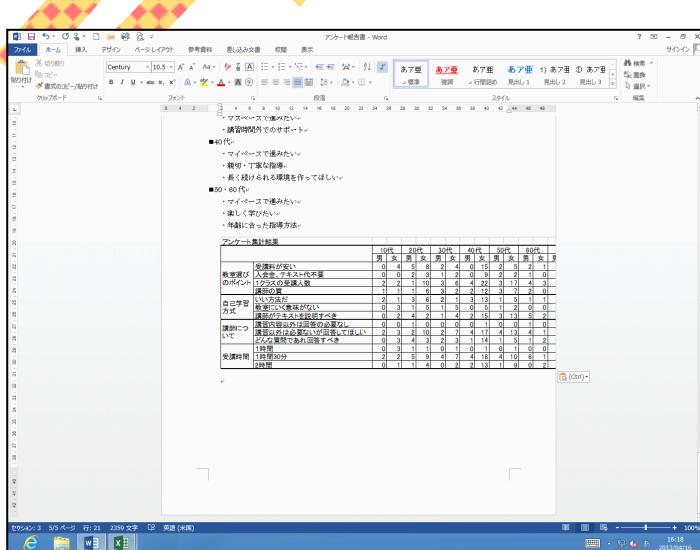
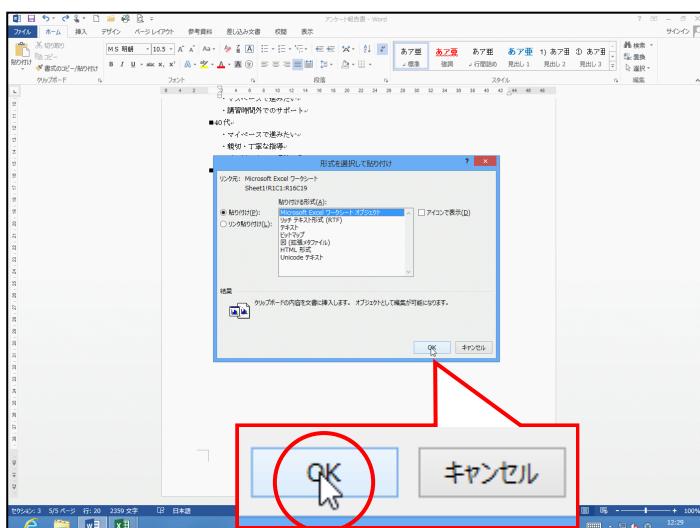


● [貼り付け(P):] が選択されていない方は、[貼り付け(P):] をクリックして選択してください。

[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの[貼り付ける形式(A):]から「Microsoft Excel ワークシート オブジェクト」をクリックします。

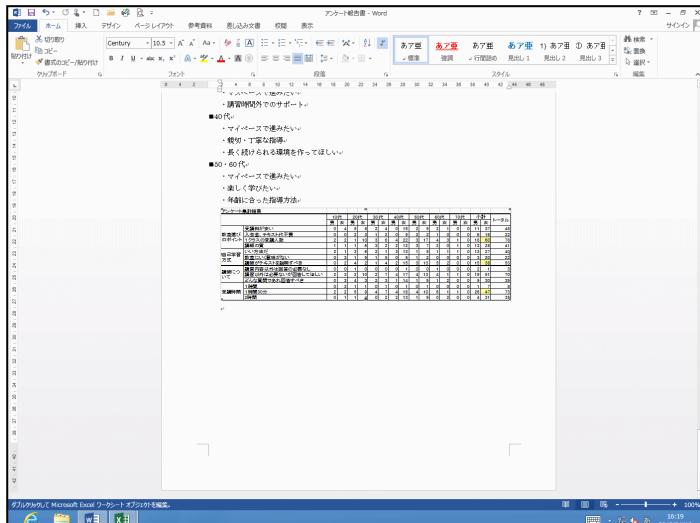


[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。

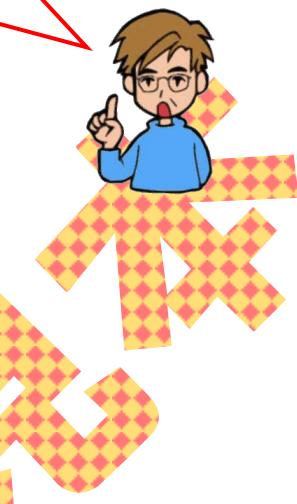


● [OK] ボタンをクリックした時点で、カーソルがあった位置に表が貼り付きました。

貼り付けた表の大きさを調整してページ内に収まるようにします。



●貼り付けた表内でクリックすると、表の周りに ■ (サイズ変更ハンドル) が表示されるので、図形のサイズ変更と同じ要領でドラッグしてサイズを小さくします。



③ 埋め込んだデータの変更

文書内に埋め込んだエクセルのワークシートのデータを変更してみましょう。

◆文書内に貼り付けたエクセルの表のデータを変更する方法をマスターしましょう。

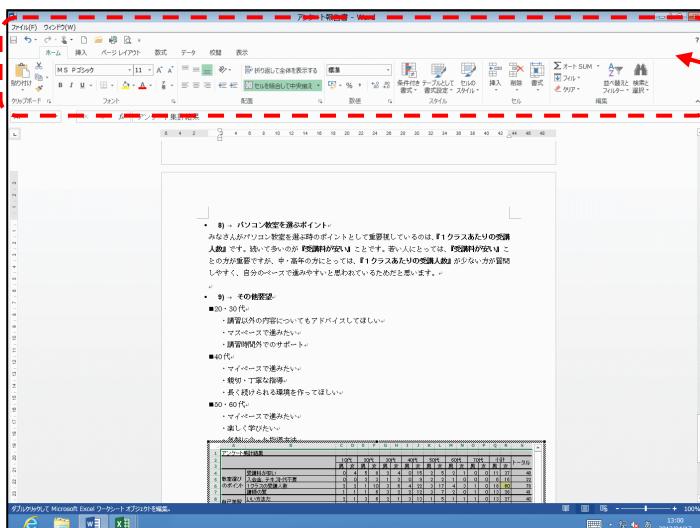
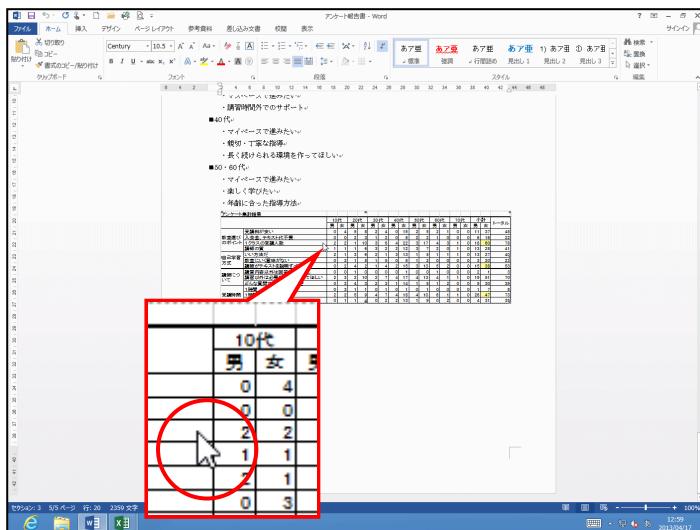
操作前

		アンケート集計結果																									
		10代			20代			30代			40代			50代			60代			70代			小計			トータル	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教室選びのポイント	受講料が安い	0	4	5	8	2	4	0	15	2	5	2	1	0	0	11	37	48	0	0	5	16	0	0	18	60	22
	入会金、テキスト代不要	0	0	0	2	3	1	2	0	9	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	1クラスの受講人数	2	2	1	10	3	5	4	22	3	17	4	3	1	0	18	60	78	1	0	1	18	3	1	0	1	60
	講師の質	1	1	1	6	3	2	2	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41	1	0	1	13	2	0	1	0	28
自己学習方式	いい方法だ	2	1	3	6	2	1	3	13	1	5	1	1	1	0	13	27	40	2	1	0	13	1	0	1	0	27
	教室にいく意味がない	0	3	1	5	1	5	0	5	1	2	0	0	0	0	0	3	20	23	0	0	0	3	0	0	0	20
	講師がテキストを説明すべき	0	2	4	2	1	4	2	15	3	13	5	2	0	0	15	38	53	0	2	0	0	0	0	0	0	38
講師について	講習内容以外は回答の必要なし	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	講習以外は必要ないが回答してほしい	2	3	2	10	2	7	4	17	4	13	4	1	1	0	19	51	70	2	3	2	10	2	7	4	1	51
	どんな質問であれ回答すべき	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	0	9	30	39	0	3	4	3	2	3	1	30
受講時間	1時間	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	7	8	0	3	1	1	0	0	0	1
	1時間30分	2	2	5	9	4	7	4	18	4	10	6	1	1	0	26	47	73	2	2	5	9	4	7	4	1	47
	2時間	0	1	1	4	0	2	2	13	1	9	0	2	0	0	0	4	31	35	0	1	1	4	0	2	2	0

操作後

		アンケート集計結果																									
		10代			20代			30代			40代			50代			60代			70代			小計			トータル	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教室選びのポイント	受講料が安い	2	4	5	8	2	4	0	15	2	5	2	1	0	0	13	37	50	0	0	5	16	0	0	18	60	22
	入会金、テキスト代不要	0	0	0	2	3	1	2	0	9	2	2	1	0	0	0	0	6	16	0	0	0	0	0	0	0	16
	1クラスの受講人数	2	2	1	10	3	6	4	22	3	17	4	3	1	0	18	60	78	2	3	2	10	2	7	4	1	60
	講師の質	1	1	1	6	3	2	2	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41	2	1	0	13	2	0	1	0	28
自己学習方式	いい方法だ	2	1	3	6	2	1	3	13	1	5	1	1	1	0	13	27	40	2	1	0	13	1	0	1	0	27
	教室にいく意味がない	0	3	1	5	1	5	0	5	1	2	0	0	0	0	0	3	20	23	0	0	0	3	0	0	0	20
	講師がテキストを説明すべき	0	2	4	2	1	4	2	15	3	13	5	2	0	0	15	38	53	0	2	0	0	0	0	0	0	38
講師について	講習内容以外は回答の必要なし	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	講習以外は必要ないが回答してほしい	2	3	2	10	2	7	4	17	4	13	4	1	1	0	19	51	70	2	3	2	10	2	7	4	1	51
	どんな質問であれ回答すべき	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	0	9	30	39	0	3	4	3	2	3	1	30
受講時間	1時間	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	7	8	0	3	1	1	0	0	0	1
	1時間30分	2	2	5	9	4	7	4	18	4	10	6	1	1	0	26	47	73	2	2	5	9	4	7	4	1	47
	2時間	0	1	1	4	0	2	2	13	1	9	0	2	0	0	0	4	31	35	0	1	1	4	0	2	2	0

文書に表示された表をダブルクリックします。

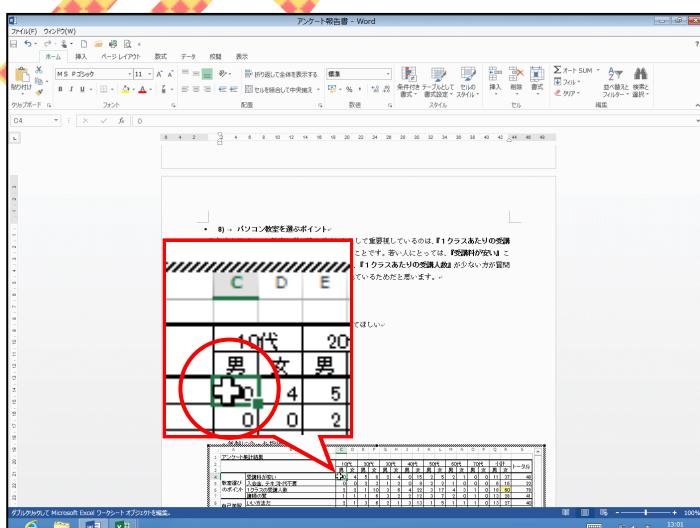


●表をダブルクリックすると、タブ、リボンがエクセルの内容のものに切り替わります。

余裕があれば読んでね

●表を右クリックして、表示されるショートカットメニューから[ワークシートオブジェクト(0)] – [編集(E)] をクリックしても同じです。

セル C4 をクリックします。



●C4 をクリックすると、アクティブセルが C4 に移動します。

「2」を入力してデータを確定します。

●「2」を入力してデータを確定すると、S4 のトータルが「48」から「50」に変わります。

●「2」を入力してデータを確定すると、S4 のトータルが「48」から「50」に変わります。

表示された表の外でクリックします。

●表の外をクリックすると、タブ、リボンがワードの内容のものに戻ります。

●表の外をクリックすると、タブ、リボンがワードの内容のものに戻ります。



●変更したデータは、貼り付け元のデータ（エクセルのデータ）には反映されません。

●表の外をクリックすると、タブ、リボンがワードの内容のものに戻ります。

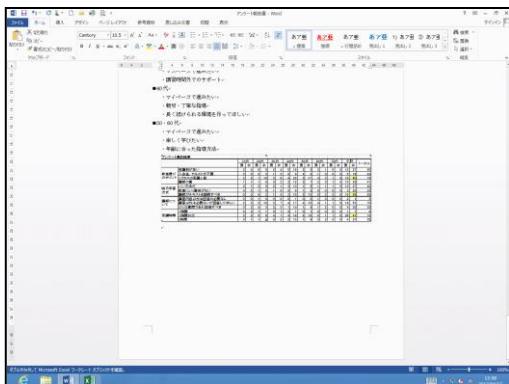


④ 埋め込みオブジェクトの削除

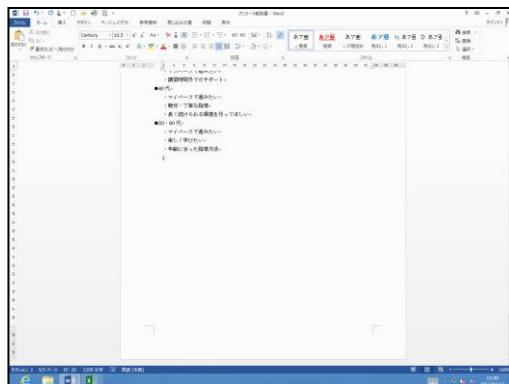
せっかく貼り付けた表ですが、次の操作のために削除してみましょう。

◆埋め込んだオブジェクトを削除する方法をマスターしましょう。

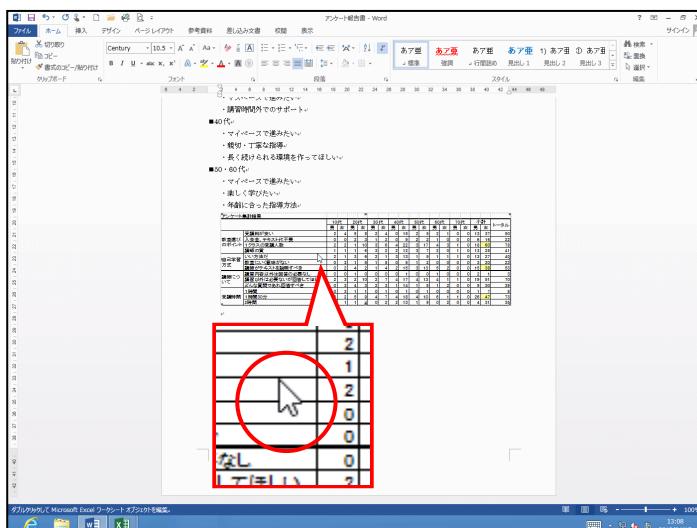
操作前



操作後

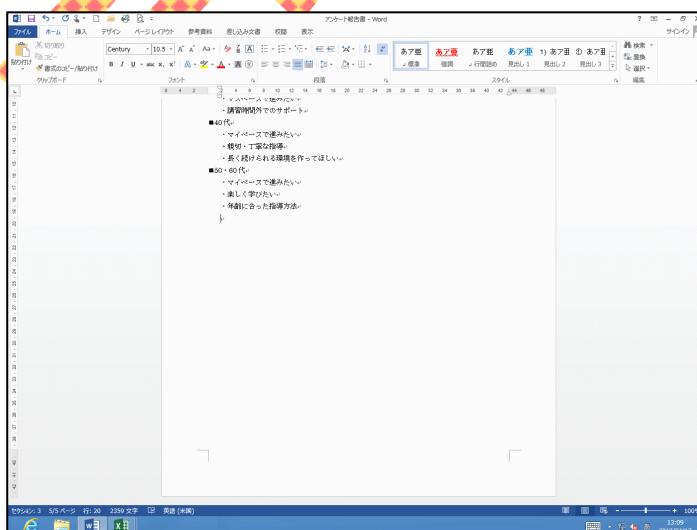


表をクリックして選択します。



●挿入したオブジェクトをクリックすると、周りに■(サイズ変更ハンドル)が表示されます。

[Delete] キーを押します。



● [Delete] キーを押すと、選択されていたオブジェクトが削除されます。

(2) リンク

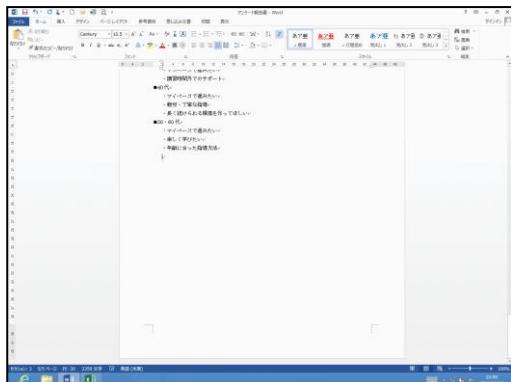
もう1つの貼り付け方法、「リンク」を利用してエクセルのデータを文書内に貼り付けてみましょう。

① エクセルの表をワードにリンク貼り付け

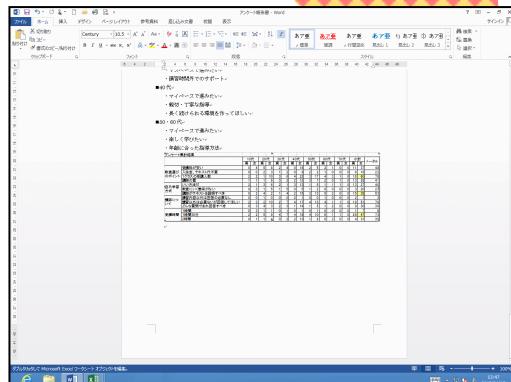
エクセルの表をコピーしてワード文書にリンク貼り付けをしてみましょう。

◆エクセルの表をワードにリンク貼り付けする方法をマスターしましょう。

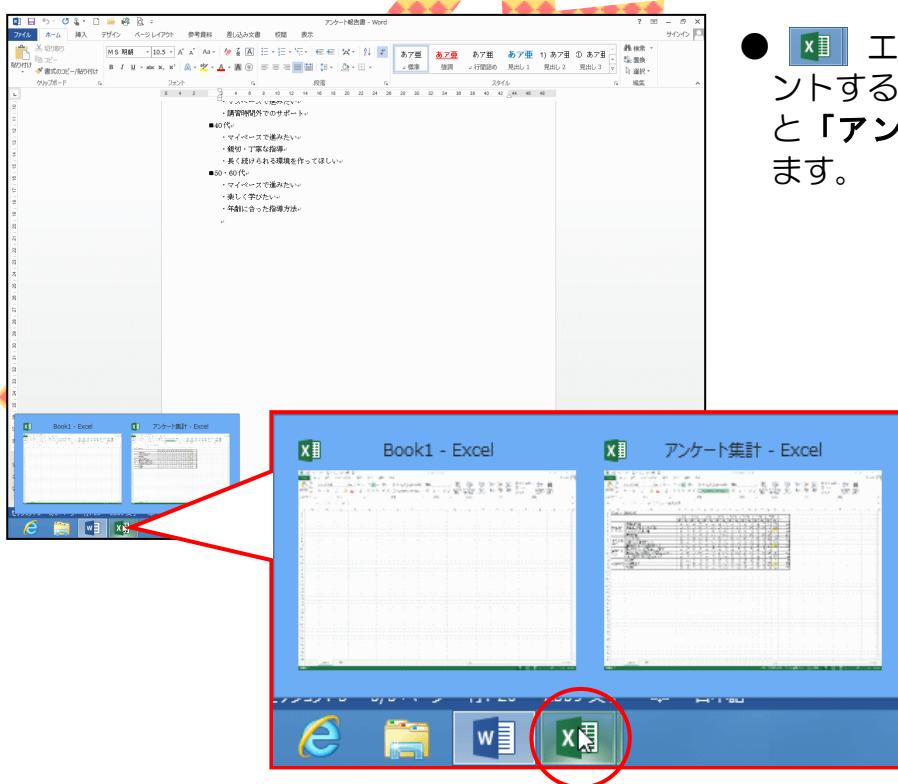
操作前



操作後



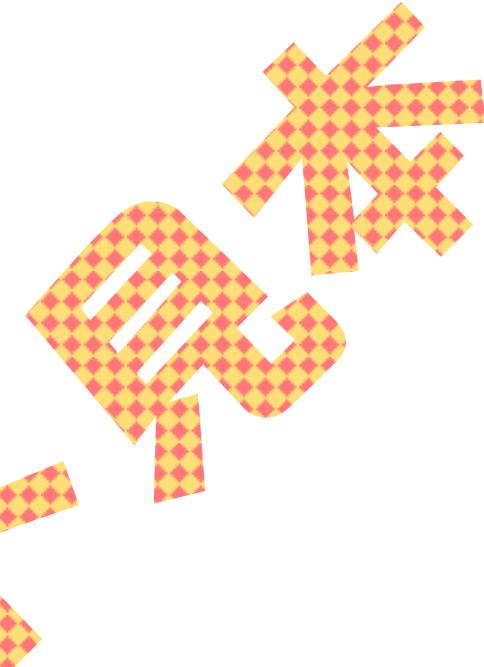
タスクバーに表示された エクセルのアイコンにポイントします。



● エクセルのアイコンにポイントすると、左のように「Book1」と「アンケート集計」が表示されます。

表示されたエクセルのウィンドウの「アンケート集計」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	アンケート集計結果																								
2		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	110代	120代	130代	140代	150代	160代	170代	180代	190代	200代	210代	220代		
3		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
5	被選択が欲しい	0	1	5	8	2	4	1	15	2	1	0	0	11	37	48									
6	被選択が欲しい 人会金、マキト一代不要	0	0	2	3	1	2	0	8	2	2	1	0	0	6	16	22								
7	被選択が欲しい 人会金、マキト一代不要 の理由	0	0	1	1	1	1	6	3	2	21	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41				
8	自己学習	2	1	3	6	2	1	3	13	1	5	1	1	0	13	27	40								
9	万円	0	2	4	2	1	4	21	15	3	13	6	2	0	0	15	38	53							
10	被選択が欲しい 理由2を何時行へば	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11	被選択が欲しい 理由3はなぜ選ばない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	被選択が欲しい 理由4はなぜ選ばない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
13	いいで	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	8	30	38							
14	被選択時間	0	0	2	5	1	4	7	41	18	2	11	0	0	0	0	0	0	0	26	47	73			
15	1時間	0	1	1	4	0	2	21	19	1	8	0	2	0	0	4	31	31	35						
16	実施時間																								
17																									



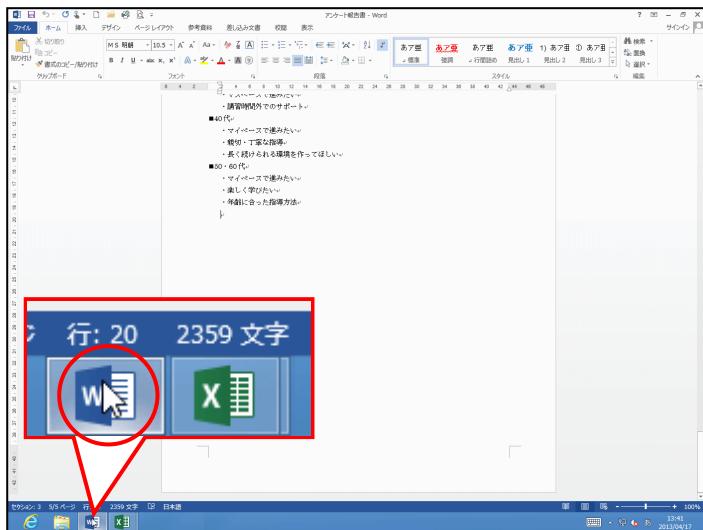
A1 : S16 までが選択されていることを確認して、[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [コピー] ボタンをクリックします。

注意!

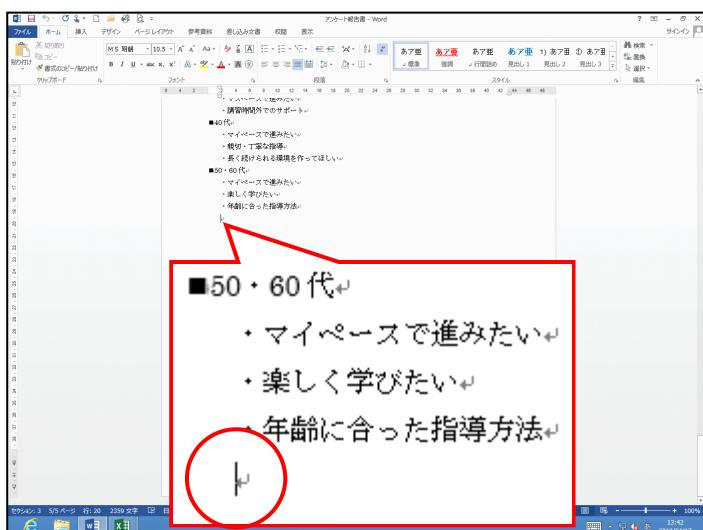
● A1:S16 が選択されていることを確認してから操作してください。
選択されていない方は、A1 : S16 を選択してから操作しましょう。



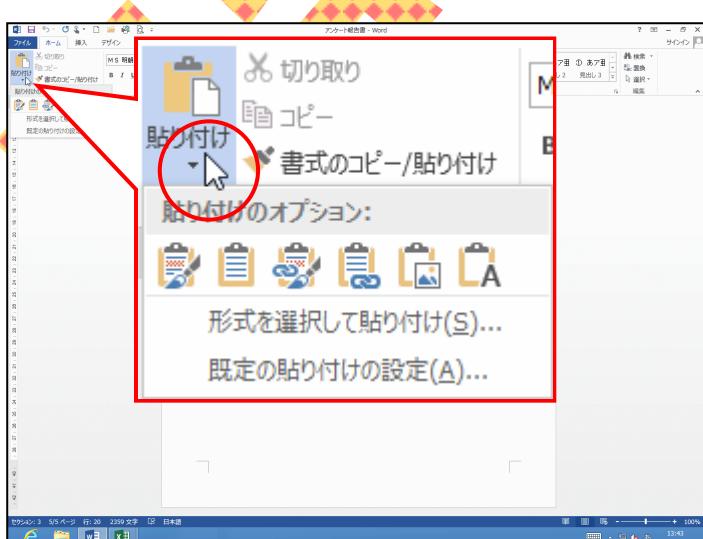
タスクバーに表示された ワードのアイコンをクリックします。



文末にカーソルが表示されていることを確認します。

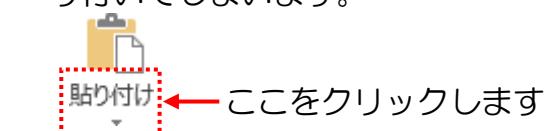


[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [貼り付け] ボタンをクリックします。

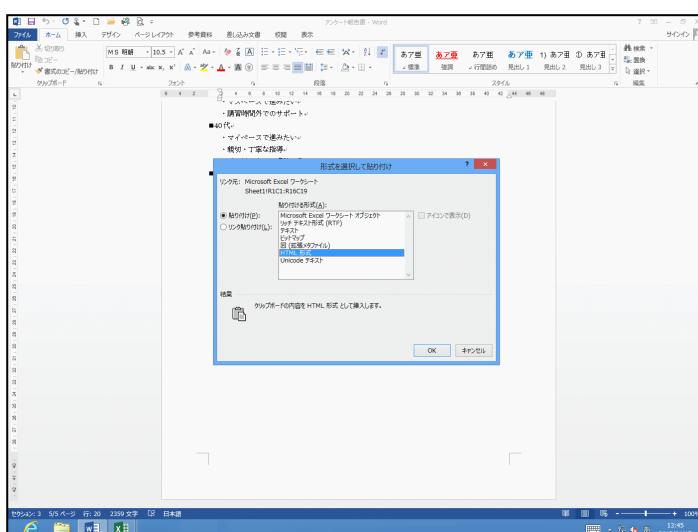
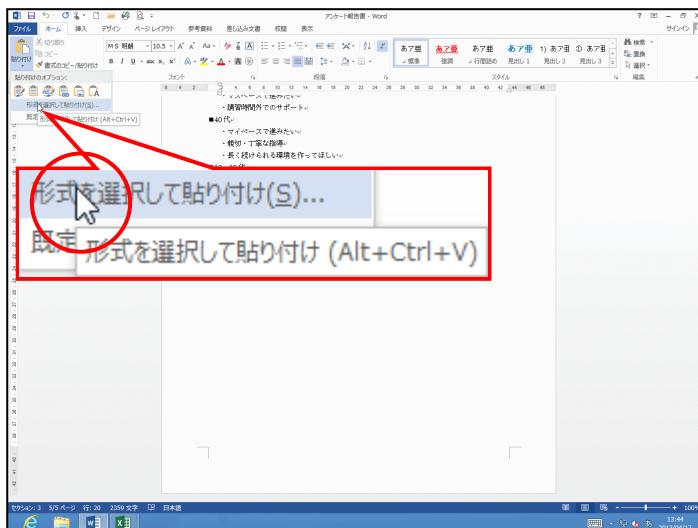


● エクセルのデータの貼り付け先を確認します。文末にカーソルがない方は、カーソルを文末に移動してください。

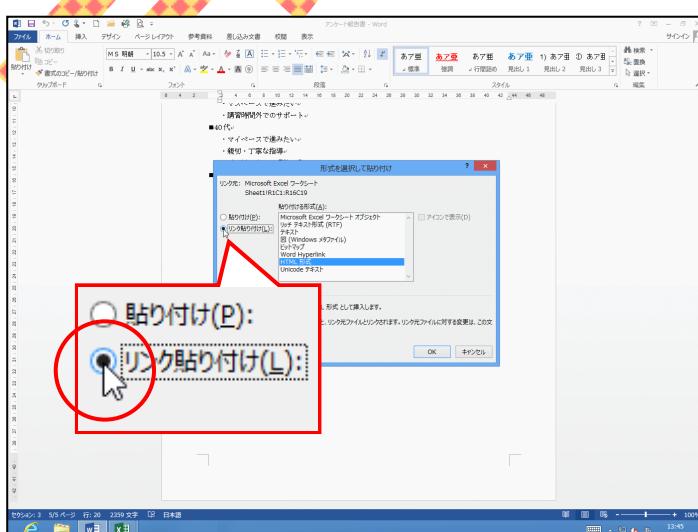
● [貼り付け] ボタンにポイントすると、下図のようにボタンが 2 つに分かれます。必ず、 をクリックしてください。 をクリックしてしまうと、ワードの表として貼り付いてしまいます。



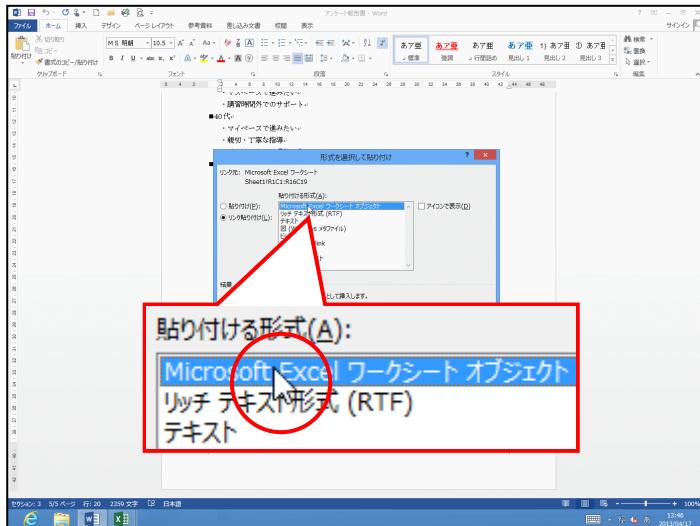
表示されたメニューから [形式を選択して貼り付け(S)...] をクリックします。



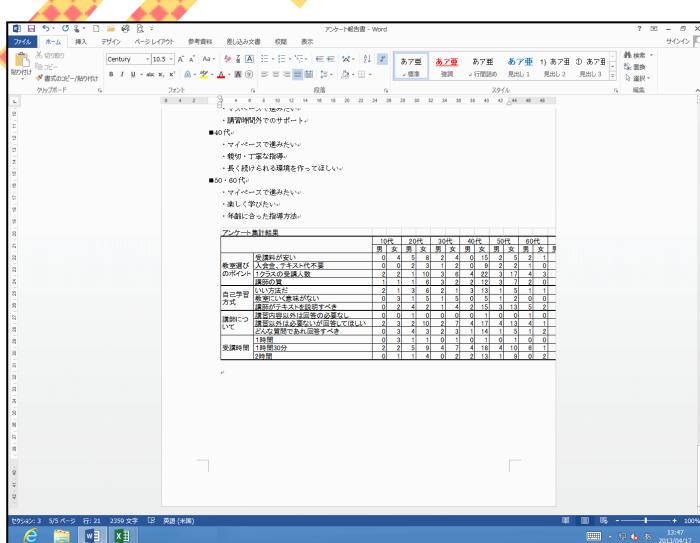
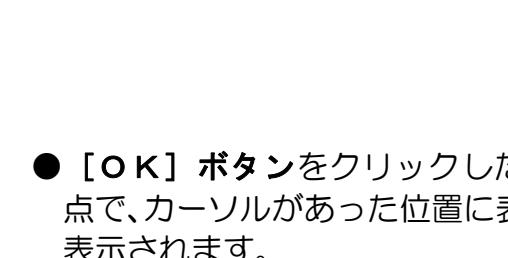
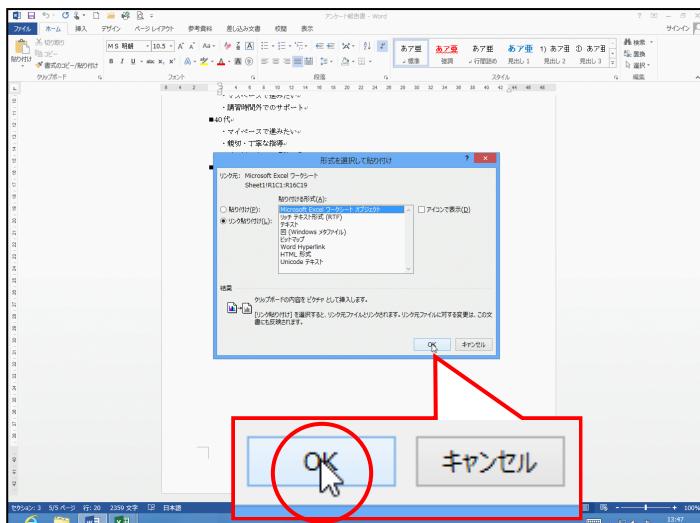
表示された [形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの [リンク貼り付け(L):] チェックボックスをクリックします。



[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの[貼り付ける形式(A):]から「Microsoft Excel ワークシート オブジェクト」をクリックします。

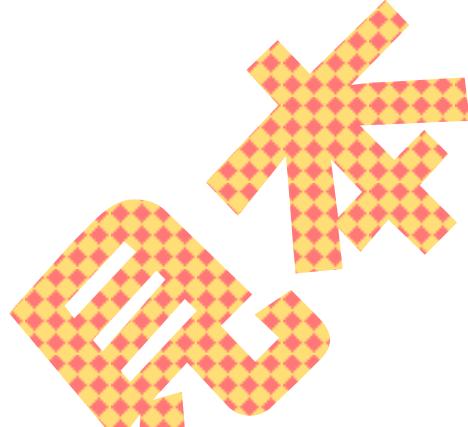
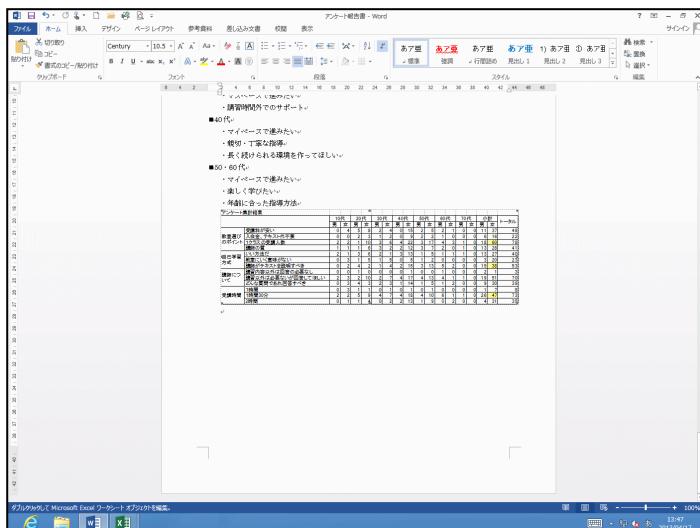


[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスの右下にある [OK] ボタンをクリックします。



● [OK] ボタンをクリックした時点で、カーソルがあつた位置に表が表示されます。

貼り付けた表の大きさを調整してページ内に収まるようにします。



② リンクデータの変更

文書内にリンク貼り付けしたエクセルのワークシートのデータを変更し、更新後にデータが反映されていることを確認してみましょう。

◆文書内にリンク貼り付けしたエクセルの表のデータを変更する方法をマスターしましょう。

操作前

アンケート集計結果		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		小計		トータル
教室選びのポイント	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受講料が安い	男	0	4	5	8	2	4	0	15	2	5	2	1	0	0	11	37	48
入会金、テキスト代不要	女	0	0	2	3	1	2	0	9	2	2	1	0	0	0	6	16	22
1クラスの受講人数	男	2	2	1	10	3	6	4	22	3	17	4	3	1	0	18	60	78
講師の質	女	1	1	1	6	3	2	2	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41
いい方法だ	男	2	1	3	6	2	1	3	13	1	5	1	1	1	0	13	27	40
教室にいく意味がない	女	0	3	1	5	1	5	0	5	1	2	0	0	0	0	3	20	23
講師がテキストを説明すべき	男	0	2	4	2	1	4	2	15	3	13	5	2	0	0	15	38	53
講習内容以外は回答の必要なし	女	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	3
講習以外は必要ないが回答してほしい	男	2	3	2	10	2	7	4	17	4	13	4	1	1	0	19	51	70
どんな質問であれ回答すべき	女	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	9	30	39
受講時間	男	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	7	8
	女	2	2	5	9	4	7	4	18	4	10	6	1	1	0	26	47	73
	合計	0	1	1	4	0	2	2	13	1	9	0	2	0	0	4	31	35

操作後

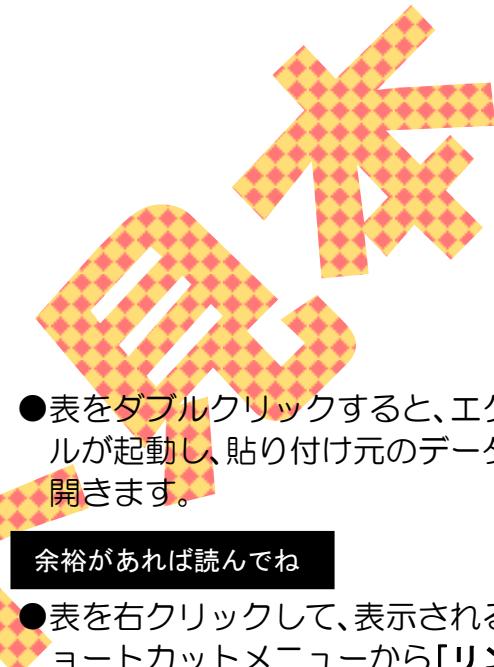
アンケート集計結果		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		小計		トータル
教室選びのポイント	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受講料が安い	男	2	4	5	8	2	4	0	15	2	5	2	1	0	0	13	37	50
入会金、テキスト代不要	女	0	0	2	3	1	2	0	9	2	2	1	0	0	0	6	16	22
1クラスの受講人数	男	2	2	1	10	3	6	4	22	3	17	4	3	1	0	18	60	78
講師の質	女	1	1	1	6	3	2	2	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41
いい方法だ	男	2	1	3	6	2	1	3	13	1	5	1	1	1	0	13	27	40
教室にいく意味がない	女	0	3	1	5	1	5	0	5	1	2	0	0	0	0	3	20	23
講師がテキストを説明すべき	男	0	2	4	2	1	4	2	15	3	13	5	2	0	0	15	38	53
講習内容以外は回答の必要なし	女	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	3
講習以外は必要ないが回答してほしい	男	2	3	2	10	2	7	4	17	4	13	4	1	1	0	19	51	70
どんな質問であれ回答すべき	女	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	9	30	39
受講時間	男	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	7	8
	女	2	2	5	9	4	7	4	18	4	10	6	1	1	0	26	47	73
	合計	0	1	1	4	0	2	2	13	1	9	0	2	0	0	4	31	35

リンク貼り付けした表をダブルクリックします。

A screenshot of Microsoft Word showing a linked table. The table has columns for age groups (10代, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代) and gender (男女). The cell at row 4, column 2 contains the value '0'. A red box highlights the entire table, and a red circle with a cursor icon is placed over the cell '0'.



A screenshot of Microsoft Excel showing the source data for the linked table. The table is titled 'アンケート集計結果' and includes columns for age groups (10代, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代, 小計) and gender (男女). The table also contains numerous survey questions and their corresponding numerical responses.



●表をダブルクリックすると、エクセルが起動し、貼り付け元のデータが開きます。

余裕があれば読んでね

●表を右クリックして、表示されるショートカットメニューから[リンクされたワークシートオブジェクト(0)] – [編集(E) リンク] をクリックしても同じ操作になります。

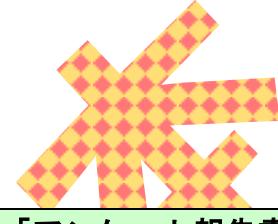
セル C4 をクリックしてアクティブセルを移動します。

A screenshot of Microsoft Excel showing the active cell C4 highlighted with a red border. The cell contains the value '0'. A red box highlights the entire table, and a red circle with a cursor icon is placed over the cell '0'.

「2」を入力してデータを確定します。

	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	アンケート集計表																トータル
2		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
3		男女								トータル							
4		2	4	8	2	4	15	2	5	2	1	0	13	37	53		
5	被調査者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
6	性別	男	女	男	女	男	女	男	女								
7	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
8	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
9	自己学年	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
10	男女	男	女	男	女	男	女	男	女								
11	被調査者属性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
12	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
13	性別	男	女	男	女	男	女	男	女								
14	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
15	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
16	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
17	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
18	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
19	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
20	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
21	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
22	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
23	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
24	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
25	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
26	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
27	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
28	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
29	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
30	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
31	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
32	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
33	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
34	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
35	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
36	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
37	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
38	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
39	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
40	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
41	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								

●「2」を入力してデータを確定すると、S4のトータルが「48」から「50」に変わります。



タスクバーに表示された ワードのアイコンをクリックして「アンケート報告書」を表示します。

	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	アンケート報告書																トータル
2		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
3		男女								トータル							
4		2	4	8	2	4	15	2	5	2	1	0	13	37	53		
5	被調査者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
6	性別	男	女	男	女	男	女	男	女								
7	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
8	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
9	自己学年	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
10	男女	男	女	男	女	男	女	男	女								
11	被調査者属性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
12	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
13	性別	男	女	男	女	男	女	男	女								
14	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
15	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
16	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
17	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
18	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
19	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
20	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
21	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
22	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
23	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
24	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
25	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
26	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
27	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
28	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
29	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
30	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
31	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
32	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
33	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
34	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
35	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
36	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
37	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
38	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
39	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								
40	性別と年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代								

● [F9] キーを押した時点で、変更したデータがワード文書に反映されます。

余裕があれば読んでね

●表内で右クリックし、表示されるショートカットメニューから[リンク先の更新(D)] をクリックしても変更したデータがワード文書に反映されます。

[リンクの設定]ダイアログボックスについて P229

「アンケート報告書」を上書き保存して閉じましょう。
またエクセルの「アンケート集計」は保存せずに閉じておきましょう。

6. 表・グラフの作成

ここでは、文字列を表に変換する方法と、レイアウトの調整方法、ワードで表計算する方法、ワード文書にグラフを作成する方法を説明します。

(1) 表の作成

表を作成するには、表組みを作成してから文字を入力する以外に、文字列を表に変換する方法があります。

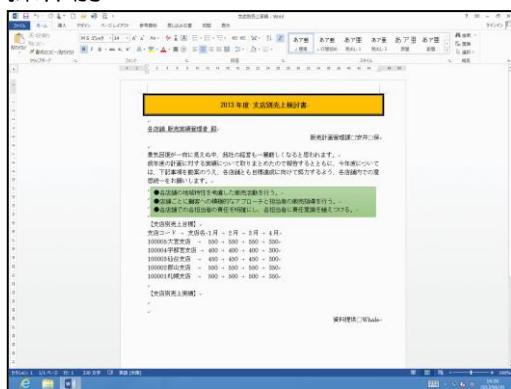
① 文字列を表に変換する

文字列を表に変換する場合、各列の開始位置を示すために「区切り文字」を使用します。区切り文字とは、次の行または列に挿入することを示す記号で、段落記号（←）、タブ（→）、カンマ（,（半角のみ））などを使用します。

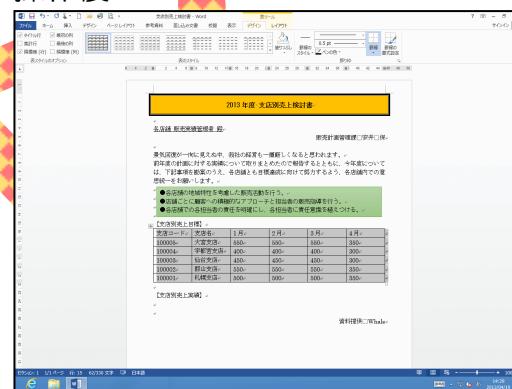
ドキュメントフォルダーにあるファイル「支店別売上実績」を開き、「【支店別売上目標】」以下の文字列を表に変換してみましょう。

◆文字列を表に変換する方法をマスターしましょう。

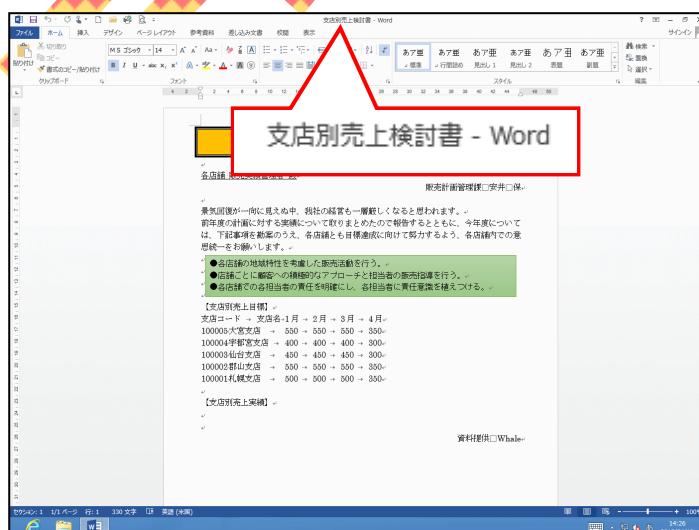
操作前



操作後



ドキュメントフォルダーにある「支店別売上実績」を開き、リムーバブルディスクに「支店別売上検討書」という名前で保存しましょう。



15行目から20行目を範囲選択します。

Word document titled "支店別売上検討書". The content includes a yellow header box and several tables. A red box highlights the 15th to 20th rows of data in one of the tables.

店舗コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005小笠文店		550	550	550	350
100004宇都宮文店		400	400	400	300
100003名古屋文店		400	400	400	300
100002岐阜文店		550	550	550	350
100001札幌文店		500	500	500	350



● 15行目から20行目が画面上に表示されていない方は、スクロールして表示させてから操作しましょう。

● 「【支店別売上目標】」という文字の下にこれから表に変換する項目が表示されています。項目と項目の間は、タブ (→) で区切られています。

[挿入] タブをクリックします。

Word document titled "支店別売上検討書". The content includes a yellow header box and several tables. A red box highlights the 15th to 20th rows of data in one of the tables.

店舗コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005小笠文店		550	550	550	350
100004宇都宮文店		400	400	400	300
100003名古屋文店		400	400	400	300
100002岐阜文店		550	550	550	350
100001札幌文店		500	500	500	350



[表] グループの [表] ボタンをクリックします。

Word document titled "支店別売上検討書". The content includes a yellow header box and several tables. A red box highlights the 15th to 20th rows of data in one of the tables.

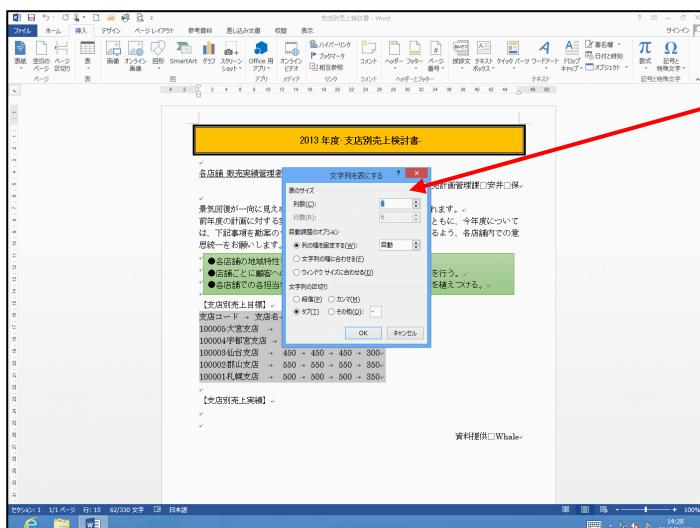
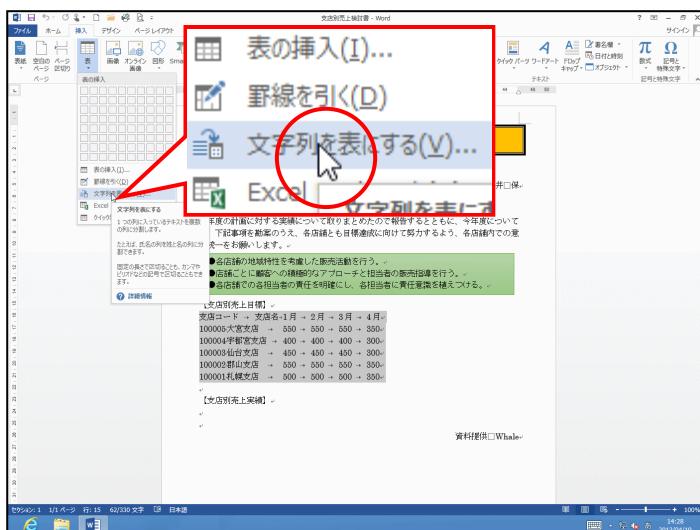
店舗コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005小笠文店		550	550	550	350
100004宇都宮文店		400	400	400	300
100003名古屋文店		450	450	450	300
100002岐阜文店		550	550	550	350
100001札幌文店		500	500	500	350

● リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

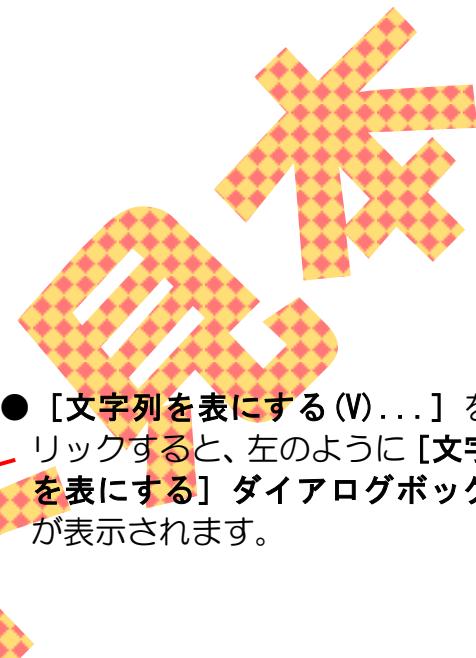
【参考】



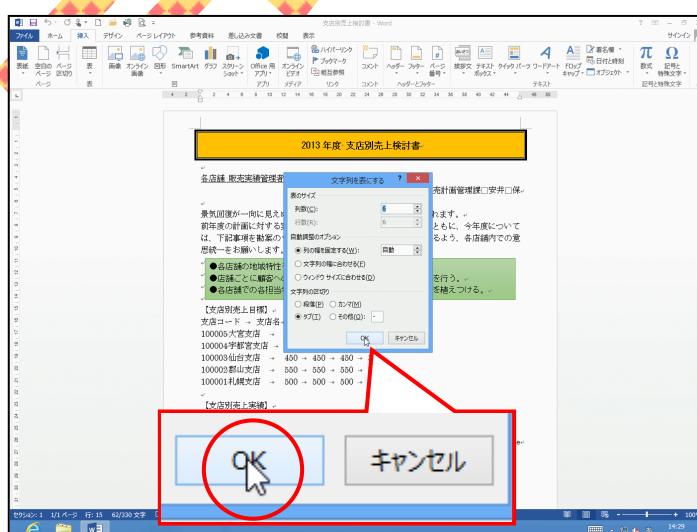
表示されたメニューから【文字列を表にする(V)...】をクリックします。



● 【文字列を表にする(V)...】をクリックすると、左のように【文字列を表にする】ダイアログボックスが表示されます。



表示された【文字列を表にする】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。





支店別売上検討書 - Word

2013年度 支店別売上検討書

名店舗 新市営業部課長 段落記号

景気回復が一歩に見えた中、当社の経営も一層厳しくなると思われます。
前年度の計画に対する実績について取りまとめたものと報告するとともに、今年度について
は、各部門を動かすうえ、各店舗とも目標達成に向けて努力するよう、各店舗での意
思統一を図りたいと思います。

- 各店舗の地域特性を考慮した販売活動を行う。
- 各店ごとに販売への積極的なアプローチと担当者の販売指導を行う。
- 各店舗の各担当者の責任を明確化し、各担当者に責任意識を構えさせる。

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	300
100001	札幌支店	500	500	500	350

資料提供: Whale

●カンマ(,) (半角のみ) やタブ(→)
が入っている場所には縦の罫線があります。
段落記号(←)があるところが表の右端になります。

支店コード → 支店名 → 1月 → 2月 → 3月 → 4月 ←
 100005 大宮支店 → 550 → 550 → 550 → 350 ←
 100004 宇都宮支店 → 400 → 400 → 400 → 300 ←
 100003 仙台支店 → 450 → 450 → 450 → 300 ←
 100002 郡山支店 → 550 → 550 → 550 → 350 ←
 100001 札幌支店 → 500 → 500 → 500 → 350 ←



② 表のレイアウト調整

◆表のレイアウトの調整方法をマスターしましょう。

操作前

【支店別売上目標】					
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350

【支店別売上実績】

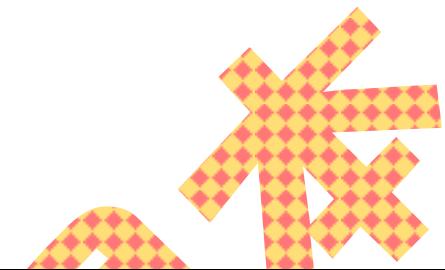
操作後

【支店別売上目標】					
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350
合計		+	+	+	+

作成された表の列幅を自動調整します。

The screenshot shows a Microsoft Word document titled "支店別売上検討書 - Word" with a yellow header bar. A table is present in the body of the document. The first row of the table has a yellow background color. The entire table is selected, indicated by a red border around its cells. The Word ribbon is visible at the top, and the status bar at the bottom shows "セッション 1 4/1 ページ 行 13 62/230 文字 日本語".

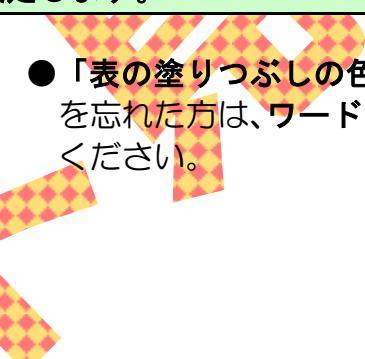
●表全体を選択し、いずれかの縦罫線上でマウスポインターが \leftrightarrow の状態でダブルクリックすると、表全体の列幅を自動調整することができます。



表の1行目の塗りつぶしの色を「オレンジ」に設定します。

The screenshot shows the same Microsoft Word document as the previous one. The first row of the table now has an orange background color. The rest of the table and the surrounding text remain white. The Word ribbon and status bar are visible.

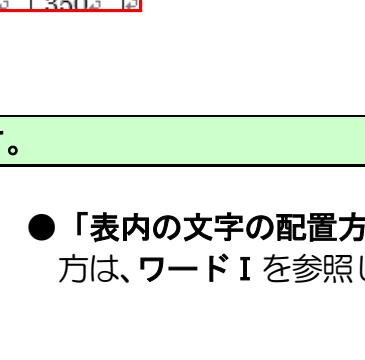
●「表の塗りつぶしの色の設定方法」を忘れた方は、ワード I を参照してください。



表の1行目をセル内の「中央揃え」に設定します。

The screenshot shows the Microsoft Word document again. The first row of the table now has its text centered within each cell. The background color of the first row remains orange. The Word ribbon and status bar are visible.

●「表内の文字の配置方法」を忘れた方は、ワード I を参照してください。



1月から4月までの数値が入った部分（2行目以降）をセル内の「中央揃え（右）」に設定します。

	1月	2月	3月	4月
550	550	550	350	
400	400	400	300	
450	450	450	300	
550	550	550	350	
500	500	500	350	

表の右下（札幌支店の4月）のセルにカーソルを移動します。

●表の右下セルに移動する操作は、最終行の下に行を追加するための準備作業です。

[Tab] キーを押します。

●表内にカーソルがある状態で [Tab] キーを押すという操作は、表のセル間でカーソルを移動するという操作になりますが、最終セルにカーソルがある状態では、移動するセルが下にないため、行が追加されます。

●表の最終セルの右にある段落記号にカーソルを移動し、[Enter] キーを押しても同じ操作になります。

4月
350
300
300
350
350

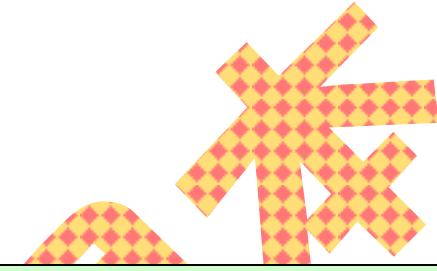
追加した最終行の「支店コード」と「支店名」のセルを結合します。

The screenshot shows a Microsoft Word document titled "支店別売上検討書 - Word". A table is displayed with several rows of data. The last row has two cells: the first cell contains the value "100001" and the second cell contains the value "札幌支店". A red box highlights these two cells, and a red arrow points from the text "結合" (Merge) in the ribbon's "Layout" tab to the selected cells.

支店コード	支店名
100001	大宮支店
100004	宇都宮支店
100003	仙台支店
100005	郡山支店
100001	札幌支店

● 「セルを結合する方法」を忘れた方は、ワードⅠを参照してください。

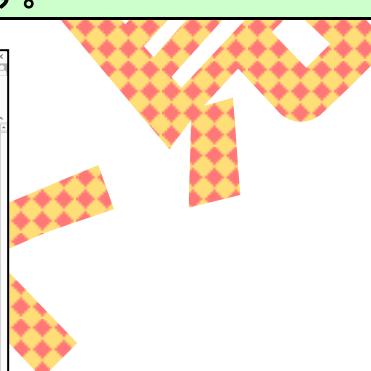
● 左のように2つセルを結合すると、中央の縦ラインが消えてセルが1つになります。



結合したセルに「合計」という文字を入力します。

The screenshot shows the same Microsoft Word document. The last row now contains three cells: the first cell has "100001", the second cell has "札幌支店", and the third cell has the text "合計" (Total). A red box highlights the merged cell containing "合計".

支店コード	支店名	合計
100001	大宮支店	550
100004	宇都宮支店	400
100003	仙台支店	450
100005	郡山支店	550
100001	札幌支店	500



入力した「合計」という文字をセル内の「中央揃え」に設定します。

The screenshot shows the Microsoft Word document with the "合計" text centered in the merged cell. The "Merge Cells" feature has been applied to the last row, combining the "支店コード" and "支店名" cells into one. The "合計" text is centered within this merged cell.

支店コード	支店名	合計
100001	大宮支店	550
100004	宇都宮支店	400
100003	仙台支店	450
100005	郡山支店	550
100001	札幌支店	500

③ ワードで表計算

②で変換した表の最終行に合計行を追加して、縦の合計を計算し、表示してみましょう。

◆ワードで表計算する方法をマスターしましょう。

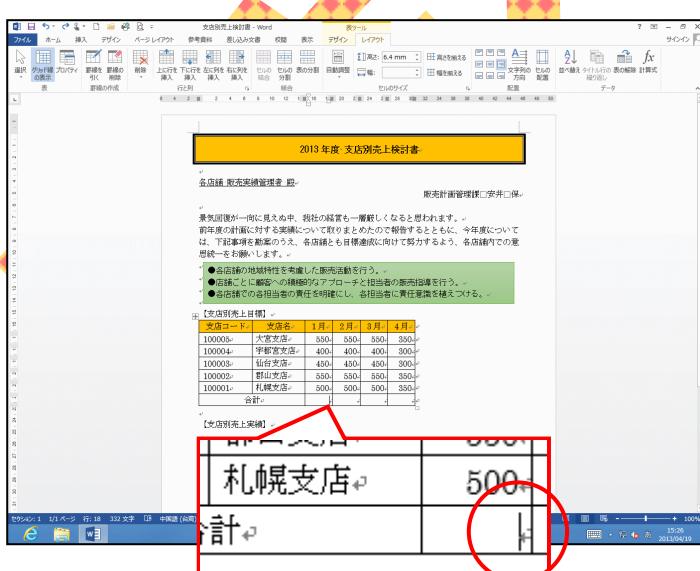
操作前

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350
合計		2450	2450	2450	1650

操作後

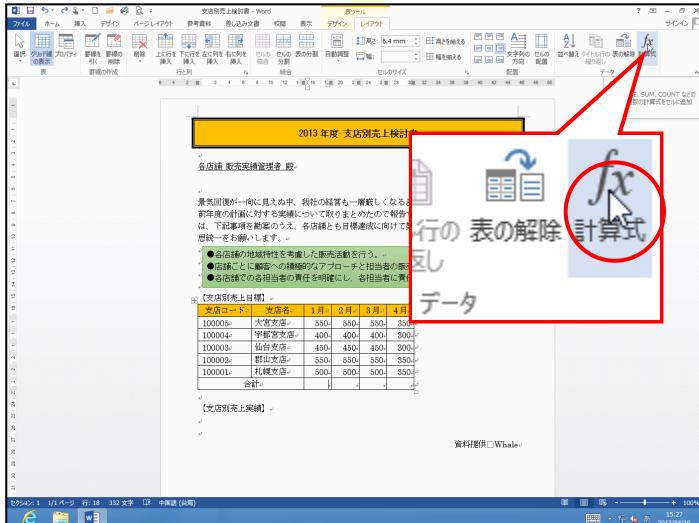
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350
合計		2450	2450	2450	1650

「合計」が表示されたセルの右隣のセルにカーソルを移動します。



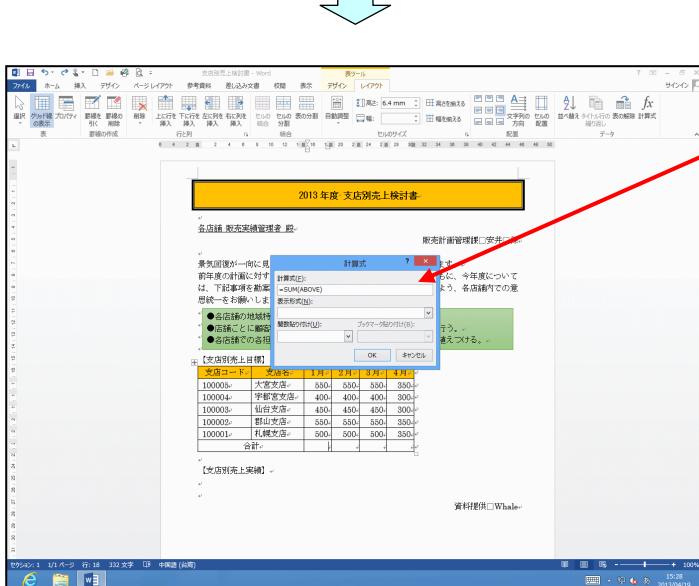
●縦の合計を表示するセルにカーソルを移動します。

[データ] グループの *fx* [計算式] ボタンをクリックします。



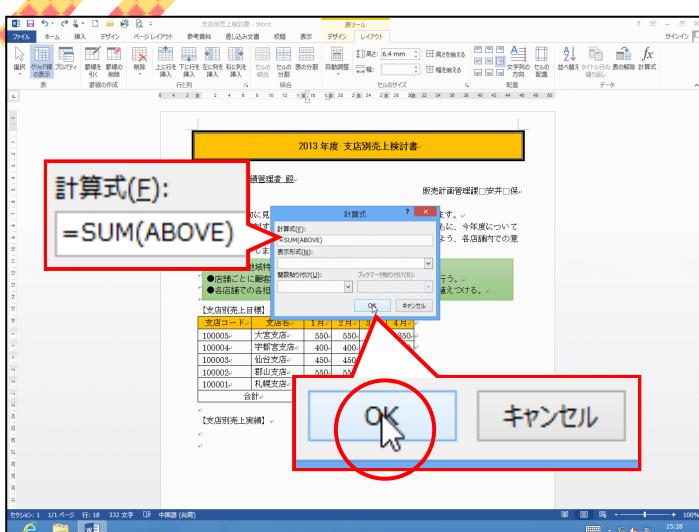
注意!

- [レイアウト] タブが選択されていない方は、[レイアウト] タブをクリックしてから操作してください。



- *fx* [計算式] ボタンをクリックすると、左のように [計算式] ダイアログボックスが表示されます。

[計算式] ダイアログボックスの [計算式(F):] ボックスに「=SUM(ABOVE)」と表示されていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。



- 「=SUM(ABOVE)」の意味は連続する上のセルを集計します。という意味になります。

余裕があれば読んでね

- カーソルがあるセルを基準に連続した上下左右のセル範囲を示す表記は次のとおりです。

上	ABOVE (アバーブ)
下	BELLOW (ビロウ)
左	LEFT (レフト)
右	RIGHT (ライト)



支店別売上実績				
支店名	月別売上			
	1月	2月	3月	4月
大宮支店	350	350	350	350
宇都宮支店	400	400	400	300
仙台支店	450	450	450	300
郡山支店	350	350	350	350
札幌支店	500	500	500	350
合計	2450			

支店別売上実績

支店名	1月	2月	3月	4月
札幌支店	500	500	500	350
合計	2450			

● [OK] ボタンをクリックした時点で、カーソルがあったセルに縦の合計数値が表示されます。



「2月」「3月」「4月」も同様にして計算式を入力します。

支店別売上実績				
支店名	月別売上			
	1月	2月	3月	4月
大宮支店	350	350	350	350
宇都宮支店	400	400	400	300
仙台支店	450	450	450	300
郡山支店	350	350	350	350
札幌支店	500	500	500	350
合計	2450	2450	2450	1650

支店別売上実績

支店名	1月	2月	3月	4月
札幌支店	500	500	500	350
合計	2450	2450	2450	1650

● 同じ操作を繰り返す場合は、カーソルを移動して [F4] キーを押します。

表計算についての補足説明

P230



④ 表内のデータの並べ替え

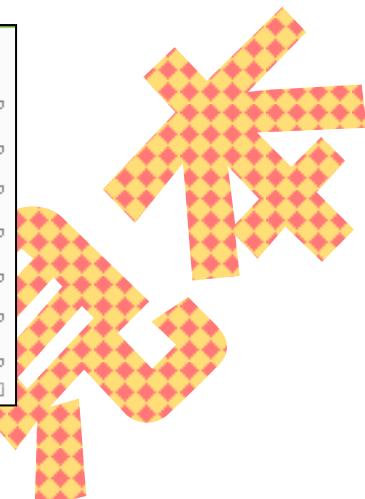
表内のデータは特定の条件で並べ替えることができます。並べ替えの条件は、1つだけではなく、複数指定することができます。（3つまで）

「支店コード」を基準にして「【支店別売上目標】」のデータを並べ替えてみましょう。

◆表内のデータを並べ替える方法をマスターしましょう。

操作前

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350
合計		2450	2450	2450	1650



操作後

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	350
100002	郡山支店	550	550	550	350
100003	仙台支店	450	450	450	300
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100005	大宮支店	550	550	550	350
合計		2450	2450	2450	1650



表の1行目から6行目を選択します。

2013年度 支店別売上目標

各店舗 売上実績登録 記入欄

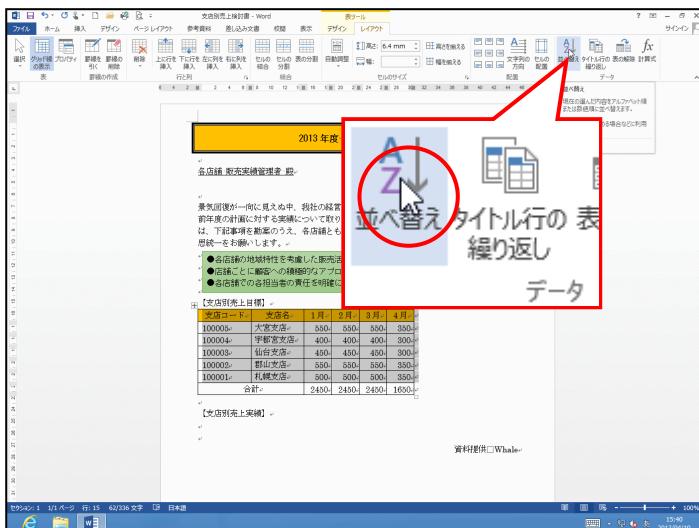
●各店舗の地域特性を考慮した販売活動を行う。
●店舗ごとに顧客への積極的なアプローチと担当者の振舞指導を行う。
●各店舗での各自担当者の責任を明確化し、各担当者に責任意識を植え付ける。
●各店舗の売上実績。

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100005	大宮支店	550	550	550	350
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100003	仙台支店	450	450	450	300
100002	郡山支店	550	550	550	350
100001	札幌支店	500	500	500	350

資料提供: Whale-

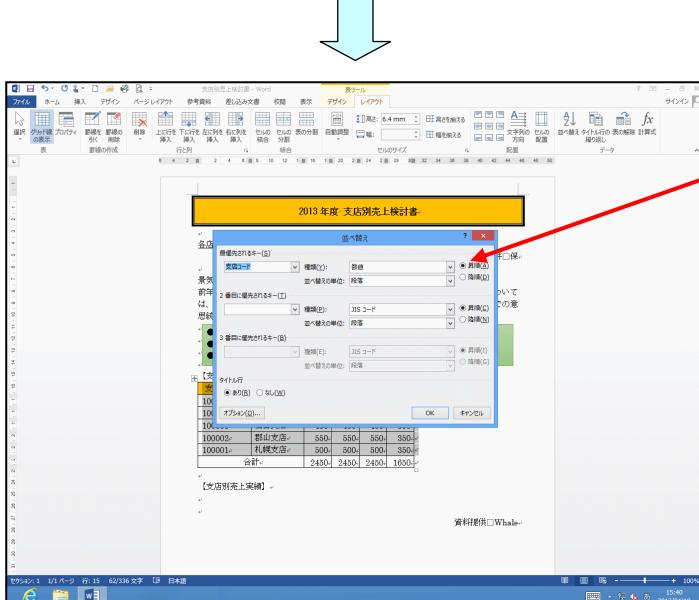
●並べ替えるデータの範囲をタイトル行も含めた形で選択します。

[データ] グループにある [並べ替え] ボタンをクリックします。



注意!

- [レイアウト] タブが選択されていない方は、[レイアウト] タブを選択してから操作してください。

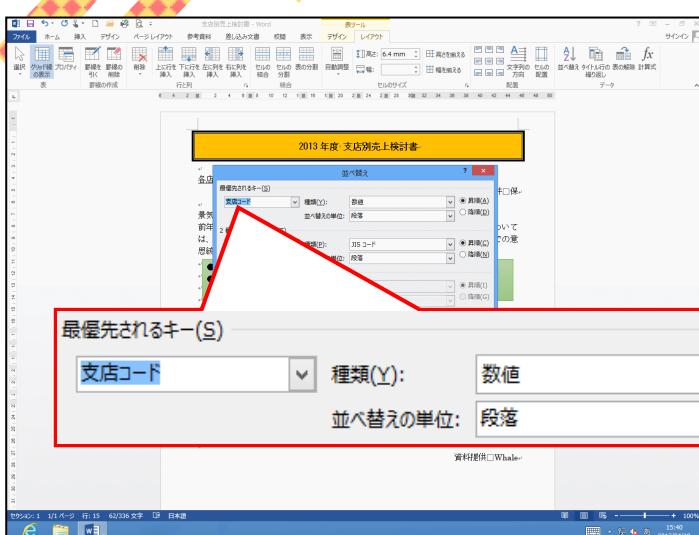


- [並べ替え] ボタンをクリックすると、左のように [並べ替え] ダイアログボックスが表示されます。

余裕があれば読んでね

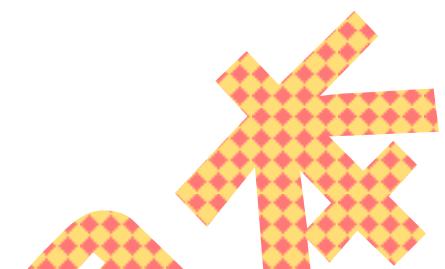
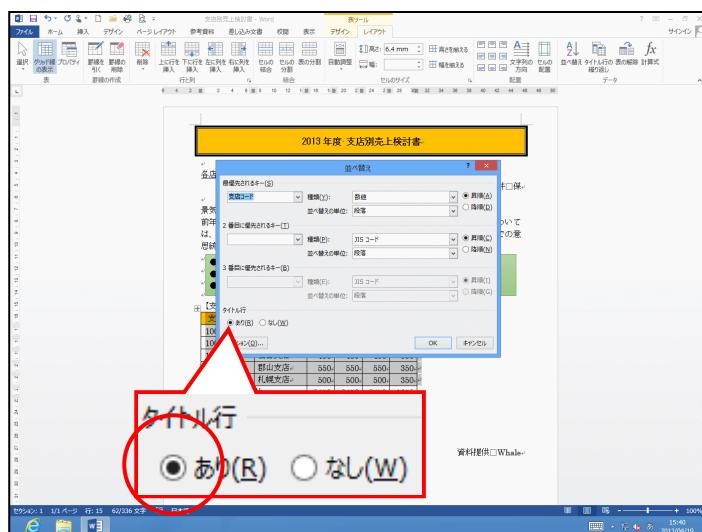
- [ホーム] タブの [段落] グループにある [並べ替え] ボタンをクリックしても [並べ替え] ダイアログボックスを表示できます。

表示された [並べ替え] ダイアログボックスの [最優先されるキー(S)] ボックスに「支店コード」、[種類(Y):] ボックスに「数値」が表示されていること、[昇順(A)] が選択されていることを確認します。

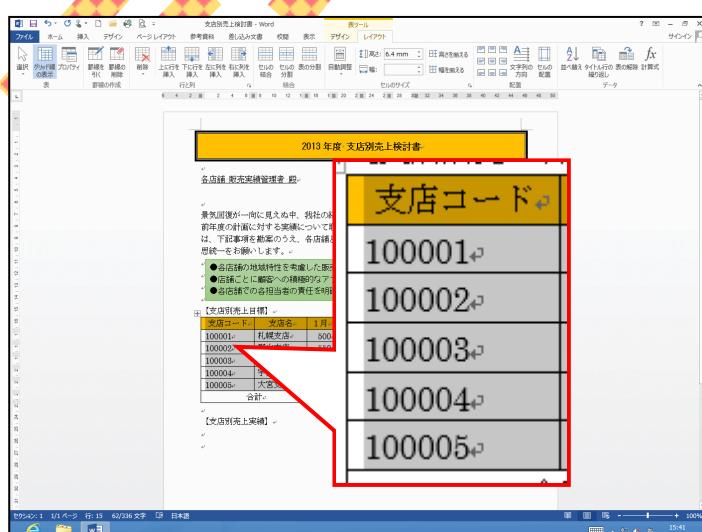
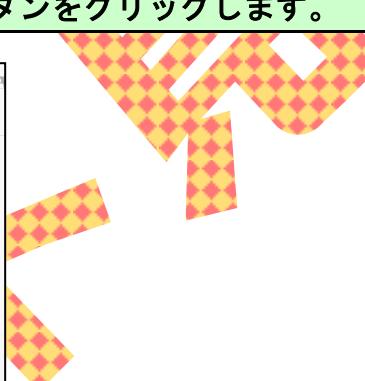
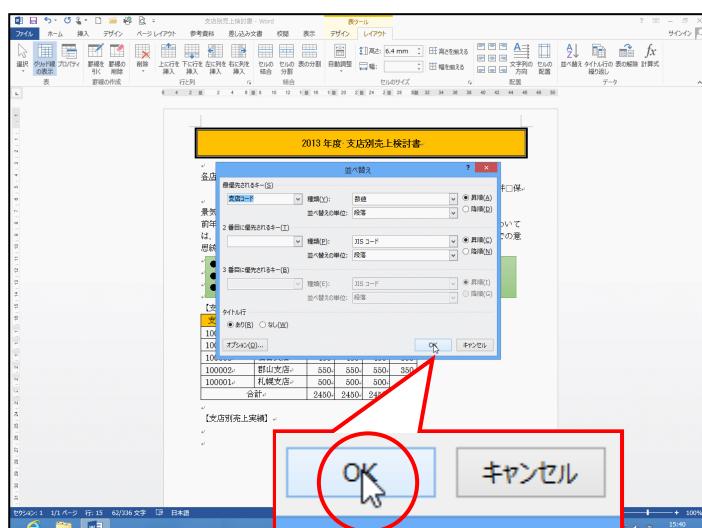


- 支店コードの小さい順番にデータを並べ替えるための設定を行います。

「タイトル行」で【あり(R)】が選択されていることを確認します。



【並べ替え】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



- [OK] ボタンをクリックした時点で、「支店コード」の小さい順番にデータが並べ替わります。

(2) グラフを作成する

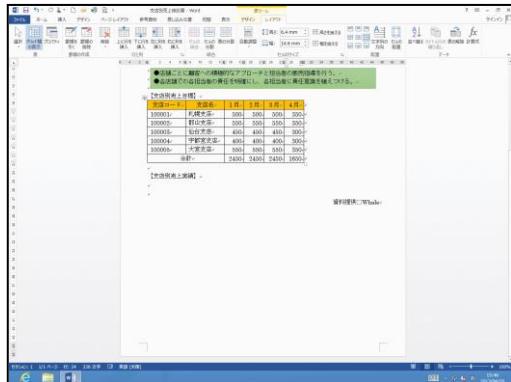
「【支店別売上実績】」の下に、ワードでグラフを作成してみましょう。

① グラフの作成

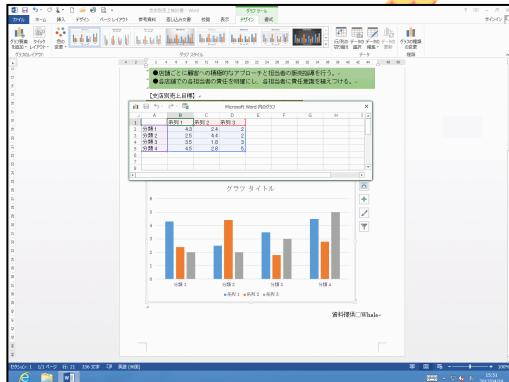
各支店の月ごとのグラフを作成してみましょう。

◆ワードでグラフを作成する方法をマスターしましょう。

操作前

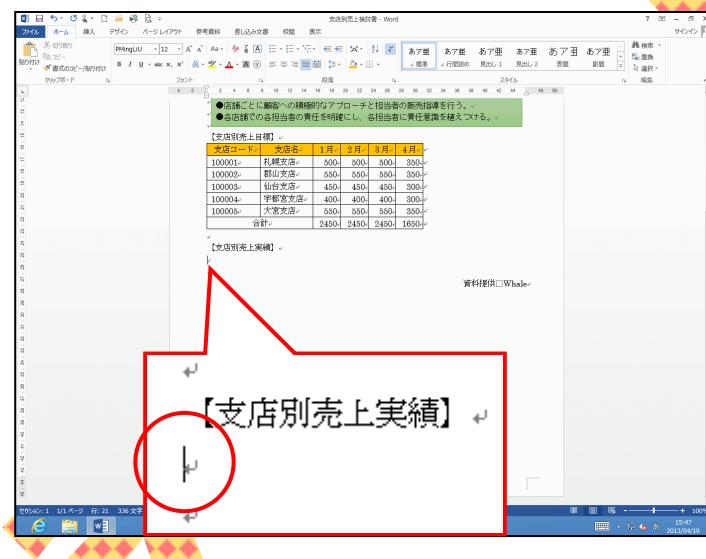


操作後

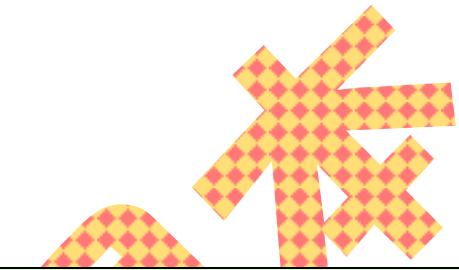
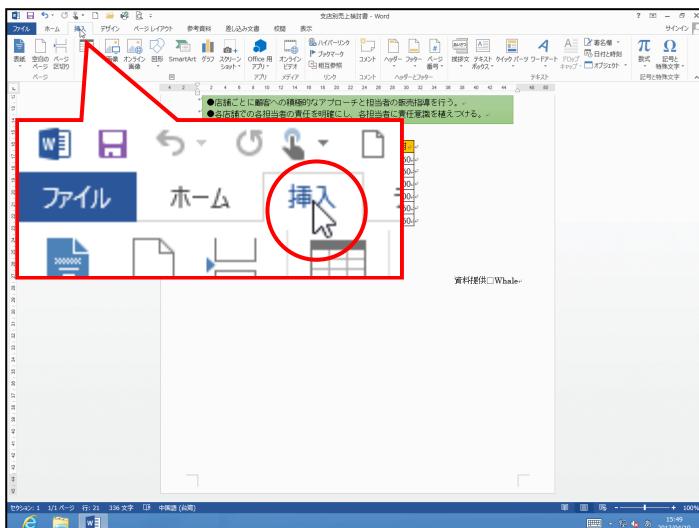


「【支店別売上実績】」の下の段落にカーソルを移動します。

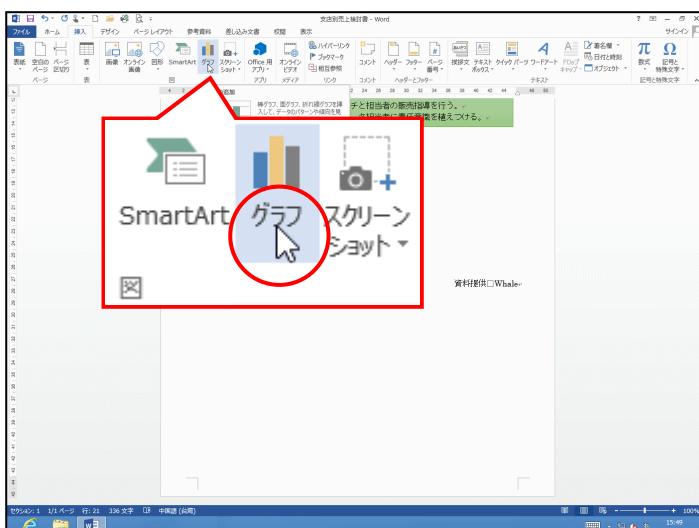
●グラフを挿入する位置にカーソルを移動します。



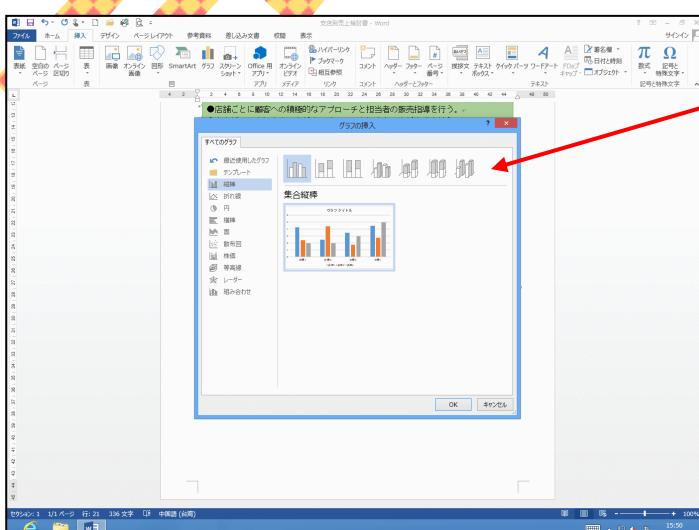
[挿入] タブをクリックします。



[図] グループにある [グラフ] ボタンをクリックします。

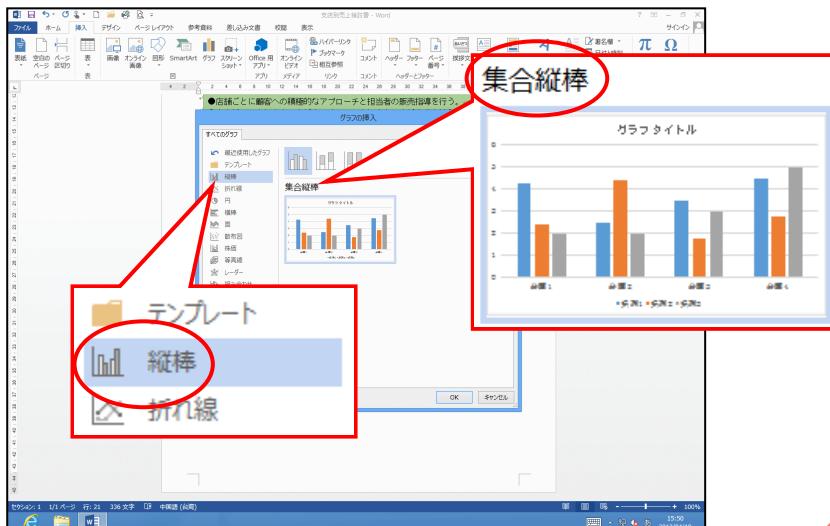


● リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)

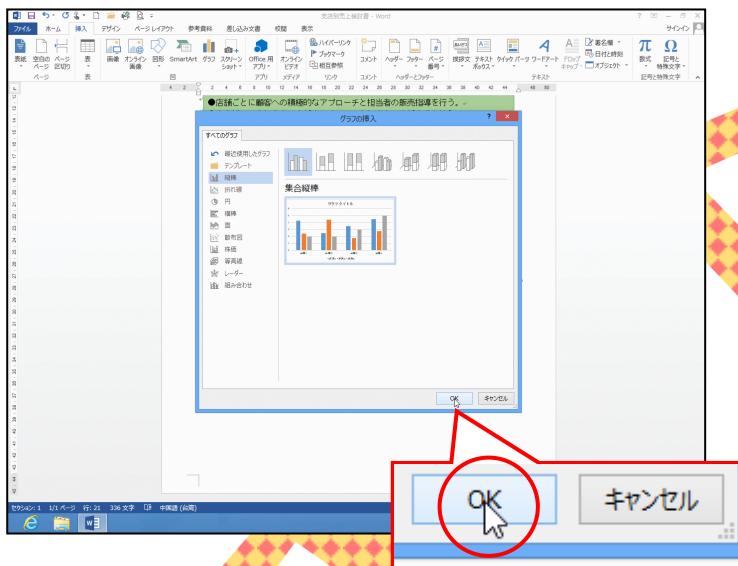


● [グラフ] ボタンをクリックする
と、左のように [グラフの挿入] ダ
イアログボックスが表示されます。

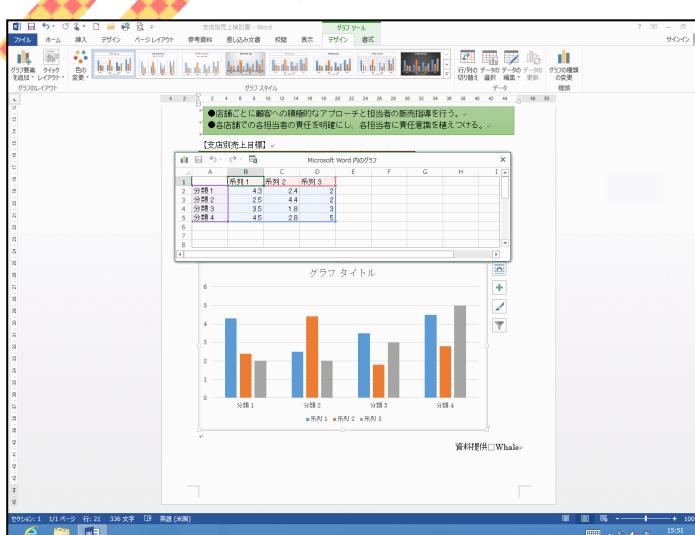
表示された【グラフの挿入】ダイアログボックスの左側のグラフのカテゴリーで「縦棒」が、右側のグラフの種類で「集合縦棒」が選択されていることを確認します。



【グラフの挿入】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



● 【OK】ボタンをクリックすると、左のようにカーソルのある位置にグラフが挿入されます。また、グラフのサンプルデータとして、エクセルのワークシートが表示されます。

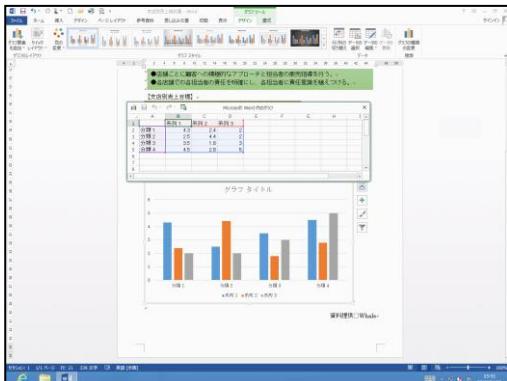


② グラフのデータの入力

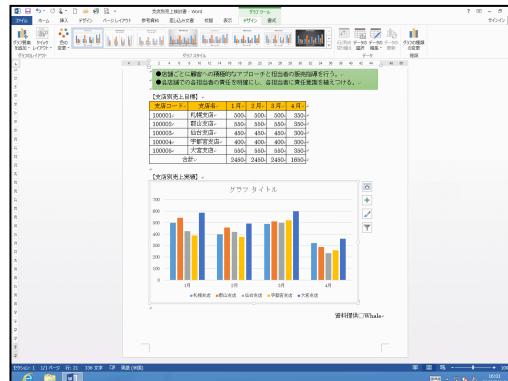
現在表示されているワークシート内のサンプルデータを、支店別売上実績のデータに書き換えていきましょう。

◆グラフのデータを入力する方法をマスターしましょう。

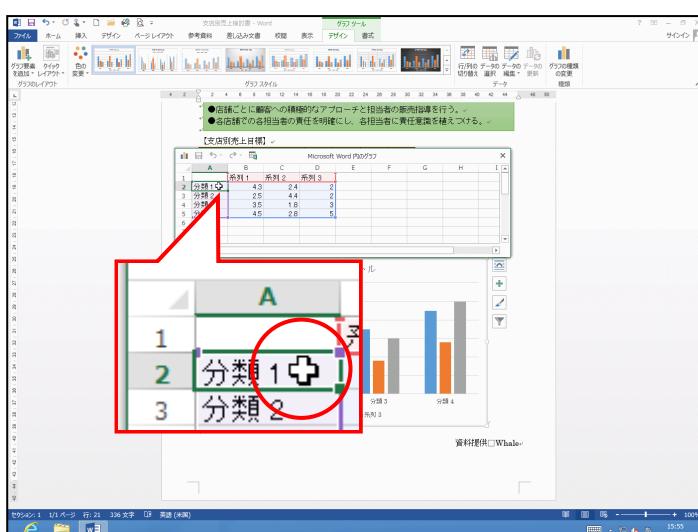
操作前



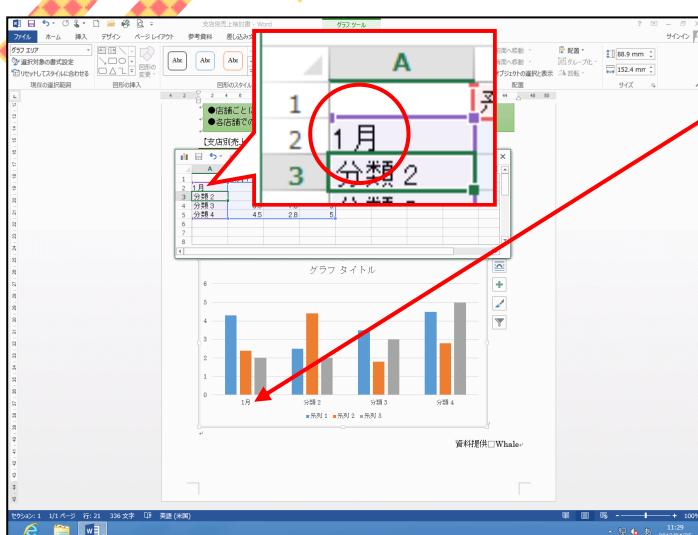
操作後



ワークシートのセル A2 を選択します。

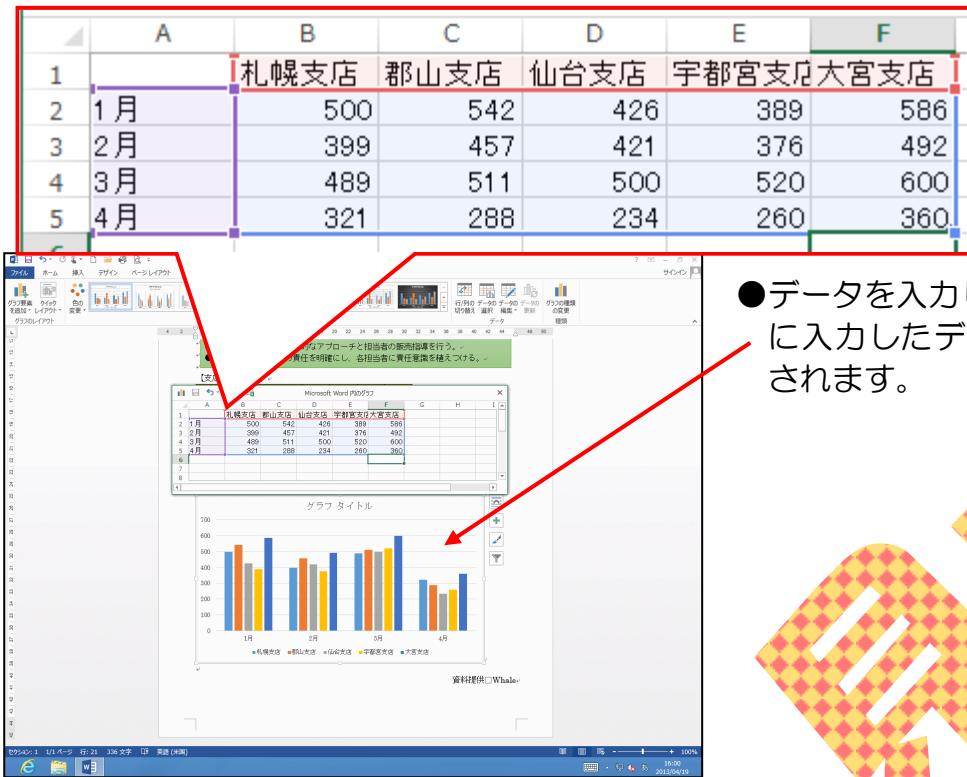


「1月」と入力し、データを確定します。



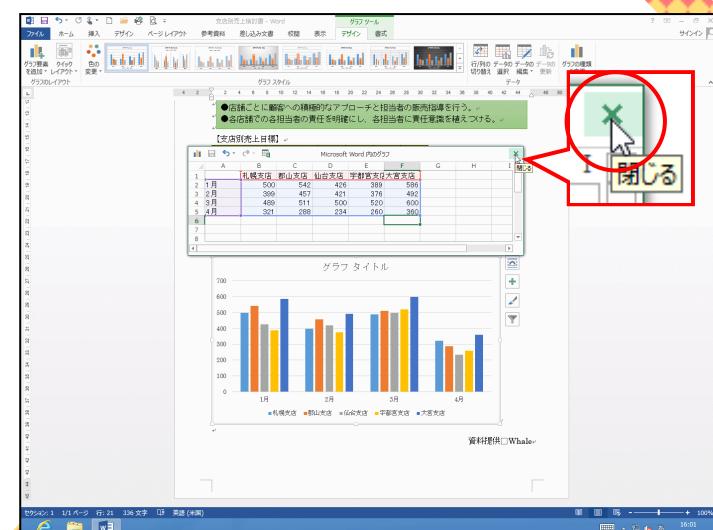
● 「1月」と入力し、データを確定すると、グラフに反映されます。

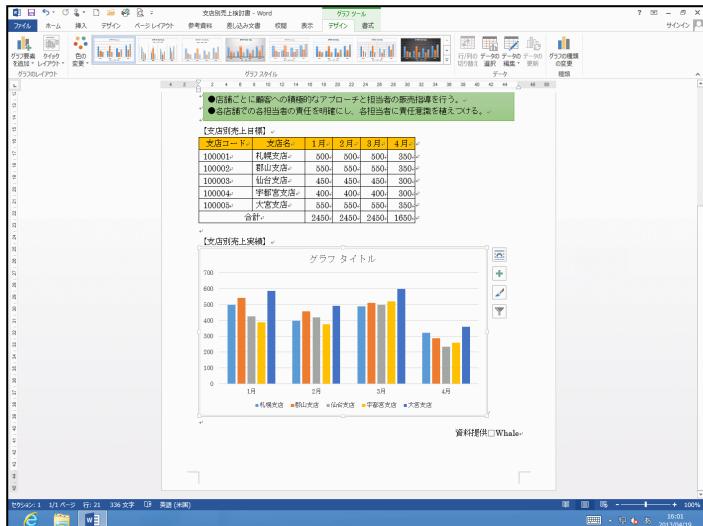
同様にして、下図のようにデータを入力しましょう。



●データを入力していくと、そのたびに入力したデータがグラフに反映されます。

ワークシートの × [閉じる] ボタンをクリックします。





- ✕ [閉じる] ボタンをクリックすると、データ入力用のワークシートが閉じます。

ご参考までに

■グラフのデータ修正

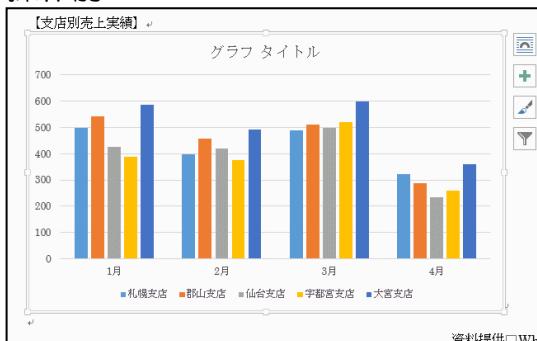
データ入力用のワークシートを閉じた後に、グラフのデータを修正したい場合は、グラフを選択して、[デザイン] タブの [データ] グループにある [データの編集] ボタンをクリックすると、データ入力用のワークシートが表示されるので、データを修正できます。

③ グラフにタイトルを付ける

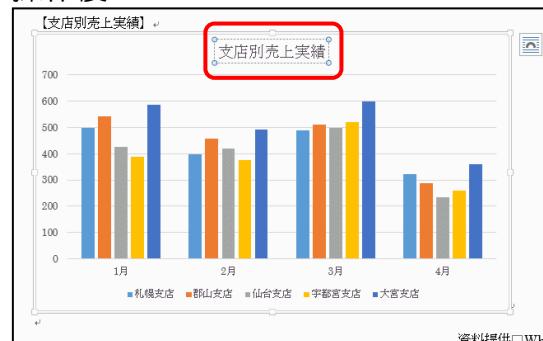
作成したグラフに対して「タイトル」を付けてみましょう。

◆グラフにタイトルを付ける方法をマスターしましょう。

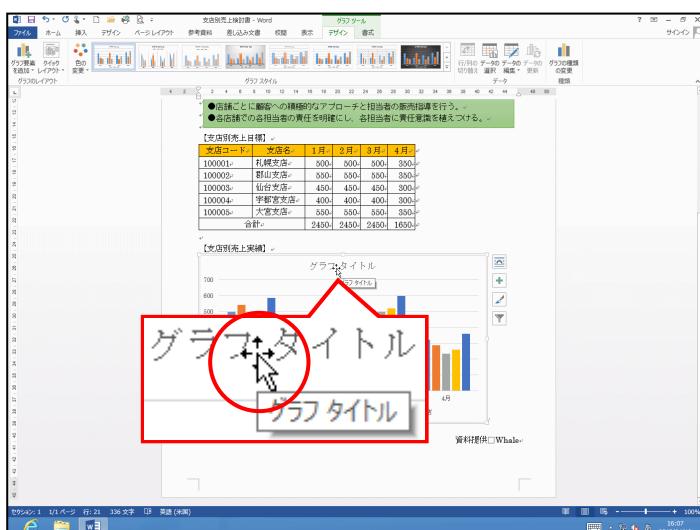
操作前



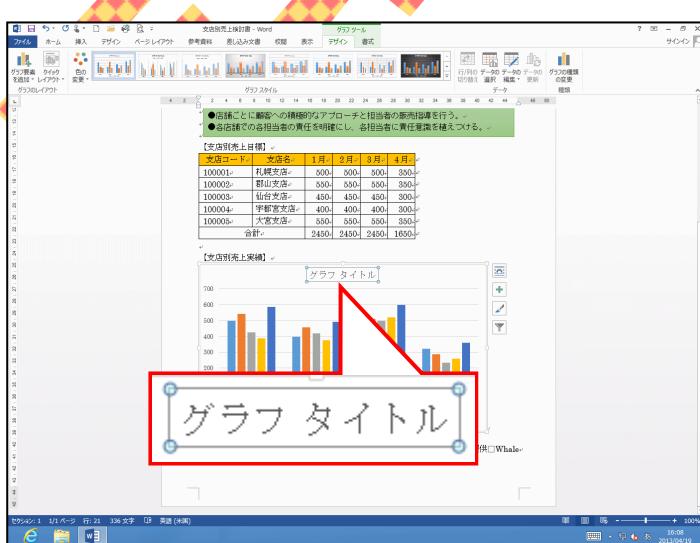
操作後



グラフの「グラフタイトル」と書かれた部分をクリックします。

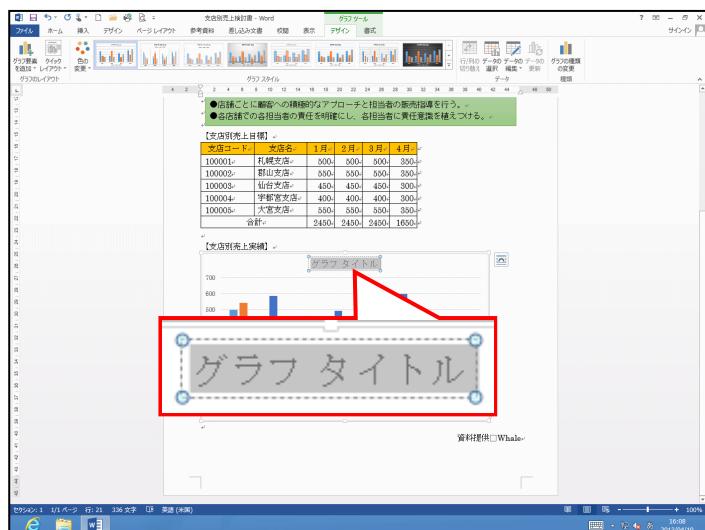


- 「グラフタイトル」と書かれた部分にポイントすると、マウスポインターの形が、↑↓になります。

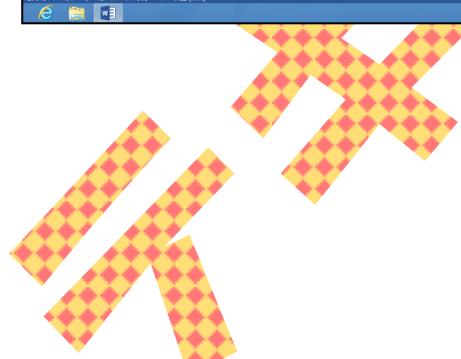
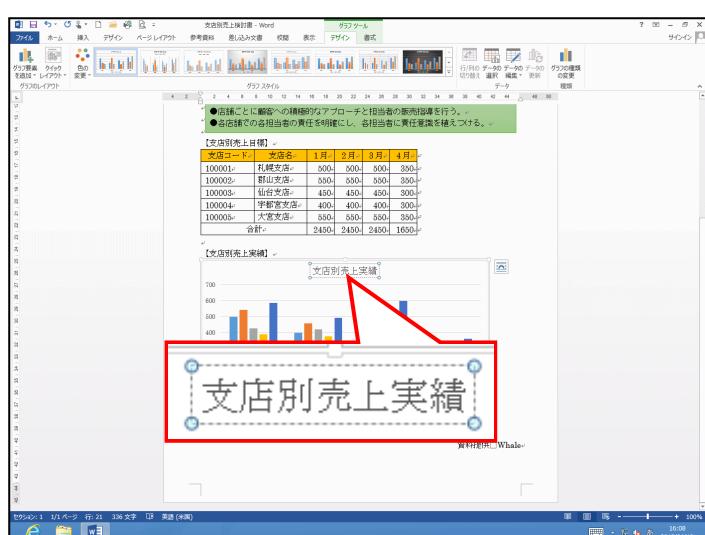


- 「グラフタイトル」と書かれた部分をクリックすると、グラフタイトルが四角の枠で囲まれ、周りに○(サイズ変更ハンドル)が表示されて、選択された状態になります。

「グラフタイトル」の文字をドラッグして選択します。



「支店別売上実績」を入力し、グラフタイトルを完成させます。

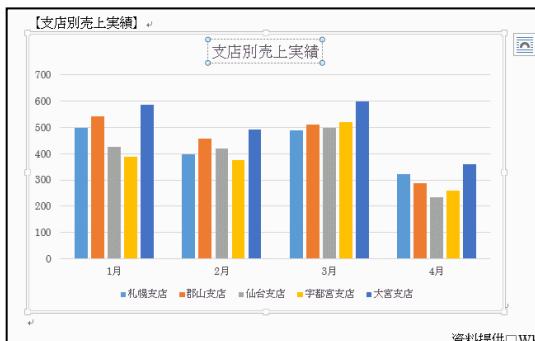


④ データテーブルを表示する

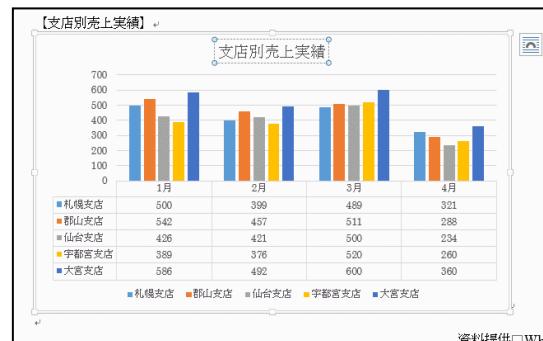
現在は、グラフのみの状態ですが、グラフをわかりやすくするために、グラフのすぐ下に対応する数字を表示できるデータテーブルを追加してみましょう。

◆データテーブルを表示する方法をマスターしましょう。

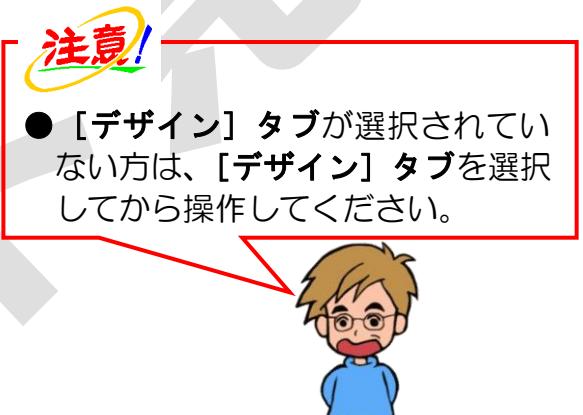
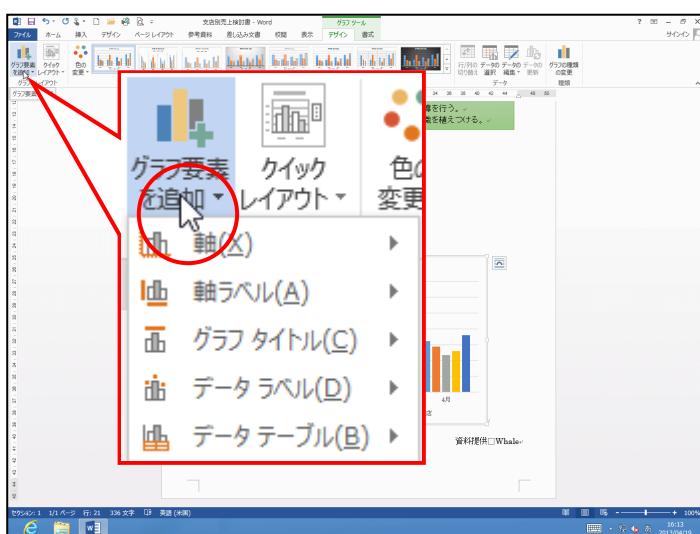
操作前



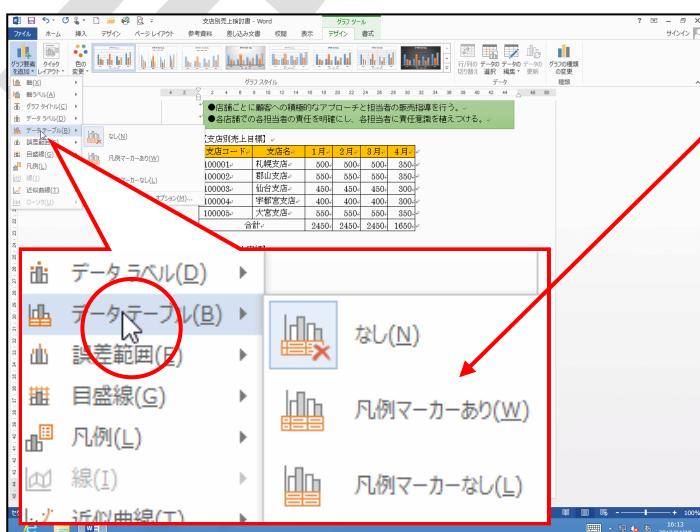
操作後



[グラフのレイアウト] グループにある [グラフ要素を追加] ボタンをクリックします。

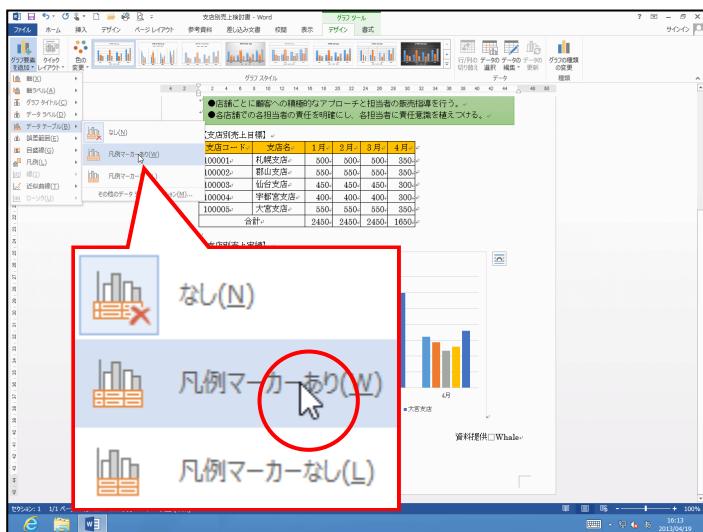


表示された一覧から [データテーブル(B)] にポイントします。

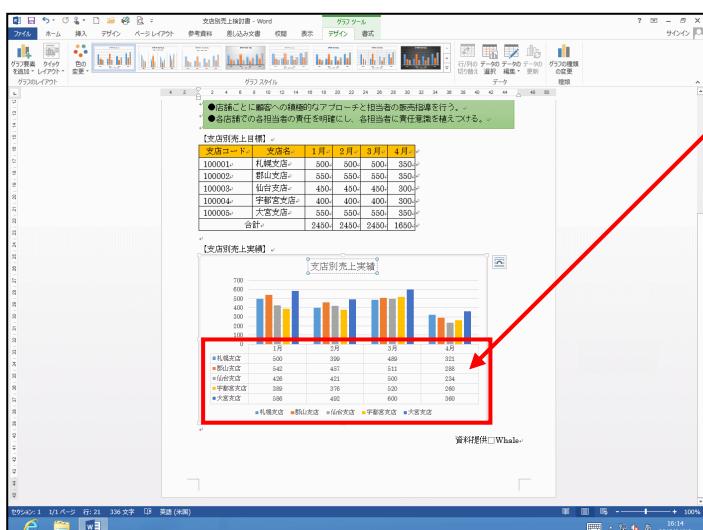


● [データテーブル(B)] にポイントすると、左のようにサブメニューが表示されます。

表示された一覧から【凡例マーカーあり(W)】をクリックします。



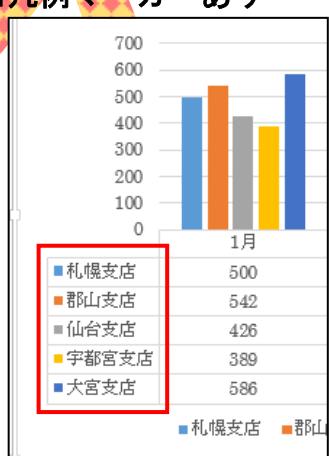
● 【凡例マークあり(W)】をクリックすると、グラフの下にデータテーブルが表示されます。



ご参考までに

「凡例マークあり」の場合と、「凡例マークなし」の場合の違いは、下の図のようになります。

■ 凡例マークあり



■ 凡例マークなし



⑤ グラフの大きさの変更

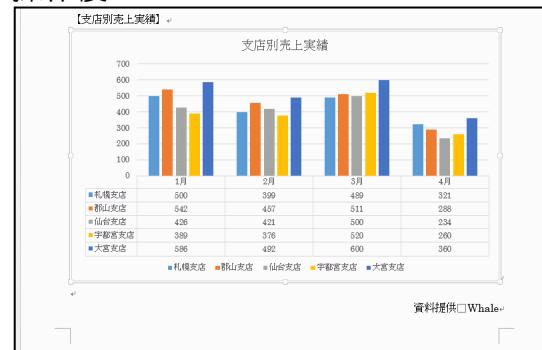
グラフのサイズを少し大きくしてみましょう。

◆グラフの大きさを変更する方法をマスターしましょう。

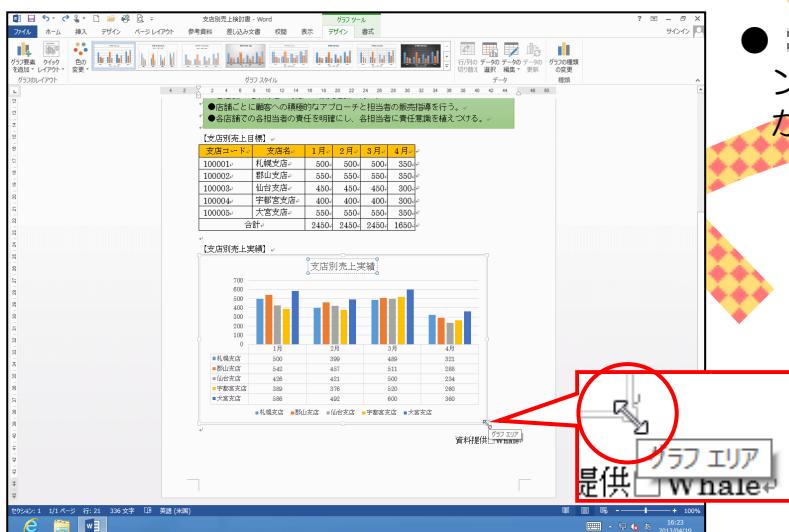
操作前



操作後

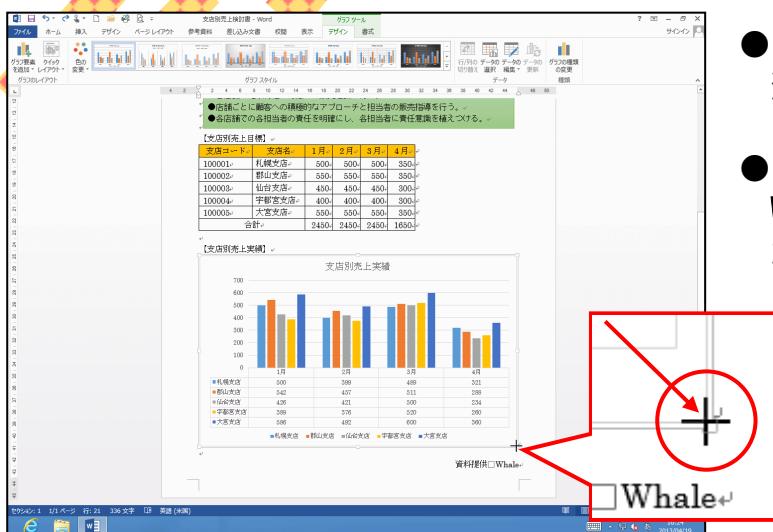


グラフの右下にある□（サイズ変更ハンドル）にポイントします。



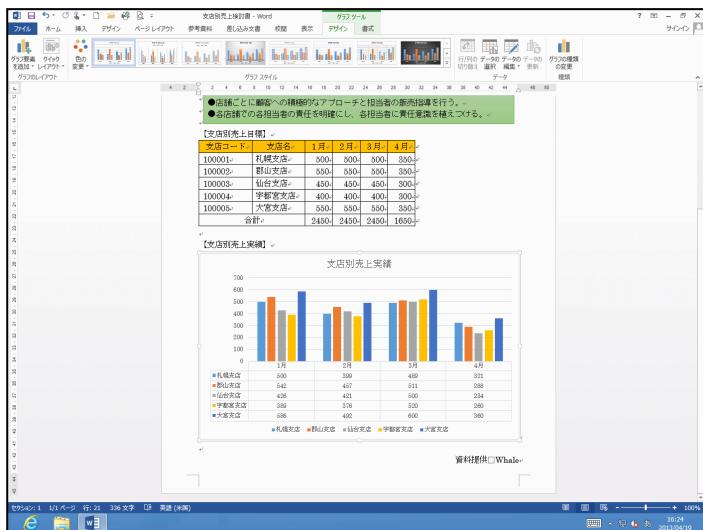
● □（サイズ変更ハンドル）にポイントすると、マウスポインターの形が↖になります。

マウスポインターの形が↖になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。

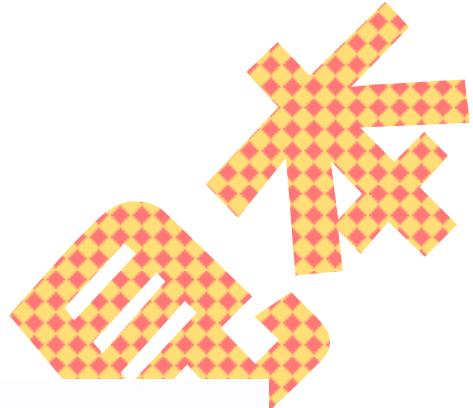


● ドラッグ中のマウスポインターの形は、+ になっています。

● グラフの右下にある「資料提供 Whale」の文字が、次のページに行かない程度の大きさにしましょう。



●マウスの左ボタンを離すと、グラフの大きさが確定します。



(3) 相互参照

「相互参照」とは、文書内のほかの場所にある項目を参照するためのものです。例えば、本文中に「図1を参照」という文字を入力し、作成した相互参照をクリックすると参照先に移動することができます。

相互参照として参照できるのは、見出し、脚注、ブックマーク、図表番号などが設定されている項目です。

相互参照は、[参考資料] タブの [図表] グループから作成します。

■ [参考資料] タブ



① 図表番号の設定

「支店別売上目標」の表に図表番号を設定してみましょう。

◆図表番号の挿入方法をマスターしましょう。

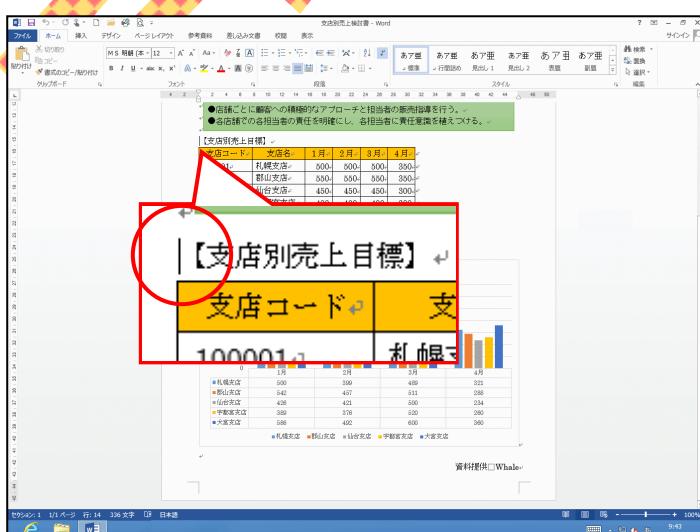
操作前

【支店別売上目標】					
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	3
100002	郡山支店	550	550	550	3
100003	仙台支店	450	450	450	3
100004	宇都宮支店	400	400	400	3
100005	大宮支店	550	550	550	3
合計		2450	2450	2450	16

操作後

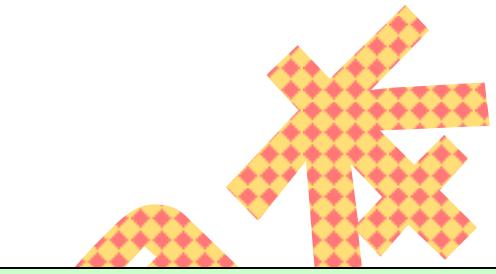
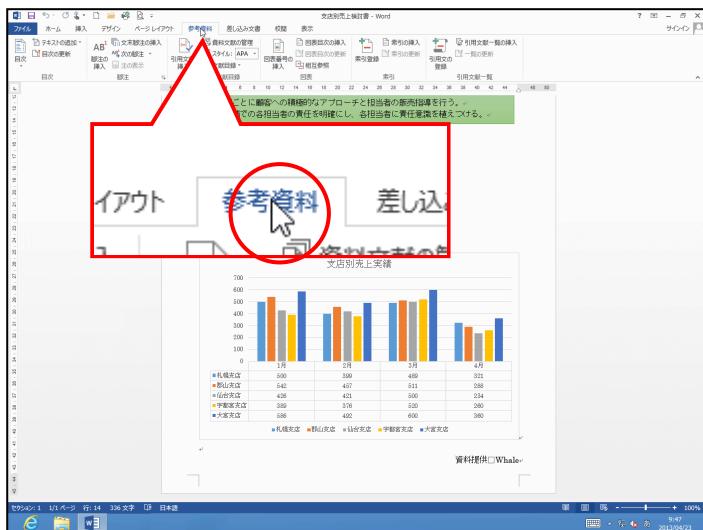
表 1 【支店別売上目標】					
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	3
100002	郡山支店	550	550	550	3
100003	仙台支店	450	450	450	3
100004	宇都宮支店	400	400	400	3
100005	大宮支店	550	550	550	3
合計		2450	2450	2450	16

【支店別売上目標】の前にカーソルを移動します。

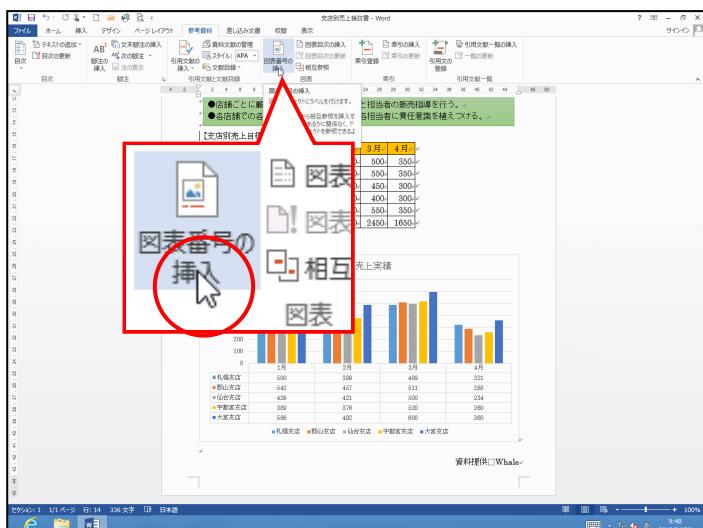


●カーソルのある位置に図表番号が挿入されます。

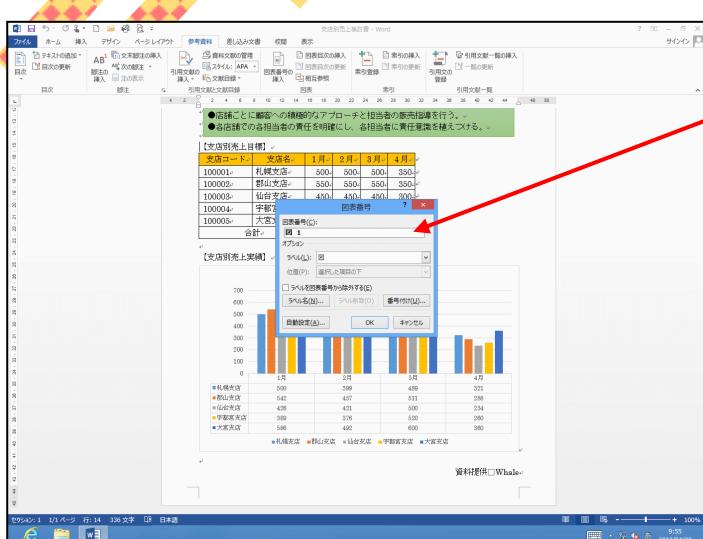
[参考資料] タブをクリックします。



[図表] グループにある [図表番号の挿入] ボタンをクリックします。

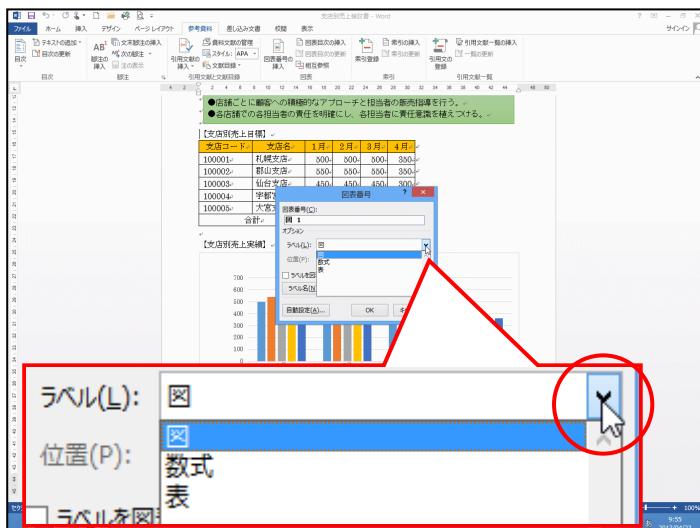


●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)

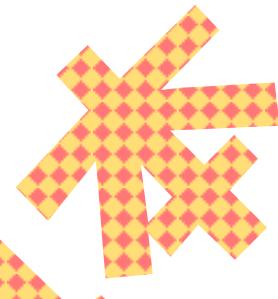


● [図表番号の挿入] ボタンをク
リックすると、左のよう [図表番
号] ダイアログボックスが表示さ
れます。

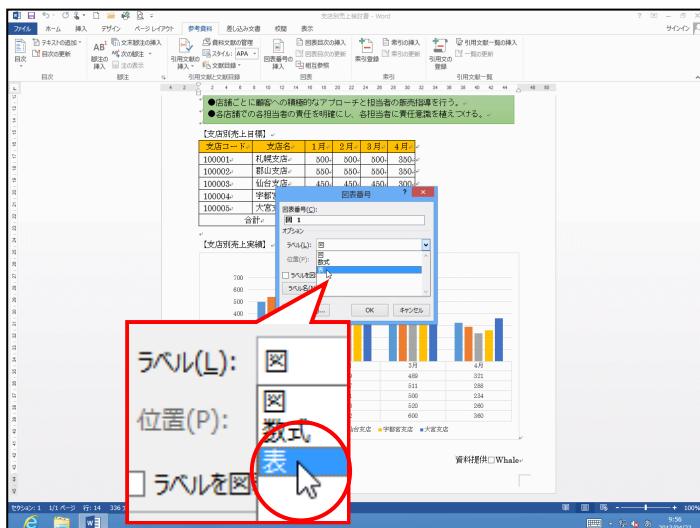
表示された【図表番号】ダイアログボックスの【ラベル(L):】ボックスの右にある をクリックします。



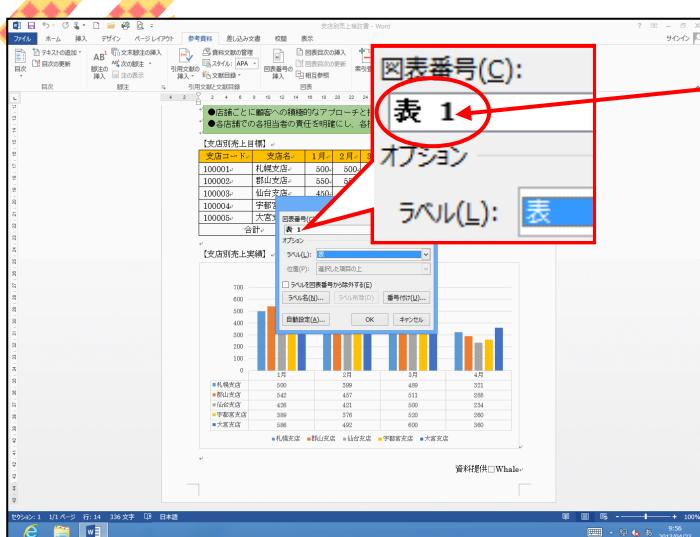
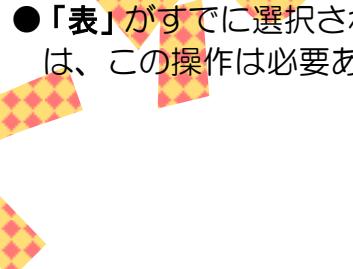
●左のように【ラベル(L):】ボックスに「図」が表示されているとは限りません。



表示された一覧から「表」をクリックします。

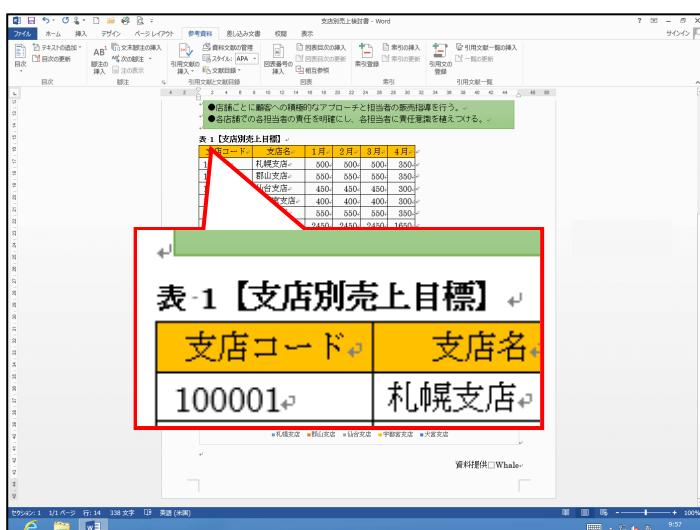
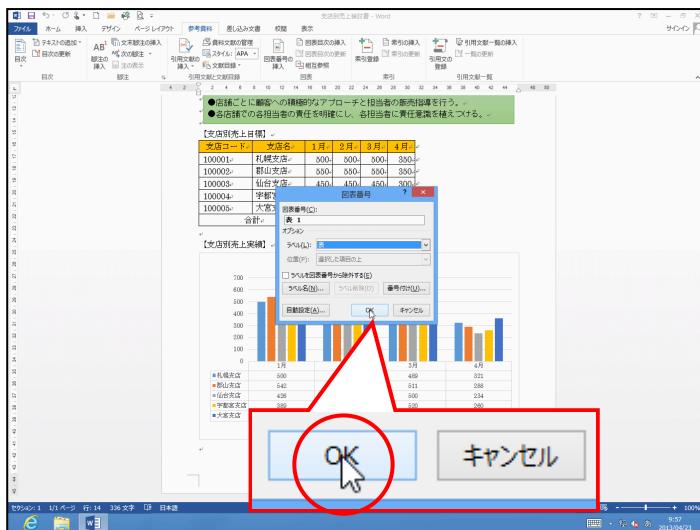


●「表」がすでに選択されている場合は、この操作は必要ありません。



●【ラベル(L):】ボックスで【表】を選択すると、【図表番号(C):】ボックスに「表 1」が表示されます。

[図表番号] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。



● [OK] ボタンをクリックすると、左のようにカーソルがあった位置に「表 1」という文字が表示されて、段落内の文字が太字になります。

② 相互参照の作成

8行目の「目標」の後ろに相互参照を作成し、クリックすると① 図表番号の設定で、図表番号を挿入した「表1」に移動するように設定してみましょう。

◆相互参照の作成方法をマスターしましょう。

操作前

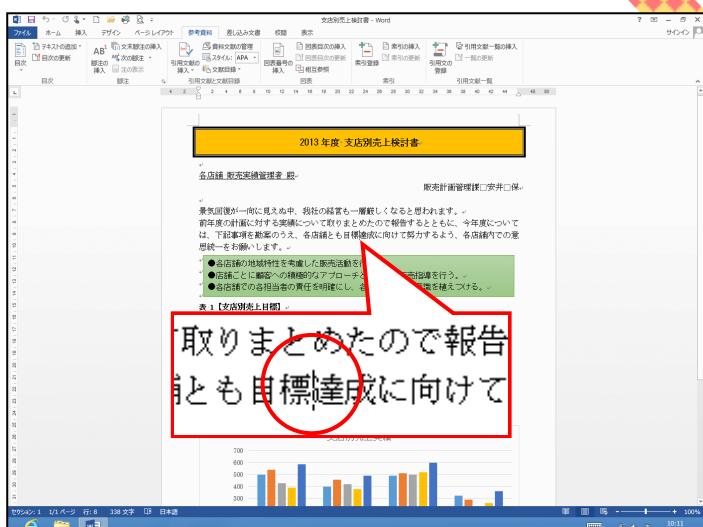
景気回復が一向に見えぬ中、我社の経営も一層厳しくなると思われます。←
前年度の計画に対する実績について取りまとめたので報告するとともに、今年度については、下記事項を勘案のうえ、各店舗とも目標達成に向けて努力するよう、各店舗内での意思統一をお願いします。←

操作後

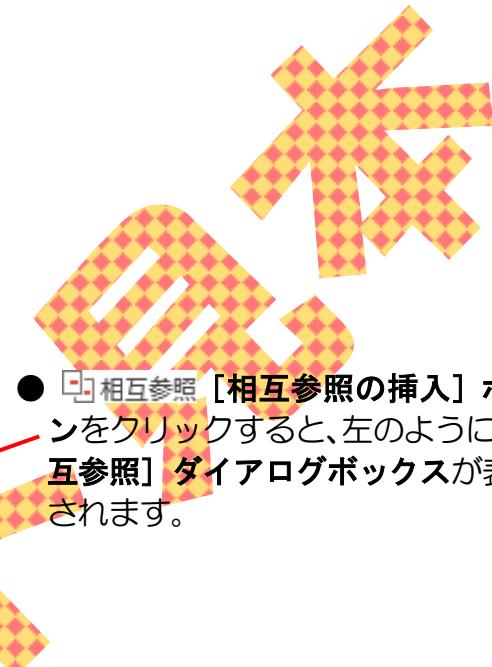
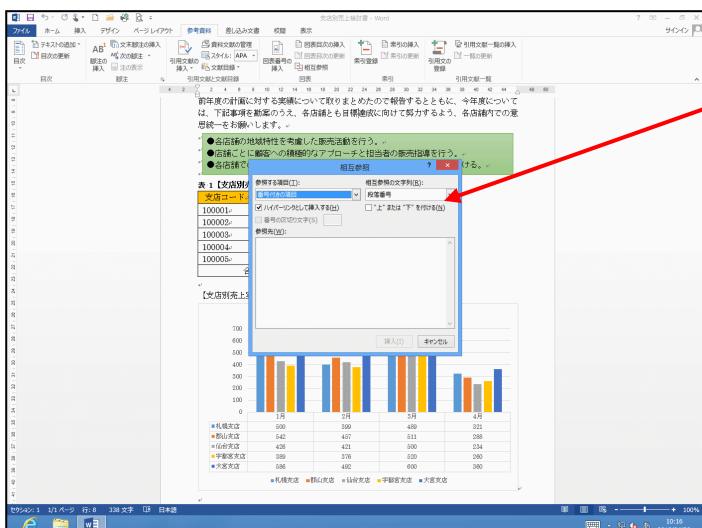
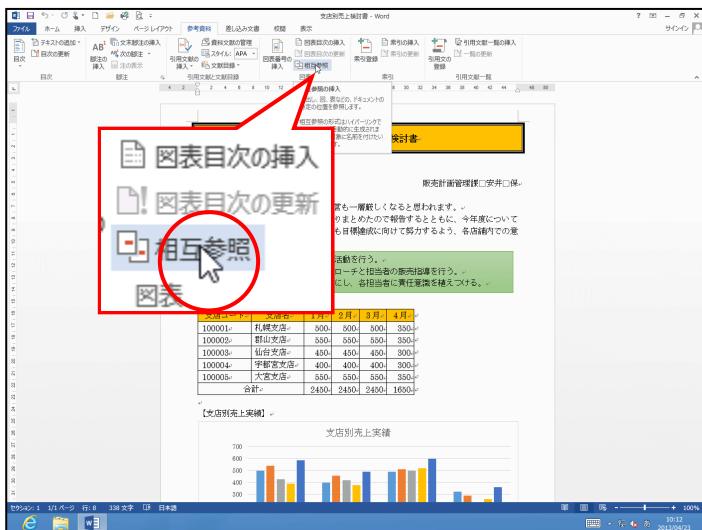
景気回復が一向に見えぬ中、我社の経営も一層厳しくなると思われます。←
前年度の計画に対する実績について取りまとめたので報告するとともに、今年度については、下記事項を勘案のうえ、各店舗とも目標~~表1【支店別売上目標】~~達成に向けて努力するよう、各店舗内での意思統一をお願いします。←

8行目の「目標」の後ろにカーソルを移動します。

●相互参照を設定する位置を指定する操作です。

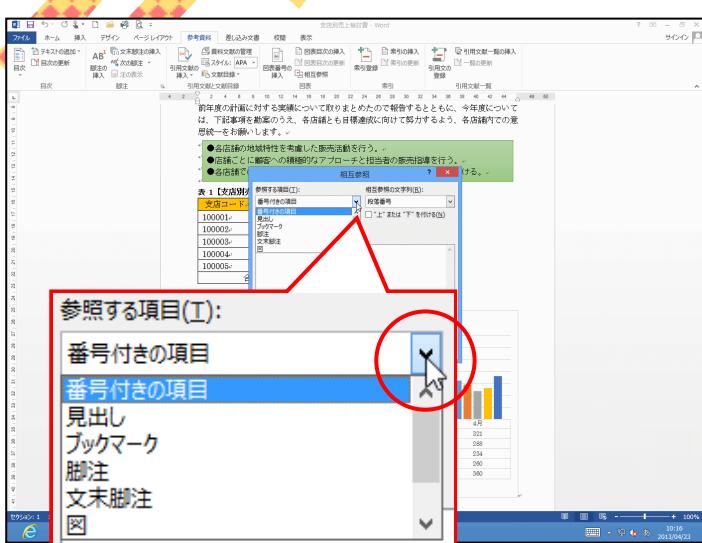


[図表] グループにある [相互参照の挿入] ボタンをクリックします。



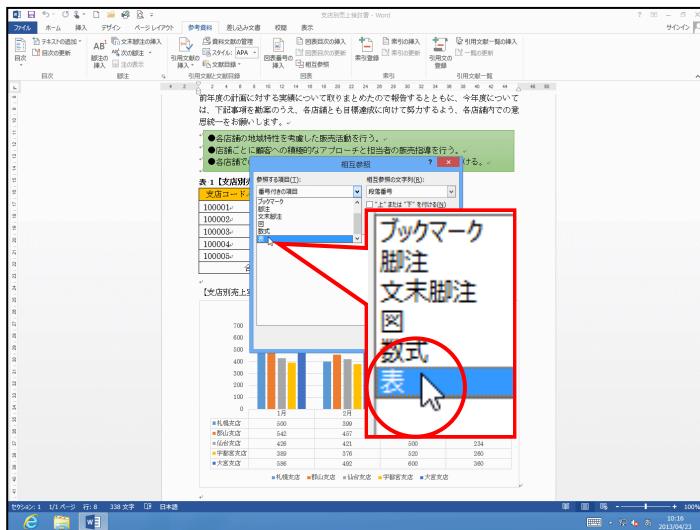
- [相互参照の挿入] ボタンをクリックすると、左のように [相互参照] ダイアログボックスが表示されます。

表示された [相互参照] ダイアログボックスの [参照する項目(T):] ボックスの をクリックします。



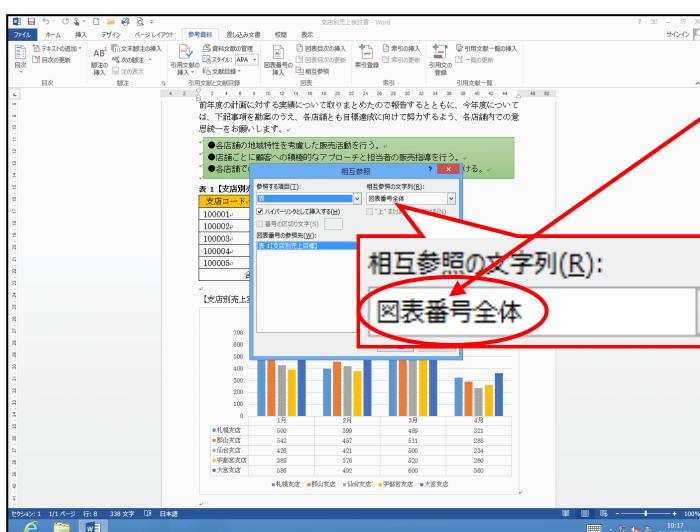
- 左のように [参照する項目(T):] ボックスに「番号付きの項目」が表示されているとは限りません。

表示された一覧から「表」をクリックします。



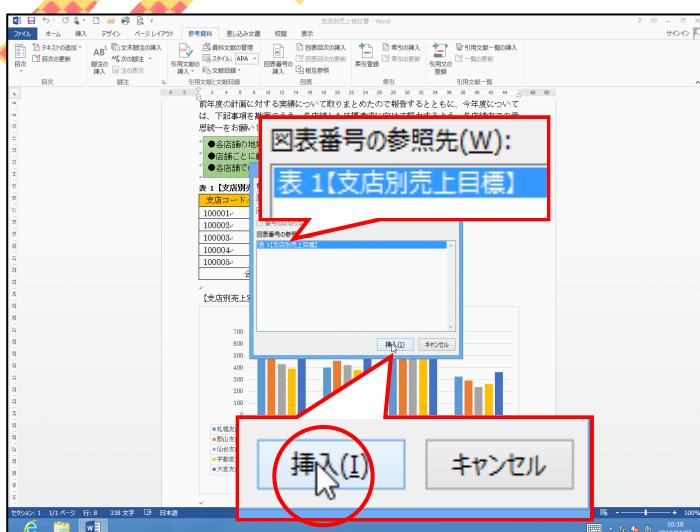
●「表」がすでに選択されている場合は、この操作は必要ありません。

●「表」が一覧ないときは、スクロールして表示させてください。



●「[参照する項目(T):] ボックスで「表」を選択すると、[相互参照の文字列(R):] ボックスに「図表番号全体」が表示されます。

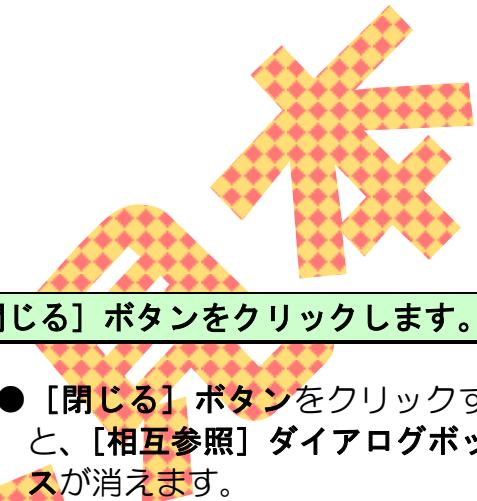
[図表番号の参照先(W):] から「表1【支店別売上目標】」が選択されていることを確認して、[挿入(I)] ボタンをクリックします。



各店舗とも目標表-1【支店別売上目標】達成に向けて努力を頑張ります。

月	札幌支店	函館支店	仙台支店	横浜支店	名古屋支店	福岡支店
1月	500	320	450	420	380	350
2月	520	340	470	440	390	360
3月	510	330	460	430	370	340
4月	480	310	440	410	360	330

● [挿入(I)] ボタンをクリックした時点で、「目標」の文字の後ろに「表1【支店別売上目標】」という文字が表示されます。



[相互参照] ダイアログボックスの右下にある [閉じる] ボタンをクリックします。

各店舗とも目標表-1【支店別売上目標】達成に向けて努力を頑張ります。

月	札幌支店	函館支店	仙台支店	横浜支店	名古屋支店	福岡支店
1月	500	320	450	420	380	350
2月	520	340	470	440	390	360
3月	510	330	460	430	370	340
4月	480	310	440	410	360	330

● [閉じる] ボタンをクリックすると、[相互参照] ダイアログボックスが消えます。

相互参照についての補足説明 P231

各店舗とも目標表-1【支店別売上目標】達成に向けて努力を頑張ります。

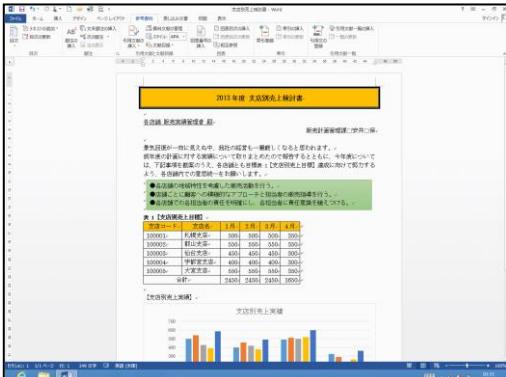
月	札幌支店	函館支店	仙台支店	横浜支店	名古屋支店	福岡支店
1月	500	320	450	420	380	350
2月	520	340	470	440	390	360
3月	510	330	460	430	370	340
4月	480	310	440	410	360	330

③ 相互参照の確認

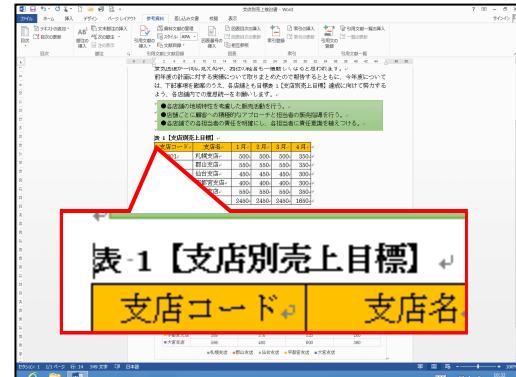
作成した相互参照を使って「表1」に移動することを確認してみましょう。

◆相互参照の確認方法をマスターしましょう。

操作前

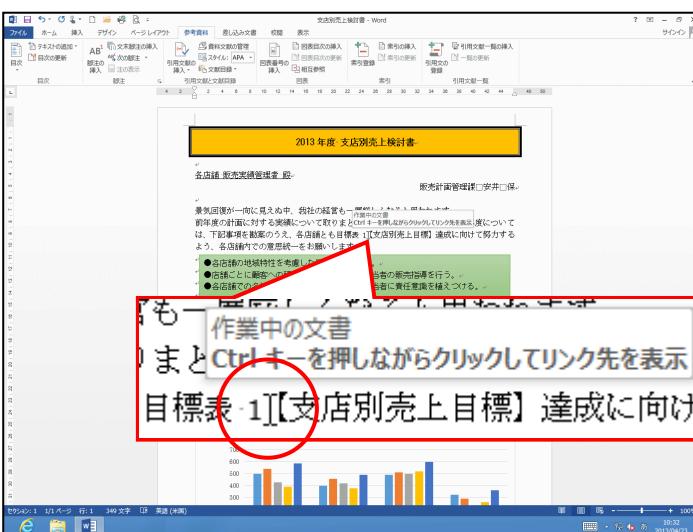


操作後



相互参照を設定した文字「表1【支店別売上目標】」にポイントします。

●相互参照の文字列にポイントすると、左のようにメッセージが表示されます。



[Ctrl] キーを押した状態でクリックします。

● [Ctrl] キーを押した時点で、マウスポインターは の状態に変わります。

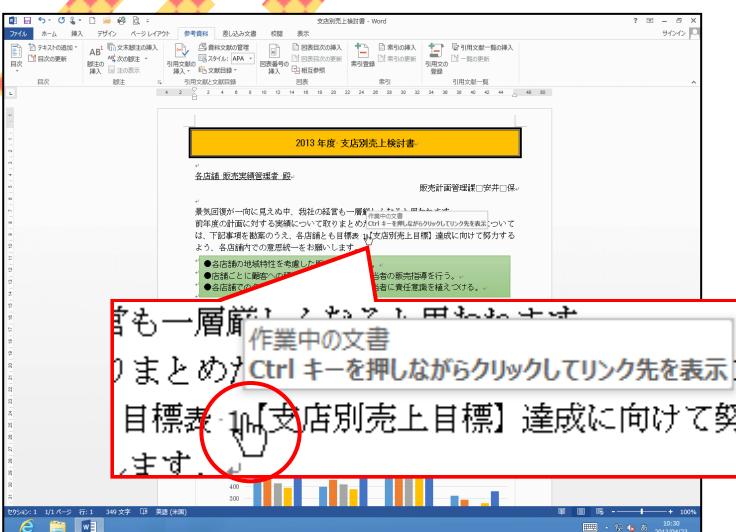
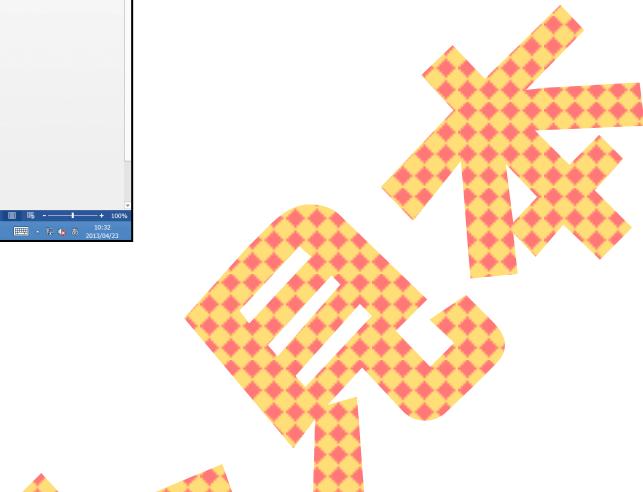




表1【支店別売上目標】

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	350
100002	郡山支店	550	550	550	350
100003	仙台支店	450	450	450	300
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100005	大宮支店	450	450	450	300
合計		2450	2450	2450	1650

- [Ctrl] キーを押した状態でクリックすると、相互参照先にカーソルが移動します。



(4) ハイパーリンク

「ハイパーリンク」とは、文字や画像に他のワード文書や他のアプリケーションで作成したファイル、Web ページなどへ関連付けを設定することをいいます。

ハイパーリンクを設定すると、文字や画像をクリックするだけで、他のワード文書や他のアプリケーションで作成したファイルや Web ページを表示することができます。

① ハイパーリンクの挿入

1 ページ 14 行目の「表1【支店別売上目標】」をクリックすると、ドキュメントフォルダーにある「支店別売上」が表示されるようにハイパーリンクを設定してみましょう。

◆ハイパーリンクの挿入方法をマスターしましょう。

操作前

表1【支店別売上目標】		
支店コード	支店名	1月
100001	札幌支店	500
100002	郡山支店	550
100003	仙台支店	450
100004	宇都宮支店	400
100005	大宮支店	550
合計		2450

操作後

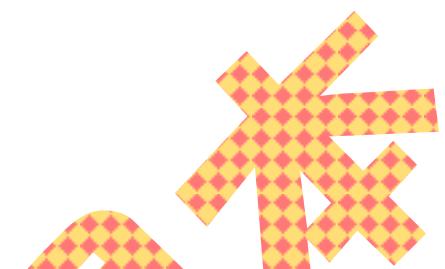
表1【支店別売上目標】		
支店コード	支店名	1月
100001	札幌支店	500
100002	郡山支店	550
100003	仙台支店	450
100004	宇都宮支店	400
100005	大宮支店	550
合計		2450

14行目の「表1【支店別売上目標】」を範囲選択します。

The screenshot shows a Microsoft Word document titled '支店別売上目標' (Table 1 [Branch別売上目標]). A red box highlights the table header '支店コード' and '支店名'. Below the table is a note: '販売計画実績の発達した販売活動を行う。各担当者の種類別のアプローチと担当者の販売指導を行う。各担当者の責任を明確にし、各担当者に責任意識を植えづける。' A yellow box highlights the table caption '表1【支店別売上目標】'.

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	600	600	600	300
100002- 仙台支店	仙台支店	550	550	550	350
100003- 大阪支店	大阪支店	450	450	450	300
100004- 平野支店	平野支店	400	400	400	300
100005- 大宮支店	大宮支店	550	550	550	350
合計		2450	2450	2450	1650

●ハイパーリンクの元となる文字を選択します。



[挿入] タブをクリックします。

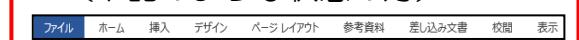
The screenshot shows the Microsoft Word ribbon with the 'Insert' tab highlighted by a red box. A red circle highlights the 'Hyperlink' button in the 'Links' group. The document content includes the same table and note as the previous screenshot.

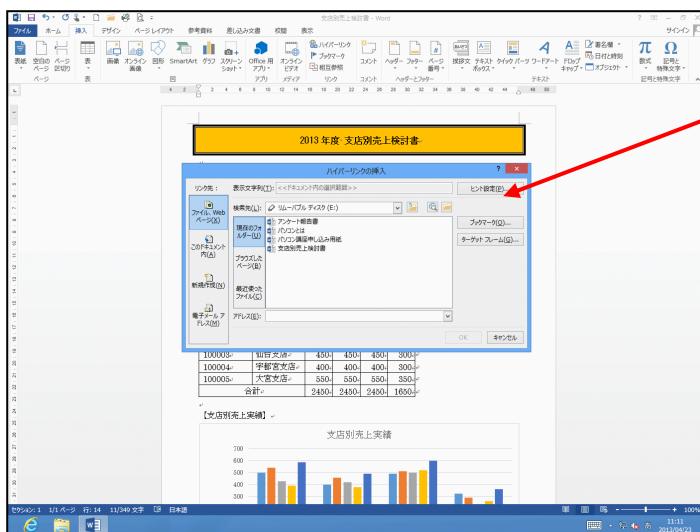


[リンク] グループにある ハイパーリンク [ハイパーリンク] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Word ribbon with the 'Insert' tab selected. In the 'Links' group, the 'Hyperlink' button is circled with a red box. The document content remains the same.

●リボンが表示されていない方は、P235 リボンの表示オプションの変更をご参照ください。
(下記のような状態の方)

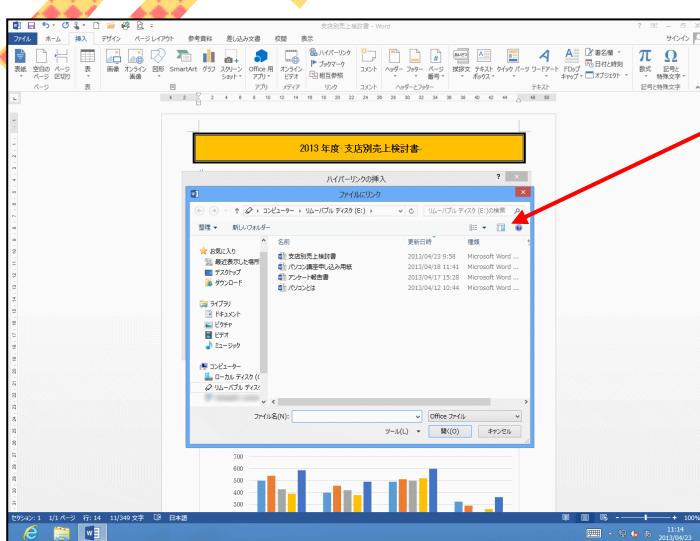
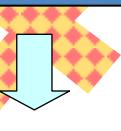
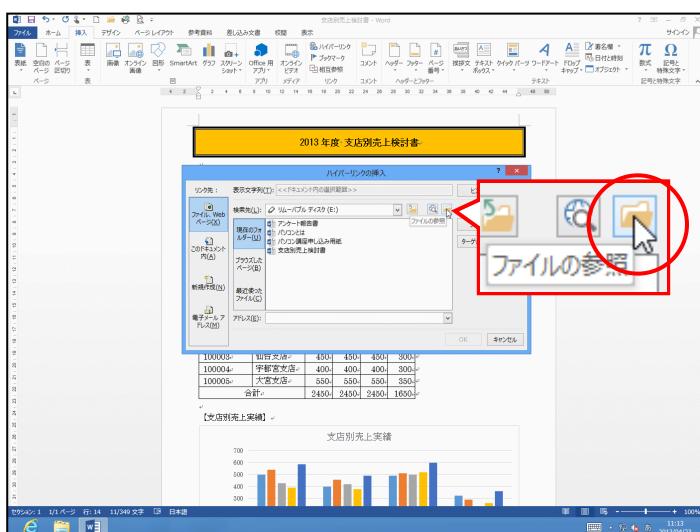




● **ハイパーリンク** [ハイパーリンク] ボタンをクリックすると、左のように [ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスが表示されます。

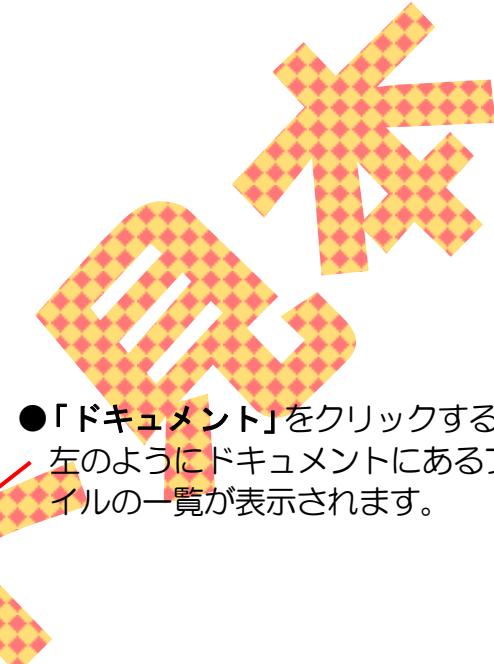
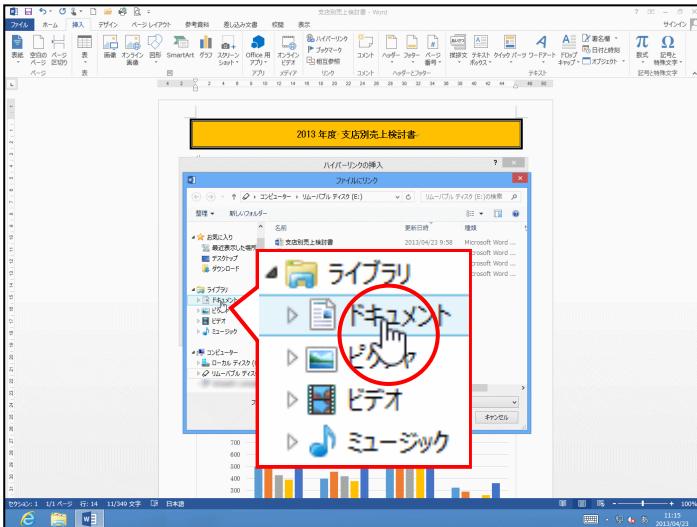


表示された [ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスの [ファイルの参照] ボタンをクリックします。

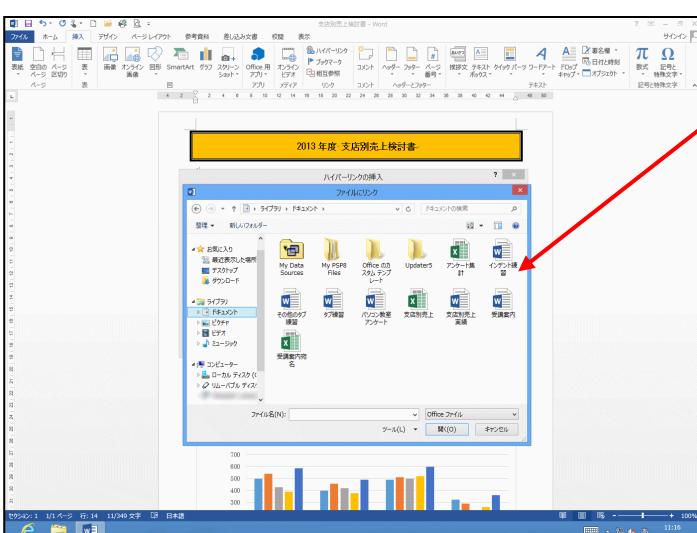


● [ファイルの参照] ボタンをクリックすると、左のように [ファイルにリンク] ダイアログボックスが表示されます。

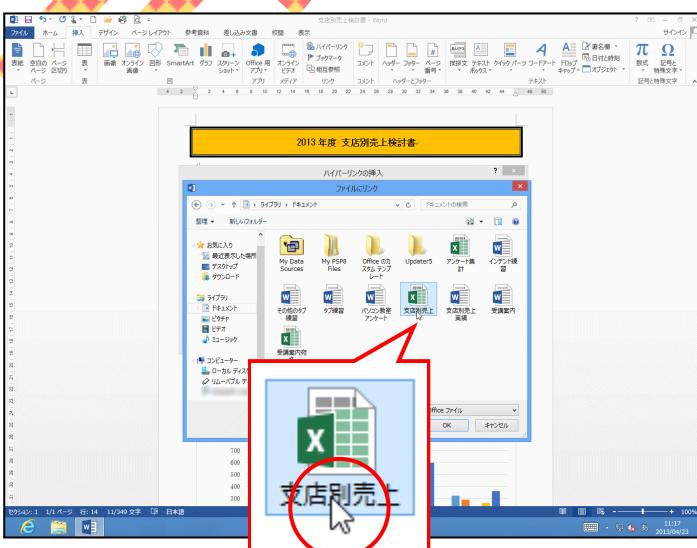
表示された【ファイルにリンク】ダイアログボックスの左側の一覧から「ドキュメント」をクリックします。



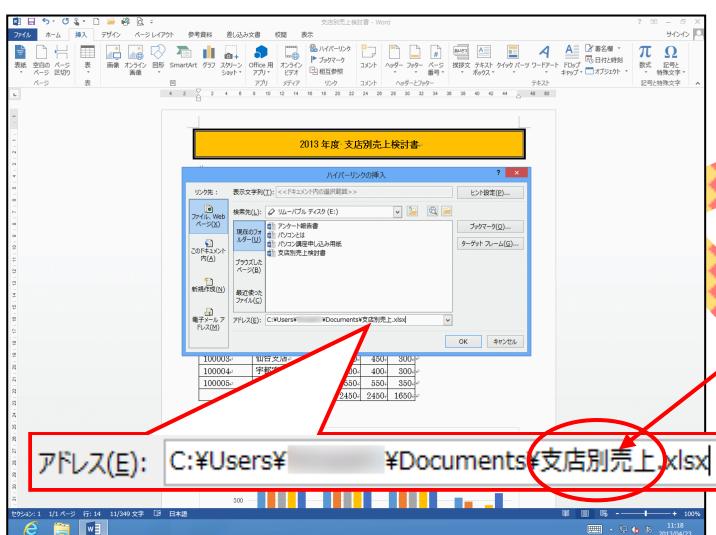
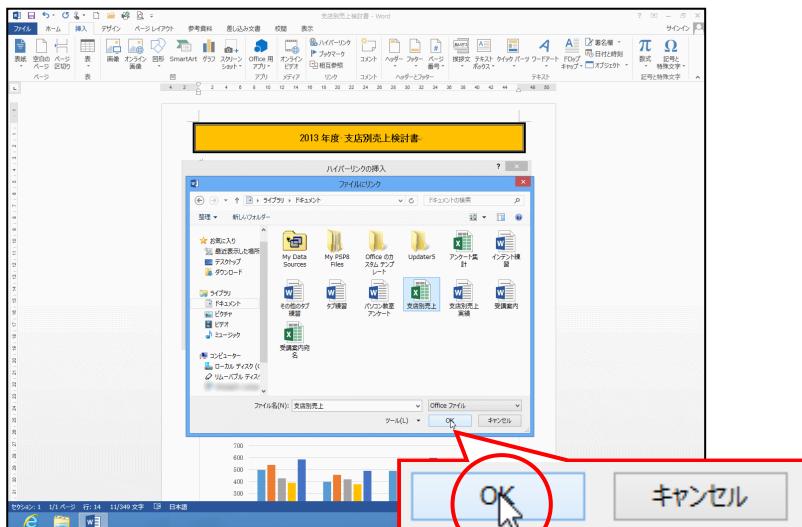
●「ドキュメント」をクリックすると、左のようにドキュメントにあるファイルの一覧が表示されます。



表示されたドキュメントのファイルの一覧から「支店別売上」をクリックします。



[ファイルにリンク] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。



● [OK] ボタンをクリックすると、左のように [ファイルにリンク] ダイアログボックスが閉じて、[ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスに戻ります。

● [アドレス (E) :] ボックスに「支店別売上」が表示されていることを確認しておきましょう。

[ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。

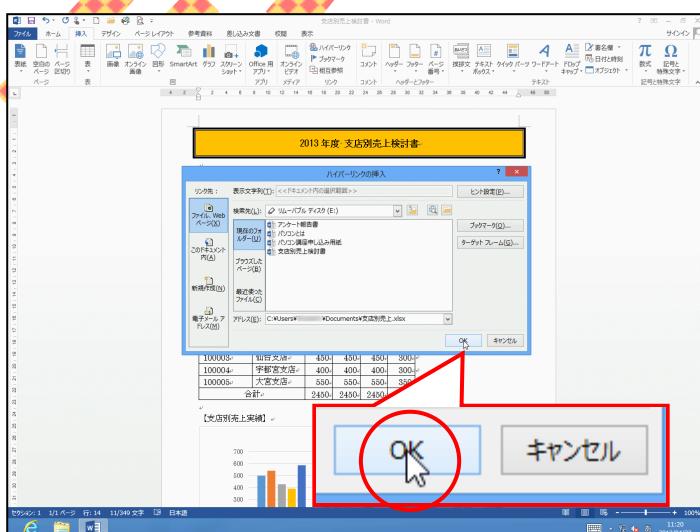




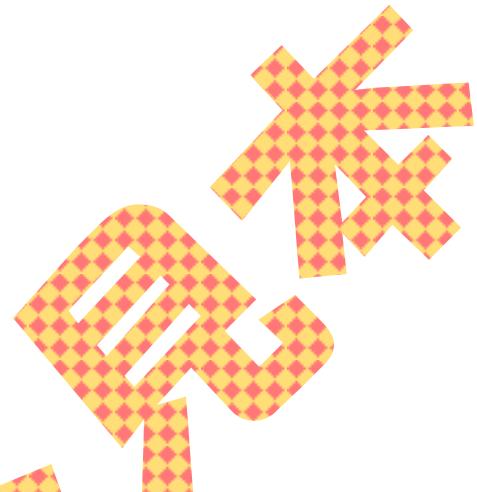
表-1【支店別売上目標】

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	5000	5000	5000	3500
100002- 青森支店	青森支店	3500	3500	3500	3500
100003- 岩手支店	岩手支店	4500	4500	4000	3000
100004- 新潟支店	新潟支店	4000	4000	4000	3000
100005- 富山支店	富山支店	3500	3500	3500	3500
合計	合計	24500	24500	24000	16500

【支店別売上実績】

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	5000	5000	5000	3500
100002- 青森支店	青森支店	3500	3500	3500	3500
100003- 岩手支店	岩手支店	4500	4500	4000	3000
100004- 新潟支店	新潟支店	4000	4000	4000	3000
100005- 富山支店	富山支店	3500	3500	3500	3500
合計	合計	24500	24500	24000	16500

- [OK] ボタンをクリックした時点で、ハイパーリンクに設定された文字（表1【支店別売上目標】）の色が青に変わり、下線が表示されます。



② ハイパーリンクの確認

ハイパーリンクの設定を利用して、エクセルの表（支店別売上）が表示されることを確認しましょう。

◆ハイパーリンクの確認方法をマスターしましょう。

操作前

2013年度支店別売上目標

支店別売上目標について、以下の通りです。
支店別売上目標に対する実績について見てまとめてお知らせします。各支店について
は、下記表を参照して、各会員ともに「2013年度支店別売上目標」を達成してあります
ように、各会員ともに「2013年度支店別売上目標」を達成してあります。

支店別売上目標

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	5000	5000	5000	3500
100002- 青森支店	青森支店	3500	3500	3500	3500
100003- 岩手支店	岩手支店	4500	4500	4500	3000
100004- 新潟支店	新潟支店	4000	4000	4000	3000
100005- 富山支店	富山支店	3500	3500	3500	3500
合計	合計	24500	24500	24000	16500

支店別売上実績

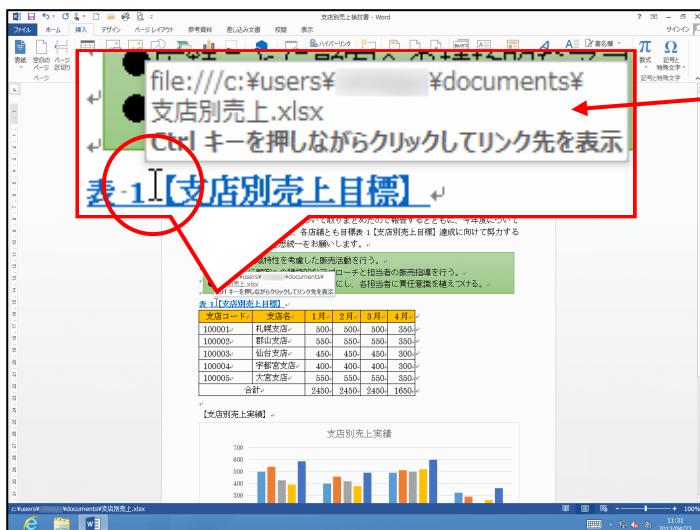
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	5000	5000	5000	3500
100002- 青森支店	青森支店	3500	3500	3500	3500
100003- 岩手支店	岩手支店	4500	4500	4500	3000
100004- 新潟支店	新潟支店	4000	4000	4000	3000
100005- 富山支店	富山支店	3500	3500	3500	3500
合計	合計	24500	24500	24000	16500

操作後

支店別売上目標

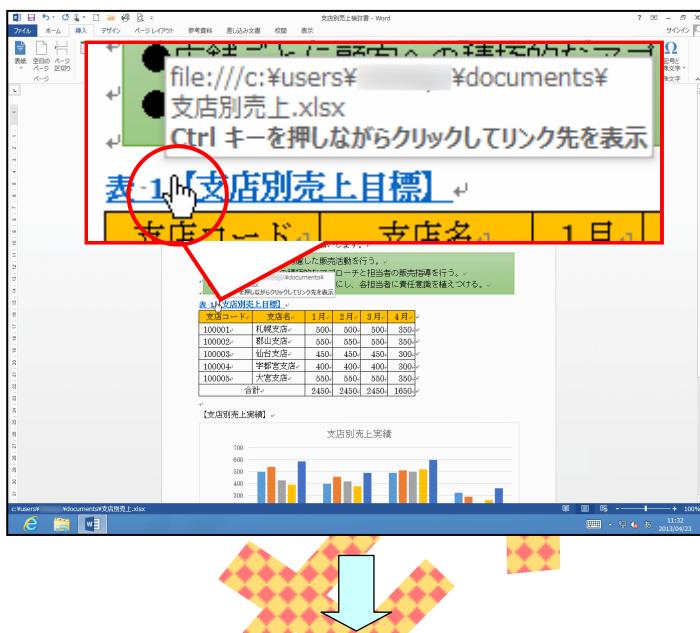
支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001- 札幌支店	札幌支店	5000	5000	5000	3500
100002- 青森支店	青森支店	3500	3500	3500	3500
100003- 岩手支店	岩手支店	4500	4500	4500	3000
100004- 新潟支店	新潟支店	4000	4000	4000	3000
100005- 富山支店	富山支店	3500	3500	3500	3500
合計	合計	24500	24500	24000	16500

ハイパーリンクを設定した文字「表1【支店別売上目標】」にポイントします。

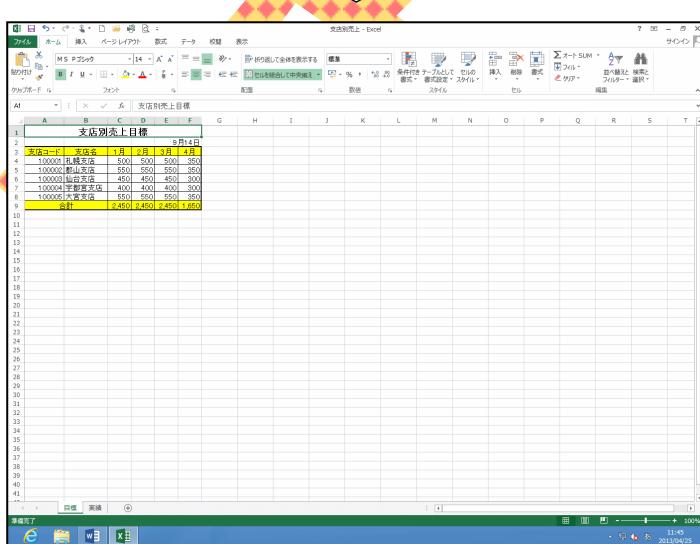


- ハイパーリンクを設定した文字列にポイントすると、左のようにメッセージが表示されます。

[Ctrl] キーを押した状態でクリックします。



- [Ctrl] キーを押した時点で、マウスポインターは の状態に変わります。



- [Ctrl] キーを押した状態でクリックすると、エクセルの「支店別売上」が画面に表示されます。

ハイパーリンクについての補足説明

P232

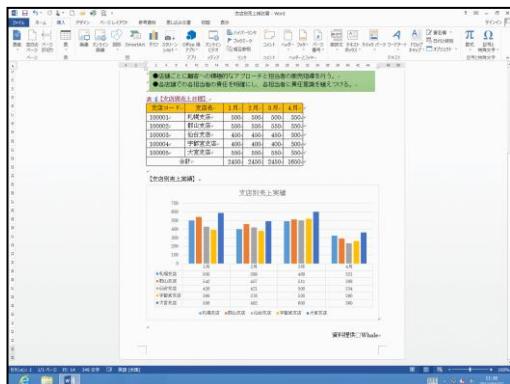
エクセルのウィンドウを終了しておきましょう。

③ Web ページにリンク

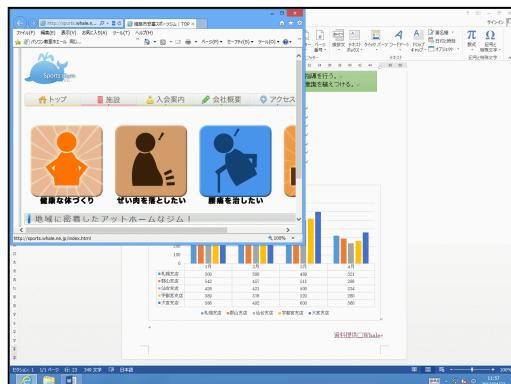
ワード文書内の文字をクリックしたときに、Web ページが表示されるようにリンクを設定してみましょう。

◆Web ページにリンクさせる方法をマスターしましょう。

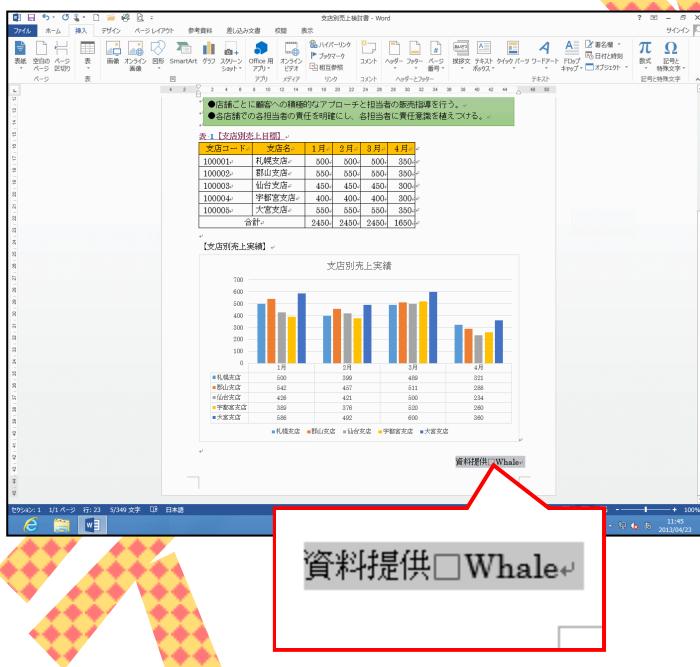
操作前



操作後

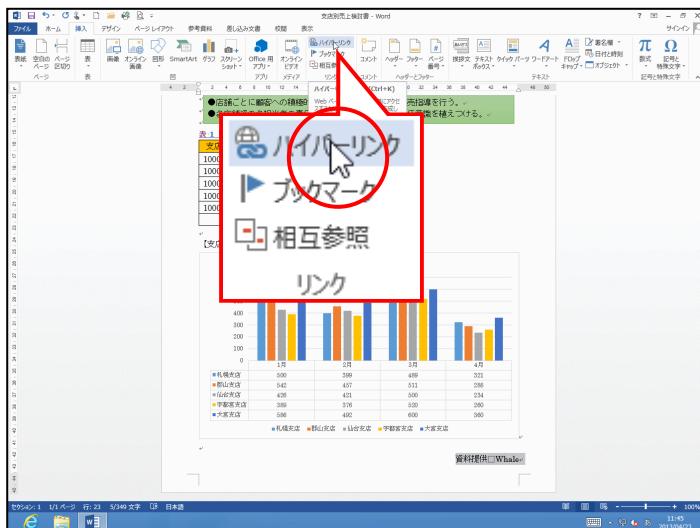


画面を下にスクロールし、最終行の「資料提供 Whale」を選択します。



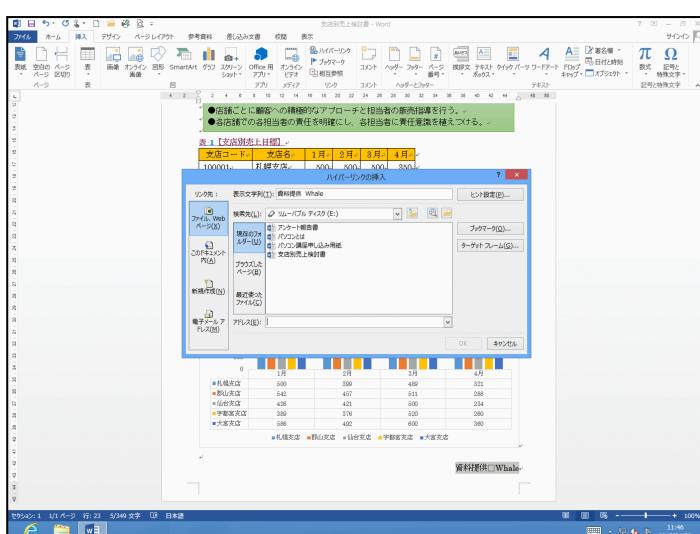
- ハイパーリンクの元となる文字を選択します。

[リンク] グループにある [ハイパーリンク] ボタンをクリックします。

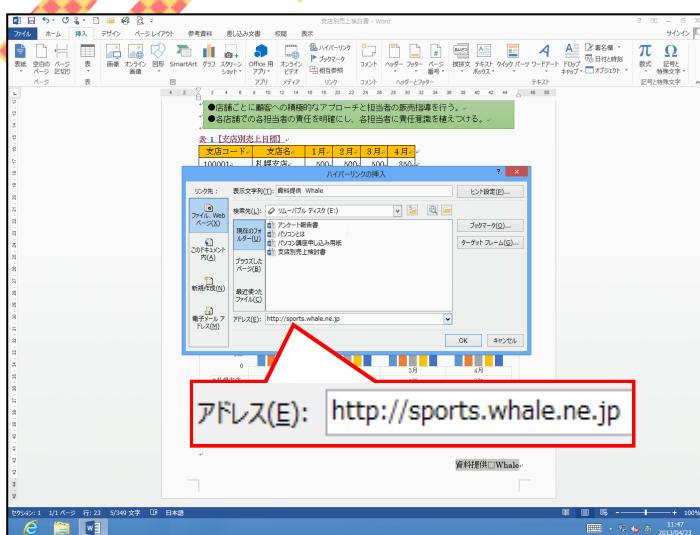


注意!

- [挿入] タブが選択されていない方は、[挿入] タブをクリックしてから操作してください。



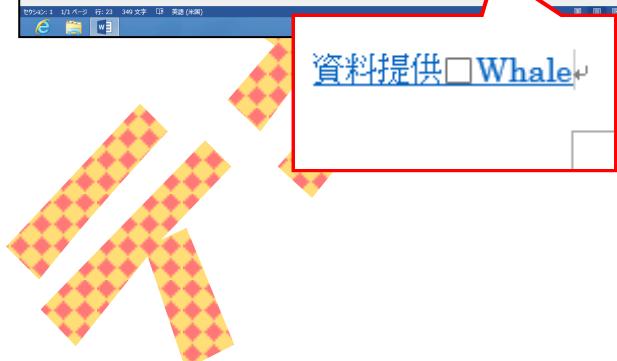
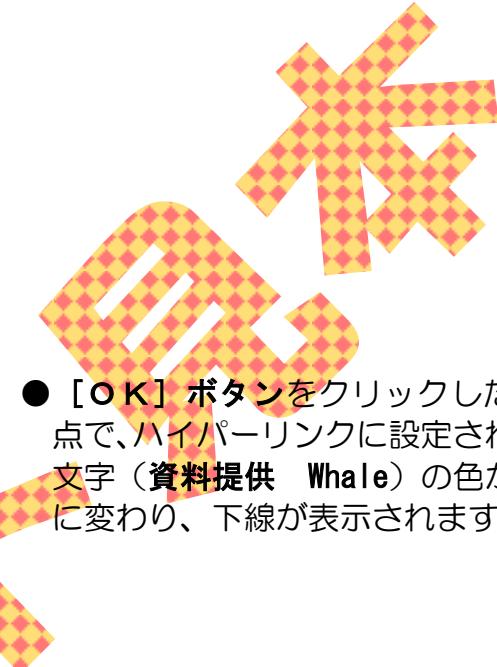
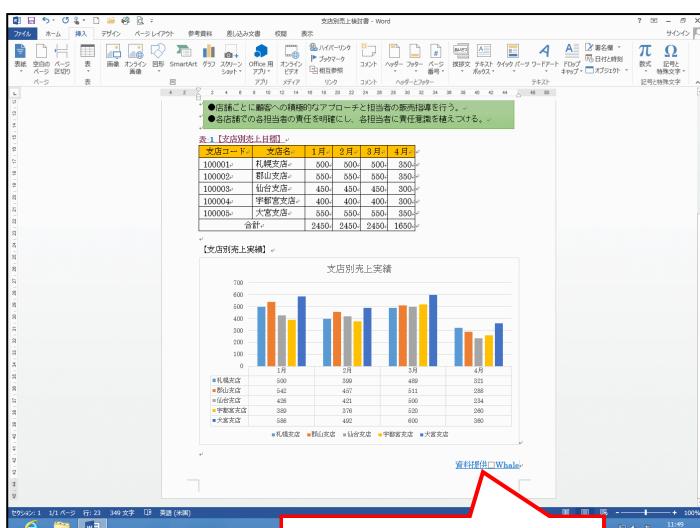
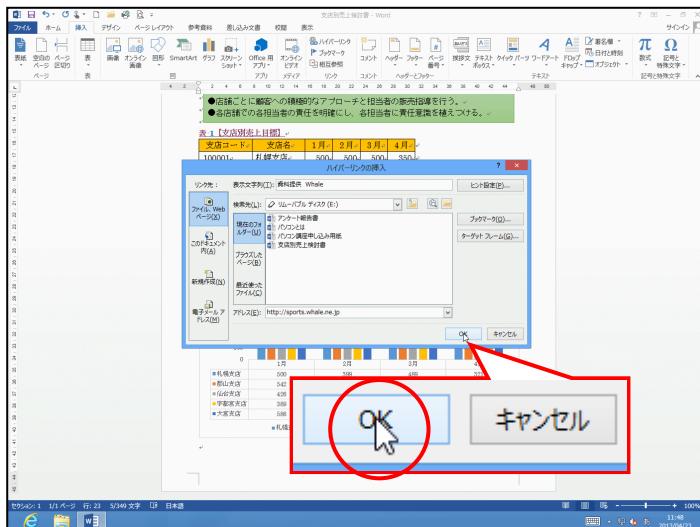
表示された [ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスの [アドレス(E):] ボックスに「<http://sports.whale.ne.jp>」を入力します。



- [アドレス(E):] ボックスに入力する文字は、半角英数を入力します。

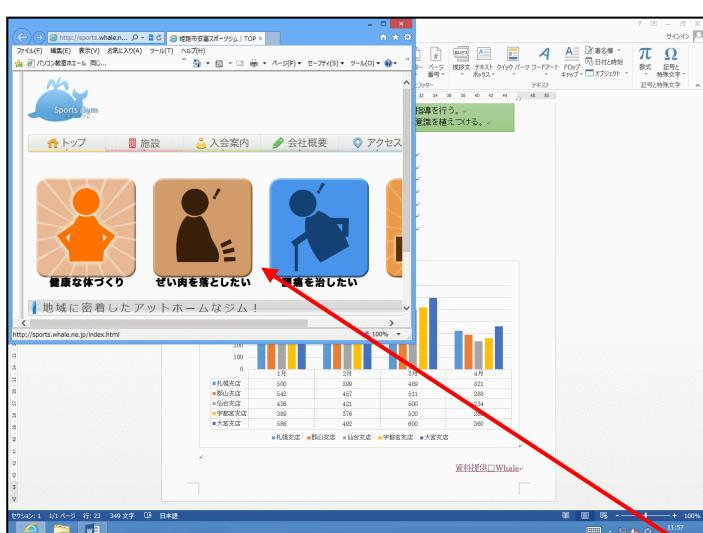
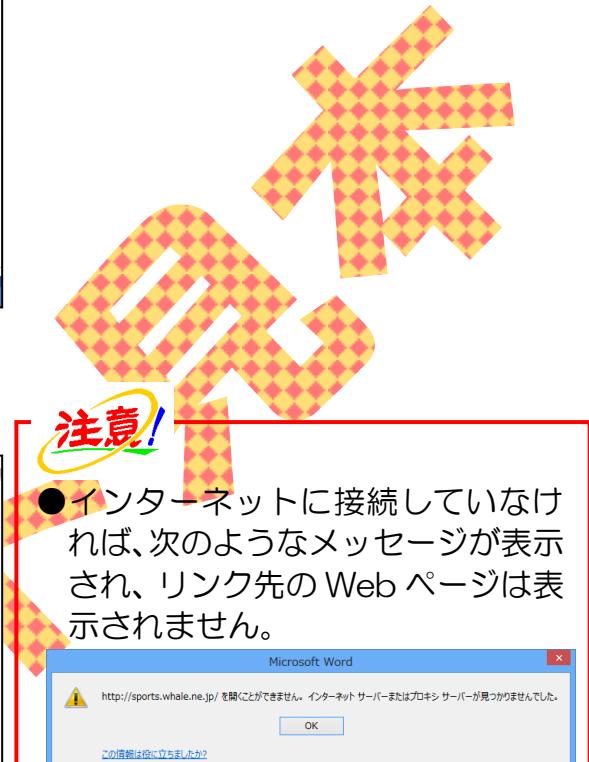
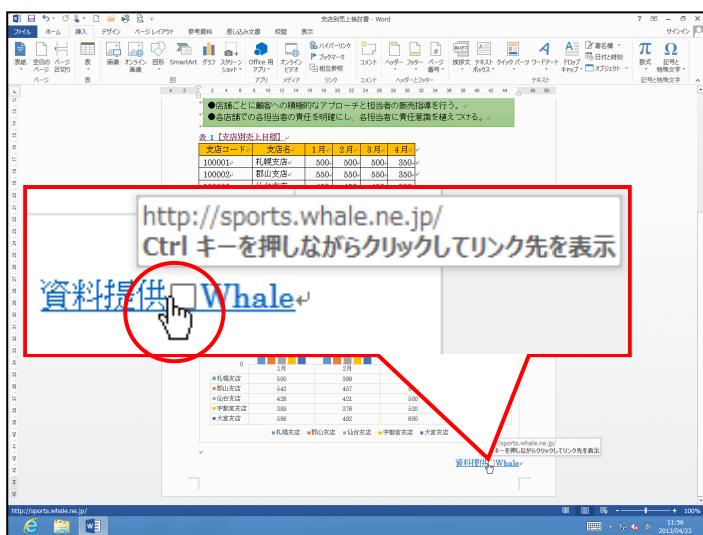


[ハイパーリンクの挿入] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックします。



ハイパーリンクの設定を利用して、Web ページが表示されることを確認しましょう。

[Ctrl] キーを押した状態で、ハイパーリンクを設定した文字（資料提供 Whale）をクリックします。



● 画面上にリンク先の Web ページが表示されます。

開いた Web ページは閉じておきましょう。
上書き保存をして「支店別売上検討書」を閉じておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題14で理解度を試して下さい。☆☆

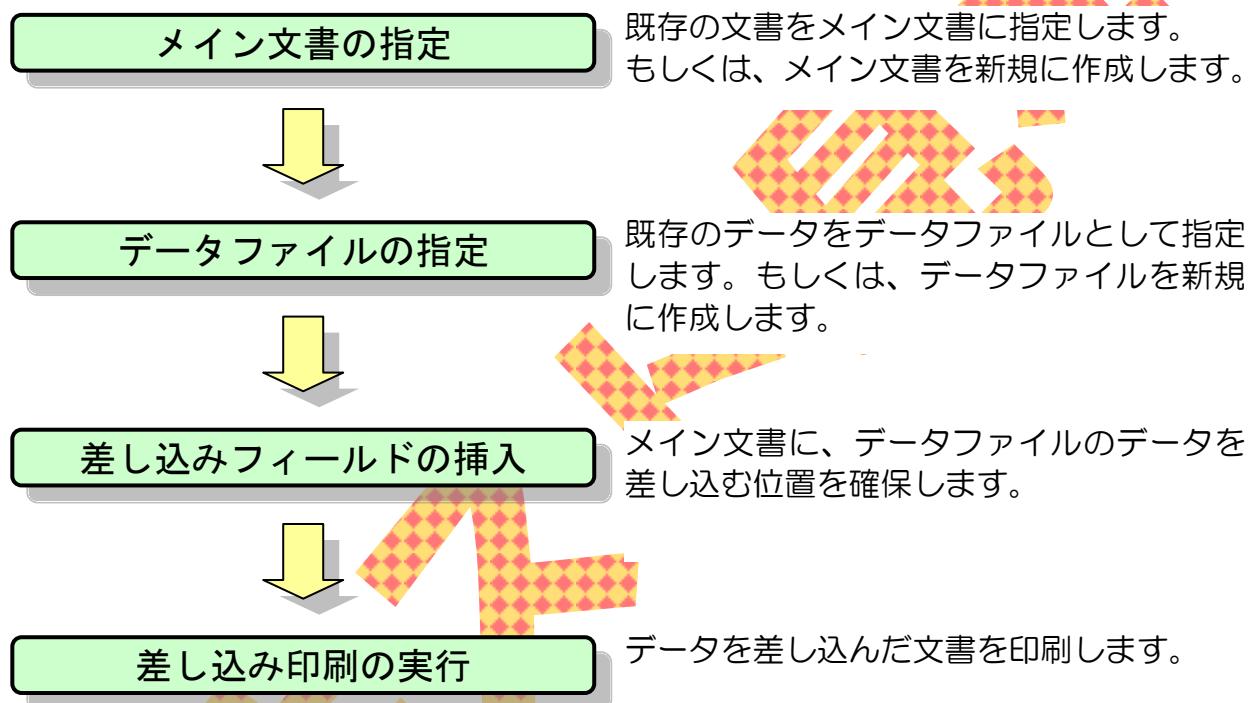
7. 差し込み印刷

「差し込み印刷」機能を使うと、挨拶状、案内状などの「宛名」の部分に、1回1回氏名を入力することなく、データを差し替えて印刷することができます。

ここでは、「受講案内」の「宛先」にエクセルで作成したデータを宛名として差し込むように設定してみましょう。この場合の「受講案内」をメイン文書、エクセルのデータをデータファイルといいます。

(1) 差し込み印刷の手順

差し込み印刷を行うには、次の手順で操作します。



※…差し込み印刷を行うときに、あらかじめデータファイルの中から印刷したいデータを抽出したり、データを並べ替えて、印刷する順番を変更することができます。

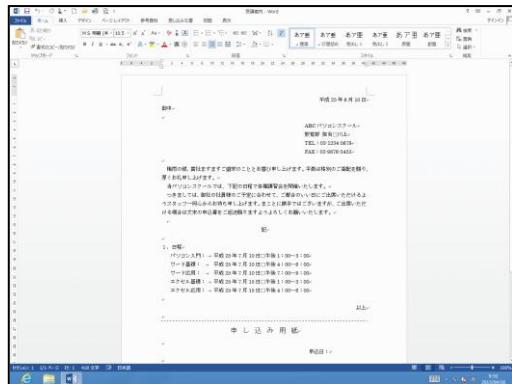
(2) 差し込み印刷ウィザード

① 差し込み印刷ウィザードの表示

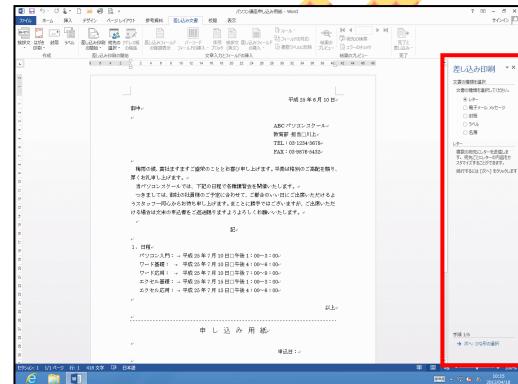
ワードで作成した文書に他のアプリケーションで作成したデータ（宛名など）を差し込んで印刷するには、差し込み印刷ウィザードを使って、**メイン文書**の指定と**データファイル**の指定を行います。差し込み印刷ウィザードを起動するには、次のように操作します。

◆差し込み印刷ウィザードを起動する方法をマスターしましょう。

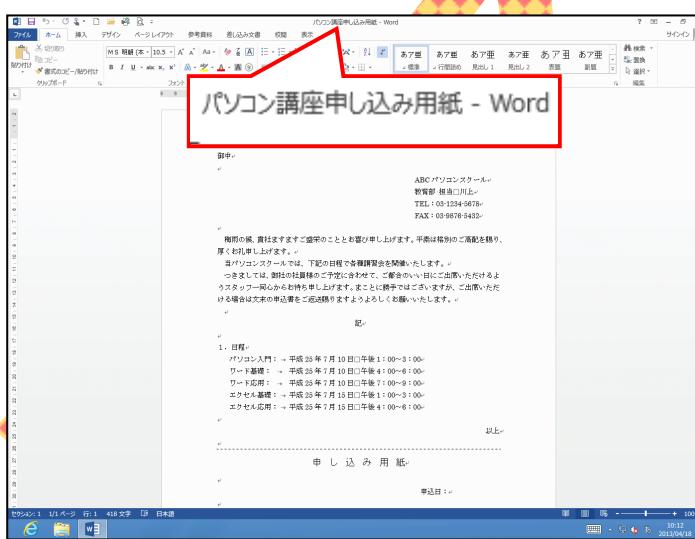
操作前



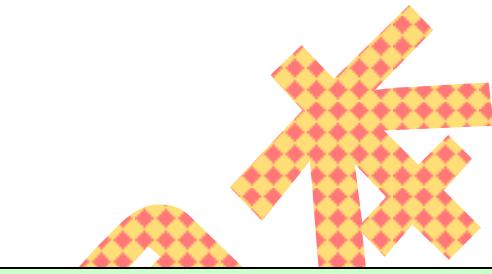
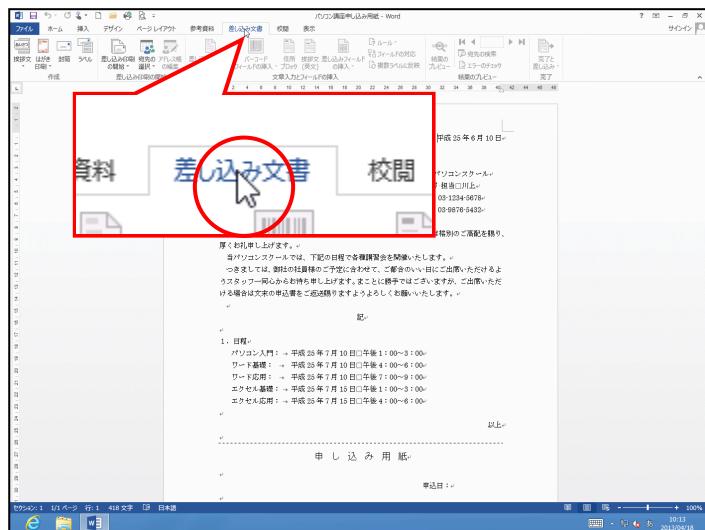
操作後



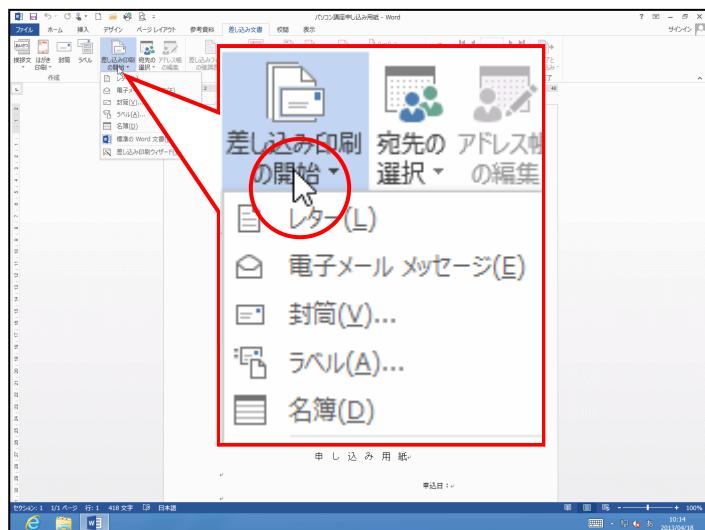
ワードを起動して、ドキュメントフォルダーにある「受講案内」を開き、リムーバブルディスクに「パソコン講座申し込み用紙」という名前で保存しましょう。



[差し込み文書] タブをクリックします。



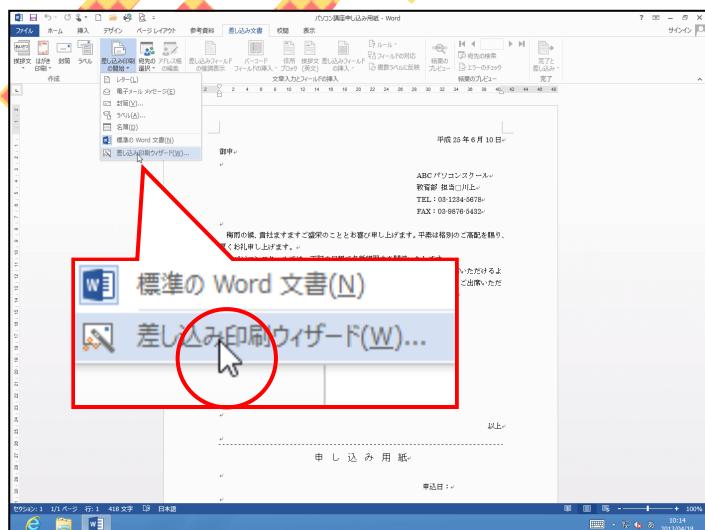
[差し込み印刷の開始] グループにある [差し込み印刷の開始] ボタンをクリックします。

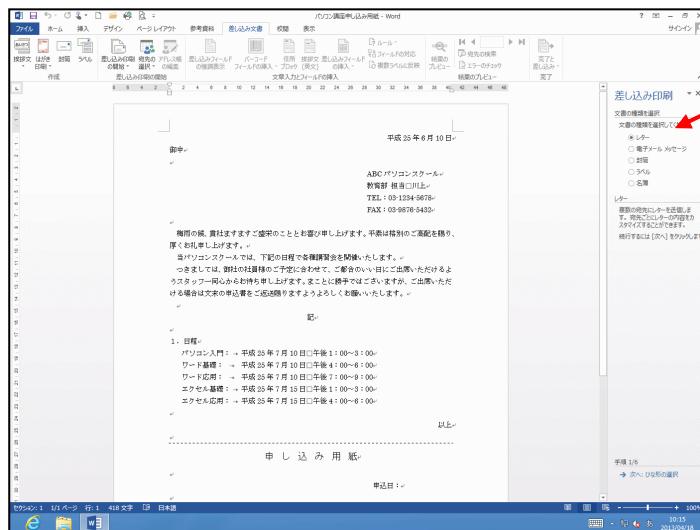


●リボンが表示されていない方は、
P235 リボンの表示オプションの変
更を参照してください。
(下記のような状態の方)



表示された一覧から [差し込み印刷ウィザード(W)...] をクリックします。





● [差し込み印刷ウィザード(W)...] をクリックした時点で、[差し込み印刷] 作業ウィンドウが画面右端に表示されます。

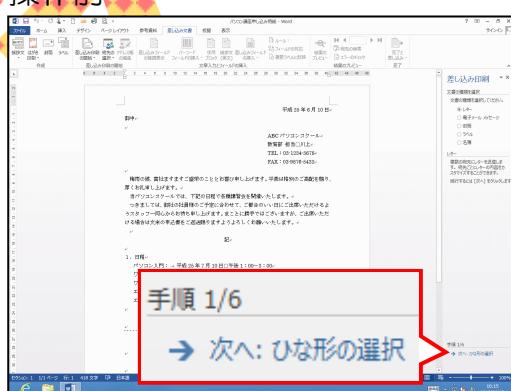


② メイン文書とデータファイルの指定

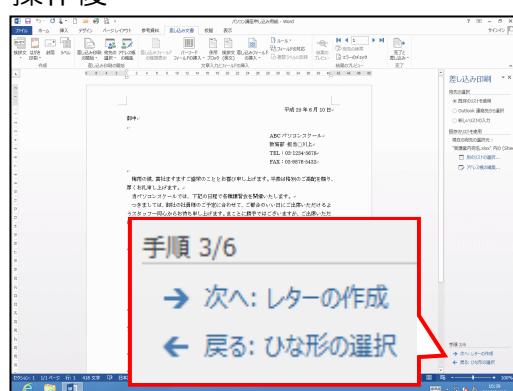
表示された [差し込み印刷] 作業ウィンドウでメイン文書とデータファイルを指定してみましょう。

◆メイン文書とデータファイルの指定方法をマスターしましょう。

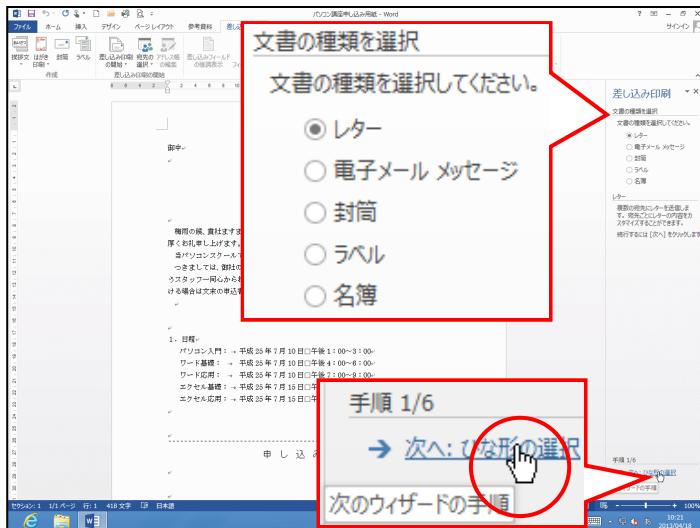
操作前



操作後



右端に表示された【差し込み印刷】作業ウィンドウの「文書の種類を選択」から【レター】が選択されていることを確認して、下にある【次へ：ひな形の選択】をクリックします。



余裕があれば読んでね

●文書の種類には次のようなものがあります。

・レター

複数の宛先に送信するレターを印刷します。

・電子メールメッセージ

複数の宛先に電子メールを送信します。

・封筒

複数の宛先に送付する封筒に印刷します。

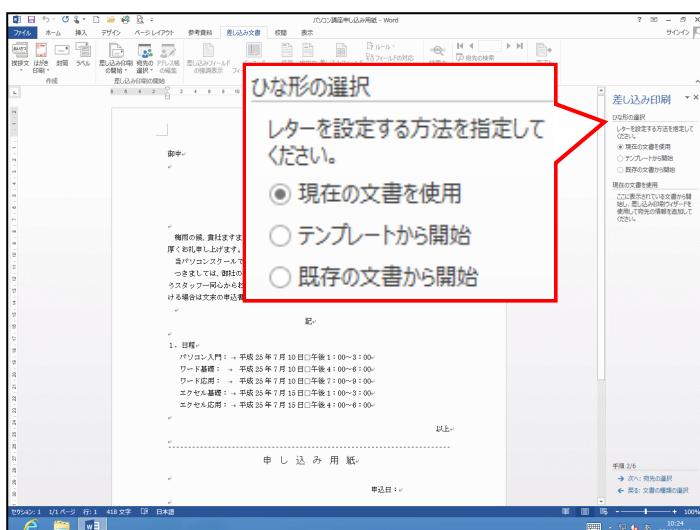
・ラベル

複数の宛先に送付するラベルを印刷します。

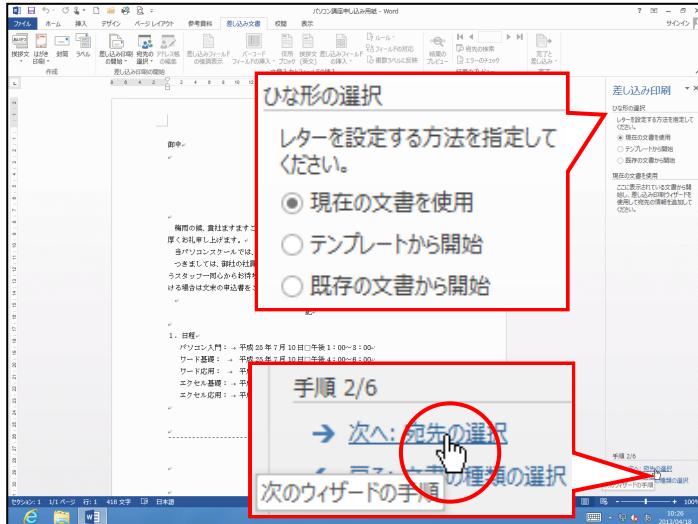
・名簿

カタログまたは印刷されたアドレス帳を1つ印刷します。

●【次へ：ひな形の選択】をクリックすると、右側の作業ウィンドウが「ひな形の選択」に変わります。



「ひな形の選択」から【現在の文書を使用】が選択されていることを確認して【次へ：宛先の選択】をクリックします。



●この操作で、メイン文書を現在画面上に開いている「パソコン講座申し込み用紙」に指定したことになります。

余裕があれば読んでね

●メイン文書にしたい文書を選択します。

・現在の文書を使用

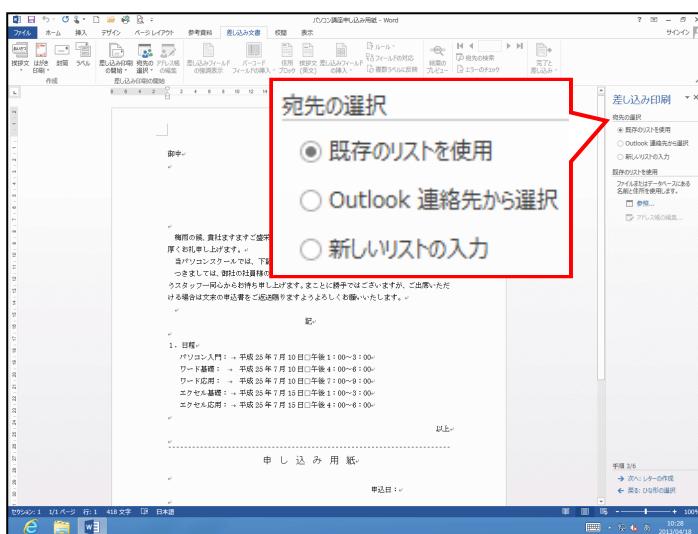
現在画面に表示されている文書をメイン文書にします。

・テンプレートから開始

差し込み印刷のテンプレートを利用してメイン文書を作成します。

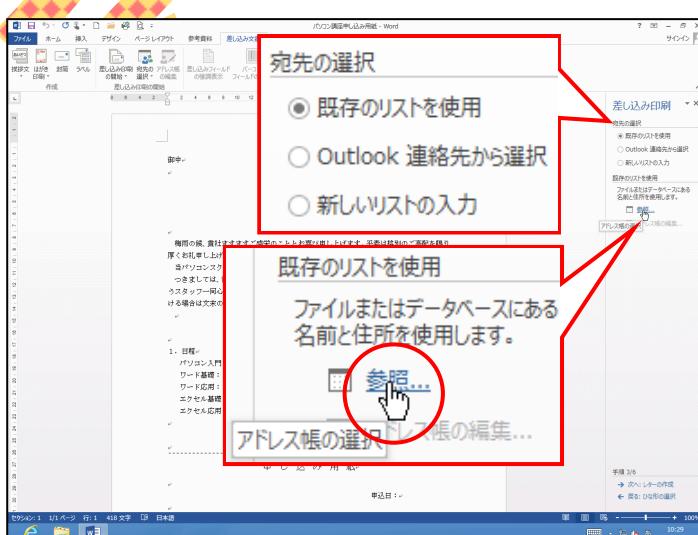
・既存の文書から開始

既存の文書(現在画面に開いていないが保存された文書)をメイン文書に設定します。

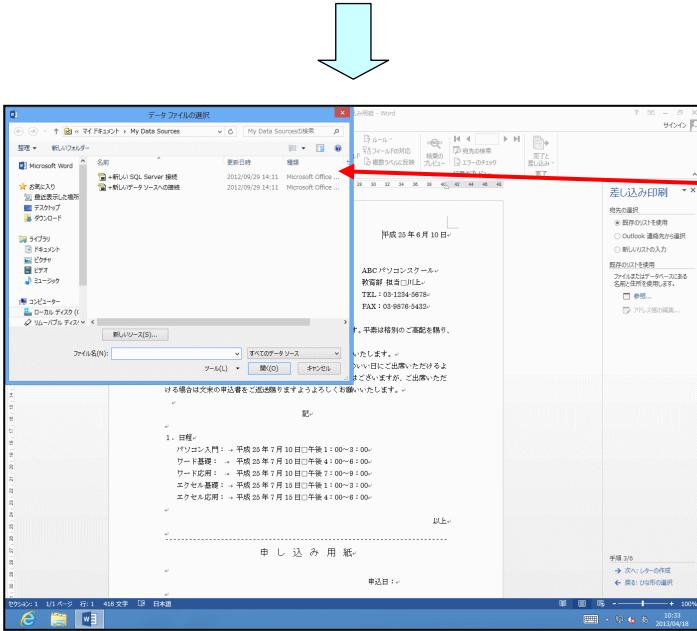


●【次へ：宛先の選択】をクリックすると、右側の作業ウィンドウが「宛先の選択」に変わります。

「宛先の選択」で【既存のリストを使用】が選択されていることを確認し、「既存のリストを使用」から【参照...】をクリックします。



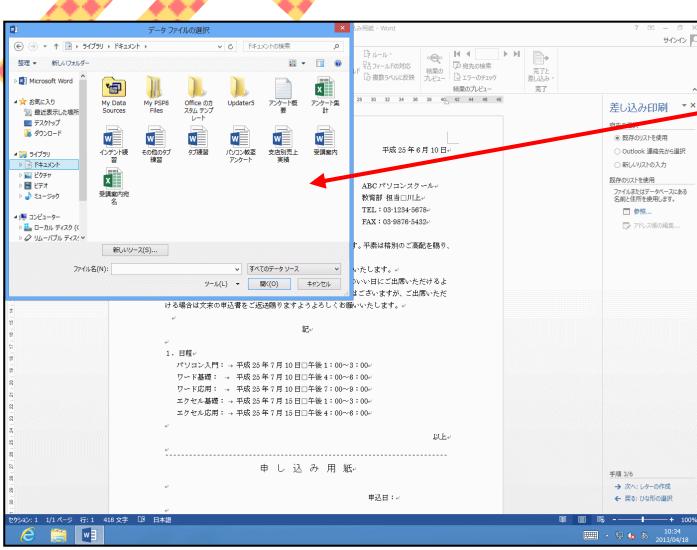
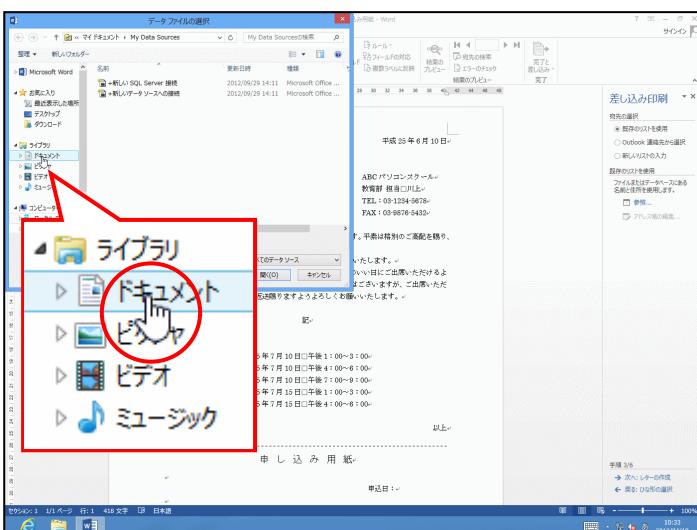
●データファイルを選択するために【参照...】をクリックします。



● [参照...] をクリックすると、左のように [データファイルの選択] ダイアログボックスが表示されます。



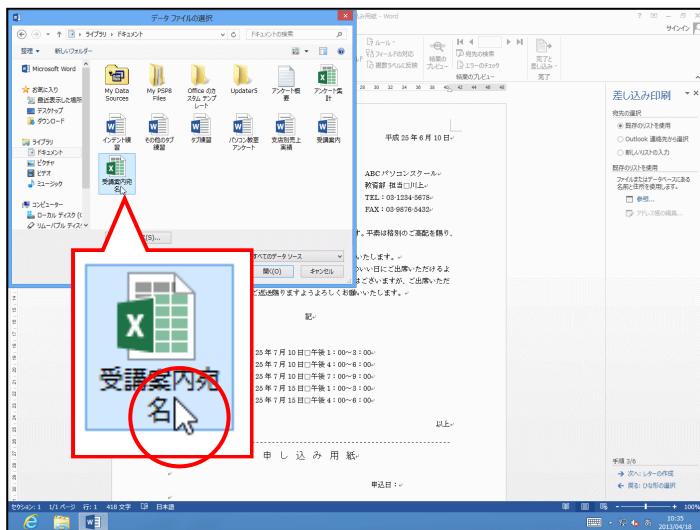
表示された [データファイルの選択] ダイアログボックスの左側の一覧から「ドキュメント」をクリックします。



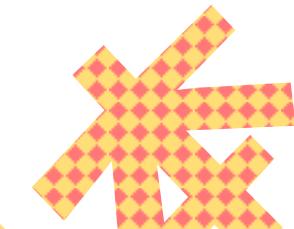
● 左側の一覧から「ドキュメント」をクリックすると、ドキュメントフォルダーにあるファイルの一覧が表示されます。



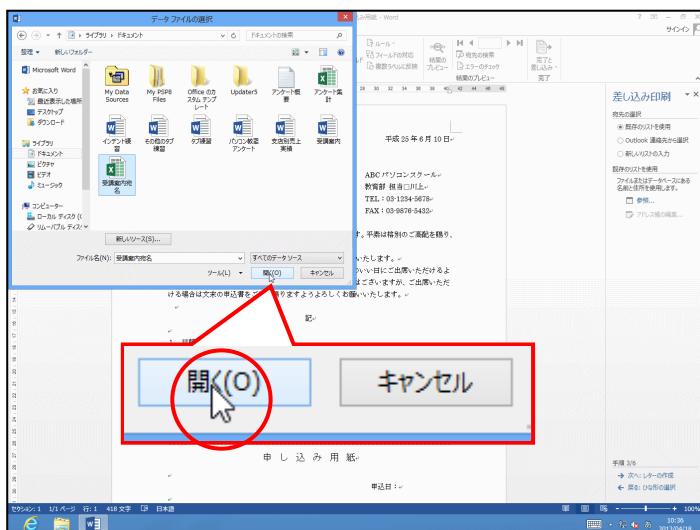
表示されたファイルの一覧から「受講案内宛名」をクリックします。



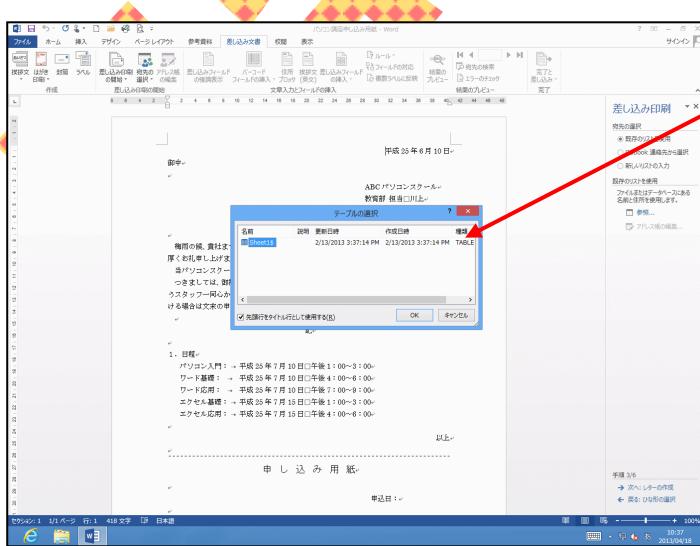
●データファイル(宛名の一覧)に「受講案内宛名」を指定します。



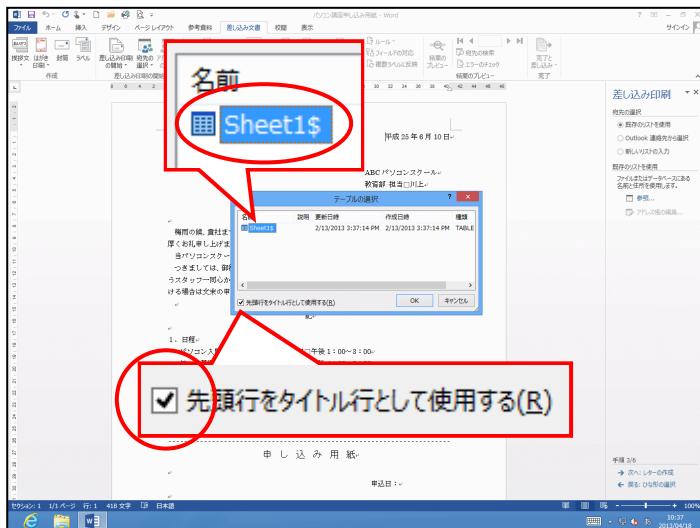
[データファイルの選択] ダイアログボックスの右下にある [開く (0)] ボタンをクリックします。



●[開く (0)] ボタンをクリックすると、左のように [テーブルの選択] ダイアログボックスが表示されます。



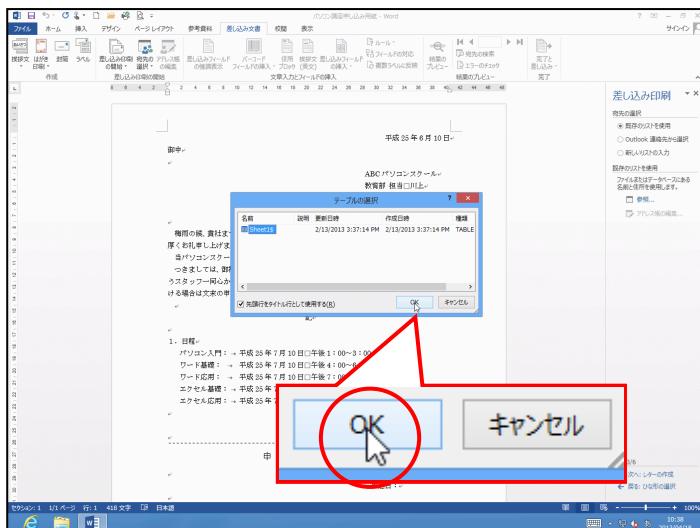
表示された【テーブルの選択】ダイアログボックスで「Sheet1\$」が選択されていること、
【先頭行をタイトル行として使用する(R)】にチェックが入っていることを確認します。



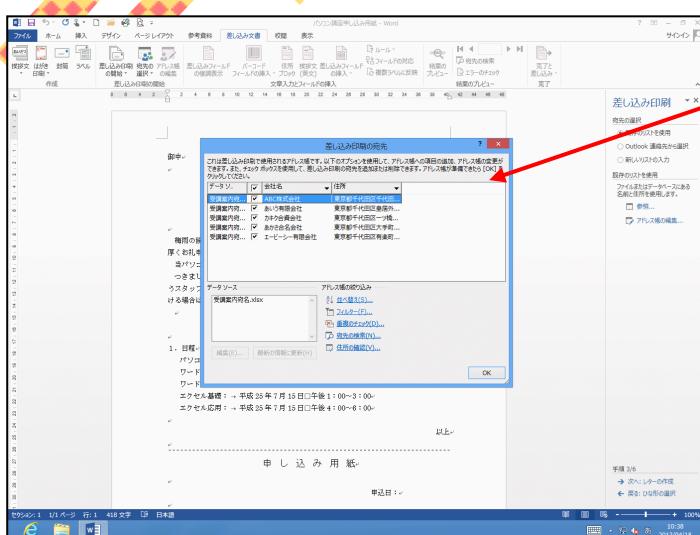
● 「受講案内宛名」で宛名が入力されたシートが「Sheet1」なので、
ここでは「Sheet1\$」を選択しています。



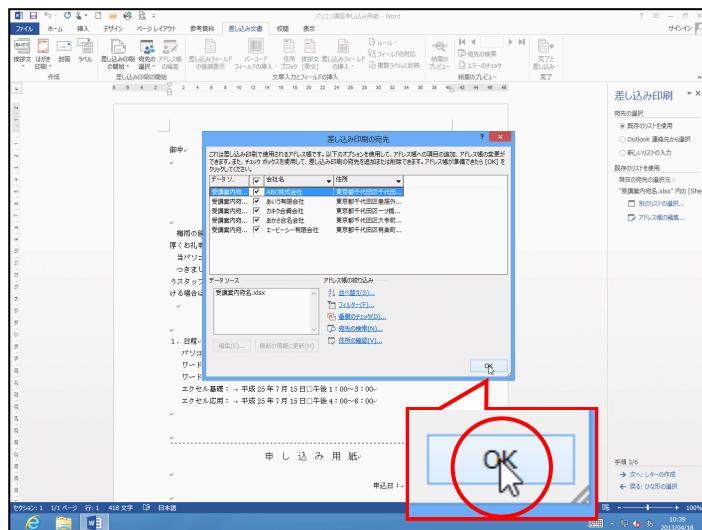
【テーブルの選択】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



● 【OK】ボタンをクリックすると、左
のように【差し込み印刷の宛先】
ダイアログボックスが表示されます。



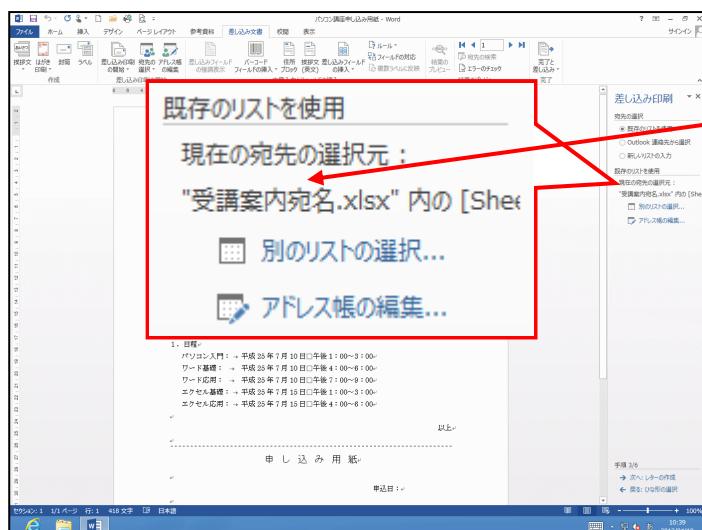
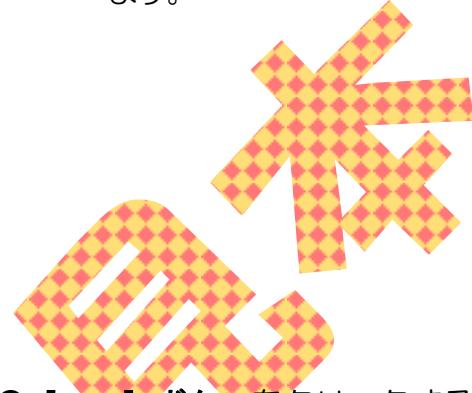
表示された【差し込み印刷の宛先】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



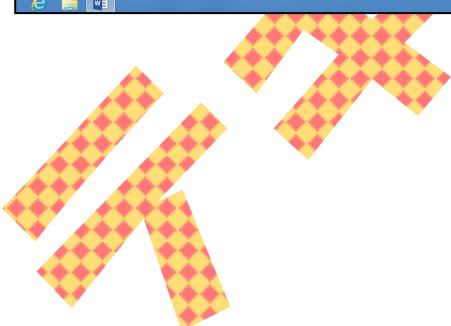
余裕があれば読んでね

● [差し込み印刷の宛先] ダイアログボックスのチェックボックスについて

- …宛先として印刷の対象にします。
- …宛先として印刷の対象から除きます。



● 【OK】ボタンをクリックすると、右側の作業ウィンドウに、データファイルとして「受講案内宛名」が差し込まれたことが確認できます。

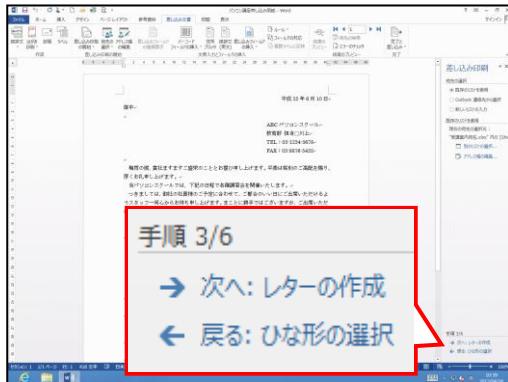


③ 差し込みフィールドの挿入

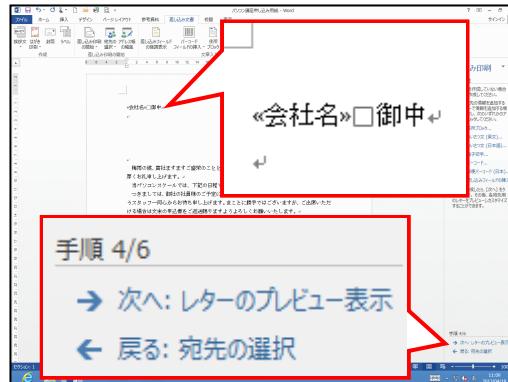
現在画面に表示されている文書の宛名部分に、データを差し込むための差し込みフィールドを指定してみましょう。

◆差し込みフィールドを挿入する方法をマスターしましょう。

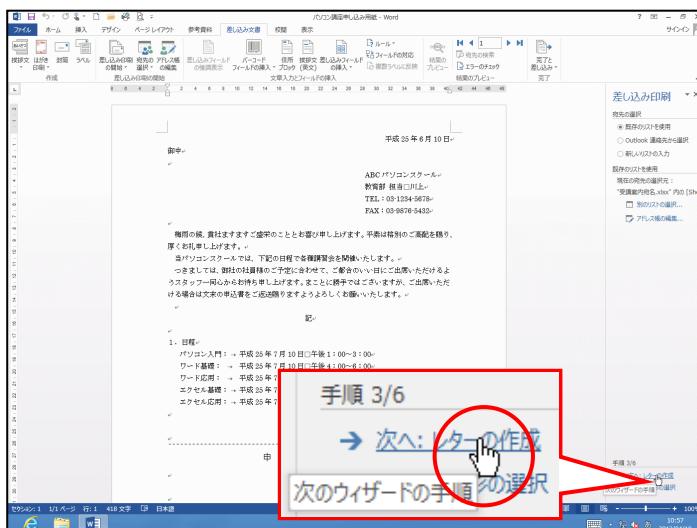
操作前



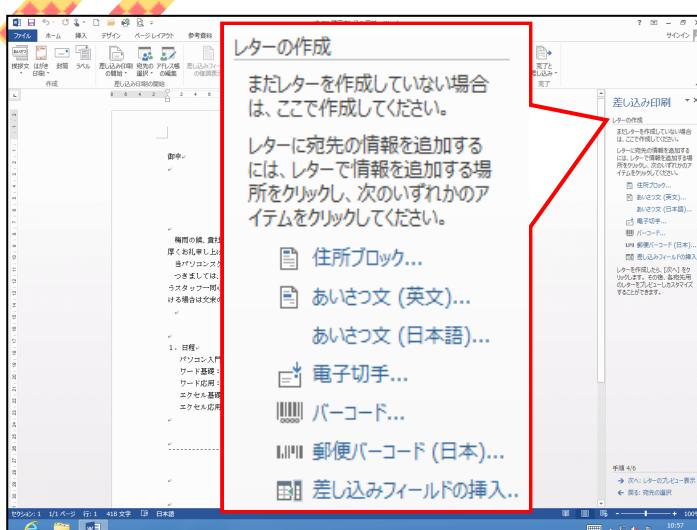
操作後



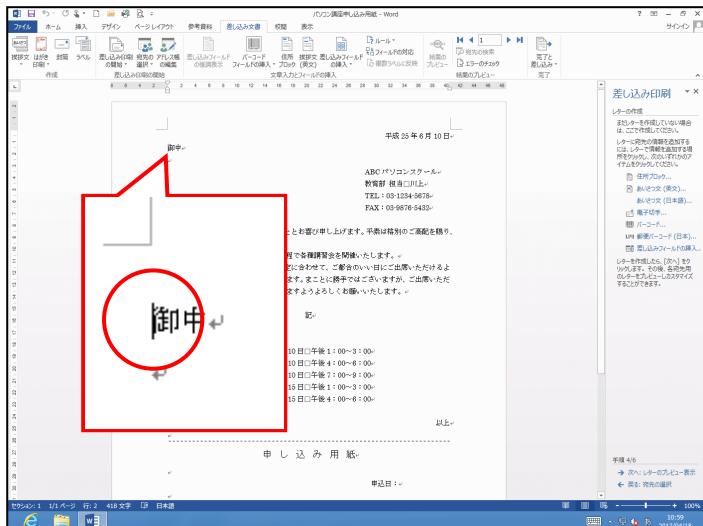
[差し込み印刷] 作業ウィンドウの下に表示された [次へ：レターの作成] をクリックします。



● [次へ：レターの作成] をクリックすると、右側の作業ウィンドウが「レターの作成」に変わります。

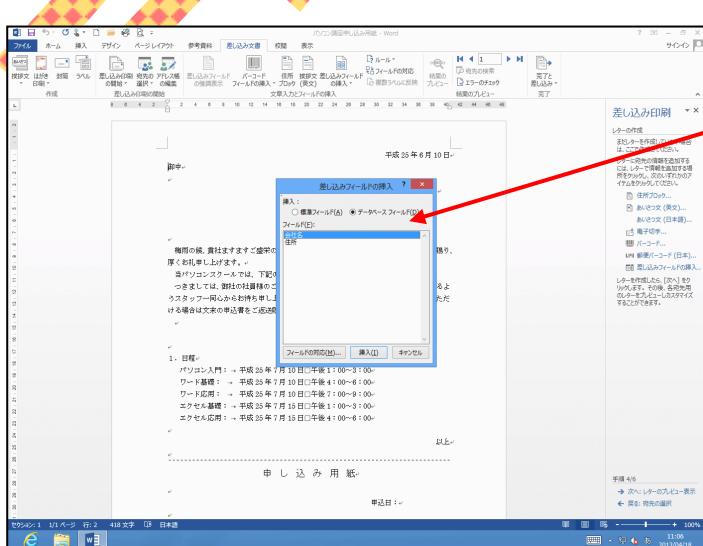
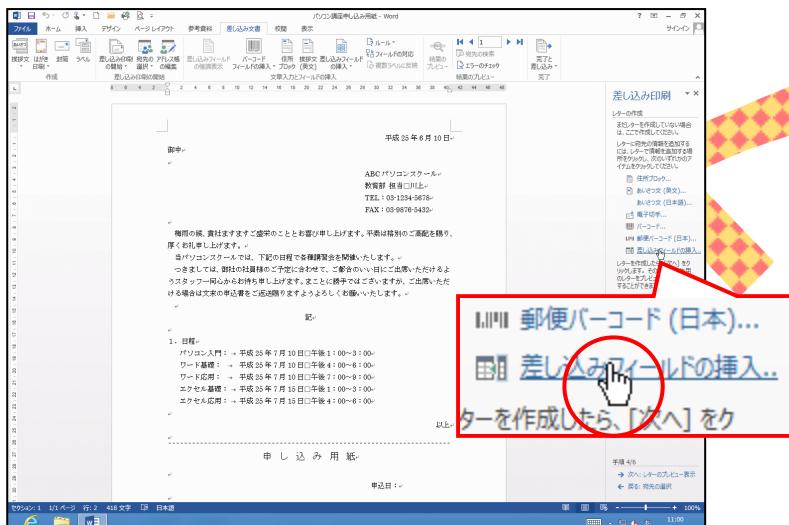


カーソルを2行目「御中」の前に移動します。



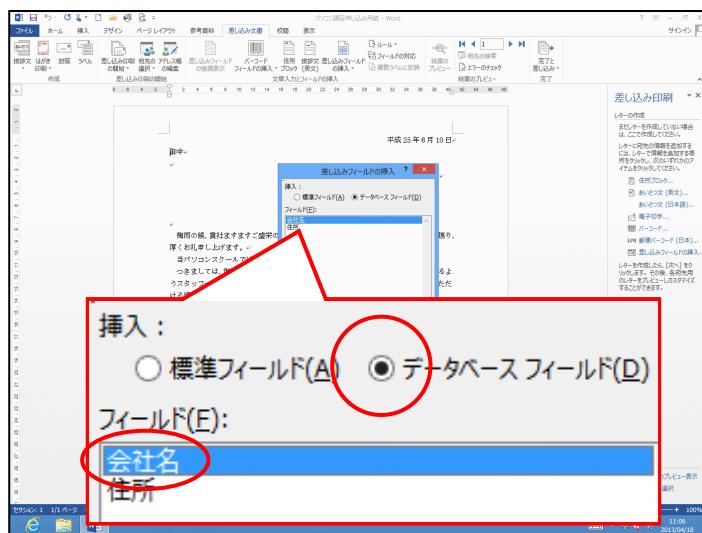
● カーソルを移動してフィールドを挿入する位置を指定します。

[差し込み印刷] 作業ウィンドウの「レターの作成」から [差し込みフィールドの挿入...] をクリックします。



● [差し込みフィールドの挿入...] をクリックすると、左のように [差し込みフィールドの挿入] ダイアログボックスが表示されます。

表示された【差し込みフィールドの挿入】ダイアログボックスの【データベースフィールド(D)】がオンになっていること、【フィールド(F):】から「会社名」が選択されていることを確認します。

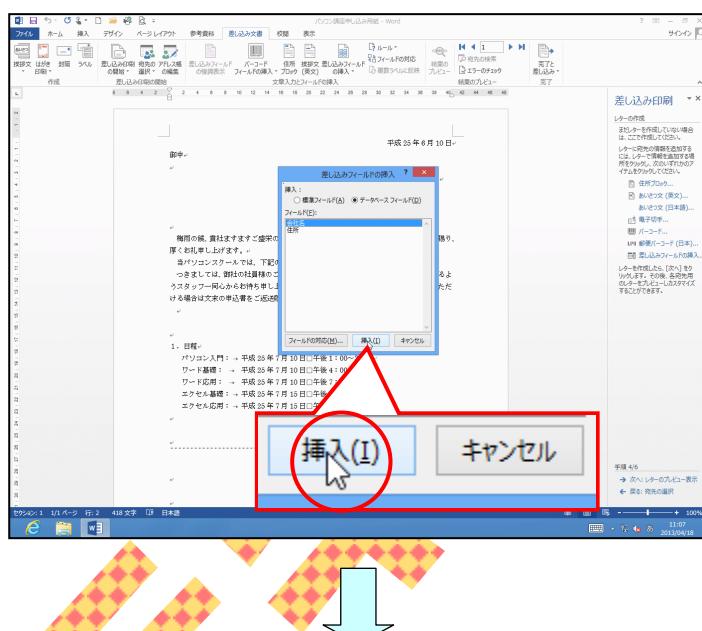


● 指定したデータファイル(エクセルの受講案内宛名)からフィールドを挿入するため、【データベースフィールド(D)】を選択します。

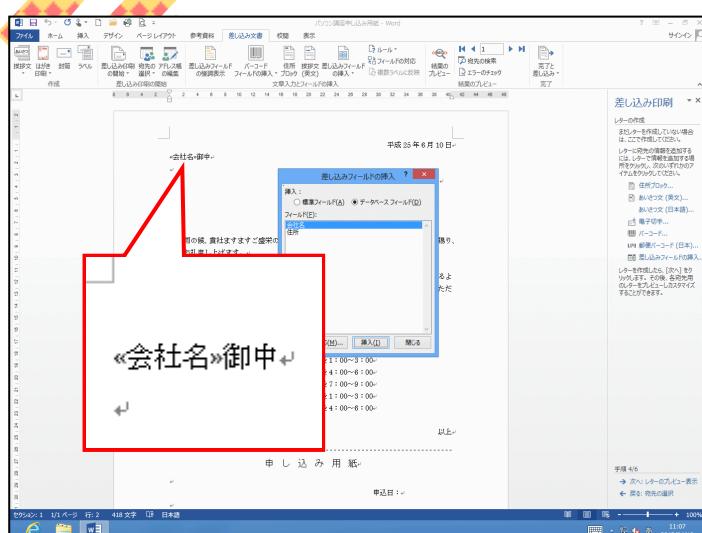
● カーソルのある位置に挿入するフィールド名を選択します。



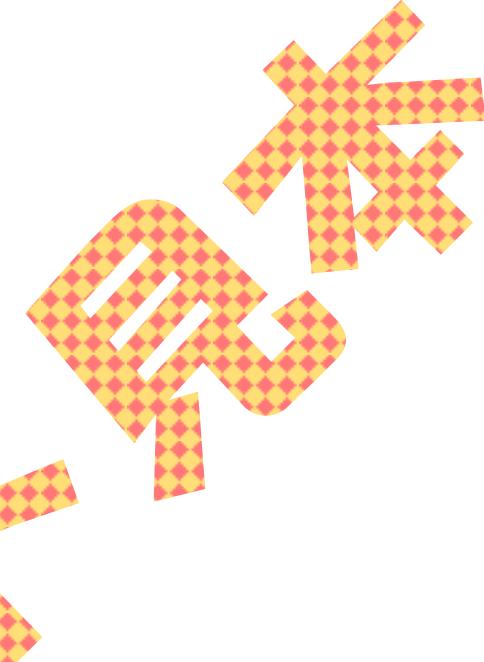
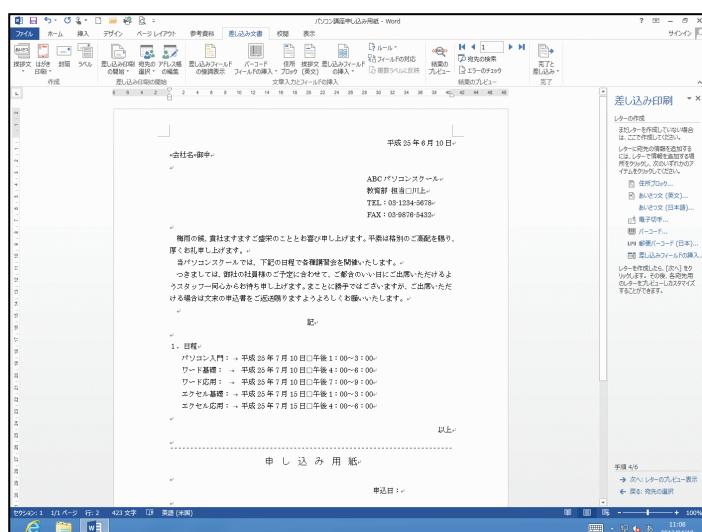
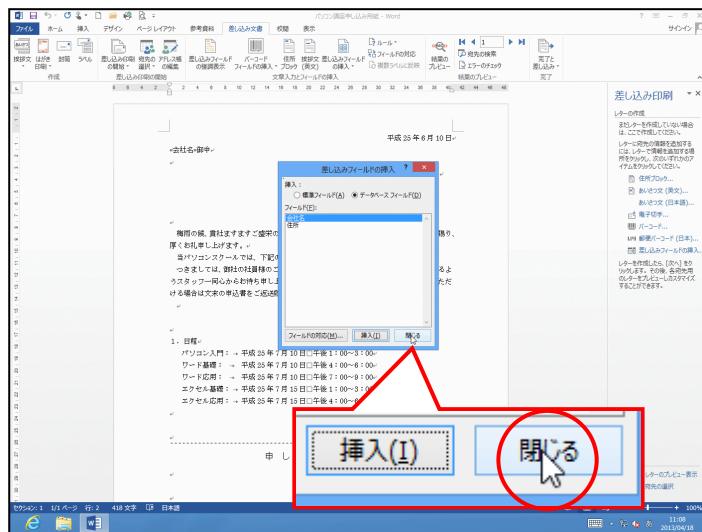
【差し込みフィールドの挿入】ダイアログボックスの【挿入(I)】ボタンをクリックします。



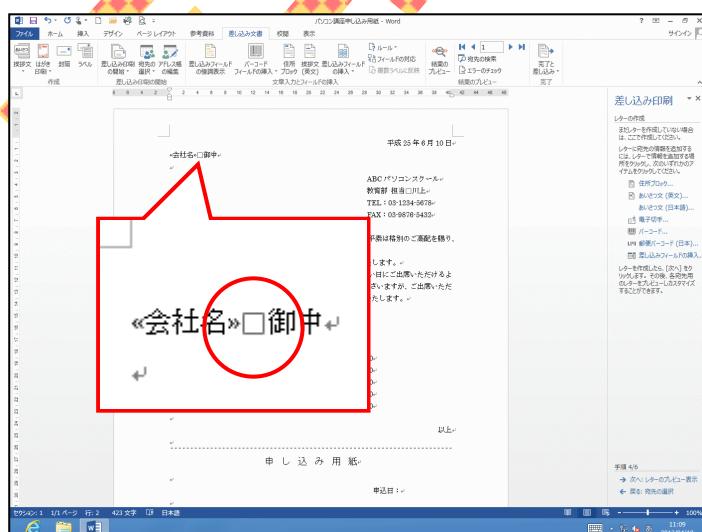
● 【挿入(I)】ボタンをクリックすると、カーソルのある位置に「<会社名>」が表示されます。



【差し込みフィールドの挿入】ダイアログボックスの【閉じる】ボタンをクリックします。



「《会社名》」と「御中」の間に全角スペースを1つ挿入します。



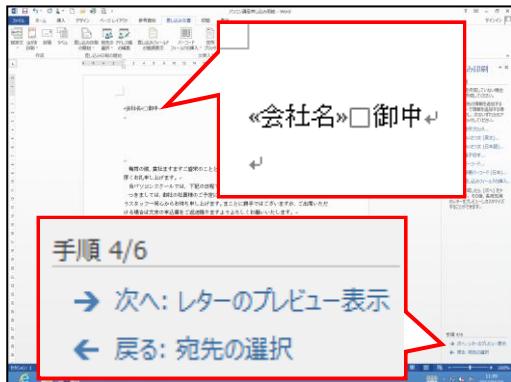
● 「ABC 株式会社御中」よりも
「ABC 株式会社 御中」のほうが見
えため、全角スペースを入れ
ています。

④ プレビュー表示

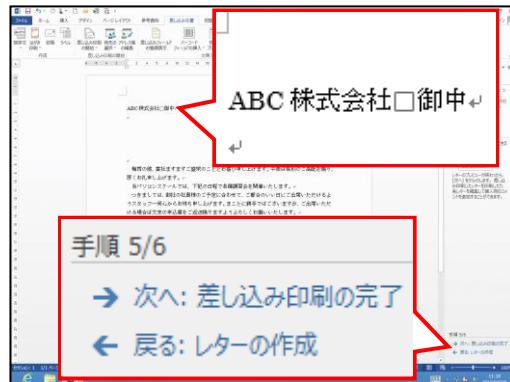
現在画面に表示されている文書の宛名部分に、実際に差し込んだデータを表示してみましょう。

◆データファイルを差し込んだメイン文書をプレビュー表示する方法をマスターしましょう。

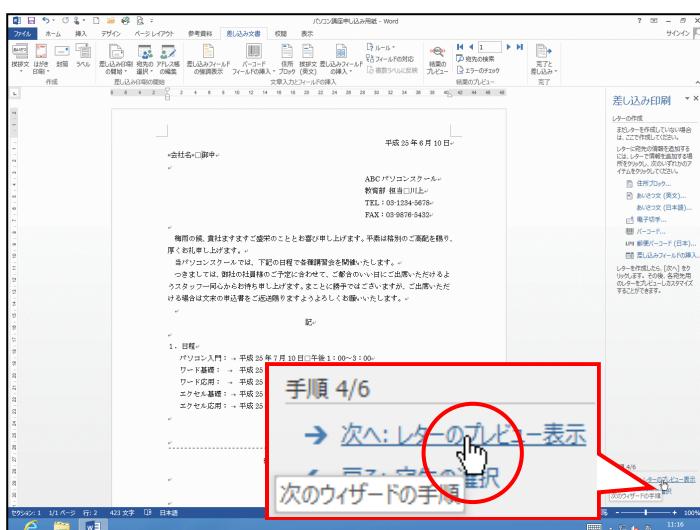
操作前



操作後



[差し込み印刷] 作業ウィンドウの下にある [次へ: レターのプレビュー表示] をクリックします。



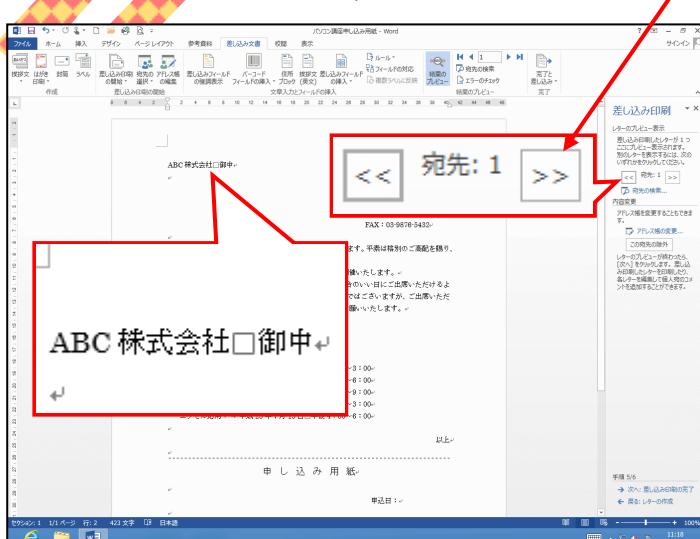
●差し込んだ次のデータを表示するには **>>** をクリックします。
差し込んだ前のデータを表示するには **<<** をクリックします。



余裕があれば読んでね

●データの表示には、[差し込み文書] タブの [結果のプレビュー] グループにある **<< 1 >>** のそれぞれのボタンでも次のデータや前のデータを表示できます。

◀ 前のレコード
▶ 現在のレコード
◀ 先頭のレコード
▶ 次のレコード

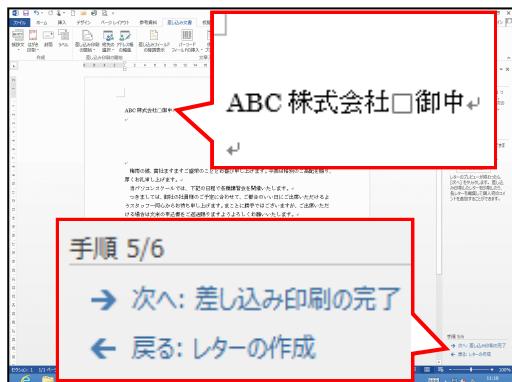


⑤ 印刷

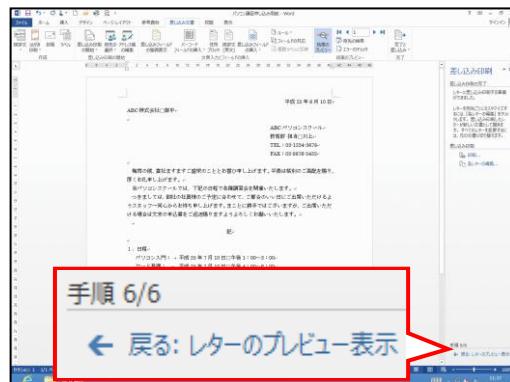
差し込んだデータを印刷してみましょう。

◆データファイルを差し込んだメイン文書を印刷する方法をマスターしましょう。

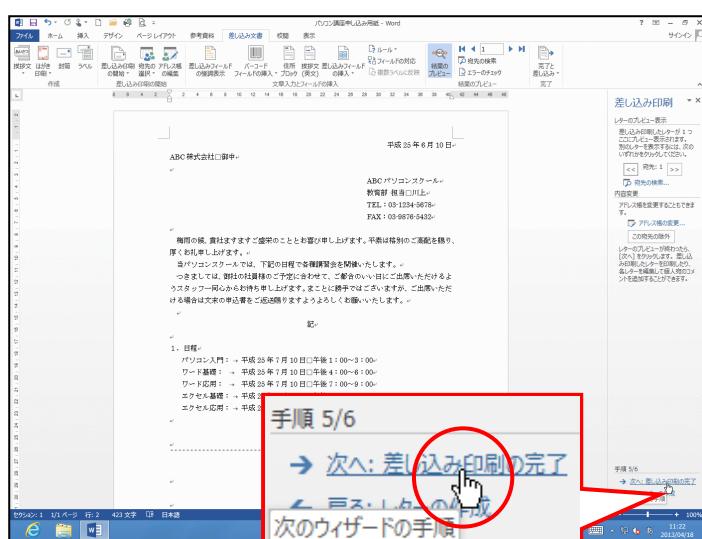
操作前

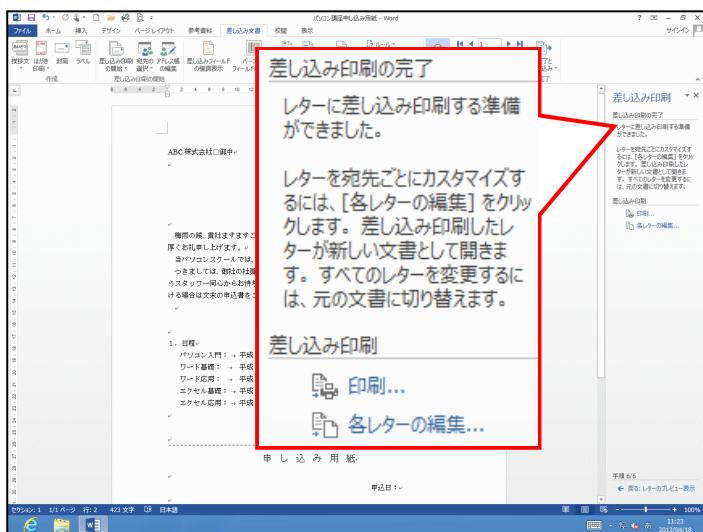


操作後

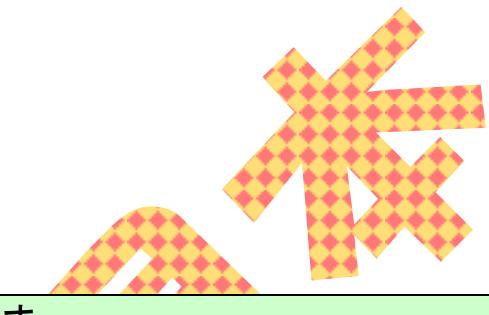


[差し込み印刷] 作業ウィンドウの下に表示された [次へ：差し込み印刷の完了] をクリックします。

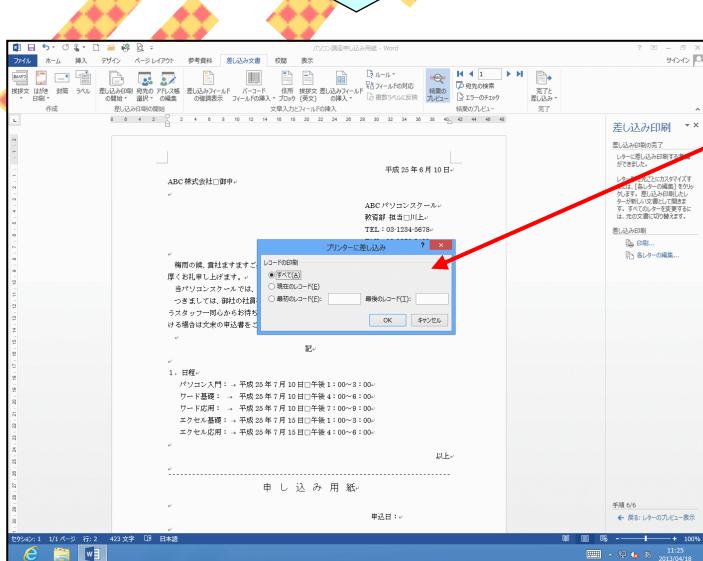
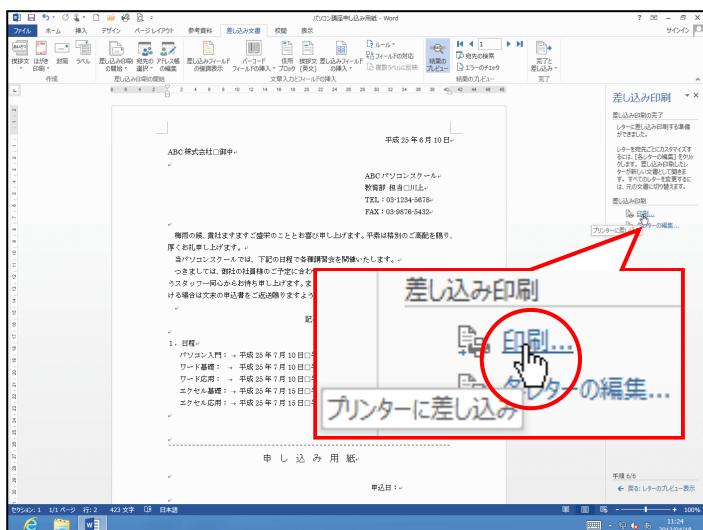




● [次へ：差し込み印刷の完了] をクリックすると、右側の作業ウィンドウが「差し込み印刷の完了」および、「差し込み印刷」に変わります。

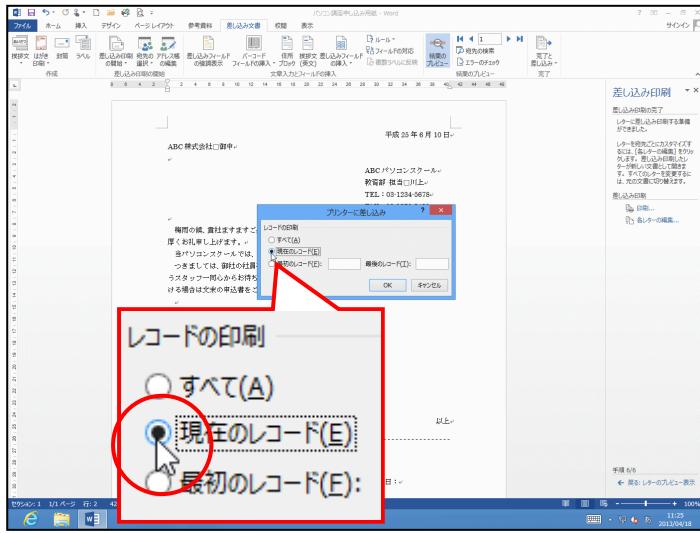


[差し込み印刷] から [印刷...] をクリックします。



● [印刷...] をクリックすると、左のように [プリンターに差し込む] ダイアログボックスが表示されます。

表示された【プリンターに差し込み】ダイアログボックスの【現在のレコード(E)】を選択します。



余裕があれば読んでね

● レコードの印刷

・すべて(A)

プレビュー表示で表示できるデータをすべて印刷します。

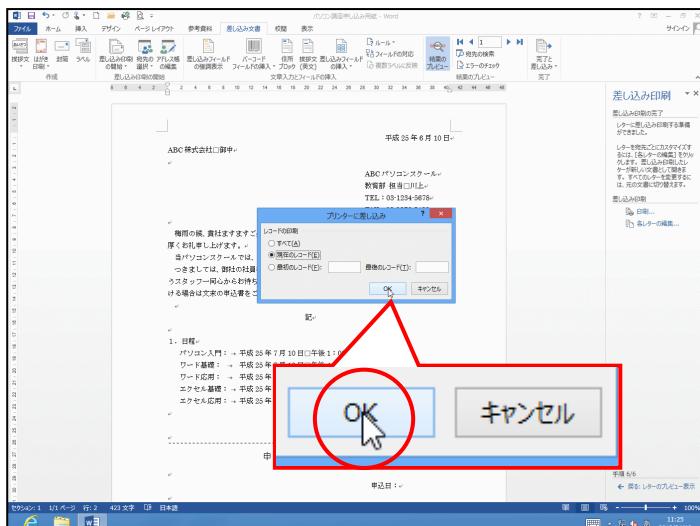
・現在のレコード(E)

現在画面に表示されたデータだけを印刷します。

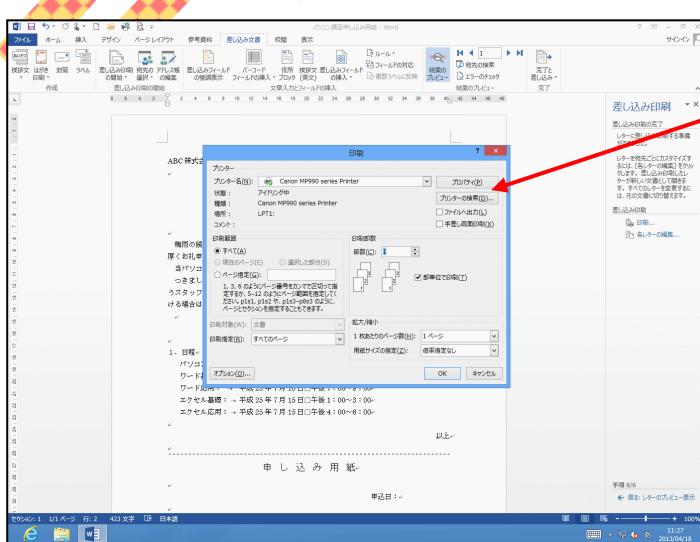
・最初のレコード(F:)、最後のレコード(T:)

印刷する最初のデータと最後のデータを指定します。

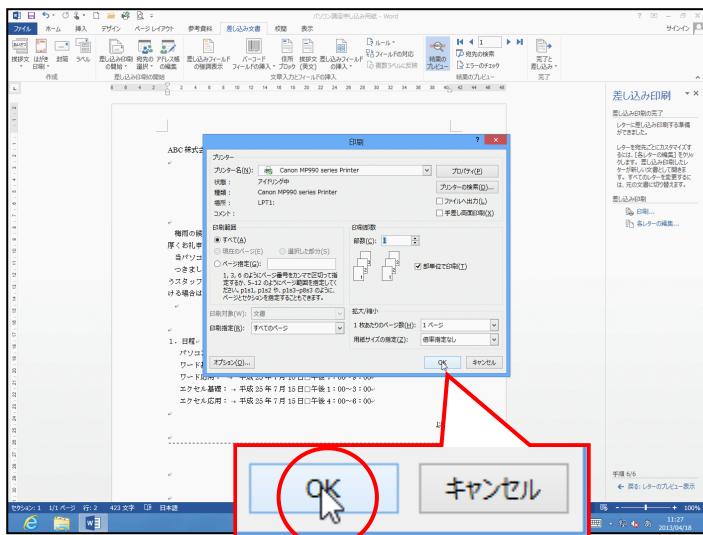
【プリンターに差し込み】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



● [OK] ボタンをクリックすると、左のように【印刷】ダイアログボックスが表示されます。



表示された【印刷】ダイアログボックスの【OK】ボタンをクリックします。



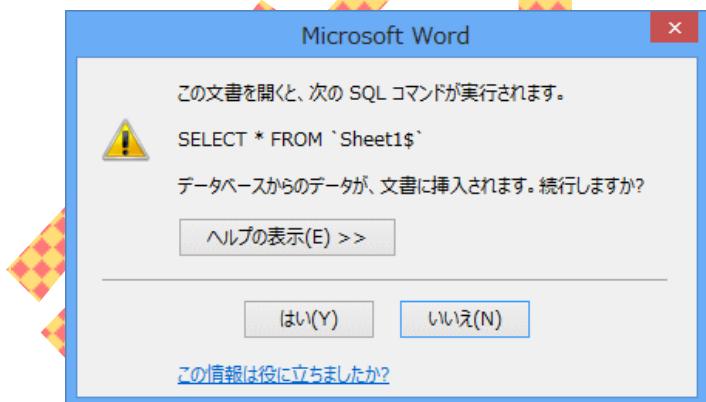
● 【OK】ボタンをクリックした時点で、プリンターに印刷されます。

「パソコン講座申し込み用紙」を上書き保存して閉じましょう。

ご参考までに

■データを差し込んだ文書を再度開くときの注意点

差し込み印刷が完了した文書を保存し、再度開くと下のようなダイアログボックスが表示されます。

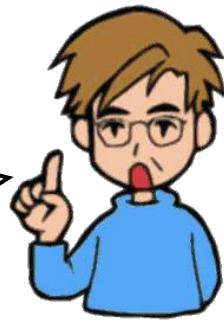


[はい(Y)] … 前回選択したデータファイルが文書に挿入される

[いいえ(N)] · 新たに別のデータファイルを選択

☆☆ここまでくれば、練習問題15で理解度を試して下さい。☆☆

ここからは、ワードの事をより詳しく知っていただ
くための、ワードⅢの内容についての補足説明です。
練習問題の中でも使われていますので、ぜひ活用し
てください。



●ショートカットキーやテキスト以外の操作方法、補足説明

ここでは、テキストの本編とは違ったやり方の操作方法を説明します。

主にショートカットキーの説明になります。ショートカットキーとは、画面上のメニューからマウスで選択して実行する命令などを、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単にを行うための機能です。

テキスト内の操作	ショートカットキーほか
ページ区切りの挿入（改ページ）	● [Ctrl] キー + [Enter] キー
レベルを下げる	● [Tab] キー ● [Alt] キー + [Shift] キー + [→] キー
レベルを上げる	● [Shift] キー + [Tab] キー ● [Alt] キー + [Shift] キー + [←] キー
[ハイパーリンクの挿入] ダイアロ グボックスの表示	● [Ctrl] キー + [K] キー

●P18 スタイルの削除について

■登録されたスタイルの削除

● [スタイルギャラリー] から削除する

スタイルギャラリーの一覧から削除したいスタイル上で右クリックします。



表示されたメニューの中から [スタイル ギャラリーから削除(G)] をクリックします。

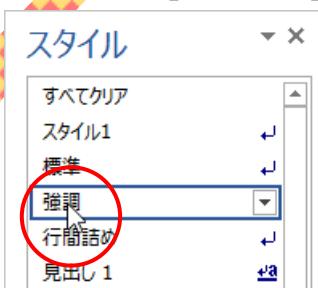


● [スタイル] ウィンドウから削除する

[スタイル] グループの 「」 ボタンをクリックします。



表示された [スタイル] ウィンドウで削除したいスタイルにポイントします。

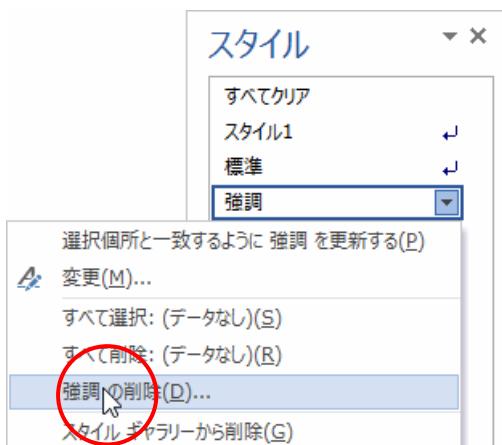


↗次ページに続く

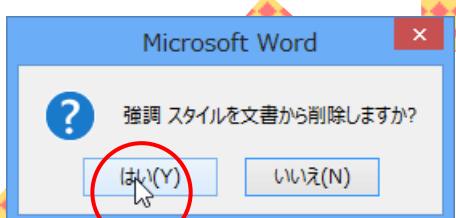
右端に表示された □ をクリックします。



表示されたメニューから [〇〇の削除(D)...] をクリックします。
※〇〇には、選択したスタイル名が入ります



表示された問い合わせに [はい(Y)] ボタンをクリックします。



メモ

[スタイルギャラリー] から削除する方法と [スタイル] ウィンドウから削除する方法の違い

[スタイルギャラリー] からスタイルを削除した場合、そのスタイルが設定されていた文字書式や段落書式は削除されません。
一方、[スタイル] ウィンドウからスタイルを削除した場合、そのスタイルが設定されていた文字書式や段落書式も削除されてしまいます。

●P18 スタイルの変更について

■登録されたスタイルの変更

● [スタイルギャラリー] から変更する

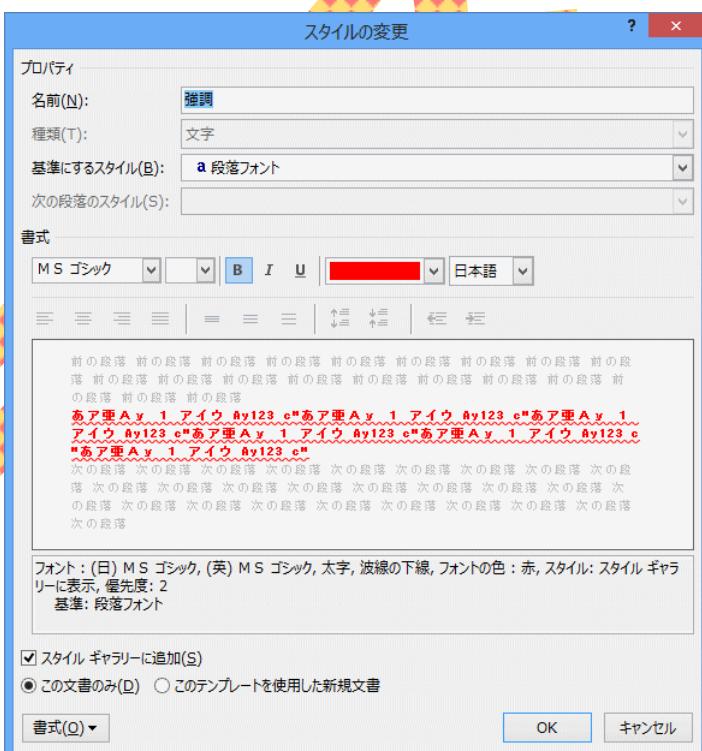
変更したいスタイル上で右クリックします。



表示されたメニューの中から [変更(M)...] をクリックします。



表示された【スタイルの変更】ダイアログボックスで、書式を変更して【OK】ボタンをクリックします。



→ 次ページに続く

● [スタイル] ウィンドウから変更する

[スタイル] グループの ▾ ボタンをクリックします。



表示された [スタイル] ウィンドウで変更したいスタイルにポイントします。



右端に表示された ▾ をクリックします。

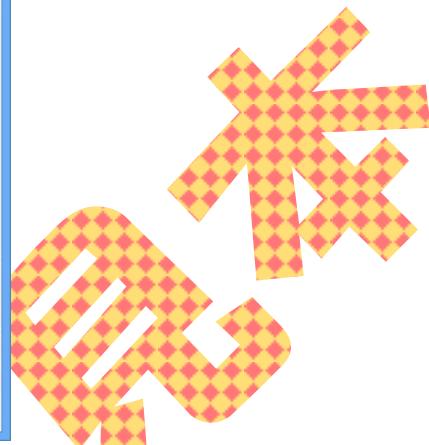
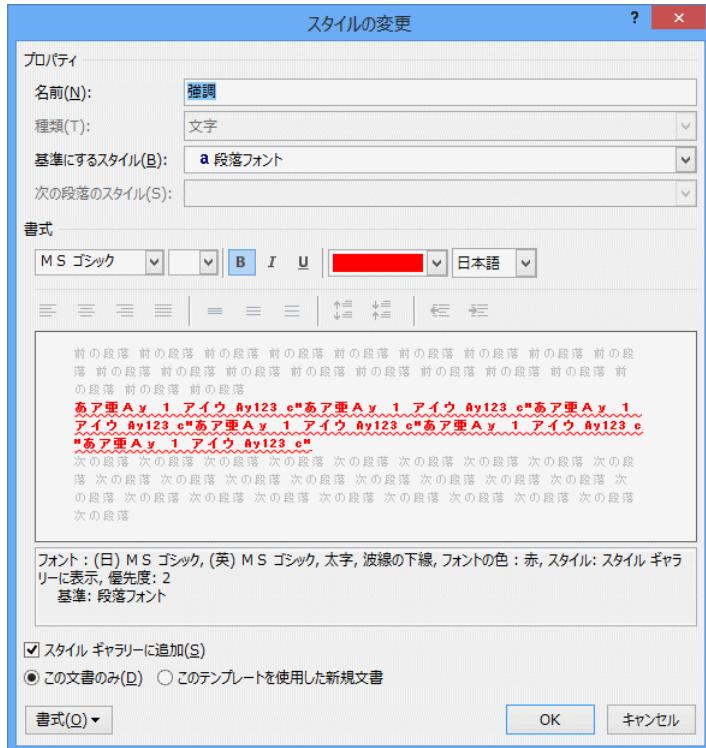


表示されたメニューから [変更(M)...] をクリックします。



→ 次ページに続く

表示された【スタイルの変更】ダイアログボックスで、書式を変更して【OK】ボタンをクリックします。



メモ

スタイルを削除するのと違い、スタイルの変更の場合は、【スタイルギャラリー】から変更しても【スタイル】ウィンドウから変更しても同じように反映されます。

●P20 スタイルの適用についての補足説明

■適用した書式を解除するには

● 【スタイル】ウィンドウを使って解除

【スタイル】グループの□ボタンをクリックします。

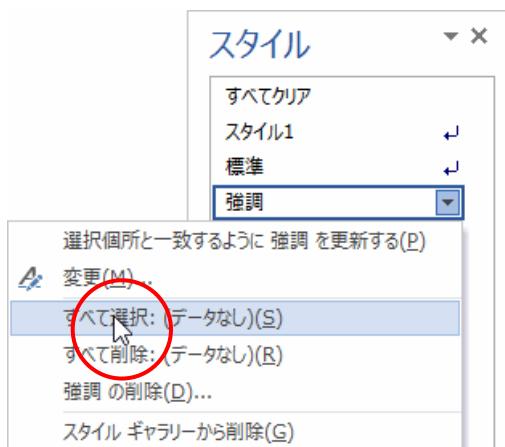


表示された【スタイル】ウィンドウで解除したいスタイルにポイントします。

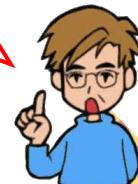


→次ページに続く

右端に表示された ▾ をクリックし、[すべて選択：(データなし)(S)] をクリックします。



右端に表示された ▾ をクリックして、[すべて選択：(データなし)(S)] が一覧にない方は、次の操作から続けましょう。



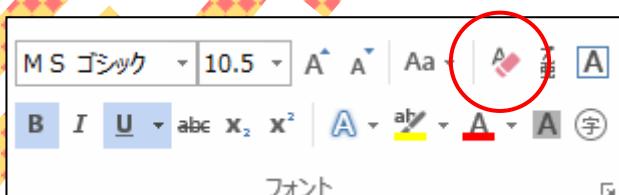
再度、右端の ▾ をクリックし、表示されたメニューから [書式のクリア: ○か所(C)] をクリックします。

※○にはスタイルが適用されている個数が入ります。



● A [書式のクリア] ボタンを使って解除

スタイルを適用した文字を選択して、[フォント] グループの A [書式のクリア] ボタンをクリックします。



メモ

[スタイル] ウィンドウから解除する方法と [書式のクリア] ボタンで解除する方法の違い

[スタイル] ウィンドウから解除すると、そのスタイルが設定された箇所がすべて解除されます。これに対し、[書式のクリア] ボタンを使って解除すると、選択した文字しか解除されません。

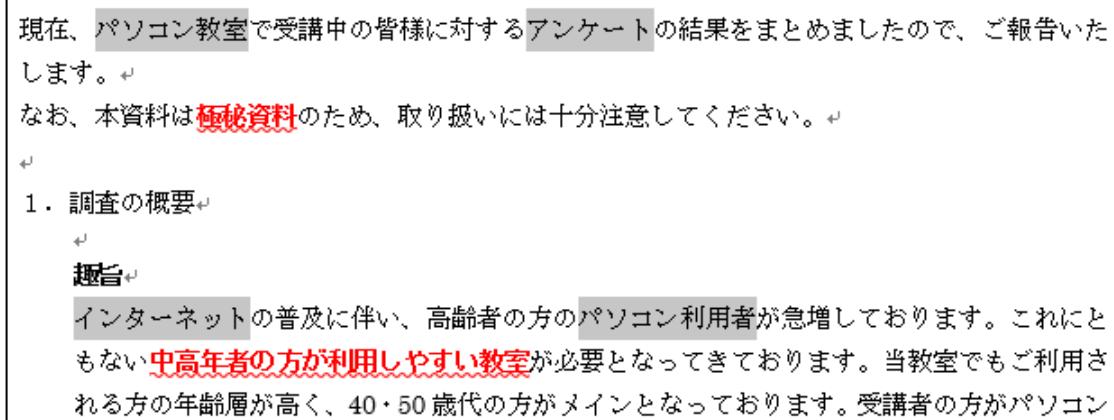
↑次ページに続く

■スタイルの設定と書式のコピー／貼り付けとの違い

書式をコピーして貼り付けた場合、コピー元の書式を変更したいときに、もう一度書式のコピーと貼り付けを行う必要があります。
スタイルを設定した場合には、スタイルに設定されている書式を変更するだけで、そのスタイルが設定されているすべての文字、または段落の書式が自動的に変更されます。

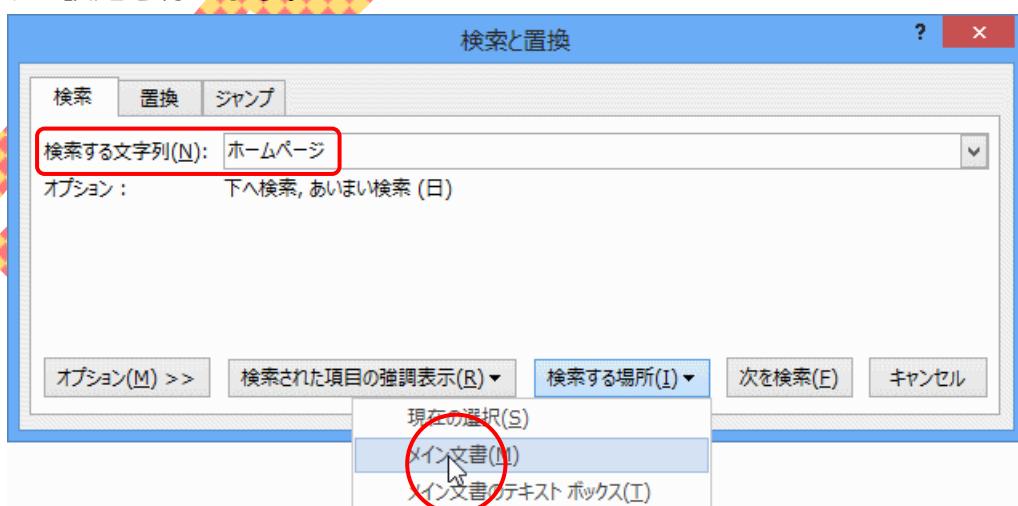
■複数の領域に一度にスタイルを設定するには

[Ctrl]キーを押しながら文字列や段落をドラッグして選択すると、一度に範囲選択ができるので、スタイルの設定も同時にを行うことができます。



■複数の同じ文字列にスタイルを設定する

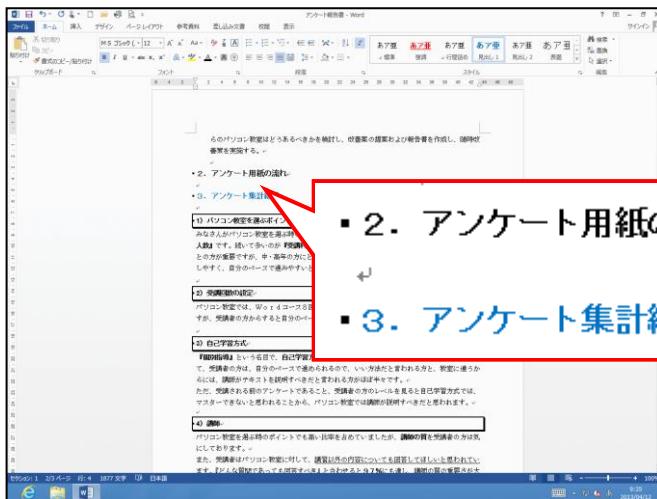
[ホーム]タブの[編集]グループにある [検索]ボタンの右にある▼をクリックし、[高度な検索(A)...]をクリックします。表示された[検索と置換]ダイアログボックスで[検索する文字列(N):]ボックスにスタイルを設定したい文字を入力します。次に[検索する場所(I):]ボタンをクリックして、表示されるメニューから[メイン文書(M)]をクリックすると、見つかった文字列がすべて選択されます。この状態でスタイル設定を行います。



●P25 その他の段落スタイルの変更方法

■ その他の変更方法

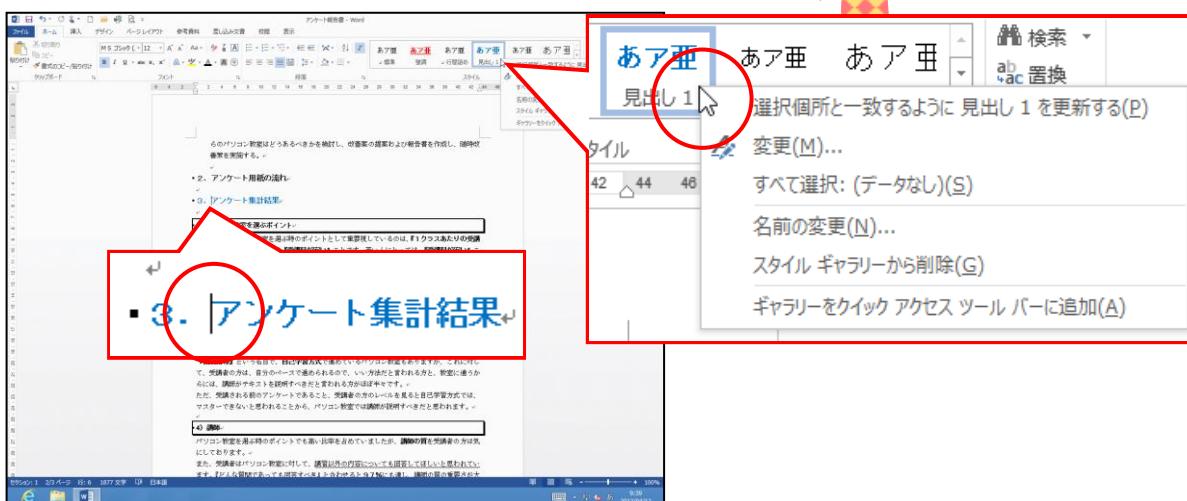
変更方法がわかりやすいように「2. アンケート用紙の流れ」の文字の色を「黒」に設定しておきます。



- 2. アンケート用紙の流れ
- 3. アンケート集計結果

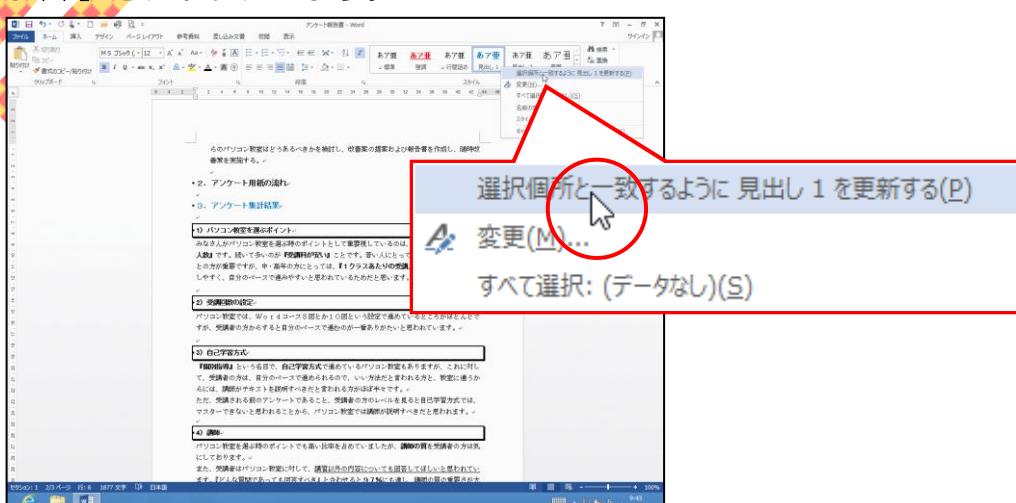


「3. アンケート集計結果」の段落にカーソルを移動して、[スタイルギャラリー] の「見出し 1」上で右クリックします。



- あア亞
 - あア亞
 - あア亞
- 選択個所と一致するように見出し 1 を更新する(P)
- 変更(M)...
- すべて選択: (データなし)(S)
- 名前の変更(N)...
- スタイル ギャラリーから削除(G)
- ギャラリーをクリック アクセス ツール バーに追加(A)

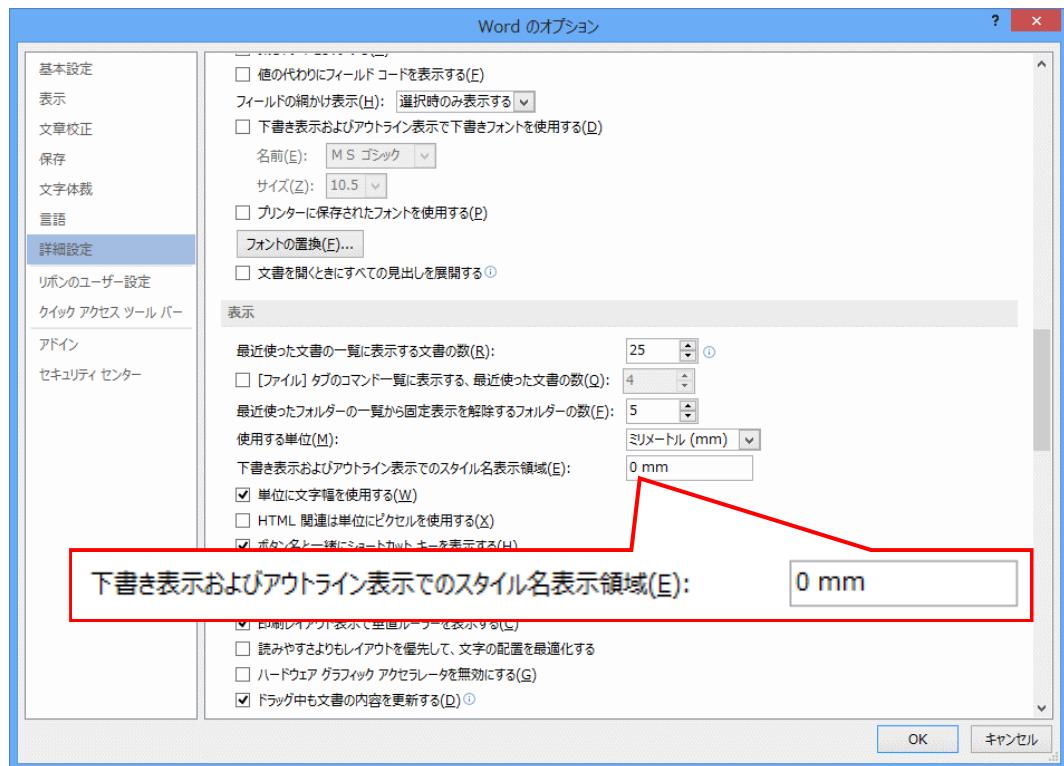
表示されたショートカットメニューから [選択個所と一致するように見出し 1 を更新する(P)] をクリックします。



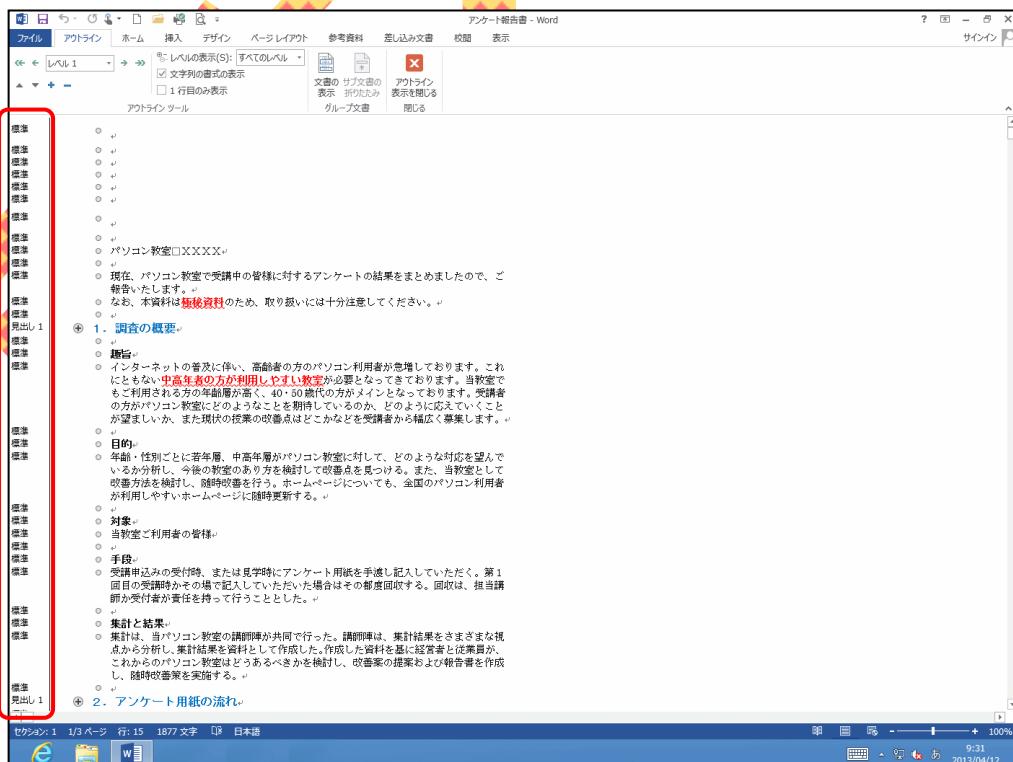
- 選択個所と一致するように見出し 1 を更新する(P)
 - 変更(M)...
- すべて選択: (データなし)(S)

●P25 スタイル名の表示領域

下書き表示とアウトライン表示では、段落に設定されているスタイル名を文書の左側に表示することができます。[ファイル] タブー [オプション] ボタンをクリックし、[Word のオプション] ダイアログボックスを表示します。[Word のオプション] ダイアログボックスの左にある [詳細設定] をクリックし、[表示] の一覧が表示されるまでスクロールします。[表示] の一覧の中から [下書き表示およびアウトライン表示でのスタイル名表示領域(E):] を mm 単位で指定します。ただし、表示されるのは段落スタイル名のみです。



下の図はアウトライン表示でスタイル名の表示領域を「15mm」で設定している例です。
※アウトライン表示については、P87 で詳しく説明しています。



●P42 セクション区切りについての補足説明

■セクション区切りの削除

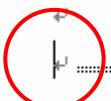
セクション区切りは、ページ区切りと同じようにセクション区切りの前にカーソルを移動して [Delete] キーを押すと削除することができます。

・2. アンケート用紙の流れ



左の状態では、セクション区切りが削除されて、次のページの文字がカーソルの後ろに移動します。

・2. アンケート用紙の流れ



左の状態では、段落記号 (¶) が削除され、セクション区切りは削除されません。

■セクション区切りを削除したときの書式

セクション区切りを削除すると、セクション区切りの前のセクションの書式は、次のセクションに設定された書式に変更されます。つまり、「2. アンケート用紙の流れ」の下にあるセクション区切りを削除すると、次のセクションの書式が適用されて、印刷の向きが縦に変わります。

●P76 エンコードについての補足説明

■エンコードとは？

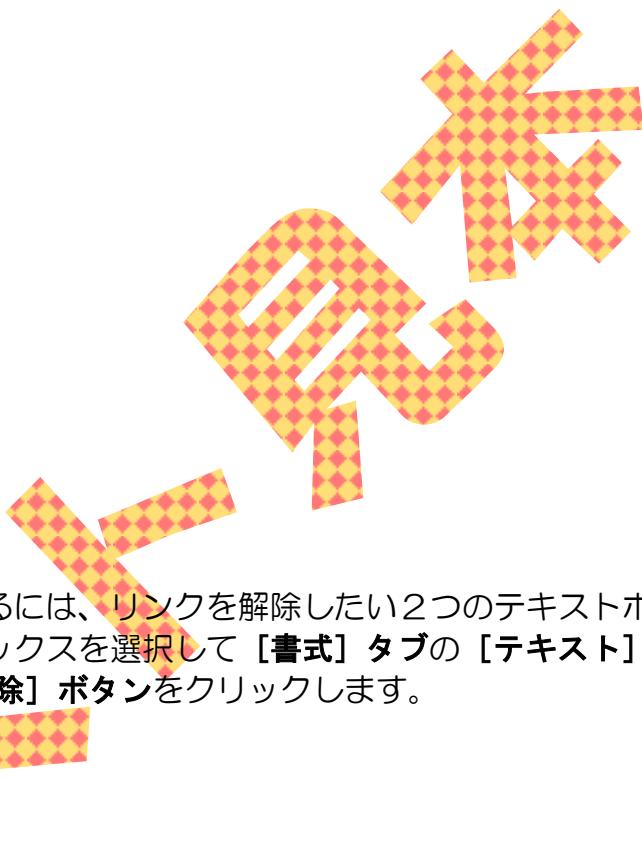
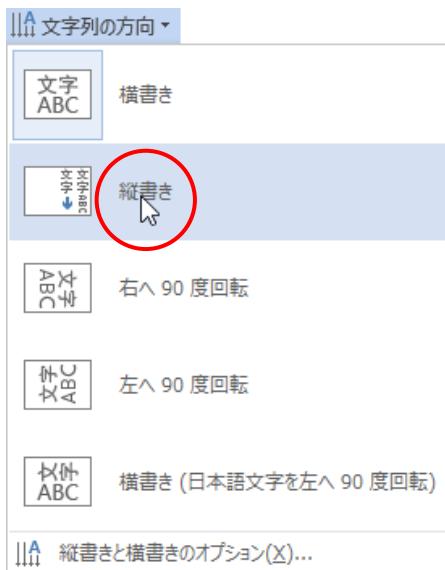
データを一定の規則に基づいて符号化することです。ワードやその他のソフトでテキストファイルを開くときに、そのファイルを作成するために使用した言語が実行中のソフトの言語とは異なることがあります。そのため、それぞれのソフトは、ファイルのエンコード方法を参照して、テキストを正しく表示する方法を決定できます。

[Windows (既定値) (W)] は、ファイルを変換する際にほとんどの言語をサポートしているため、通常はこの方法を使用します。

●P79 テキストボックスについての補足説明

■テキストボックスの文字方向の変更

テキストボックスには、縦書きと横書きのテキストボックスがあります。一度作成したテキストボックスの文字の方向を変更するには、[書式] タブの [テキスト] グループにある 文字列の方向▼ [文字列の方向] ボタンをクリックし、表示されたメニューから「縦書き」をクリックします。



■リンクの解除

テキストボックスのリンクを解除するには、リンクを解除したい2つのテキストボックスのうち、先に指定したテキストボックスを選択して [書式] タブの [テキスト] グループにある リンクの解除 [リンクの解除] ボタンをクリックします。

●P100 その他の展開と折りたたみ方法

■ [アウトライン ツール] グループを使った展開と折りたたみ

見出しにカーソルを移動して [アウトライン ツール] グループの [展開] ボタンまたは [折りたたみ] ボタンをクリックすると、選択した見出しの下位レベルの見出しや本文を表示したり、非表示にしたりすることができます。

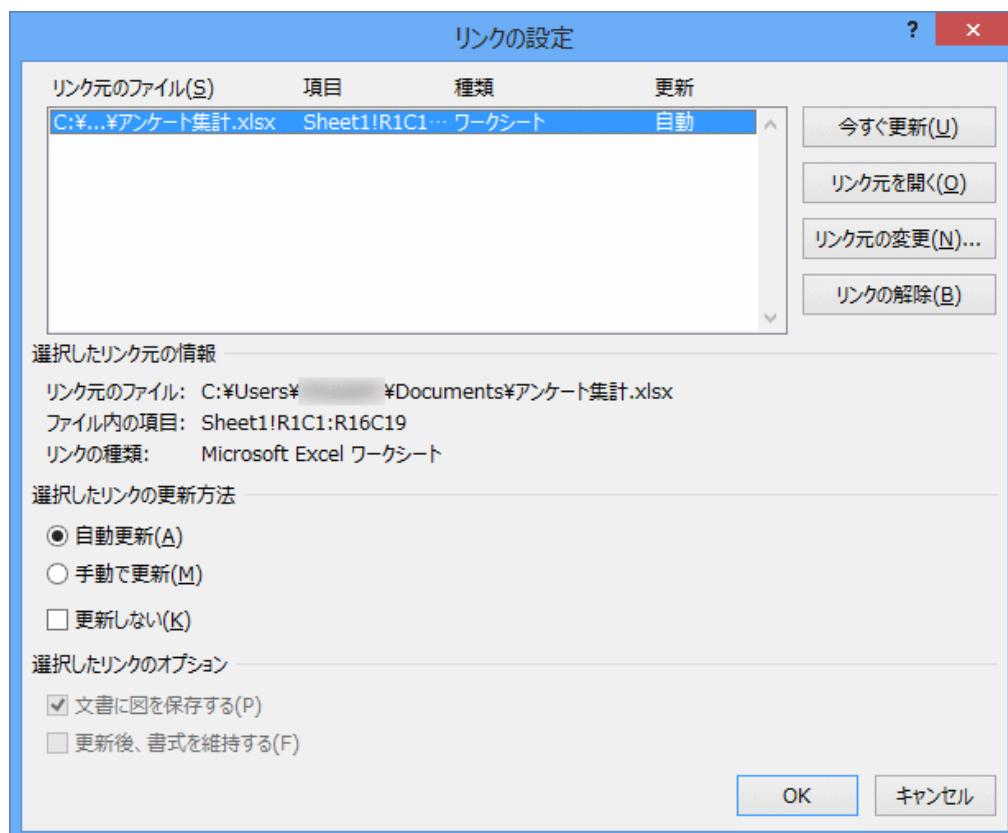
ボタンをクリックするごとに1レベルずつ展開したり折りたたんだりすることができます。

●P152 [リンクの設定] ダイアログボックスについて

リンク元のファイルの編集や変更、またリンクの解除などを行いたい場合は、[リンクの設定] ダイアログボックスを表示して編集します。

■ [リンクの設定] ダイアログボックス

リンクオブジェクトとして貼り付けた表を右クリックして、表示されるメニューから [リンクされたワークシートオブジェクト(0)] – [リンクの設定(K)...] をクリックすると下のように [リンクの設定] ダイアログボックスが表示されます。



今すぐ更新(U)

…選択したリンクのデータを更新します。（選択したリンクの更新方法が「更新しない」にチェックが入っている場合は利用できません）

リンク元を開く(O)

…選択したリンクの貼り付け元のファイルを開きます。

リンク元の変更(N)...

…選択したリンクの貼り付け元のファイルを変更します。

リンクの解除(B)

…選択したリンクの、貼り付け元のファイルへのリンクを解除します。

選択したリンクの更新方法

自動更新(A)

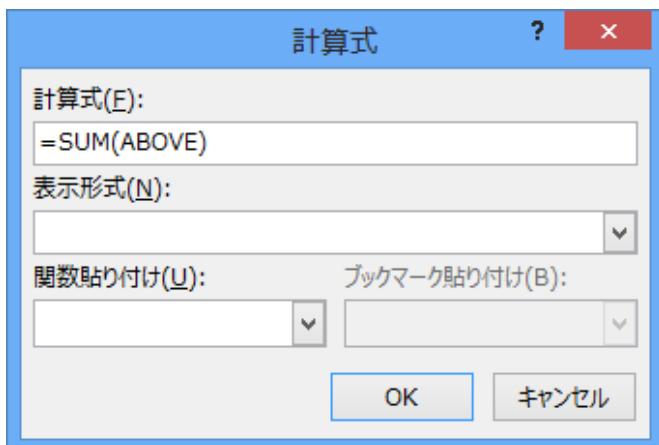
手動で更新(M)

更新しない(E)

…選択したリンクの更新方法を選択します。

●P162 表計算についての補足説明

■ [計算式] ダイアログボックス



● [計算式 (F) :]

計算式を入力します。通常は左のように表示されます。

● [表示形式 (N) :]

計算結果を表示するための表示形式を指定します。例えば、カンマを編集するためには、「#,##0」を指定します。

「#」は、任意の数字を表しています。

「0」は、計算結果が 0 の場合でも 0 を表示することを表しています。

また、この表示形式では、小数点以下は四捨五入されて表示されます。

● [関数貼り付け (U) :]

いろいろな関数から使用する関数を選択します。ここで選択した関数は、

[計算式 (F) :] ボックスに表示されます。

■計算対象となるセルの範囲

計算対象となるセルの範囲は、次のようにになります。

	A 列	B 列	C 列	D 列	E 列
1	A1	B1	C1	D1	E1
2	A2	B2	C2	D2	E2
3	A3	B3	C3	D3	E3
4	A4	B4	C4	D4	E4
5	A5	B5	C5	D5	E5

B5 にカーソルがある状態で、[計算式] ダイアログボックスを表示させると「=SUM(ABOVE)」が表示されます。

カーソルがあるセルの上隣の連続セルを集計します。という意味になります。

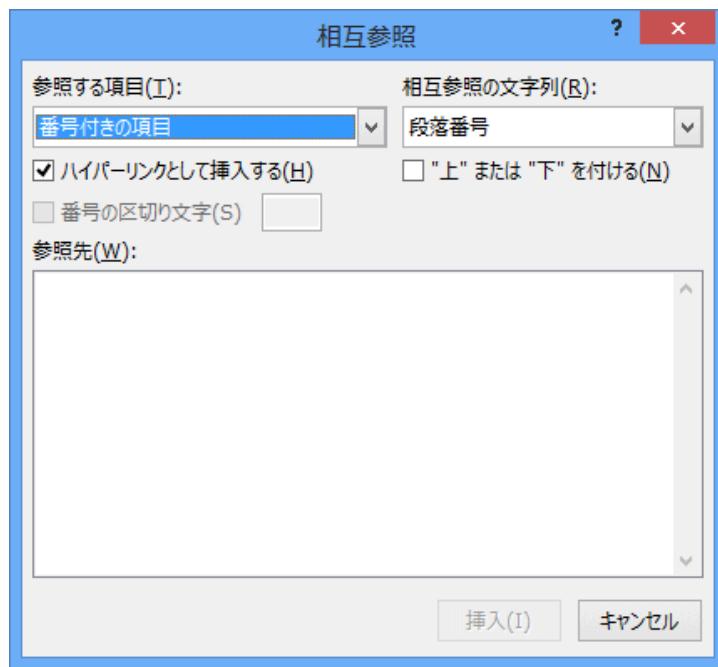
E2 にカーソルがある状態で、[計算式] ダイアログボックスを表示させると「=SUM(LEFT)」が表示されます。カーソルがあるセルの左隣の連続セルを集めます。という意味になります。

■データを変更した場合の更新方法

ワードでは、エクセルと違ってそのままでは自動更新されません。カーソルを計算式が入力されたセルに移動して [F9] キーを押します。もしくは、計算式が入力されたセルの中で右クリックし、[フィールド更新 (U)] をクリックします。

●P185 相互参照についての補足説明

■ [相互参照] ダイアログボックスについて



● [参照する項目 (T) :]

参照する項目を次の中から選択します。

- ・番号付きの項目
- ・見出し
- ・ブックマーク
- ・脚注
- ・文末脚注
- ・図
- ・数式
- ・表



● [相互参照の文字列 (R) :]

本文中に挿入する内容を選択します。この項目は、[参照する項目 (T) :] で選択した項目によって異なります。

● [ハイパーリンクとして挿入する (H)]

相互参照をハイパーリンクとして挿入するかを設定します。

ハイパーリンクとして挿入すると、相互参照をクリックして参照先にジャンプすることができます。

● [“上”または“下”を付ける (N)]

参照先の項目が相互参照の上にある場合は、「上の表 1」という具合に表示されます。

● [○○○の参照先 (W)]

[参照する項目 (T) :] で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

■相互参照の更新

相互参照の更新方法には、次のような方法があります。

- 相互参照内で右クリックして、表示されるショートカットメニューから [フィールド更新 (U)] をクリックします。
- 相互参照を選択して [F9] キーを押します

■相互参照の削除

相互参照を削除するには、相互参照を選択して [Delete] キーを押します。

●P193 ハイパーリンクについての補足説明

■ハイパーリンクの変更

ハイパーリンクの変更は、[ハイパーリンクの編集] ダイアログボックスで行います。[ハイパー リンクの編集] ダイアログボックスの表示方法は2つあり、次のように操作します。

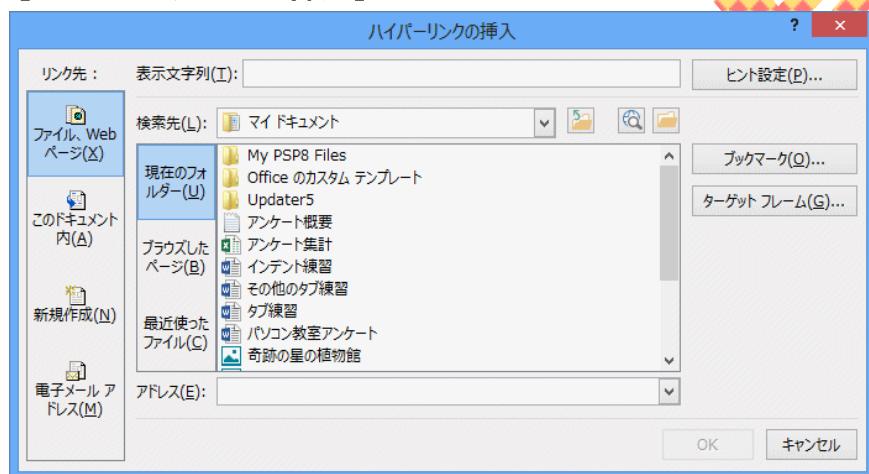
- ハイパーリンクを設定した文字を選択して、[挿入] タブの [リンク] グループにある [ハイパー リンク] [ハイパー リンクの挿入] ボタンをクリックします。
- ハイパーリンクを設定した文字列内で右クリックし、表示されるショートカットメニューから [ハイパー リンクの編集(H)...] をクリックします。

■ハイパー リンクの削除

ハイパー リンクを削除するには、次のような2つの方法があります。

- ハイパー リンクを設定した文字を選択して、[挿入] タブの [リンク] グループにある [ハイパー リンク] [ハイパー リンクの挿入] ボタンをクリックし、[ハイパー リンクの編集] ダイアログボックスの [リンクの解除(R)] ボタンをクリックします。
- ハイパー リンクを設定した文字列内で右クリックし、表示されるショートカットメニューから [ハイパー リンクの削除(R)] をクリックします。

■ [ハイパー リンクの挿入] ダイアログボックス



●リンク先:

- ・[ファイル、Web ページ (X)]

別のファイルや Web ページをリンク先として設定します。

- ・[このドキュメント内 (A)]

同じ文書内の見出しスタイルや、ブックマークが設定されている場所をリンク先として設定します。

- ・[新規作成 (N)]

新規文書をリンク先として設定します。

- ・[電子メールアドレス (M)]

設定した電子メールアドレスを宛先として、電子メールを作成するためのウィンドウが表示されるように設定します。

● [表示文字列 (T):]

ハイパー リンクに設定する文字列を設定します。

● [検索先 (L):]

リンク先のファイルの場所を設定します。

● [アドレス (E):]

ファイル名や Web ページの URL を設定します。

● [ヒント設定 (P)...]

ハイパー リンクを設定した文字列にポイントしたときに、表示されるメッセージを設定します。

● クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する

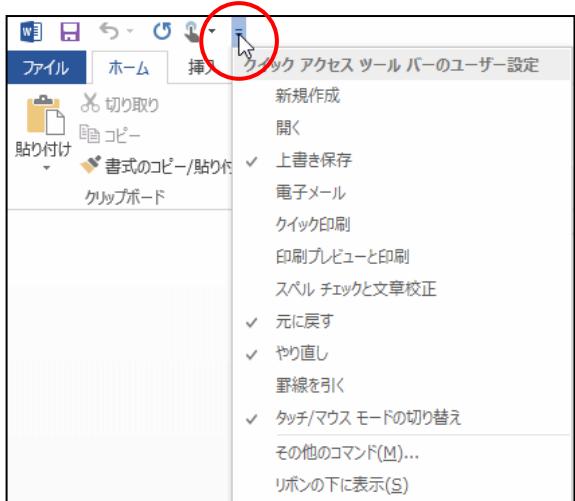
本テキストでは、前提条件として【クイックアクセス】ツールバーは□【新規作成】、📁【開く】、🖨️【クイック印刷】、🔍【印刷プレビューと印刷】という非常によく使う4つのボタンが追加された状態でした。

ただし、一番最初にワード2013を開いた場合、初期状態として💾【上書き保存】、↶【元に戻す】、⟳【繰り返し】(⟳【やり直し】になることもあります)の3つしか表示されません。ここでは、【クイックアクセス】ツールバーにそのほかのボタンの追加方法と削除方法について説明します。

■ 【クイックアクセス】ツールバーにボタンを追加する

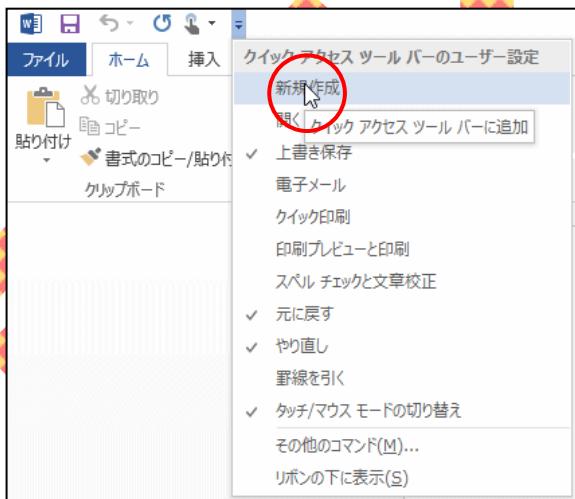
ここでは、【クイックアクセス】ツールバーに□【新規作成】ボタンを追加してみましょう。

【クイックアクセス】ツールバーの右側にある▼【クイックアクセスツールバーのユーザー設定】ボタンにポイントし、クリックします。



▼ をクリックすると、【クイックアクセス】ツールバーに追加できるボタンの一覧が表示されます。現在表示されているボタンには、名前の左側に✓が表示されます。

「新規作成」にポイントし、クリックします。



【クイックアクセス】ツールバーに□【新規作成】ボタンが追加されました。

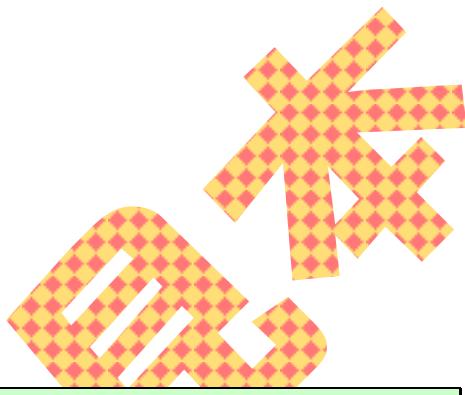
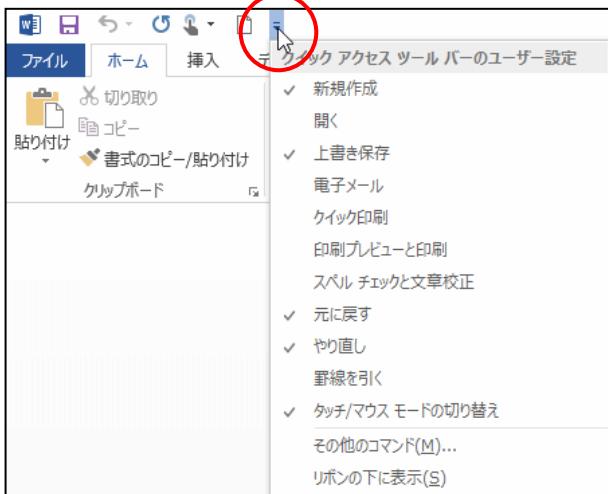


「新規作成」をクリックすると、左のように【クイックアクセス】ツールバー内に□【新規作成】ボタンが追加されます。

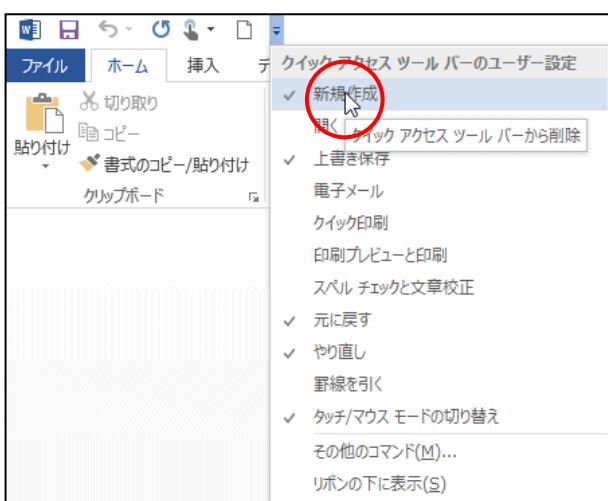
■ [クイックアクセス] ツールバーのボタンを削除する

先ほど追加した [新規作成] ボタンを削除してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。

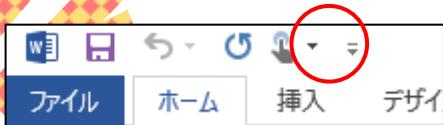


「新規作成」にポイントし、クリックします。



[新規作成] ボタンが [クイックアクセス] ツールバーに表示されているため「新規作成」の左側には ✓ が表示されています。

[クイックアクセス] ツールバーから [新規作成] ボタンが削除されました。



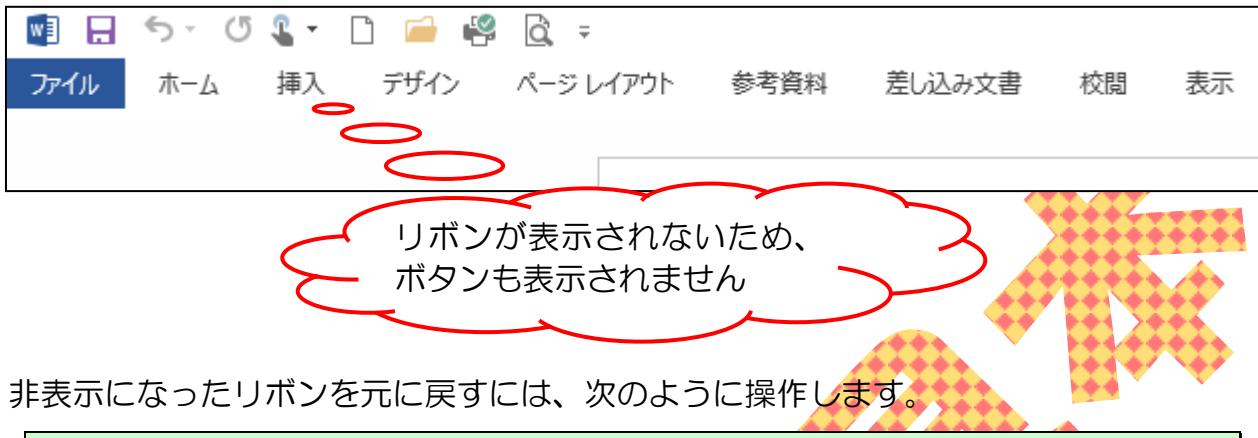
「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内の [新規作成] ボタンが削除されます。

他の[クイックアクセス]ツールバーのボタンも同様の操作で追加と削除することができます。

●リボンの表示オプションの変更

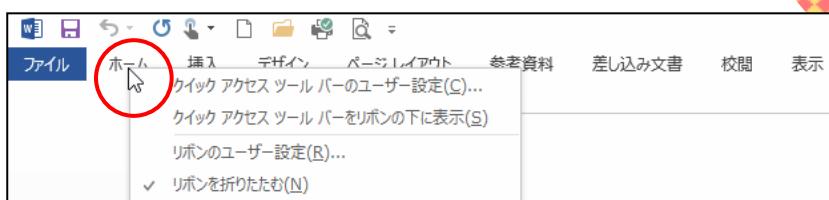
ワードでいろいろと操作をしているうちに、下のようにリボンが非表示になる場合があります。リボンが非表示になると、ボタンも押せなくなってしまうため、文字の書式設定やページ設定など様々な設定を行うときに大変不便です。

■非表示になったリボン

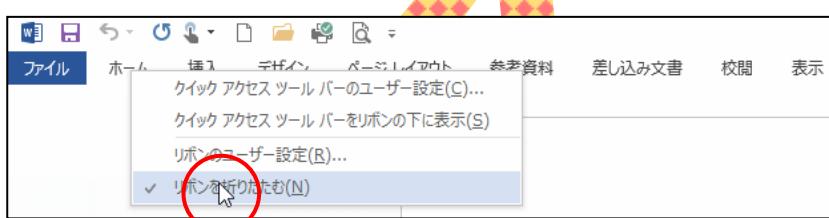


非表示になったリボンを元に戻すには、次のように操作します。

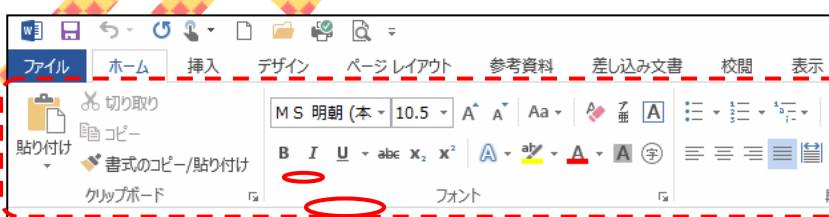
タブにポイントし、右クリックします。



表示された一覧から「リボンを折りたたむ(N)」をクリックします。



リボンが表示されました。



リボンが復元され、ボタンが表示されます

●テキストの手引き

練習問題や実際にワードを使っていて、テキストで覚えたあの機能は何ページに書いてあったっけ？と迷われた時のためにテキスト内の成果物と機能についての該当ページを記載しています。

●「アンケート報告書」 1ページ目

パソコン教室に関するアンケート調査報告書

文字スタイル
文字スタイルの登録 P13～
スタイルの削除について P218～
スタイルの変更について P220～
スタイルの適用についての補足説明 P222～

現在、パソコン教室で受講中の皆様に対するアンケート調査を行なっています。
なお、本資料は**極秘資料**のため、取り扱いには十分注意してください。

目次

1. 調査の概要.....	2↓
1)→ 趣旨.....	2↓
2)→ 目的.....	2↓
3)→ 対象.....	2↓
4)→ 手段.....	2↓
5)→ 集計と結果.....	2↓
2. アンケート用紙の流れ.....	3↓
3. アンケート集計結果.....	4↓
1)→ 受講回数の設定.....	4↓
2)→ 自己学習方式.....	4↓
3)→ 講師.....	4↓
4)→ 利用時間帯.....	4↓
5)→ 受講時間.....	4↓
6)→ 受講回数.....	4↓
7)→ 料金設定.....	4↓
8)→ パソコン教室を選ぶポイント.....	5↓
9)→ その他要望.....	5↓

改ページ

改ページ
任意の位置で改ページ P33～

● 「アンケート報告書」 2ページ目

1. 調査の概要

1) → 趣旨

インターネットの普及に伴い、高齢者の方のパソコン利用者が急増しております。これにともない中高年の方を利用しやすい教室が必要となってきております。当教室でもご利用される方の年齢層が高く、40・50歳代の方が教室にどのようなことを期待しているのか、現状の授業の改善点はどこかなどを受講者

2) → 目的

年齢・性別ごとに若年層、中高年層がパソコン教室に対して、どのような対応を望んでいるか分析し、今後の教室のあり方を検討して改善点を目指す。また当教室として改善方法を検討し、随時改善を行う。ホームページに随時更新する。

3) → 対象

当教室ご利用者の皆様

4) → 手段

受講申込みの受付時、または見学時の受講時かその場で記入していただき者が責任を持って行うこととした。

5) → 集計と結果

集計は、当パソコン教室の講師陣が共同で行った。講師陣は、集計結果をさまざまな視点から分析し、集計結果を資料として作成した。作成した資料を基に経営者と従業員が、これからパソコン教室はどうあるべきかを検討し、改善案の提案および報告書を作成し、随時改善策を実施する。

段落スタイル

段落スタイルの設定 P20~

段落スタイルの変更 P22~、P225

文字スタイル

登録したスタイルの適用 P19~

アウトライン

アウトライン表示に切り替える P87~

アウトラインを設定する P89~

アウトラインの範囲選択方法 P95~

アウトライン表示の切り替え方法 P97~

見出しの移動 P101~

アウトライン番号の設定 P103~

アウトライン番号の書式変更 P105~

その他の展開と折りたたみ方法 P228

セクション区切りの設定 P35~

セクション区切りについての補足説明 P227

脚注

脚注の挿入 P114~

脚注の削除 P122

脚注の確認 P123

脚注の編集 P123

段落を分割せずに改ページ P27~

2つの段落を一緒に改ページ P30~

● 「アンケート報告書」 3ページ目

セクションごとに書式を設定 P41～

段落スタイル

段落スタイルの設定 P20～

段落スタイルの変更 P22～、P225

2. アンケート用紙の流れ

アンケート用紙は、項目別
の記述形式とした。

- 1) パソコン教室を選ぶボ
イント
- 2) 受講回数の設定
- 3) 自己学習方式
- 4) 講師について
- 5) 利用時間帯
- 6) 受講時間
- 7) 受講回数
- 8) 料金設定
- 9) その他要望

また、アンケート用紙に利
用者の率直な意見を書い
ていただくように、上記の
ほか「その他」として、「パ
ソコン教室に求めるこ
と」の記入欄を設けた。申込書
とともにアンケート用紙
の記入によって利用者の
要求するものの把握に努
めている。

利用者

アン
ケ
ト
用
紙

セクション区切りの設定 P35～

セクション区切りについての補足説明 P227

切り（次のページから新しいセクション）
アンケート用
紙記入・回収

改善策の検討

集
計
分
析

ご利用方法の
改善

別途配布した「パンフレット」の概要について

- 1) 毎月の利用回数と料金について
- 2) 教室で行っている講座について
- 3) 講座の内容
- 4) その他教室に行っているサポートについて

SmartArt

SmartArt の挿入 P48

SmartArt の図形の削除 P49

SmartArt の図形に文字を入力する P50～

文字のスタイルの設定 P56～

SmartArt の文字列の折り返し P59～

表示倍率の変更 P62～

SmartArt の移動 P65～

SmartArt のサイズ変更 P67～

テキストボックス

テキストボックスに文字を追加 P72～

テキストボックスにリンクを設定 P78～

テキストボックスのサイズ調整 P80～

テキストボックスの書式設定 P82～

テキストボックスの移動 P85

エンコードについての補足説明 P227

テキストボックスについての補足説明 P228

● 「アンケート報告書」 4ページ目

3. アンケート集計結果

段落スタイル

段落スタイルの設定 P20~

段落スタイルの変更 P22~、P225

1) → 受講回数の設定

パソコン教室では、Wordコース8回とか10回という設定で進めているところがほとんどですが、受講者の方からすると自分のペースで進むのが一番ありがたいと思われています。

2) → 自己学習方式

『個別指導』という名目で、自己学習方式で進めているパソコン教室もありますが、これに対して、受講者の方は、自分のペースで進められるので、いい方法だと言われる方と、教室に通うからには、講師がテキストを説明すべきだと言われる方がほぼ半々です。

ただ、受講される前のアンケートであること、受講者の方のレベルを見ると自己学習方式では、マスターできないと思われることから、パソコン教室では講師が説明すべきだと思われます。

3) → 講師

パソコン教室を選ぶ時のポイントでもにしております。

また、受講者はパソコン教室に対して『どんな質問であっても回答すればOK』となります。

4) → 利用時間帯

午前中から午後5時頃までの受講者は

5時を過ぎると、ほぼ全年齢層の方にバラついております。

この結果、仕事を持っている方は夜に、専業主婦の方は昼間に利用されております。

5) → 受講時間

受講時間は、1時間半の時間がいい方が一番多く、続いて2時間となっています。

アンケート結果から判断すると、若い方は短い時間、中・高年の方（特に女性）は長い時間、受講を希望されています。1回の受講で2時間半以上を希望される方はひとりもいませんでした。

6) → 受講回数

週1回を希望される方が全体の82%を占めています。これは、復習の時間と料金が関係しているのではないかと思われます。

7) → 料金設定

受講者からすると、やはり安いに越したことはないでしょうが、特に中・高年の方からすると、料金は少し高くても、マイペースで学べる教室を選ばれているようです。

アウトライン

アウトライン表示に切り替える P87~

アウトラインを設定する P89~

アウトラインの範囲選択方法 P95~

アウトライン表示の切り替え方法 P97~

見出しの移動 P101~

アウトライン番号の設定 P103~

アウトライン番号の書式変更 P105~

その他の展開と折りたたみ方法 P228

Microsoft社が作成した、パソコンで文書作成するためのアプリケーションソフト

脚注

脚注の挿入 P114~

脚注の削除 P122

脚注の確認 P123

脚注の編集 P123

● 「アンケート報告書」 5ページ目

■ 8) → パソコン教室を選ぶポイント

みなさんがパソコン教室を選ぶ時のポイントとして重要視しているのは、『1クラスあたりの受講人数』です。続いて多いのが『受講料が安い』ことです。若い人にとっては、『受講料が安い』ことの方が重要ですが、中・高年の方にとっては、『マイペースで進みやすい』とおもなっています。

■ 9) → その他要望

■20・30代

- ・講習以外の内容についてもアドバイスしてほしい
- ・マスペースで進みたい
- ・講習時間外でのサポート

■40代

- ・マイペースで進みたい
- ・親切・丁寧な指導
- ・長く続けられる環境を作ってほしい

■50・60代

- ・マイペースで進みたい
- ・楽しく学びたい
- ・年齢に合った指導方法

アウトライン

アウトライン表示に切り替える **P87~**

アウトラインを設定する **P89~**

アウトラインの範囲選択方法 **P95~**

アウトライン表示の切り替え方法 **P97~**

見出しの移動 **P101~**

アウトライン番号の設定 **P103~**

アウトライン番号の書式変更 **P105~**

その他の展開と折りたたみ方法 **P228**

アンケート集計結果

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		小計		トータル	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
教室選びのポイント	受講料が安い	2	4	5	8	2	4	0	15	2	5	2	1	0	0	13	37	50
	入会金、テキスト代不要	0	0	2	3	1	2	0	9	2	2	1	0	0	0	6	16	22
	1クラスの受講人数	2	2	1	10	3	6	4	22	3	17	4	3	1	0	18	60	78
講師の質	いい方法だ	1	1	1	6	3	2	2	12	3	7	2	0	1	0	13	28	41
	教室にいく意味がない	0	3	1	5	1	5	0	5	1	2	0	0	0	0	3	20	23
	講師がテキストを説明すべき	0	2	4	2	1	4	2	15	3	13	5	2	0	0	15	38	53
講師について	講習内容以外は回答の必要なし	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	3
	講習以外は必要ないが回答してほしい	2	3	2	10	2	7	4	17	4	13	4	1	1	0	19	51	70
	どんな質問であれ回答すべき	0	3	4	3	2	3	1	14	1	5	1	2	0	0	9	30	39
受講時間	1時間	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	7	8
	1時間30分	2	2	5	9	4	7	4	18	4	10	6	1	1	0	26	47	73
	2時間	0	1	1	4	0	2	2	13	1	9	0	2	0	0	4	31	35

エクセルの表をワードに貼り付け **P137~**

埋め込んだデータの変更 **P141~**

埋め込みオブジェクトの削除 **P144**

エクセルの表をワードにリンク貼り付け **P145~**

リンクデータの変更 **P150~**

[リンクの設定] ダイアログボックスについて **P229**

● 「支店別売上実績」

2013年度・支店別売上検討書

各店舗 販売実績管理者 殿

景気回復が一向に見えぬ中、我社の経営も一層厳しくなると思われます。前年度の計画に対する実績について取りまとめたので報告するとともに、今年度については、下記事項を勘案のうえ、各店舗とも目標表1【支店別売上目標】達成に向けて努力するよう、各店舗内での意思統一をお願いします。

- 各店舗の地域特性を考慮した販売実績
- 店舗ごとに顧客への積極的なアプローチ
- 各店舗での各担当者の責任を明確化

相互参照

相互参照の作成 P182～
相互参照の確認 P186～
相互参照についての補足説明 P231

図表番号の設定 P178～

ハイパーリンクの挿入 P187～

ハイパーリンクの確認 P192～

ハイパーリンクについての補足説明 P232

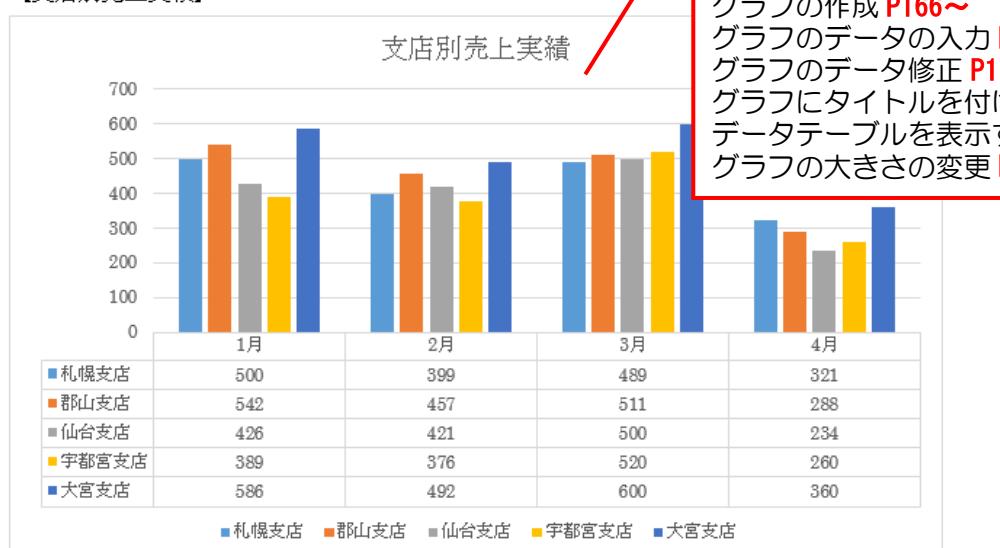
表-1【支店別売上目標】

支店コード	支店名	1月	2月	3月	4月
100001	札幌支店	500	500	500	350
100002	郡山支店	550	550	550	350
100003	仙台支店	450	450	450	300
100004	宇都宮支店	400	400	400	300
100005	大宮支店	550	550	550	350
合計		2450	2450	2450	1650

表の作成

文字列を表に変換する P153～
表のレイアウト調整 P156～
ワードで表計算 P160～
表内のデータの並べ替え P163～
表計算についての補足説明 P230

【支店別売上実績】



グラフ

グラフの作成 P166～
グラフのデータの入力 P169～
グラフのデータ修正 P171
グラフにタイトルを付ける P172～
データテーブルを表示する P174～
グラフの大きさの変更 P176～

Web ページにリンク P194～

ハイパーリンクについての補足説明 P232

資料提供□Whale

● 「受講案内」

平成 25 年 6 月 10 日

ABC 株式会社□御申

ABC パソコンスクール

メイン文書とデータファイルの指定 P201～
差し込みフィールドの挿入 P208～

梅雨の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、
厚くお礼申し上げます。

当パソコンスクールでは、下記の日程で各種講習会を開催いたします。
つきましては、御社の社員様のご予定に合わせて、ご都合のいい日にご出席いただけるよ
うスタッフ一同心からお待ち申し上げます。まことに勝手ではございますが、ご出席いただ
ける場合は文末の申込書をご返送賜りますようよろしくお願ひいたします。

記

1. 日程

パソコン入門： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 1：00～3：00

ワード基礎： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 4：00～6：00

ワード応用： → 平成 25 年 7 月 10 日□午後 7：00～9：00

エクセル基礎： → 平成 25 年 7 月 15 日□午後 1：00～3：00

エクセル応用： → 平成 25 年 7 月 15 日□午後 4：00～6：00

以上

申し込み用紙

申込日：

貴社名	□	電話番号	□
受講票送付先	□	□	
受講希望講座	講座名	受講人数	お支払方法
	□	□	□
	□	□	
	□	□	

※…1 企業様 5 講座まで受講可能です。

差し込み印刷

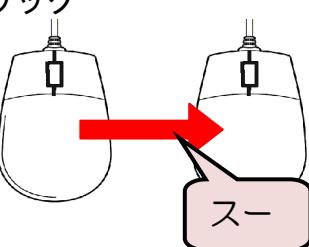
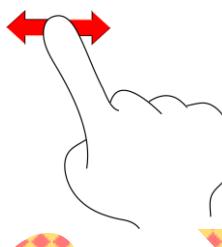
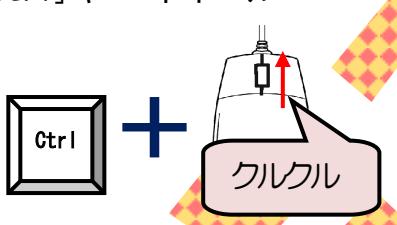
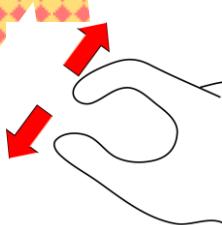
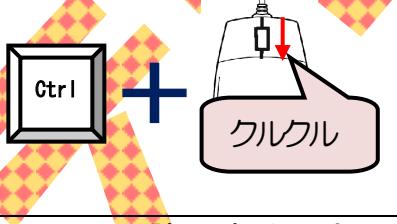
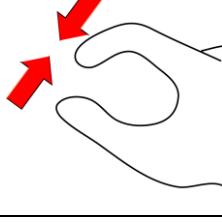
差し込み印刷ウィザードの表示 P199～

プレビュー表示 P212

印刷 P213～

●タッチパネルの基本操作

■タッチパネルの操作において、マウスに相当する操作との対応表になります。

マウスに相当する操作	タッチパネルの操作	説明
クリック 	 タップ	マウス操作におけるクリックに相当し、画面を指で軽く叩く操作。
ダブルクリック 	 ダブルタップ	画面を指で軽く叩く「タップ」操作を2回繰り返す操作。
ドラッグ 	 ドラッグ	タッチしたまま、目的の場所まで指をすべらせる操作。
[Ctrl]キー+ホイール 	 ピンチアウト	画面上の操作対象を広げるように2本の指を離していく、画面を拡大させる操作。
[Ctrl]キー+ホイール 	 ピンチイン	画面をつまむようにして2本の指を近づけ、画面を縮小させる操作。
フリックに該当するマウス操作がないため、表記していません。	 フリック	画面に触れた指を少しだけスライドさせる操作で、特に画面上を素早く払うように叩く操作。

※上記のタッチパネル操作名は、様々な名称がありますが、本テキストではこの名前で表記しています。

●索引

あ行

アウトライン記号	86
アウトラインすべてのレベルを表示する	99
アウトライン機能	86
アウトラインの選択の解除	96
アウトラインの範囲選択	95
アウトラインの本文選択	95
アウトラインの見出し選択	96
アウトライン番号の書式設定	105
アウトライン番号の設定	103
アウトライン表示（展開と折りたたみ方法）	228
アウトライン表示に切り替える	87
アウトライン表示の切り替え方法	97
アウトライン見出し1レベルを表示する	97
アウトライン見出し2レベルを表示する	98
アウトライン見出しの移動	101
アウトラインレベルとスタイル	87
アウトラインを設定する	89
印刷レイアウト表示に切り替える	112
Webページにリンク	194
埋め込みオブジェクトの削除	144
埋め込み貼り付け	134
埋め込んだデータの変更	141
エクセルの表をワードに貼り付け	137
エクセルの表をワードにリンク貼り付け	145
エンコードとは	227

か行

改ページ位置の自動修正	26
脚注	114
脚注の確認	123
脚注の削除	122
脚注の挿入	114
脚注の編集	123
行番号を表示する	10
グラフにタイトルを付ける	172
グラフにデータテーブルを表示する	174
グラフの大きさの変更	176
グラフの作成	166
グラフのデータ修正	171
グラフのデータ入力	169

さ行

差し込み印刷ウィザードの表示	199
差し込み印刷の印刷	213
差し込み印刷の手順	198
差し込み印刷のプレビュー表示	212
差し込みフィールドの挿入	208
書式設定の単位	8
書式の登録	9
スタイルギャラリー	14
スタイルとは	9

スタイルの削除	218
スタイルの適用	19
スタイルの適用についての補足説明	222
スタイルの変更	220
スタイル名の表示領域	226
ステータスバーのユーザー設定	10
図表番号の設定	178
図表枠とは	65
SmartArtとは	47
SmartArtの移動	65
SmartArtのサイズ変更	67
SmartArtの図形に文字を入力する	50
SmartArtの図形の削除	49
SmartArtの挿入	48
SmartArtの文字のスタイルの設定	56
SmartArtの文字列の折り返し	59
セクション	8
セクション区切りの設定	35
セクション区切りの補足説明	227
セクションごとに書式を設定	41
セクション番号を表示する	10
相互参照とは	178
相互参照の確認	186
相互参照の作成	182
相互参照の補足説明	231

た行

段落	8
段落スタイルの設定	20
段落スタイルの変更	22
段落スタイルの変更の補足説明	225
[段落] ダイアログボックスの表示方法	26
段落を分割せずに改ページ	27
テキストボックスについての補足説明	228
テキストボックスに文字を追加	72
テキストボックスにリンクを設定	78
テキストボックスの移動	85
テキストボックスのサイズ調整	80
テキストボックスの書式設定	82

な行

任意の位置で改ページ	33
------------	----

は行

ハイパーリンクとは	187
ハイパーリンクについての補足説明	232
ハイパーリンクの確認	192
ハイパーリンクの挿入	187
離れた場所に一連の文章を入力	71
表計算についての補足説明	230
表示倍率の変更	62
表内のデータの並べ替え	163

表のレイアウト調整	156
2つの段落と一緒に改ページ	30
文末脚注	114

ま行

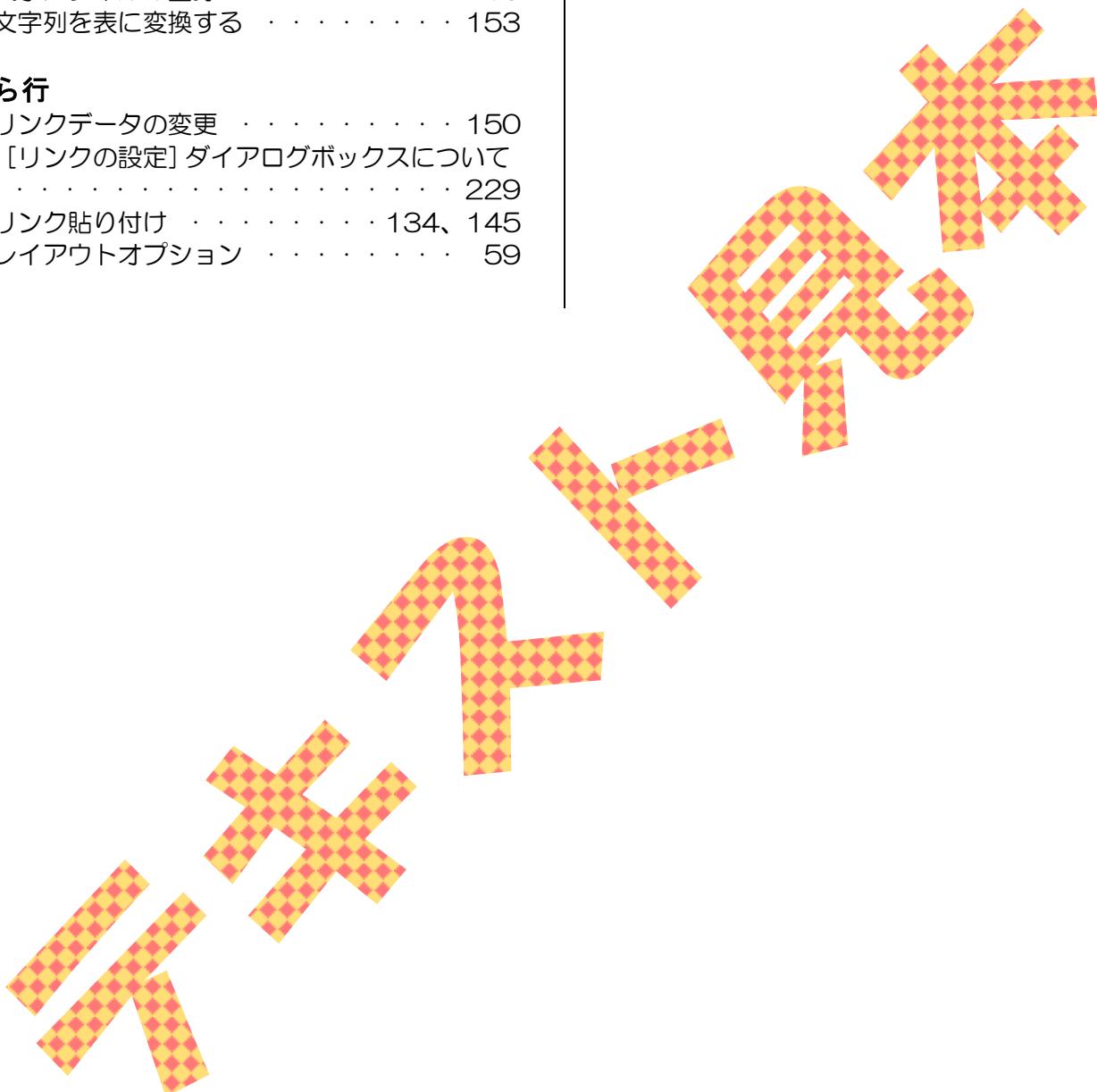
メイン文書とデータファイルの指定	201
目次の更新	131
目次の作成	124
目次フィールド	127
目次を利用してカーソルを移動する	127
文字スタイルの登録	13
文字列を表に変換する	153

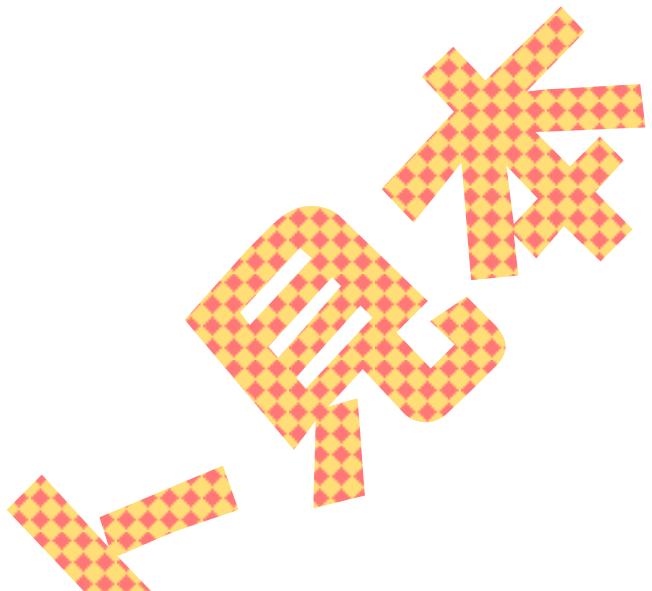
ら行

リンクデータの変更	150
[リンクの設定] ダイアログボックスについて	229
リンク貼り付け	134、145
レイアウトオプション	59

わ行

ワードで表計算	160
---------	-----





Word III

2013年6月10日

初版

第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

連絡先



- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。